


市立田浦中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事 (田浦中学校・池上中学校)

図面リスト

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-01	改修特記仕様書1	-	A-23	池上中学校 案内図・配置図・工事区分	1:600	S-01	構造特記仕様書	1:100,400,600
A-02	改修特記仕様書2	-	A-24	池上中学校 工事概要・仕上表	-	S-02	鉄筋コンクリート標準図	1:10,30,50
A-03	改修特記仕様書3	-	A-25	池上中学校 1階平面図・舗装改修図・ｽｯﾌﾟ改修図	1:10,100,300	S-03	鉄骨標準図、無収縮モルタル標準図	-
A-04	改修特記仕様書4	-	A-26	池上中学校 2階平面図	1:300	S-04	田浦中学校 基礎・2・3・R階伏図(DW改修用)	1:100
A-05	改修特記仕様書5	-	A-27	池上中学校 3階平面図	1:300	S-05	田浦中学校 軸組図・床補強詳細図・ビット配筋図(DW改修用)	1:100,30,20
A-06	田浦中学校 案内図・配置図・工事区分	1:600	A-28	池上中学校 屋階平面図	1:300	S-06	池上中学校 基礎・2・3・R階伏図(DW改修用)	1:100
A-07	田浦中学校 工事概要・仕上表	-	A-29	池上中学校 荷受室・配膳室 1階平面詳細図(改修前・改修後)	1:50	S-07	池上中学校 軸組図・床補強詳細図・ビット配筋図(DW改修用)	1:100,30,20
A-08	田浦中学校 1階平面図・2階平面図	1:300	A-30	池上中学校 配膳室 2階平面詳細図(改修前・改修後)	1:50	M-01	田浦中学校 機器表	-
A-09	田浦中学校 3階平面図・屋階平面図	1:300	A-31	池上中学校 配膳室 3階平面詳細図(改修前・改修後)	1:50	M-02	田浦中学校 空調換気設備 1階平面図	1:50
A-10	田浦中学校 荷受室・配膳室 1階平面詳細図(改修前・改修後)	1:50	A-32	池上中学校 1階職員更衣室平面詳細図(改修前・改修後)	1:50	M-03	田浦中学校 空調換気設備 2階平面図	1:50
A-11	田浦中学校 配膳室・多目的室 2階平面詳細図(改修前・改修後)	1:10,50	A-33	池上中学校 1階多目的室平面詳細図(改修前・改修後)	1:50	M-04	田浦中学校 空調換気設備 3階平面図	1:50
A-12	田浦中学校 配膳室・多目的室 3階平面詳細図(改修前・改修後)	1:10,50	A-34	池上中学校 2・3階PTA会議室・生徒会室平面詳細図(改修前・改修後)	1:50	M-05	田浦中学校 空調換気設備 屋上平面図	1:50
A-13	田浦中学校 断面図(改修前・改修後)	1:50	A-35	池上中学校 A部 断面図(改修前・改修後)	1:50	M-06	田浦中学校 給排水衛生設備 1階平面図	1:50
A-14	田浦中学校 展開図(改修前・改修後)	1:100	A-36	池上中学校 B部 断面図(改修前・改修後)	1:50	M-07	田浦中学校 給排水衛生設備 2階平面図	1:50
A-15	田浦中学校 床伏図(改修前・改修後)	1:100	A-37	池上中学校 職員更衣室断面図(改修前・改修後)	1:50	M-08	田浦中学校 給排水衛生設備 3階平面図	1:50
A-16	田浦中学校 天井伏図(改修前・改修後)	1:100	A-38	池上中学校 多目的室・PTA会議・生徒会室断面図(改修前・改修後)	1:50	M-09	池上中学校 機器表	-
A-17	田浦中学校 建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ、建具表(改修前・改修後)	1:100,200	A-39	池上中学校 展開図1(改修前・改修後)	1:100	M-10	池上中学校 空調換気設備 1階平面図	1:50
A-18	田浦中学校 部分詳細図	1:5,10,20	A-40	池上中学校 展開図2(改修前・改修後)	1:100	M-11	池上中学校 空調換気設備 2階平面図	1:50
A-19	田浦中学校 外構配置図・詳細図(改修前・改修後)	1:10,20,100,200	A-41	池上中学校 床伏図(改修前・改修後)	1:100	M-12	池上中学校 空調換気設備 3階平面図	1:50
A-20	田浦中学校 昇降路 平面図・断面図・詳細図	1:10,30,50	A-42	池上中学校 天井伏図(改修前・改修後)	1:100	M-13	池上中学校 空調換気設備 1階平面図(改修後・多目的室)	1:50
A-21	田浦中学校 既存建物改修図	1:100,600	A-43	池上中学校 建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ、建具表(改修前・改修後)	1:100,200	M-14	池上中学校 給排水衛生設備 外構平面図	1:100
A-22	田浦中学校 仮設計画図(参考用)	1:300	A-44	池上中学校 部分詳細図	1:5,10,20,100	M-15	池上中学校 給排水衛生設備 1階平面図	1:50
			A-45	池上中学校 昇降路 平面図・断面図・詳細図	1:10,30,50	M-16	池上中学校 給排水衛生設備 2階平面図	1:50
			A-46	池上中学校 既存建物改修図	1:100,400,600	M-17	池上中学校 給排水衛生設備 3階平面図	1:50
			A-47	池上中学校 仮設計画図(参考用)	1:300	M-18	池上中学校 給排水衛生設備 1階平面図(改修後・職員更衣室)	1:50
						M-19	池上中学校 給排水衛生設備 1階平面図(改修後・多目的室)	1:50
						M-20	池上中学校 給排水衛生設備 2・3階平面図	1:50

公共建築課長	主査等	担当者
		

特記仕様書

1. 本特記仕様書は、本工事における建築関連工事に適用する。

2. 本特記仕様書における採用事項

①. 項目欄は番号等に ○印を付したものを適用する。

②. 項目欄に ○印を付し特記事項欄に○印を付していない場合は標準仕様書による。

③. 特記事項は○印を付したものを適用する。但し○印の付かない場合は※印の付した事項を採用する。
○印と※印を付した場合は共に適用する。

3. 本特記仕様書に記載なき事項については下記による。

○国土交通省大臣官房官営部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成28年版

○国土交通省大臣官房官営部監修 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成28年版

○国土交通省大臣官房官営部監修 建築物解体工事共通仕様書 平成24年版

○「改正建築基準法に対応した建築物のシカゴ対策マニュアル」（編集：国土交通省住宅局建築指導課他）

4. その他事項

・各項目欄の番号（例：1.4 ○○○）は標準仕様書の番号（章番号を除く）に照合する

・各項目欄の番号（例：1.* ○○○）は標準仕様書の番号（章番号を除く）に該当しない項目とする

・各項目欄の番号（例：●公○章***、公***、●公***）は公共建築工事標準仕様書の各項目に相当する

章	項目	特記事項
1章 一般共通事項	1.4 工事実績情報登録	登録： ○適用 ・不適用 ・現場説明書による
	1.* 建築基準法の風圧・積雪に関する規定	基準風速： ○V ₀ = 3.6 (m/s) 平成12年建告第1454号第2 地表面粗度区分： ・I ・II ・III ・IV 積雪区分： ・区域=(32)/α=0.0009/β=0.00/γ=0.21/R=0 平成12年建告第1445号 別表
	3.3 電気保安技術者	技術者の適用： ・適用 ・不適要
	3.5 施工条件	施工順序等の制約： ・無し ○有り【現場説明書による・図示・施設管理者】 工事車両の駐車場所： ・図示 ○現場説明書による ○敷地内 資材、機材置場： ・図示 ○現場説明書による ○敷地内 工事エリア内 発生土仮置場： ・図示 ○現場説明書による ○敷地内 その他の施工条件： ・図示 ○現場説明書による ○施設管理者との協議による
	3.12 発生材の処理等	・発注者への引渡発生材； ○特別管理産業廃棄物；複層塗材（田浦中学校） ・リサイクル発生材； ひ素・カドミウム含有せっこうボードの処理： ・製造業者回収委託処理 ・管理型最終処分場埋立処理 標準仕様書1.3.8(b)(5)(i)及び(ii)以外のせっこうボードの処理： ・管理型最終処分場埋立処理 ・再資源化
	4.* 使用材料	PCB含有シーリングの調査方法： ・図示 ・ PCB含有シーリングの撤去方法： ・図示 ・ ○仮設材以外の全ての建築材料（仕上材、下地材、副資材）のホルムアルデヒド放散量はJIS等の材料規格において放散量が規定されている場合は原則としてF☆☆☆☆とする。但し使用予定材料にF☆☆☆☆が存在しない場合は監督員と協議のうえ決定する。
	5.2 施工数量調査	調査範囲： ・図示 ・ 調査方法： ・非破壊検査 ・破壊検査 ・
	5.3 調査のための破壊部分の補修	補修方法： ・破壊検査後の復旧に関しては監督員と協議の上決定する ・図示 ・
	6.5 施工の検査等	見本施工の実施： ・実施しない ・実施する【実施箇所等： ・図示 ・】
	6.9 化学物質の濃度測定	濃度測定： ・未実施 ○実施 ○現場説明書による 化学物質濃度を下記のとおり測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し報告すること。 測定対象物質： ・ホルムアルデヒド ・トルエン ・キシレン ・エチルベンゼン ・スチレン ・パラジクロロベンゼン 測定方法： ・簡易法 ○パッシブ型採取機器 ・測定パッジ ・アクティブ法 測定対象室： ・図示 ○現場説明書による 測定箇所数： ・図示 ○田浦中 2教室、池上中 1教室 ・厚生労働省の標準的測定方法による場合の測定者は、環境計量証明事業所として登録を行っている者、又は作業環境測定事業所の有機溶剤の登録を行っている者とする。
8.1 完成時の提出図書	完成図： ○必要（現場説明書による） ・不要 保全に関する資料： ・必要 ・不要 ○現場説明書による	

章	項目	特記事項
1章 一般共通事項	8.1 完成時の提出図書	提出部数： ※各2部 ・部 種類： ※改修標準仕様書表1.8.1 ・一般図 ・実施設計図一式 記入内容： ※改修標準仕様書表1.8.1 ・図示 ・ 提出要領： ・A3原稿2つ折り製本 ・A3版原図（CAD作図による） ・CADデータ ・現場説明書による 施工計画書： ○監督員の承諾を受けたもの ・ 施工図： ・A3原稿2つ折り製本 ・A3縮版第2原図 ・CADデータ ○監督員の承諾を受けたもの ・現場説明書による
	8.2 完成図	8.3 保全に関する資料
2章 仮設工事	2.1 足場その他	内部足場の種別： ○脚立 ○足場板 ・ローリング'カー 外部足場の設置、種別： ○設置しない（田浦中学校） 外部足場の設置、種別： ○設置する ○枠組足場 ・単管足場】（池上中学校） 保護シートの設置： ○設置する ・設置しない 材料等の運搬方法： ・A種 ・B種 ・C種 ○D種 ・E種
	3.1 既存部分の養生	既存部分養生材料： ○ビニールシート ○その他： 施工者にて適材適所を選択する 既存家具養生材料： ・ビニールシート ○その他： 施工者にて適材適所を選択する 既存ブラインド、カーテンの養生方法： ・指定場所に保管し再設置 ・指定場所に保管し清掃の上再設置
	3.2 仮設間仕切り	仮設間仕切り： ・無し ○有り 設置箇所： ・図示 ・ 種別： ・A種 ○B種 ・C種 仮設扉： ・不要 ○必要【設置箇所： ・図示 ○任意の場所 ・】 仮設扉の種別： ・鋼製 ・木製 ・図示 ○施工者にて適切な材料を選択
	4.* 工事用水及び電力	構内既存の用水施設： ・利用できない ○利用できる（・有償 ○無償） 構内既存の電力施設： ・利用できない ・利用できる（・有償 ・無償） ○動力以外利用できる（・有償 ○無償）
3章 防水改修工事	1.1 適用範囲	1. 一般事項 防水工事の保証書の提出及び保証年限 ・保証年限10年： アクリル防水 ・合成高分子膜防水 ○保証年限3年： 塗膜防水 ○その他： ケイ酸質系塗布防水 <保証書（請負人、材料製造所、防水施工者の連帯保証）は各3通提出する。 防水施工者は、防水材料製造所の施工者とし、監督員の承諾を受ける> 公共建築工事標準仕様書 9.6による。
	6.3 種別及び工程	6. ケイ酸質系塗布防水 施工部位
	7.2 材料	7. シーリング 種類及び施工箇所： ○種類は改修標準仕様書表3.7.11による。 ・サッシ廻り ・シリコン系（仕上有り） 20×10 ・ガラス止め ・シリコン系 5×5 ・内部仕上 ・変成シリコン系 10×10

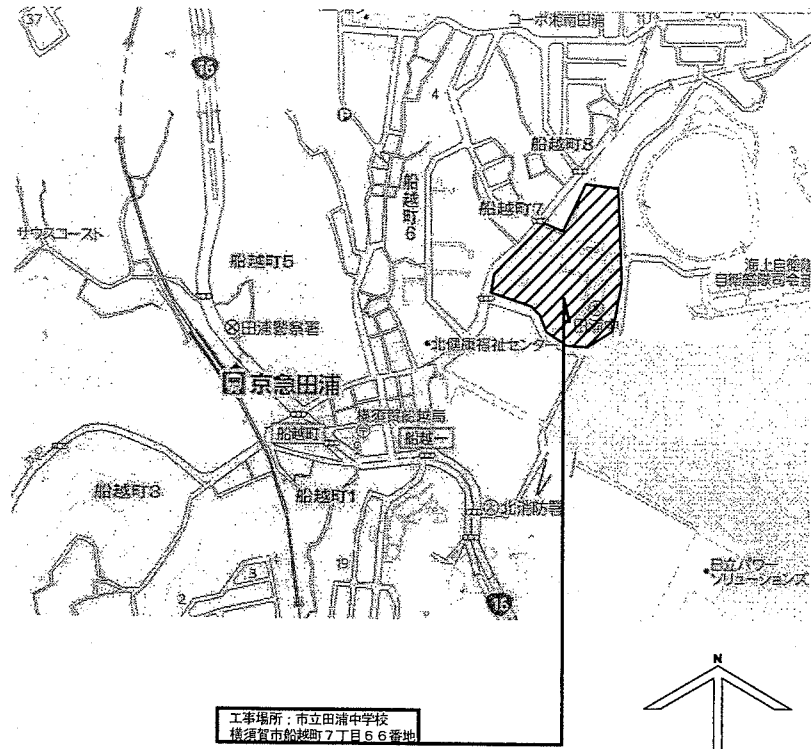
章	項目	特記事項
4章 外壁改修工事	1.5 外壁改修塗り仕上げの種類	1. 一般事項 ○塗り仕上げ外壁 新規仕上げの種類： ・薄付け仕上塗材塗り ・厚付け仕上塗材塗り ・複層仕上塗材塗り ・可とう形改修用仕上塗材塗り ・各種塗料塗り ・マステック塗材塗り ○建築用塗膜防水材塗り（JIS A6021）（ローラー さざ波模様 シリコン仕上） 下地調整： C-1
	5章 建具改修工事	1.3 改修工法 1.4 防火戸 1.5 見本の制作等
5章 建具改修工事	2.2 性能及び構造	1. 一般事項 工法： ・かぶせ工法 ○撤去工法 ・ 新規建具用開口部の補強方法： ○図示 ・ 新規建具用開口部の範囲： ○図示 ・ 防火戸の指定： ○図示 ・ ○防火戸等の自動閉鎖装置は、日本建築センター評定品とする。 建具見本の制作： ・必要 ○不要 仮組の実施： ・行う ○行わない 防犯建物部品の適用： ○図示 ・適用 ・適用しない
	2.3 材料	2. アルミニウム製建具 種別
	2.4 形状及び仕上げ	種別
	2.5 工法	種別
	4.2 性能及び構造	種別
	4.3 材料	種別
	4.4 形状及び仕上げ	種別
	5.2 性能及び構造	種別
	5.3 材料	種別
	5.4 形状及び仕上げ	種別

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項					
5章 建具改修工事	6.3 材料	6. ステンレス製建具 性能及び構造： ※JIS規格による ステンレス鋼板の材質： ※SUS304, 430J1L, 430 ・SUS304 ・SUS430 表面仕上げ： ※HL ・鏡面 ・パフ() 曲げ加工： ・普通曲げ ・角出し曲げ	6章 内装改修工事	1.3 他部位との 取合い等	1. 一般事項 既存間仕切り壁撤去に伴う天井、壁及び床の改修範囲： ※壁厚程度 ○図示 天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い天井改修範囲： ※両側600mm程度 ・図示 天井の撤去に伴う取り合い壁の改修範囲： ※既存のまま ○図示 既存部分の撤去工法： ○適用する【改修標準仕様書6.2 ・改修標準仕様書6.3 ・改修標準仕様書6.4】 ○図示 新設下地の工法： ○適用する【改修標準仕様書6.5 ・改修標準仕様書6.6 ・改修標準仕様書6.7】 ○図示 仕上げの工法： ※該当項の有無により適用する ・図示	◎造作用集成材 接着剤のMMA7MT'HD'放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ・JASによる造作用集成材： 【下表による(寸法は図示) ・図示 ・ ・JAS以外の造作用集成材： 【下表による(寸法は図示) ・図示 ・							
	6.5 工法	7. 建具用金物 適用範囲： ・建具製作所仕様以外の金物 金物の種類、材質： ○改修標準仕様書表5.7.1による 軸吊りヒンジ： ・自閉装置付き ・自閉装置なし ドアクローザのディレードアクション(遅延閉)機能の適用： ・適用 ・適用しない 戸当り： ・あおり止め(フック)付き ・あおり止め(フック)付きなし 樹脂製建具の丁番： ※標準仕様書表5.7.3による 握玉、レバーハンドル等の取付位置： ・FL+900 ・FL+950 ・FL+1,000 クレセント類の取付位置： ・FL+900~FL+1,500迄 マスターキー： ・製作する ・製作しない ○マスターキーの製作については施設管理者及び監督員と協議する。 マスターキーの系統： ・系統 指定建物錠の防犯性能の適用： ・する ○しない 指定建物錠とは、建物の外部出入口用に用いるソリッド錠・ソリッド錠/サムターン錠が該当 耐ピッキング性能 ・5分未満 ・5分以上 ※10分以上 耐鍵穴壊し性能 ・5分未満 ・5分以上 ※10分以上 耐サムターン回し性能 ・なし(5分未満) ※あり(5分以上) 耐カム送り解錠性能 ・なし(5分未満) ※あり(5分以上) 耐こじ破り性能 ・なし(5分未満) ※あり(5分以上) 出荷時の子鍵本数： ※3本 ・6本 鍵箱の適用： ・必要 ○不必要		1.4 工法	2. 既存床の撤去並びに下地補修 合成樹脂塗床材の除去： ・機械的除去工法 ・目荒工法 改装後の床の清掃範囲： ○影響範囲全て ・図示		使用部位	仕上げ	樹種	見付材	区分	備考	
	7.1 適用範囲	7.2 材質、形状及び寸法		7.2 材質、形状及び寸法	2.2 工法		3. 既存壁の撤去並びに下地補修 コンクリート間仕切り壁等の撤去に伴う構造体の補修： ○行う ・既存のまま ・モルタル塗り(改修標準仕様書4.4.9による) ○図示	使用部位	仕上げ	樹種	見付材	区分	備考
	7.2 材質、形状及び寸法	7.3 取付け施工		7.3 取付け施工	3.2 工法		5. 木下地等 ◎見え掛り面の表面仕上げの適用箇所、種類： ・図示 ○下表による	使用部位	強度等級	樹種	見付材	区分	備考
	7.4 鍵	13. 材料		13. 材料	5.1 一般事項		◎開口部額縁 ○建具枠 ・笠木 ・ブライットボックス ○カーテンボックス ・飾り柱 ・格子 ・カンナ天板 ・衝立 ・欄板 ・梯子 ◎一般事項 木材の含水率： ○A種 ・B種 ◎製材 ◇JASによる下地用針葉樹製材： ・下表による(寸法は図示) ○図示	使用部位	含水率	仕上げ	表面の品質	防蟻防蟻処理	備考
	7.4 鍵	13.2 材料		13.2 材料	5.2 木材		◇JASによる造作用針葉樹製材： ○下表による(寸法は図示) ・図示	使用部位	含水率	仕上げ	表面の品質	防蟻防蟻処理	備考
	7.4 鍵	13.3 材料		13.3 材料	5.2 木材		◇JASによる広葉樹製材： ・下表による(寸法は図示) ・図示	使用部位	含水率	仕上げ	表面の品質	防蟻防蟻処理	備考
	7.4 鍵	13.4 工法		13.4 工法	5.2 木材		◇JASによる広葉樹製材： ・下表による(寸法は図示) ・図示	使用部位	含水率	仕上げ	表面の品質	防蟻防蟻処理	備考
	7.4 鍵	13.5 ガラス溝の寸法、形状等		13.5 ガラス溝の寸法、形状等	5.2 木材		◇JAS以外の製材： ・下表による(寸法は図示) ・図示	使用部位	含水率	仕上げ	表面の品質	防蟻防蟻処理	備考
	7.4 鍵	13.5 ガラス溝の寸法、形状等		13.5 ガラス溝の寸法、形状等	5.2 木材		◇JAS以外の製材： ・下表による(寸法は図示) ・図示	使用部位	含水率	仕上げ	表面の品質	防蟻防蟻処理	備考
	7.4 鍵	13.5 ガラス溝の寸法、形状等		13.5 ガラス溝の寸法、形状等	5.2 木材		◇JAS以外の製材： ・下表による(寸法は図示) ・図示	使用部位	含水率	仕上げ	表面の品質	防蟻防蟻処理	備考
	7.4 鍵	13.5 ガラス溝の寸法、形状等		13.5 ガラス溝の寸法、形状等	5.2 木材		◇JAS以外の製材： ・下表による(寸法は図示) ・図示	使用部位	含水率	仕上げ	表面の品質	防蟻防蟻処理	備考

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項				
6章 内装 改修 工事	5.5 防汚・防蟻 ・防虫処理	◎薬剤の加圧注入による防汚・防蟻処理 適用部位 性能区分 備考 加圧注入用木材のインサート：適用する・摘要しない 薬剤の塗布による防汚・防蟻処理の方法：※標準仕様書による ボート原料接着剤への薬剤混入による防汚・防蟻処理の方法： ◎防虫処理 木材の防虫処理： 樹種：※下表を標準とし変更する場合は、事前に監督員の承諾を得る事。	11.1 フローリング張り 種類 材種 工法 形式寸法等(mm)LxWxt ①フローリングボード1等 ※材種 ・フローリングボード1等 ※材種 ・フローリングボード1等 ※材種 ・フローリングボード1等 ※材種 ・複合フローリング ※材種 材料のホルムアルデヒド放散量：※F☆☆☆☆・F☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量：※F☆☆☆☆・F☆☆☆ 仕上げ：※ウレタン樹脂ニス塗り ◎既製仕上げ	15.3 材料 15.6 工法	7章 塗装 改修 工事 1.3 材料 2.2~2.7 下地調整 3.2 塗料種別 3.3 錆止め塗料塗り 8.2~8.4 ***塗料塗り	材種 樹種など 厚さ(mm) 工法 材料のホルムアルデヒド放散量：※F☆☆☆☆・F☆☆☆ 普通合板の防虫処理：◎行わない・行う 天然木化粧合板の防虫処理：※行わない・行う 特殊加工化粧合板の防虫処理：※行わない・行う 接着剤のホルムアルデヒド放散量：◎F☆☆☆☆・F☆☆☆ せつこうボードの目地処理：◎継目処理工法 ◎目透し工法 ◎突付け工法 遮音シート材：アクリル系シート材・ジョイントメント 15. モルタル塗り 既製目地：適用・不適用 既製目地の形状寸法等：◎図示 床の目地：◎設ける ◎設けない 工法：※押し目地 ◎切り目地						
	5.6~5.9	◎RC造等の内部間仕切 軸組及び床組 ・窓、出入口、その他 ・床板張り ・壁及び天井下地					◎RC造等の内部間仕切 軸組及び床組 ・窓、出入口、その他 ・床板張り ・壁及び天井下地	◎RC造等の内部間仕切 軸組及び床組 ・窓、出入口、その他 ・床板張り ・壁及び天井下地	◎RC造等の内部間仕切 軸組及び床組 ・窓、出入口、その他 ・床板張り ・壁及び天井下地	◎RC造等の内部間仕切 軸組及び床組 ・窓、出入口、その他 ・床板張り ・壁及び天井下地	◎RC造等の内部間仕切 軸組及び床組 ・窓、出入口、その他 ・床板張り ・壁及び天井下地	◎RC造等の内部間仕切 軸組及び床組 ・窓、出入口、その他 ・床板張り ・壁及び天井下地
	5.* 堅木	樹種：マツ・ケヤキ・サクラ・クリ・シダレ					樹種：マツ・ケヤキ・サクラ・クリ・シダレ	樹種：マツ・ケヤキ・サクラ・クリ・シダレ	樹種：マツ・ケヤキ・サクラ・クリ・シダレ	樹種：マツ・ケヤキ・サクラ・クリ・シダレ	樹種：マツ・ケヤキ・サクラ・クリ・シダレ	樹種：マツ・ケヤキ・サクラ・クリ・シダレ
	5.* 銘木	種別：真物・貼物 樹種： 使用箇所：					種別：真物・貼物 樹種： 使用箇所：	種別：真物・貼物 樹種： 使用箇所：	種別：真物・貼物 樹種： 使用箇所：	種別：真物・貼物 樹種： 使用箇所：	種別：真物・貼物 樹種： 使用箇所：	種別：真物・貼物 樹種： 使用箇所：
	6.2 材料	6.3 形式及び寸法					6.4 工法	6.2 材料	6.3 形式及び寸法	6.4 工法	6.2 材料	6.3 形式及び寸法
	6.2 材料	6.3 形式及び寸法					6.4 工法	6.2 材料	6.3 形式及び寸法	6.4 工法	6.2 材料	6.3 形式及び寸法
	6.2 材料	6.3 形式及び寸法					6.4 工法	6.2 材料	6.3 形式及び寸法	6.4 工法	6.2 材料	6.3 形式及び寸法
	6.2 材料	6.3 形式及び寸法					6.4 工法	6.2 材料	6.3 形式及び寸法	6.4 工法	6.2 材料	6.3 形式及び寸法
	6.2 材料	6.3 形式及び寸法					6.4 工法	6.2 材料	6.3 形式及び寸法	6.4 工法	6.2 材料	6.3 形式及び寸法
	6.2 材料	6.3 形式及び寸法					6.4 工法	6.2 材料	6.3 形式及び寸法	6.4 工法	6.2 材料	6.3 形式及び寸法

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																													
7章	塗装改修工事	<p>9. つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)</p> <p>コンクリート面及びモルタル面の種別: A種 ※B種 C種</p> <p>プaster面の種別: A種 ※B種 C種</p> <p>せつこうボード、及びその他のボード面の種別: A種 ※B種 C種</p> <p>塗替えの場合のしめ止め: 改修標準仕様書7.9.2(b)による 図示</p> <p>屋内木部の種別(新規): ※A種 B種 C種</p> <p>屋内木部の種別(多孔質広葉樹): A種 B種 C種</p> <p>屋内木部の種別(塗替え): A種 ※B種 C種</p> <p>屋内鉄鋼面の種別: A種 ※B種 C種</p> <p>屋内亜鉛めっき鋼面の種別: A種 ※B種 C種</p> <p>10. 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)</p> <p>種別: A種 ※B種 C種</p> <p>塗替えの場合のしめ止め: 改修標準仕様書7.9.2(b)による 図示</p>																																																																																			
	(10.2) ***塗料塗り																																																																																				
8章	耐震改修工事(外構・その他工事)	<p>1. 一般事項</p> <p>・本章の事項は構造特記仕様書による</p> <p>・本章の事項は構造特記仕様書による</p> <p>・本章の事項は構造特記仕様書による</p> <p>コンクリートの種別: ※I類 II類 その他;</p> <p>使用骨材による種別: 普通コンクリート(下表による) 図示</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>設計基準強度(N/mm²)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・構造躯体(基礎~階)</td> <td>30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・構造躯体(階~階)</td> <td>24</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・構造躯体(階~階)</td> <td>21</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・捨てコンクリート</td> <td>18 21</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>使用骨材による種別: 軽量コンクリート(下表による) 図示</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>設計基準強度(N/mm²)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>18 21</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>18 21</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>18 21</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>スランプ: ※18cm 図示</p> <p>打放し仕上げの種別(合板せき板を用いる場合)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・化粧打放し部</td> <td>A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○打放し補修下地部</td> <td>B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○基礎部</td> <td>C種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>コンクリートの仕上りの平坦さ: 改修標準仕様書表8.1.4による</p> <p>製作工場のグレードは下記同等以上で大臣認定された工場とする:</p> <p>・Sグレード ・Hグレード ・Mグレード ・Rグレード ・Jグレード</p> <p>施工管理技術者: 適用する 適用しない</p> <p>2. 材料</p> <p>鉄筋の種類: SR295 SD295A SD295B SD345 SD390 図示</p> <p>溶接金網の寸法、径: φ6x150x150 φ6x100x100 φ4.5x50x50 図示</p> <p>あと施工アンカーの種類: 金属系アンカー 接着系アンカー 図示</p> <p>◎金属系アンカー</p> <p>引張耐力: 図示</p> <p>せん断耐力: 図示</p> <p>アンカー本体の径: 図示</p> <p>アンカー本体の埋込深さ: 図示</p> <p>アンカー本体のセット方式: 図示 ※本体打込み式改良型</p> <p>接合筋の径及び長さ: 図示</p>	施工部位	設計基準強度(N/mm ²)	備考	・構造躯体(基礎~階)	30		・構造躯体(階~階)	24		・構造躯体(階~階)	21		・捨てコンクリート	18 21		施工部位	設計基準強度(N/mm ²)	備考		18 21			18 21			18 21		施工部位	種別	備考	・化粧打放し部	A種		○打放し補修下地部	B種		○基礎部	C種		<p>2.5 コンクリートの材料及び調査</p> <p>2.6 構造体用鉄筋の材料及び調査</p> <p>(2.7) 型枠の材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種別・厚さ</th> <th>材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎合板</td> <td>※「コンクリート型枠用合板のJAS」・12mm</td> <td>※複合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・「コンクリート型枠用合板のJAS」・15mm</td> <td>※南洋材</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・床型枠用鋼製デッキプレート</td> <td>・針葉材</td> </tr> </tbody> </table> <p>スリーブ: 改修標準仕様書8.2.7(i, ii)による 図示</p> <p>・硬質塩化ビニル管</p> <p>・溶融亜鉛めっき鋼管・鋼管</p> <p>・つば付き鋼管</p> <p>・紙チューブ</p> <p>鋼材の材質: 下表による 図示 構造特記仕様書による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>材質(種類の記号)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・構造躯体</td> <td>SS400 SSC400</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・構造躯体(階~階)</td> <td>SM490A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・構造躯体(階~階)</td> <td>STKR400</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>BCR295</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>SN400C SN400A</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>鋼材の形状及び寸法: 図示</p> <p>2.9 高力ボルト</p> <p>種類: トリプル型高力ボルト2種(S10T) JISの高力ボルト2種(F10T)</p> <p>・溶融亜鉛めっき高力ボルト1種(F8T相当)</p> <p>高力ボルトの径: 図示</p> <p>2.10 溶接材料</p> <p>溶接棒等(標準仕様書8.2.7)及びガス以外の溶接材料: 図示</p> <p>2.11 柱底均し材及びゲラ材</p> <p>モルタルの種類: 図示 無収縮モルタル</p> <p>無収縮モルタルの調合: 標準仕様書8.2.10(b)(1)~(4)による 図示</p> <p>2.12 連続繊維シート及び含浸接着樹脂等</p> <p>材料: 図示</p> <p>工法: 図示</p> <p>引張強度、ヤング係数等: 図示</p> <p>2.13 鋼材の材料試験等</p> <p>引張りを受ける鋼板の試験: 適用する 適用しない 図示</p> <p>2.14 基礎工事に用いる材料</p> <p>杭の材料: 構造特記仕様書による 図示</p> <p>杭の継手、工法等: 構造特記仕様書による 図示</p> <p>3. 鉄筋の加工及び組立</p> <p>3.4 継手及び定着</p> <p>継手の種類: 重ね継手 ガス圧接継手 機械継手 図示</p> <p>継手の位置: 図示</p> <p>主筋の重ね継手長さ: 標準仕様書5.3.4(c)(1)による 図示</p> <p>耐力壁鉄筋の重ね継手長さ: 標準仕様書5.3.4(c)(1)による 図示</p> <p>先組み工法等の継手の位置: 図示</p> <p>柱への梁引張り鉄筋の定着長さ: 標準仕様書5.3.4(d)(1)による 図示</p> <p>3.5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔</p> <p>土に接する柱、梁、スラブ及び壁の鉄筋のかぶり厚さ(軽量コンクリートの場合): 図示 40mm 50mm 60mm</p> <p>塩害を受ける恐れのある部分等の鉄筋のかぶり厚さ: 図示</p> <p>特殊な鉄筋継手のあき寸法: 図示</p>	種類	種別・厚さ	材質	◎合板	※「コンクリート型枠用合板のJAS」・12mm	※複合		・「コンクリート型枠用合板のJAS」・15mm	※南洋材		・床型枠用鋼製デッキプレート	・針葉材	施工部位	材質(種類の記号)	備考	・構造躯体	SS400 SSC400		・構造躯体(階~階)	SM490A		・構造躯体(階~階)	STKR400			BCR295			SN400C SN400A		<p>3.7 壁の配筋及び補強</p> <p>壁の配筋: 図示</p> <p>開口部の補強筋: 図示</p> <p>3.8 ガス圧接</p> <p>抜取試験の方法: ※超音波探傷試験 引張試験</p> <p>4.2 機械式継手</p> <p>機械式継手の種類: 図示</p> <p>機械式継手の工法及び品質の確認方法等: 図示 ※標準仕様書8.4.2.(c)による</p> <p>4.3 溶接継手</p> <p>溶接継手の工法: 図示</p> <p>品質の確認方法: 図示</p> <p>不良継手部の修正方法: 図示 ※標準仕様書8.4.3.(c)による</p> <p>7.8 型枠工事</p> <p>7. 型枠セパレーターとしてのシアコネクタの使用: 適用する 適用しない</p> <p>9.1 一般事項</p> <p>土に接する軽量コンクリートの使用: 使用する【使用箇所: 図示】</p> <p>水に接する軽量コンクリートの使用: 使用する【使用箇所: 図示】</p> <p>軽量コンクリート種類: 下表による 図示</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>種類</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・屋上防水押え</td> <td>1種 2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>1種 2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>1種 2種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>所要気乾単位容積重量: 図示 kN/m³</p> <p>所要スランプ: ※21cm 18cm</p> <p>12.2 穿孔</p> <p>12.5 施工確認試験</p> <p>埋込配管等の調査方法: 図示</p> <p>施工試験: ※引張試験機による引張試験 図示</p> <p>確認強度: 図示</p> <p>13.10 仮組</p> <p>仮組の実施: 行わない 行う</p> <p>14.2 摩擦面の性能及び処理</p> <p>すべり係数試験の実施: 行わない 行う</p> <p>試験の方法、試験片の摩擦面の状態: 図示</p> <p>14.7 締付け</p> <p>ボルト長さがねじの呼びの5倍をJIS型ボルトのナット回転法の回転量: 120°</p> <p>15.3 技能資格</p> <p>15.4 材料準備</p> <p>15.7 溶接施工</p> <p>エンドタブの切除の有無: 有り 無し</p> <p>【エンドタブの切除の適用箇所: 図示】</p> <p>スカラップの形状: 図示</p> <p>15.11 溶接部の試験</p> <p>完全溶け込み溶接部の超音波探傷試験: 適用する 適用しない</p> <p>◎工場溶接の場合</p> <p>製作工場の社内検査: 行わない ※行う(全数検査を行い試験結果報告書提出)</p> <p>第三者機関による検査: ※行う 行わない</p> <p>AOQL: 2.5% ※4.0%</p> <p>検査水準: 第1水準 第2水準 第3水準 第4水準 第5水準 ※第6水準</p> <p>◎工事現場溶接の場合</p> <p>第三者機関による検査: ※行う 行わない</p> <p>AOQL: 2.5% ※4.0%</p> <p>放射線透過試験: 適用する 適用しない</p>	施工部位	種類	備考	・屋上防水押え	1種 2種			1種 2種			1種 2種	
施工部位	設計基準強度(N/mm ²)	備考																																																																																			
・構造躯体(基礎~階)	30																																																																																				
・構造躯体(階~階)	24																																																																																				
・構造躯体(階~階)	21																																																																																				
・捨てコンクリート	18 21																																																																																				
施工部位	設計基準強度(N/mm ²)	備考																																																																																			
	18 21																																																																																				
	18 21																																																																																				
	18 21																																																																																				
施工部位	種別	備考																																																																																			
・化粧打放し部	A種																																																																																				
○打放し補修下地部	B種																																																																																				
○基礎部	C種																																																																																				
種類	種別・厚さ	材質																																																																																			
◎合板	※「コンクリート型枠用合板のJAS」・12mm	※複合																																																																																			
	・「コンクリート型枠用合板のJAS」・15mm	※南洋材																																																																																			
	・床型枠用鋼製デッキプレート	・針葉材																																																																																			
施工部位	材質(種類の記号)	備考																																																																																			
・構造躯体	SS400 SSC400																																																																																				
・構造躯体(階~階)	SM490A																																																																																				
・構造躯体(階~階)	STKR400																																																																																				
	BCR295																																																																																				
	SN400C SN400A																																																																																				
施工部位	種類	備考																																																																																			
・屋上防水押え	1種 2種																																																																																				
	1種 2種																																																																																				
	1種 2種																																																																																				

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
8章 耐震改修工事 (外構・その 屋工事による)	17.3 塗料の種類	17. 鉄骨の錆止め塗装 SRC造の鋼製スリーブ(鉄骨に溶接されたもの)の内面: ・図示・標準仕様書 表7.3.1【※A種・B種・C種】 耐火被覆材の接着面: ・図示・標準仕様書 表7.3.1【・A種・B種・C種】	7.3 路床	凍上抑制層の適用: <input type="radio"/> 適用しない・適用する 厚さ: ・車道部 mm・歩道部 mm 透水性舗装のフィルター層の適用: ・適用しない・適用する 厚さ: 車道部【・150mm・mm】歩道部【・50mm・mm】 路床安定処理の適用: ・適用しない・適用する 路床安定処理の方法: ・添加材料による処理・図示・ 処理内容:【厚さ: ・300mm・】 【目標CBR: ・5以上・】				
	18.2 種別及び性能	18. 耐火被覆 耐火被覆材の種別及び性能: ※図示 2.2. 鉄骨ブレースの設置工事 割裂補強筋の仕様: ・図示 ブレース設置後の仕上げ: ・図示 2.8. 基礎工事 ◎埋戻し及び盛土 種別: ・A種・B種・C種・D種 ・搬入まさ土(砂礫等の混入のない良質なものとし、水締め、機器による締めとする) ◎建設発生土の処理 ◎現場説明書による・橋外搬出適切処理 ※構内指定場所堆積・構内指定場所敷均し ・他現場に搬入() ・指定処分地() ◎山留めの撤去 ・撤去・存置 ◎試験杭 試験杭の位置、本数、寸法: ・図示 ◎載荷試験 載荷試験: ・水平試験・鉛直試験 試験杭の位置、本数、載荷荷重: ・図示 試験方法: ・図示 試験報告書の記載事項等: ・図示 ◎地盤の載荷試験 載荷試験: ・平板載荷試験 試験の位置、載荷荷重: ・図示 試験方法: ・図示 試験報告書の記載事項等: ・図示 ◎杭地業は「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」4章[地業工事]による。		盛土の種類: ・A種・B種・C種・D種 フィルター層の材料: ・砂・図示 砂の品質: ・75μmふるい通過量10%以下 路床安定処理用添加材料: ・普通ポルトランドセメント・高炉セメントB種 ・フライッシュセメント・生石灰【・特号・1号】 ・消石灰【・特号・1号】 ジオテキスタイルの適用: ・適用しない・適用する; 路床土のCBR試験: <input type="radio"/> 行わない・行う【・乱した土・乱さない土】 路床締め度試験: ・行う <input checked="" type="radio"/> 行わない 車道部の路盤の厚さ: ・図示・150mm <input checked="" type="radio"/> 200mm 歩道部の路盤の厚さ: ・図示・100mm 路盤の材料: ※碎石【※クラッシュラン・粒度調整碎石】 ◎再生材【※クラッシュラン ※クラッシュラン鉄鋼スラグ・粒度調整碎石】 舗装の厚さ(mm): 車道部【 <input checked="" type="radio"/> 50mm・mm】歩道部【・30mm・mm】 舗装の平坦性: ・図示 ※標準仕様書による アスファルトの種類(車道部): ・図示 ※リマー改質アスファルトI型 ・リマー改質アスファルトに型 <input checked="" type="radio"/> 再生密粒 アスファルトの種類(歩道部): ・図示 ※ストリートアスファルト アスファルトの抽出試験: ・行う <input type="radio"/> 行わない				
	22.7 既存との取合い		7.4 路盤					
	22.9 仕上げ		7.5 舗装の構成 及び仕上げ					
	28.3 土工事		7.9 試験					
	28.4 地業工事							
9章 環境配慮改修工事	1.1 一般事項	1. アスベスト含有建材の除去工事 封じ込め処理: ・適用しない・適用する【処理方法: ・図示・】 囲い込み処理: ・適用しない <input checked="" type="radio"/> 適用する【処理方法: ・図示・】 アスベスト含有建材撤去後の仕上げ: <input checked="" type="radio"/> 図示 分析によるアスベスト含有の調査: ・JIS A 1481-2・JIS A 1481-3 アスベスト粉塵濃度測定: ・行わない・行う・図示 <input checked="" type="radio"/> 現場説明書による						
	1.3 アスベスト含有 吹付け材の除去	除去工法: ※標準仕様書9.1.3(b)(1)による・図示 <input checked="" type="radio"/> 現場説明書による 除去物の処理: ※密封処理・セメント固化・図示						
	4.2 材料	4. ガラス改修工事 複層ガラスの種類・組合せ・厚さ: <input checked="" type="radio"/> 図示 複層ガラスの断熱性・日射遮蔽性区分: ※U3-1・U3-2						
	7.2 既存舗装の撤去 及び再利用	7. アスファルト舗装改修工事 既存舗装の撤去: ・撤去しない <input checked="" type="radio"/> 撤去する【範囲等: <input checked="" type="radio"/> 図示・改修部分全面】 既存舗装の再利用: <input checked="" type="radio"/> 再利用しない ・再利用する【範囲等: ・図示・改修部分全面】						



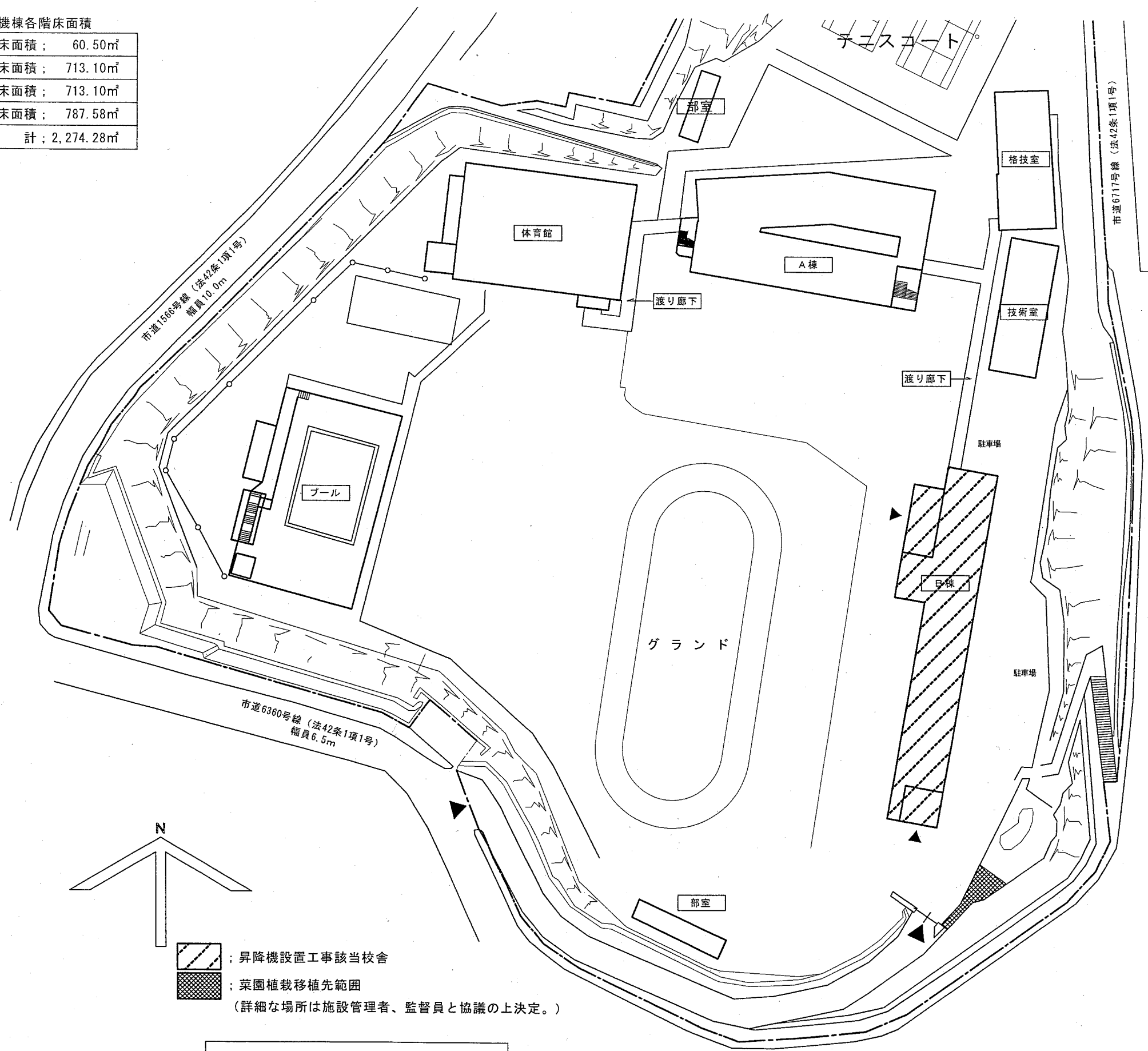
工事場所：市立田浦中学校
横須賀市船越町7丁目6番地

案内図

■昇降機棟各階床面積

屋階床面積	60.50㎡
3階床面積	713.10㎡
2階床面積	713.10㎡
1階床面積	787.58㎡
合計	2,274.28㎡

工事区分表					
項目	内 容	建築	電気	機械	備 考
1	小荷物専用昇降機計画通知申請手続き		○		
2	仮設足場（脚立を除く）	○			
3	発生材運搬・処分	○	○	○	
4	発生土運搬・処分	○	○	○	
5	貫通部穴埋め補修		○	○	
6	点検口（天井・壁）取付及び開口補強	○			
7	天井付各種設備器具取付	○			
8	天井付各種設備器具取付		○	○	
9	ステンレス製（木製）流し（トラップ共）	○			
10	同上 水栓金物及び配管接続			○	
11	衛生器具取付			○	
12	衛生器具類取付用下地	○			
13	排水目皿			○	
14	排水溝・樹蓋設置及び配管敷設工事			○	
15	側溝・蓋設置（グレーチング含む）（配管接続は機械設備工事）	○			
16	換気扇取付用アルミパネル	○			
17	同上 穴あけ	○			
18	換気扇スイッチ本体取付、配線		○		
19	給気口及び室内レジスター			○	
20	給気ガラリ	○			
21	空調機各種リモコン			○	
22	空調室外機・屋内機廻り配線（冷媒管共巻き）			○	
23	空調機器一次側電源供給		○		
24	プロパン庫 撤去（コンクリートブロック製）	○			
25	プロパン庫 新設（基礎共）	○		○	
26	昇降機の築造工事及び仕上げ工事	○			
27	昇降機ピット防水	○			
28	昇降機頂部機器搬入用ビームの設置工事	○			
29	各階出入口三方枠、インジケーター、押釦等の取付用下地及び穴あけ	○			
30	出入口三方枠、敷居、インジケーター等取付後の隙間埋め	○			
31	乗場関係機器取付後の壁、床の仕上げ工事	○			
32	かご前壁と昇降機壁を125mm以下にするフェッシャープレート設置		○		
33	ストープ取外し			○	
34	同上 穴埋め	○		○	



: 昇降機設置工事該当校舎
 : 菜園植栽移植先範囲
 （詳細な場所は施設管理者、監督員と協議の上決定。）

配置図 S=1:600

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課
			設計年月日 平成 31年 2月

設計名称 NAME OF PROJECT	市立田浦中学校ほか1校昇降機設置建築工事	図面名称 TITLE OF DRAWING	案内図・配置図・工事区分
	(田浦中学校)		縮尺 1:600

建築概要【市立田浦中学校】

○昇降機設置に伴う建築工事
-1階 学年控室(1室)を荷受室・配膳室へと改修
-2,3階 多目的室(1室)を配膳室及び多目的室1,2へと改修
-一部 外構改修
-その他工事(既存7㎡建具が5交換)
○機械設備工事
○電気設備工事(別途工事)

外部仕上表

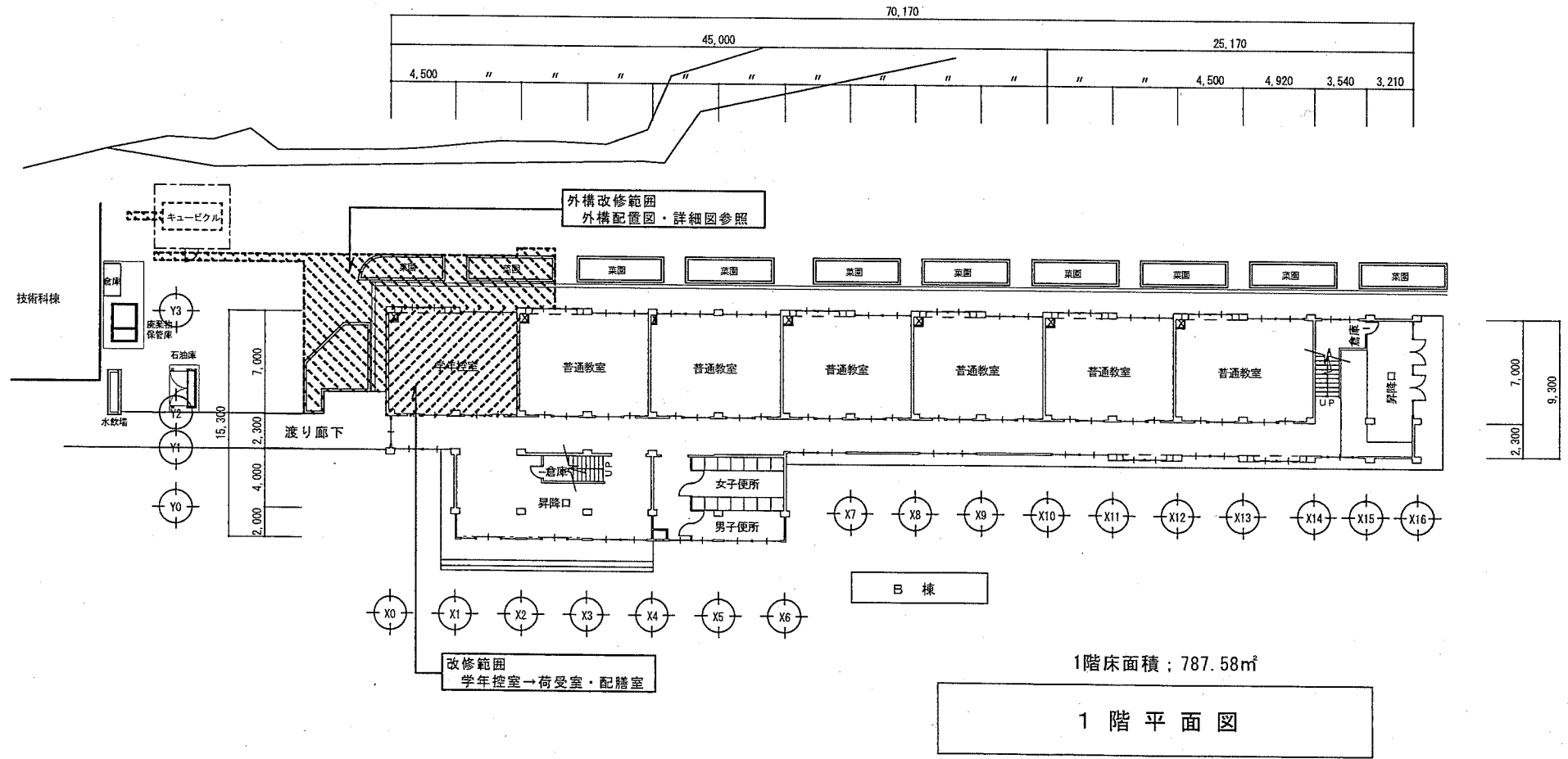
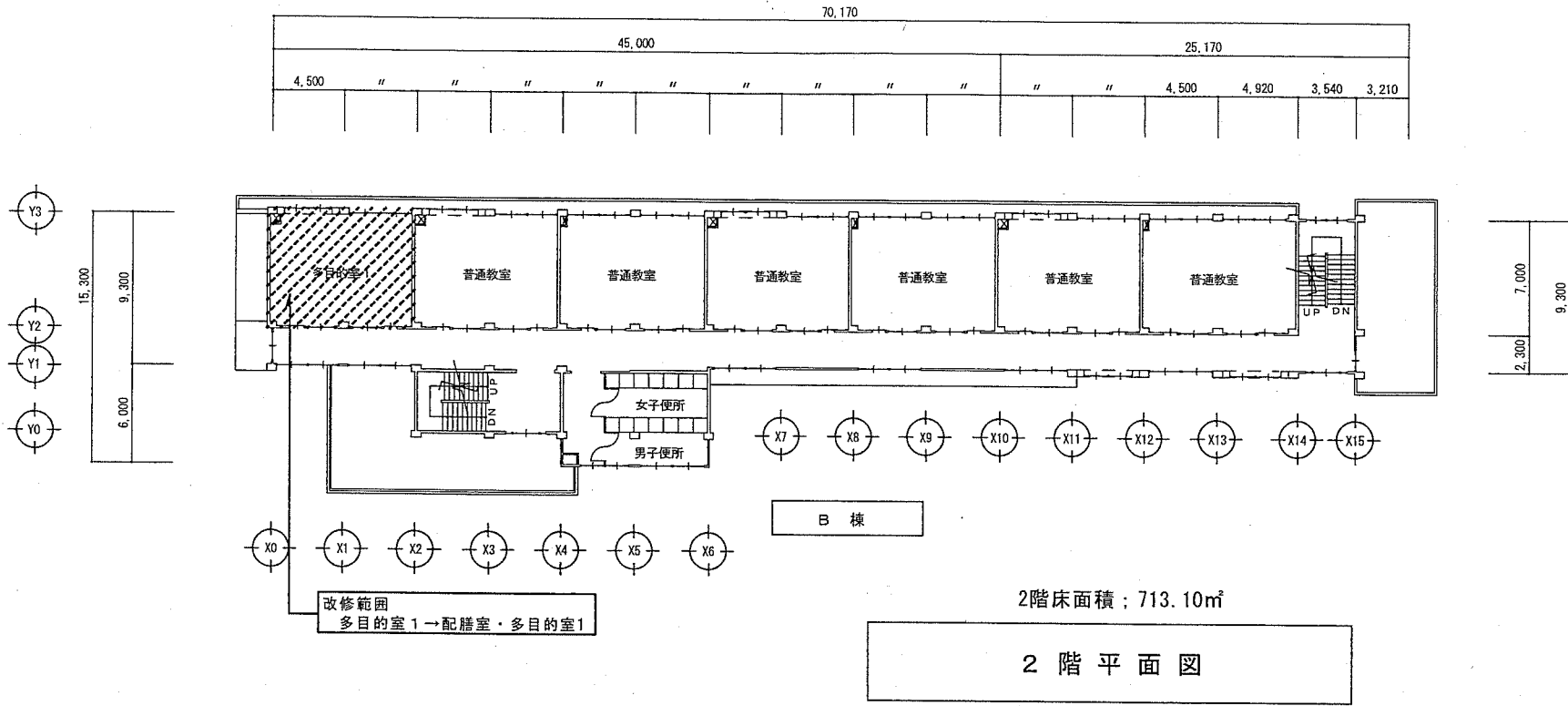
	既存	改修	備考
外 壁	モルタル引き 複層塗材塗 下地調整塗材(7㎡以上含む)	タタキ改修部:モルタル補修 塗膜防水材塗 その他:モルタル補修 塗膜防水材塗(L4.155×H420程度)	7㎡以上含むため既存塗膜撤去後、外壁解体 その他:7㎡以上含むため既存塗膜撤去後、補修塗装
軒 裏	7mm厚吹付		
開 口 部	7mm製建具 (一部撤去)	7mm製建具 (一部新設)	
外構 プラットフォーム		コンクリート金網仕上(水勾配) 立上:薄塗モルタル	厚さ:モルタルL=50×50×57mm、L=300×1500×57mm(電手動) SUS製グレーチングW100(ノズリP10-T-2)
外構 舗 装	7mm厚舗装、コンクリート舗装(カッター入共)(一部撤去)	7mm厚舗装、コンクリート舗装 (一部新設)	
外構 花 壇	コンクリート縁石 (一部撤去)		
外構 側 溝	現場打ち側溝W250(カッター入共) (一部改修)	一部細目グレーチング蓋(T-14)改修	スチール製グレーチングW250(P10-T-14)

注記

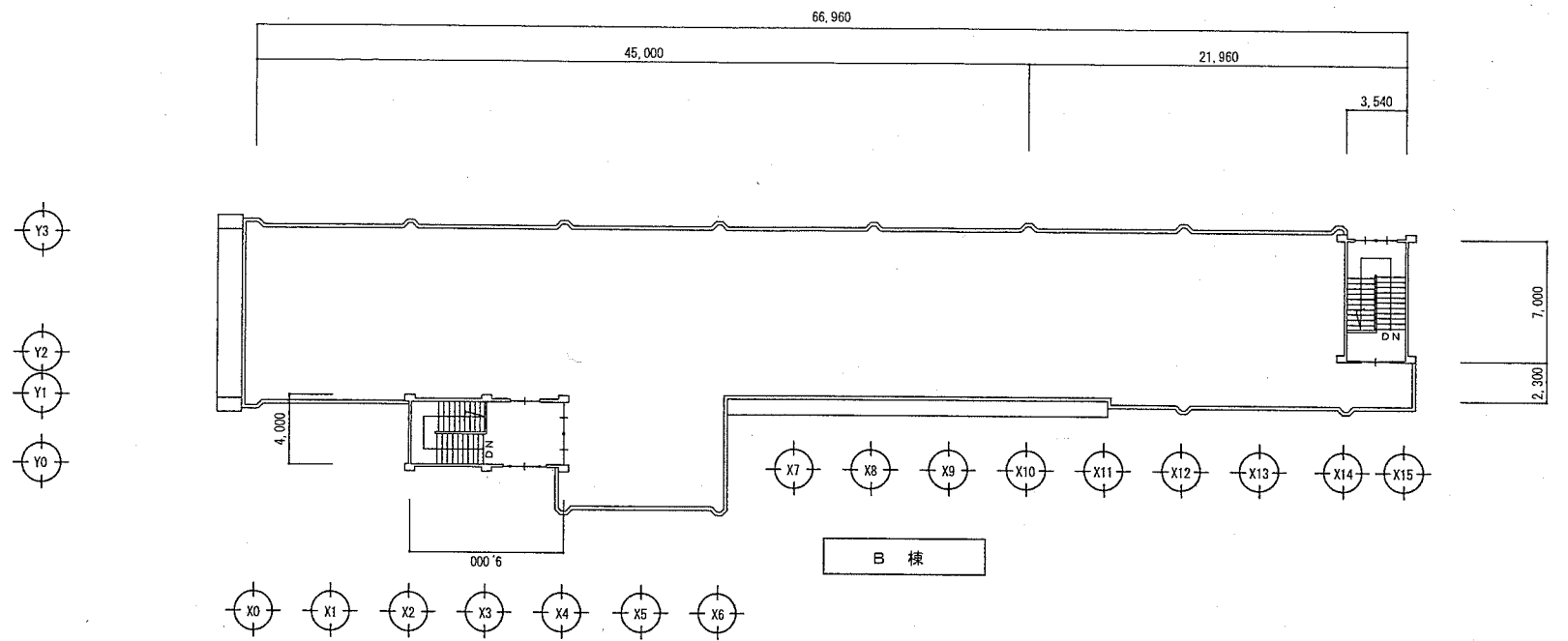
- 塗膜防水材塗: 建築用塗膜防水材塗 JIS A 6021 (G-5) さざ波模様 シリコン仕上
- 下地調整: C-1 (既存塗膜面・新規モルタル面・既存タタキ面)
- EP-G: つや有合成樹脂エポキシ樹脂イタ塗り
- 木部・新規: 工程A種 下地調整A種 塗替: 工程B種 下地調整B種
- モルタル面・せつこうボード面・鉄鋼面・新規: 工程B種 下地調整B種 塗替: 工程B種 下地調整B種
- EP: 合成樹脂エポキシ樹脂イタ塗り
- モルタル面・せつこうボード面・新規: 工程B種 下地調整B種 塗替: 工程B種 下地調整B種
- DP: 耐水性塗料塗り 工程B種 下地調整B種 上塗り等級: 1級(7mm厚樹脂)
- 荷受室・配膳室ビニル床シート: 抗菌・耐動荷重性床シート=2.0
- 下地調整: モルタル面・タタキ面
- AD-1: 豊和工業株式会社 HAA-100G II-K 同等品以上SUS製7mm厚仕上
- コンクリート: Fc=24N/mm²、捨てコンクリート: 呼び強度=18N/mm²
- 塗膜防水材: ケイ酸質系塗布防水(無機質浸透性防水) JASSB M-301規格適合品

内部仕上表

階	室名	床	巾 木	壁	天 井	高 さ	備 考
1階	既存 学年控室	モルタルt=32下地 (撤去) 7mm厚吹付 t=18 (撤去)	木製巾木t=24 OP H=100 (一部撤去)	腰壁:モルタル金網 VP (既存のまま) 壁: プラスター塗 EP (既存のまま) 腰壁: 石膏ボード t=12.5+12.5下地 +1/2合板t=5.5 SOP (既存のまま) 壁: 石膏ボード t=12.5+12.5 EP (既存のまま)	細目木毛板t=20 WP (既存のまま)	3300	撤去: 7mm製タタキ・軽量鋼製建具(カッター入共)、カテナール、塩ビ廻縁 一部撤去: 土間床タタキ(カッター入共) 撤去: 木製教壇・黒板・木板・掲示板・木製テレビ台・木製流し台・木製欄・木製掃除具入
	改修 荷受室 配膳室	土間・床タタキコンクリート下地 (新設) モルタルt=48下地 (新設) ビニル床シートt=2.0 (新設)	ビニル巾木H=300 (新設) 既存下地調整の上 EP-G (一部新設)	LGSS0.65形下地 加工工法 (新設) ケイ酸カルシウム板t=8の上化粧ケイ酸カルシウム板t=6(新設) 間仕切壁A・Bの上化粧ケイ酸カルシウム板t=6 (新設) 既存1/2合板面 EP-G (新設) 既存石膏ボード面 EP-G (新設)	LGSS19形@225(イナト共)下地 (新設) 化粧石膏ボード t=9.5 (新設)	2570	新設: 塩ビ製廻縁、7mm厚イタ、木製額縁、木製カテナール、SUS製カテナール、7mm厚吊カテナール、排気筒開口φ80キヤフ SUS流し(W900×D750×H800)カッター入・排水トラップ付)、ライニング、ライニング 甲板(片面小口化粧)、壁点検口300角(7mm厚額縁付)、天井点検口450・600角(7mm厚額縁付) 既存部塗装: 木製巾木・木製額縁・木製見切・木製カテナール・木甲板・鉄骨ブレース: EP-G 改修: 7mm製タタキ
2階	既存 多目的室1	木下地 7mm厚吹付 t=18 (撤去) モルタルt=12下地 7mm厚吹付 t=18 (撤去)	木製巾木t=24 OP H=100 (撤去)	腰壁:モルタル金網 VP (既存のまま) 壁: プラスター塗 (既存のまま)	細目木毛板t=20 WP (既存のまま)	3340	撤去: 軽量鋼製建具(カッター入共)、木製カテナール、カテナール、塩ビ廻縁、木製教壇・黒板・木板・掲示板・木製テレビ台 一部撤去: 床タタキ(カッター入共)
	改修 配膳室	置床 ラン合板(1類) t=12+12 ビニル床シートt=2.0 (新設) モルタルt=28下地 ビニル床シートt=2.0 (新設)	ビニル巾木H=300 (新設)	LGSS0.65形下地 加工工法 (新設) ケイ酸カルシウム板t=8の上化粧ケイ酸カルシウム板t=6(新設) 間仕切壁A・B・Cの上化粧ケイ酸カルシウム板t=6 (新設)	LGSS19形@225(イナト共)下地 (新設) 化粧石膏ボード t=9.5 (新設)	2570	新設: 軽量鋼製建具、塩ビ製廻縁、7mm厚イタ、木製カテナール、SUS製カテナール、ライニング、ライニング 甲板(片面小口化粧) SUS流し(W900×D750×H800)カッター入・排水トラップ付)、壁点検口300角(7mm厚額縁付)、天井点検口450・600角(7mm厚額縁付) 改修: 7mm製タタキ
	既存 多目的室1	木下地 7mm厚吹付 t=18 (一部撤去) モルタルt=12下地 7mm厚吹付 t=18 (一部撤去)	木製巾木t=24 OP H=100 (既存のまま)	腰壁:モルタル金網 VP (既存のまま) 壁: プラスター塗 (既存のまま) 腰壁: 石膏ボード t=12.5+12.5下地 +1/2合板t=5.5 SOP (既存のまま) 壁: 石膏ボード t=12.5+12.5 EP (既存のまま)	細目木毛板t=20 WP (既存のまま)	3340	撤去: 軽量鋼製建具(カッター入共)、塩ビ廻縁、木製流し台、PS壁
	改修 多目的室1	木(杉材)下地 7mm厚吹付 t=18 (ケイ酸カルシウム板) (下地共一部新設) モルタルt=12下地 7mm厚吹付 t=18 (ケイ酸カルシウム板) (下地共新設)	木製巾木t=15EP-G H=100 (新設) モルタル補修の上EP-G H=100 (新設) 間仕切壁B'の上 ビニル幅木 H=100 (新設) ケイ酸カルシウム板t=8 突付目地(化粧目地) EP-G (新設)	間仕切壁B'・C'の上 EP-G (新設) 一部既存壁:モルタル補修の上 EP-G (新設) ケイ酸カルシウム板t=8 突付目地(化粧目地) EP-G (新設)	LGSS19形@225(イナト共)下地 (新設) 化粧石膏ボード t=9.5 (新設)	3000	新設: 軽量鋼製建具、塩ビ製廻縁、7mm厚上下式ホ-ロ白板W3600×H1200、壁点検口300角(7mm厚額縁付)、排気筒開口φ80キヤフ 改修: 7mm製タタキ
3階	既存 多目的室2	木下地 7mm厚吹付 t=18 (撤去) モルタルt=12下地 7mm厚吹付 t=18 (撤去)	7mm厚吹付 t=18 OP H=100 (撤去)	腰壁:モルタル金網 VP (既存のまま) 壁: プラスター塗 (既存のまま)	木下地 (撤去) 7mm厚吹付 t=4 OP (撤去)	3000	撤去: 軽量鋼製建具(カッター入共)、木製カテナール、カテナール、塩ビ廻縁、木製教壇・黒板・木板・掲示板・木製テレビ台 一部撤去: 床タタキ(カッター入共)
	改修 配膳室	置床 ラン合板(1類) t=12+12 ビニル床シートt=2.0 (新設) モルタルt=28下地 ビニル床シートt=2.0 (新設)	ビニル巾木H=300 (新設)	LGSS0形下地 (新設) ケイ酸カルシウム板t=8の上化粧ケイ酸カルシウム板t=6(新設) 間仕切壁A・B・Cの上化粧ケイ酸カルシウム板t=6 (新設)	LGSS19形@225(イナト共)下地 (新設) 化粧石膏ボード t=9.5 (新設)	2570	新設: 軽量鋼製建具、塩ビ製廻縁、7mm厚イタ、木製カテナール、SUS製カテナール、ライニング、ライニング 甲板(片面小口化粧) SUS流し(W900×D750×H800)カッター入・排水トラップ付)、壁点検口300角(7mm厚額縁付)、700角(SD-1)、天井点検口450角(7mm厚額縁付) 改修: 7mm製タタキ
	既存 多目的室2	木下地 7mm厚吹付 t=18 (一部撤去) モルタルt=12下地 7mm厚吹付 t=18 (一部撤去)	木製巾木t=24 OP H=100 (既存のまま)	腰壁:モルタル金網 VP (既存のまま) 壁: プラスター塗 (既存のまま) 腰壁: 石膏ボード t=12.5+12.5下地 +1/2合板t=5.5 SOP (既存のまま) 壁: 石膏ボード t=12.5+12.5 EP (既存のまま)	木下地 (撤去) 7mm厚吹付 t=4 OP (撤去)	3000	撤去: 軽量鋼製建具(カッター入共)、塩ビ廻縁、木製流し台、PS壁
	改修 多目的室2	木(杉材)下地 7mm厚吹付 t=18 (ケイ酸カルシウム板) (下地共一部新設) モルタルt=12下地 7mm厚吹付 t=18 (ケイ酸カルシウム板) (下地共新設)	木製巾木t=15EP-G H=100 (新設) モルタル補修の上EP-G H=100 (新設) 間仕切壁B'の上 ビニル幅木 H=100 (新設) ケイ酸カルシウム板t=8 EP-G H=100 (新設)	間仕切壁B'・C'の上 EP-G (新設) 一部既存壁:モルタル補修の上 EP-G (新設) ケイ酸カルシウム板t=8 突付目地(化粧目地) EP-G (新設)	LGSS19形@225(イナト共)下地 (新設) 化粧石膏ボード t=9.5 (新設)	3000	新設: 軽量鋼製建具、塩ビ製廻縁、7mm厚上下式ホ-ロ白板W3600×H1200、壁点検口300角(7mm厚額縁付)、排気筒開口φ80キヤフ 改修: 7mm製タタキ
各階	既存 廊下	モルタル下地 (一部カッター入れの上撤去) 塩ビシート (一部カッター入れの上撤去)	モルタル金網 VP H=100 (一部カッター入れの上撤去)	腰壁:モルタル金網 VP (一部カッター入れの上撤去) 壁: プラスター塗 (一部カッター入れの上撤去)	LGSS下地 (一部撤去) 化粧石膏ボード t=9.5 (一部撤去)	2700	廻縁: 塩ビ製 (一部撤去)
	改修 廊下	モルタルt=28下地 (一部新設) ビニル床シートt=2.5 (一部新設)	一部モルタル補修の上EP-G (一部新設) 間仕切壁B'の上 ビニル幅木 H=100 (一部新設)	一部モルタル補修の上EP-G (一部新設) 間仕切壁B'の上 EP-G (一部新設)	LGSS19形@300(イナト共)下地 (一部新設) 化粧石膏ボード t=9.5 (一部新設)	2700	廻縁: 塩ビ製 (一部撤去新設)

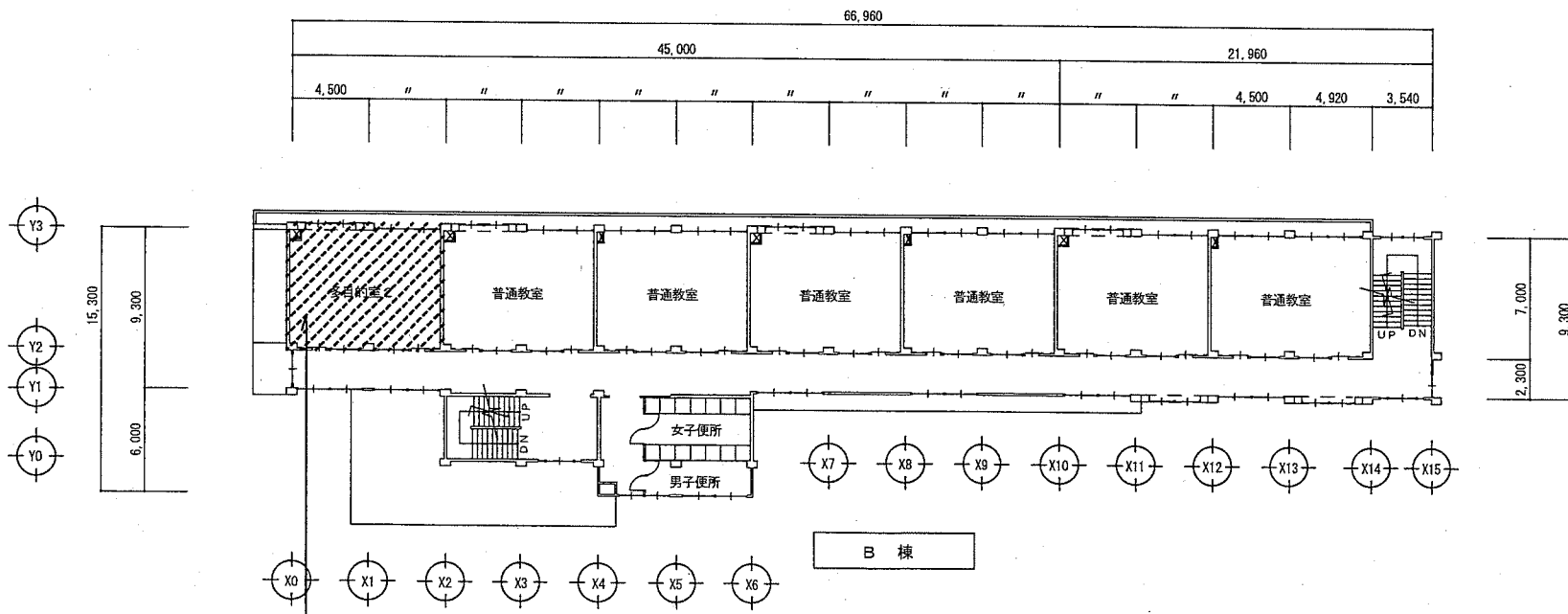


公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	設計名称 PROJECT NAME	図面名称 ITEM OF DRAWING	A-08
			設計年月日 平成 31年 2月	市立田浦中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事	1階平面図・2階平面図	
				(田浦中学校)	縮尺 1 : 300 SCALE	



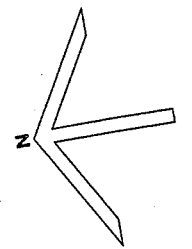
屋階床面積：60.50㎡

屋階平面図

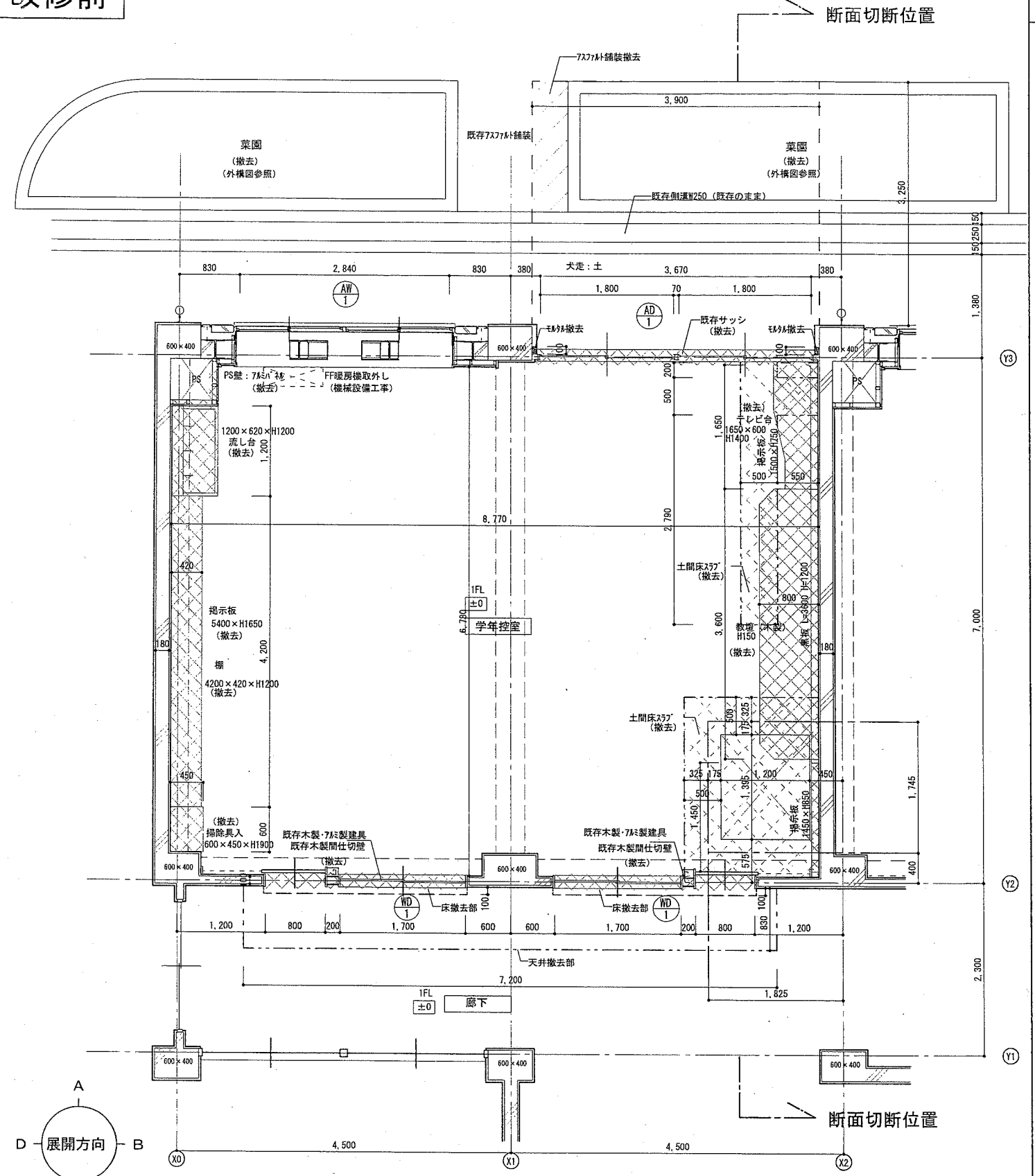


3階床面積：713.10㎡

3階平面図



改修前

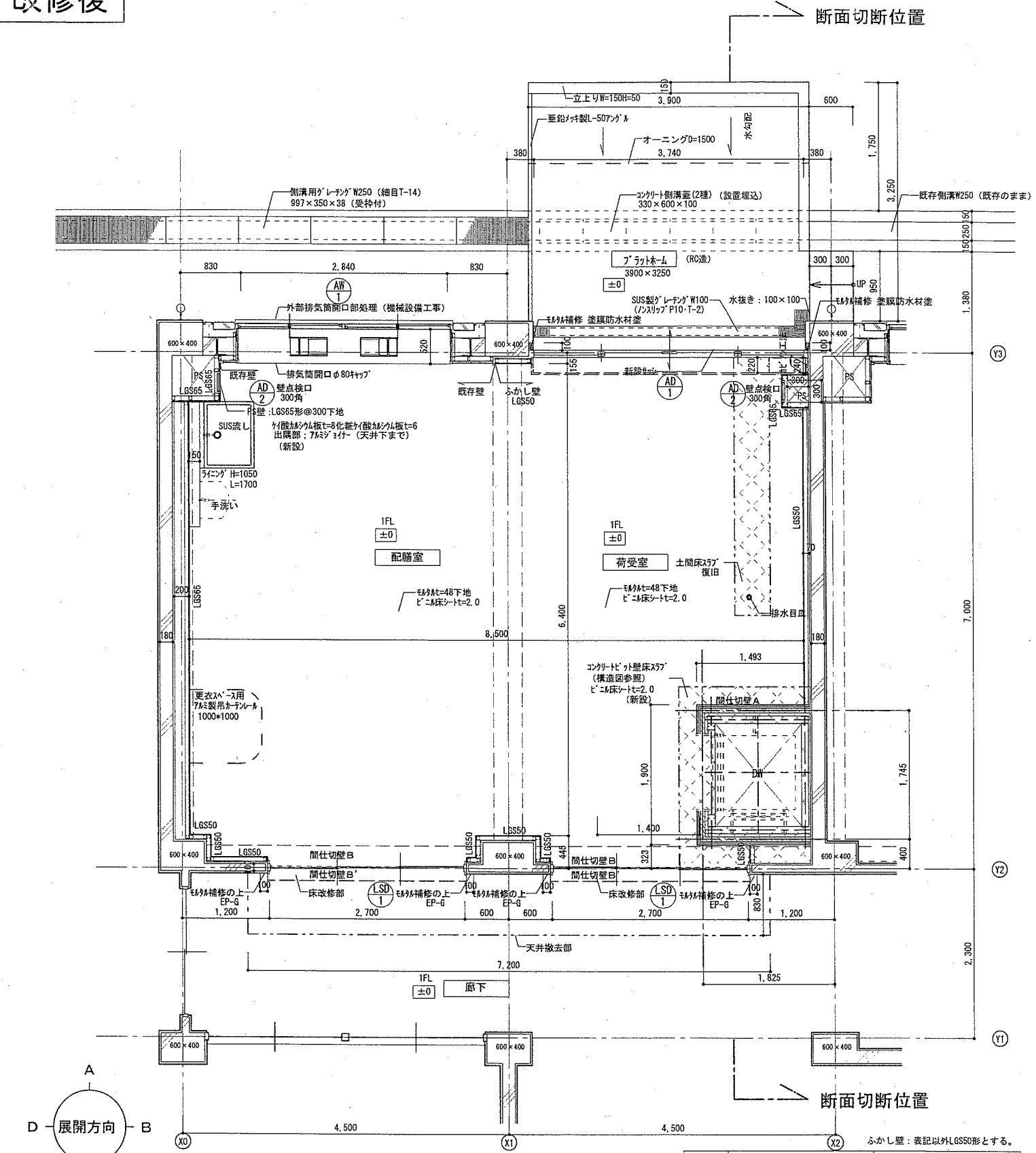


1階平面詳細図 (改修前・学年控室)

	廊下	学年控室
床	モルタル=28下地 (一部撤去) 塩ビシート=2.5 (一部撤去)	モルタル=32下地 (撤去) フローリング ロケット=18 (撤去)
巾木	既存木製 VP H=100 (一部撤去)	木製巾木=24 OP H=100 (一部撤去)
壁	モルタル金網 VP (一部撤去) ガラス=塗 (一部撤去)	壁紙=モルタル金網VP、合板30P (既存のまま) ガラス=塗、石膏板=1'EP (既存のまま)
天井	LGS下地 (一部撤去)	細目木毛板=20 WP (既存のまま) 石膏板=1'EP (一部撤去)

既存土間床スラブ:
土間コンクリート=120
鉄筋D10 シット& #300
砕石=100

改修後

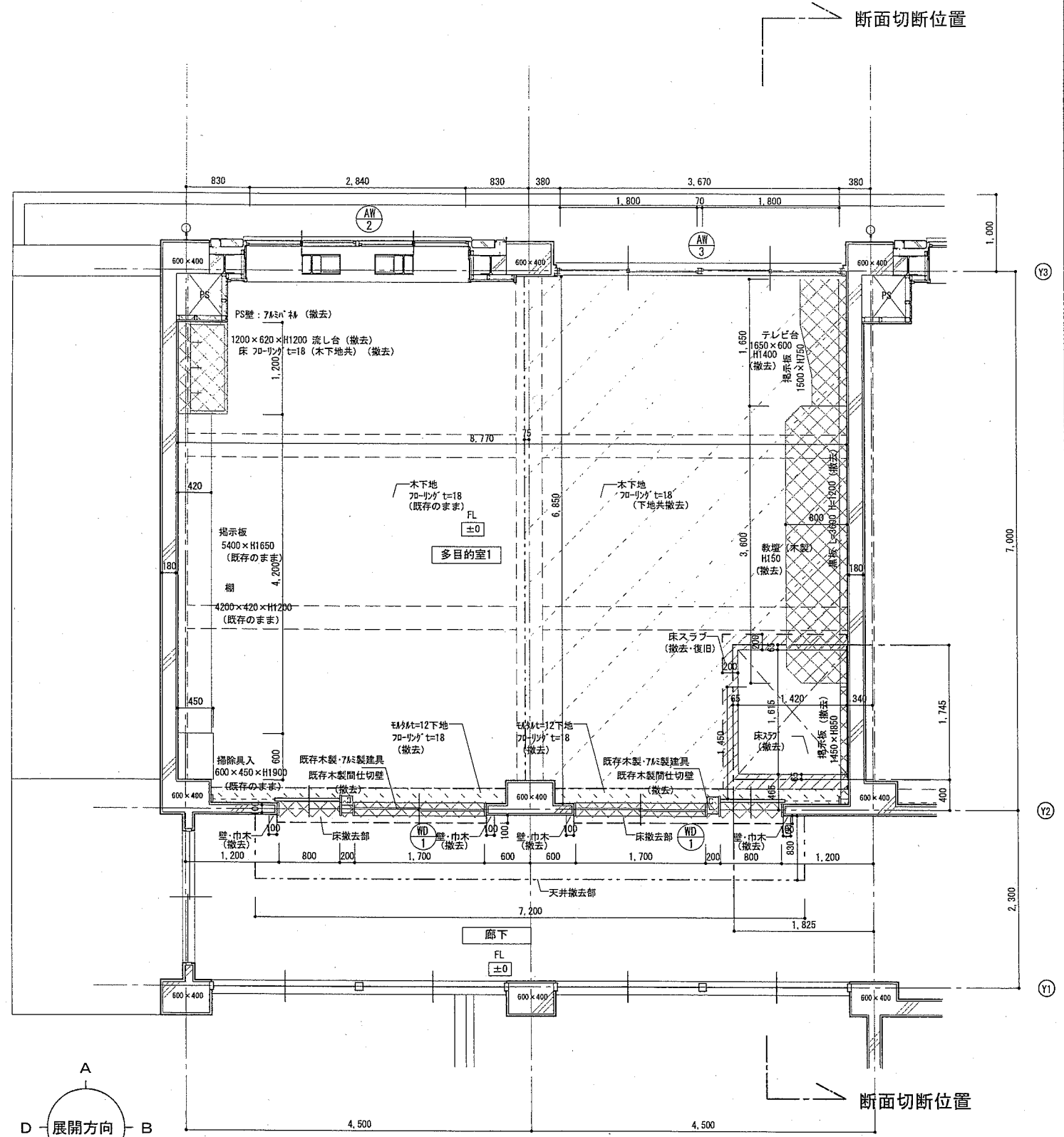


1階平面詳細図 (改修後・荷受室・配膳室)

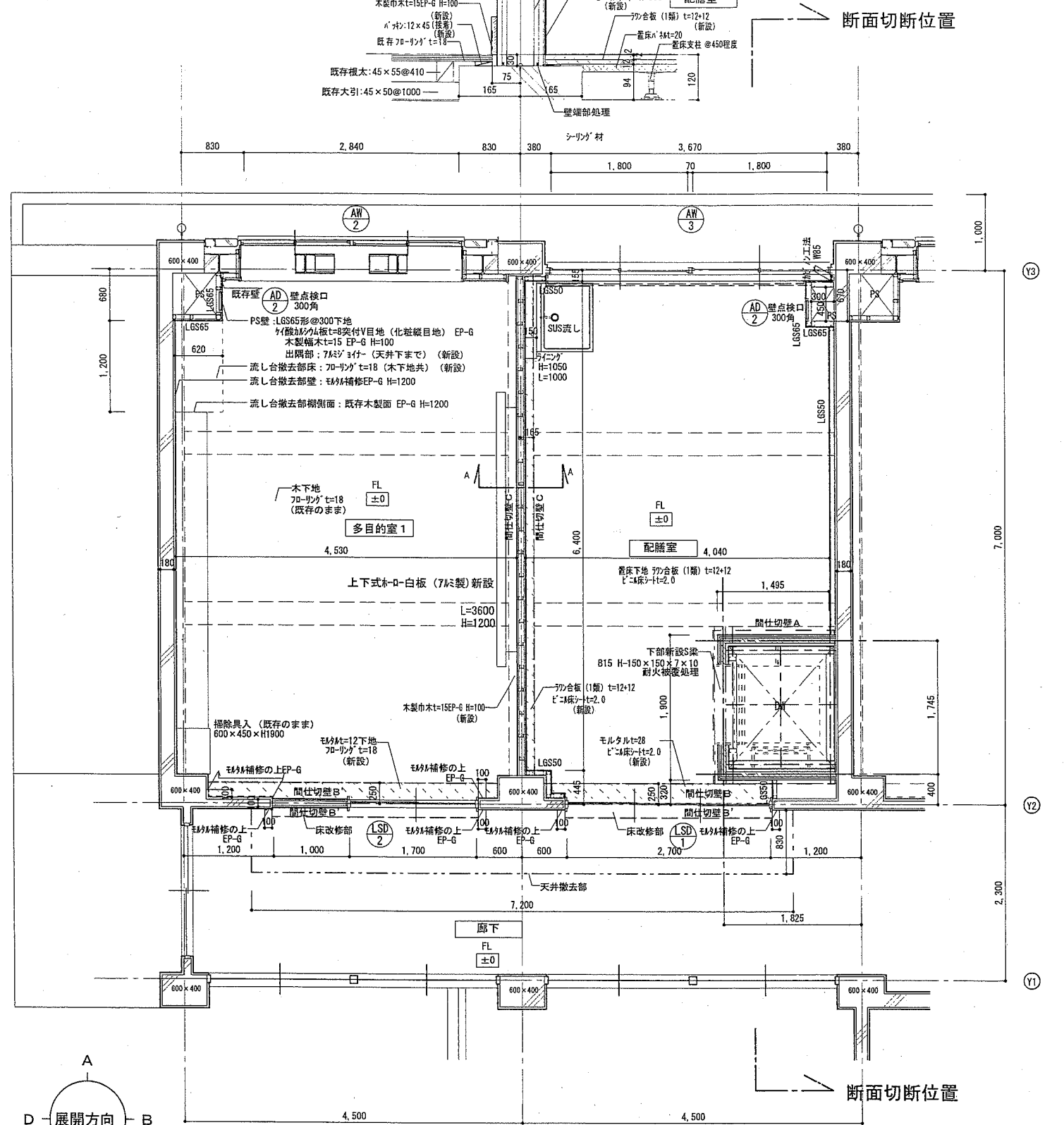
土間床スラブ 復旧 (構造図参照)
土間コンクリート=120 (F=24N/mm²)
(鉄筋D10 シット& #300)
防湿シート (R/1)シット=0.15
RC40 t=100

	廊下	荷受室・配膳室
床	モルタル=28下地 (一部新設) 塩ビシート=2.5 (一部新設)	土間・床スラブコンクリート下地 (新設) モルタル=28下地 (一部新設) 塩ビシート=2.0 (新設)
巾木	現況 VP H=100 (一部新設)	モルタル木 H=300 (新設)
壁	一部モルタル補修の上 EP-G (新設) 一部モルタル補修の上 EP-G (一部新設)	LGS50・65形下地 仕/工法 (新設) モルタル=48下地 (一部新設) モルタル=48下地 (一部新設) 既存仕上げ面 EP-G (新設) 既存仕上げ面 EP-G (新設)
天井	モルタル補修の上 EP-G (一部新設)	LGS19形@300 (ノット共)下地 (一部新設) LGS19形@225 (ノット共)下地 (新設) 石膏板=1'EP (一部新設) 化粧石膏板=1'EP (一部新設)

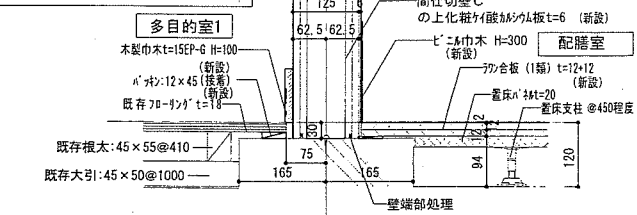
改修前



改修後



A部断面詳細図 S=1/10



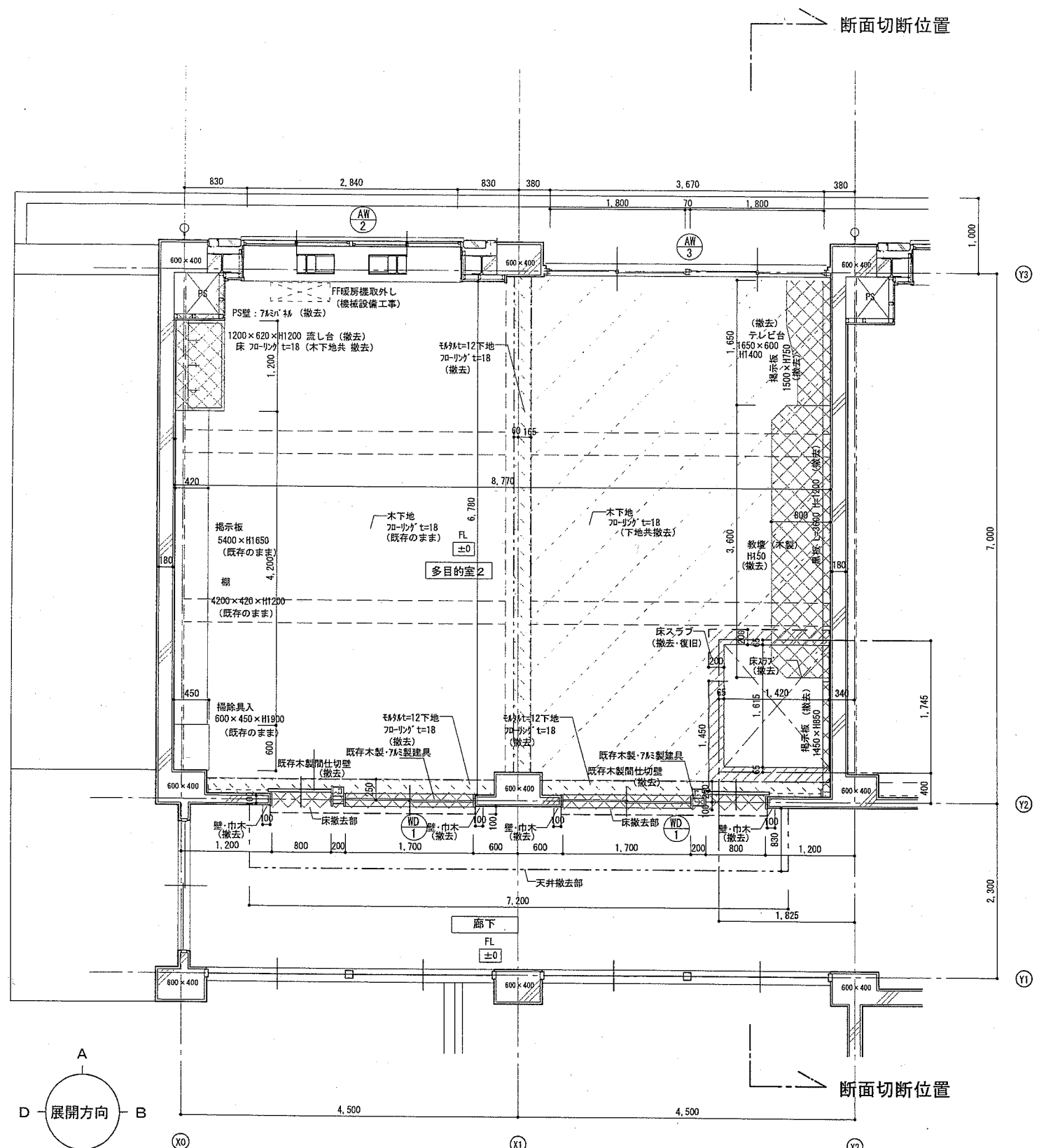
廊下	多目的室1
床	モルタル20下地 (一部撤去)
床	木下地 70-リング t=18 (一部撤去)
巾木	モルタル20下地 70-リング t=18 (撤去)
壁	モルタル20下地 (一部撤去)
天井	石膏ボード t=9.5 EP (一部撤去)

廊下	多目的室1	配膳室
床	モルタル20下地 (一部撤去)	モルタル20下地 70-リング t=18 (一部撤去)
巾木	一部モルタル補修の上 EP-G (一部撤去)	モルタル20下地 70-リング t=18 (撤去)
壁	一部モルタル補修の上 EP-G (一部撤去)	モルタル20下地 (一部撤去)
天井	LGS19形@300(イナト共)下地 (一部撤去)	石膏ボード t=9.5 目隠し張りEP (一部撤去)

2階平面詳細面図 (改修前・多目的室)

2階平面図 (改修後・配膳室)

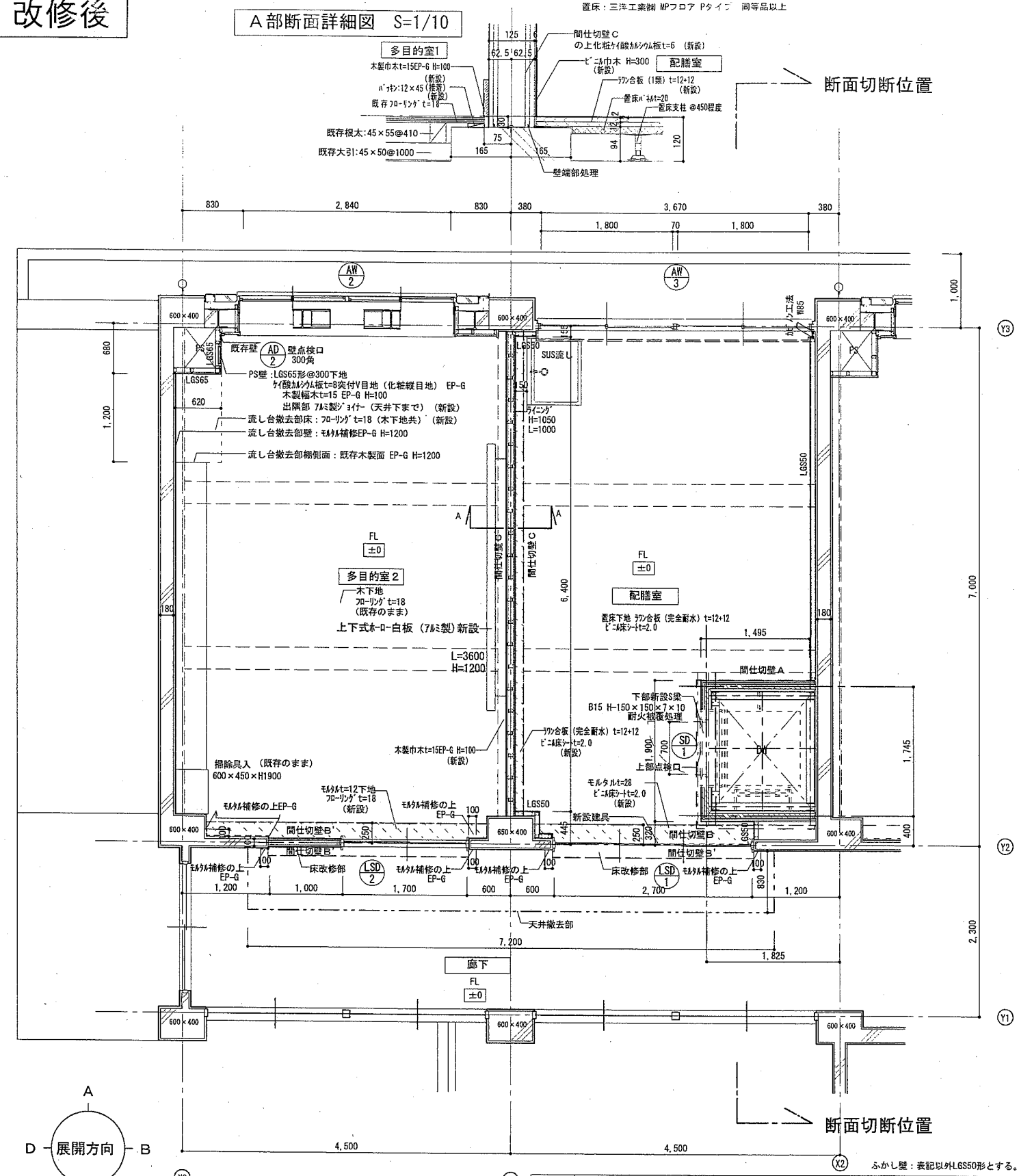
改修前



凡例
 床スラブ (撤去・復旧)
 撤去: 床スラブ t=120
 鉄筋上下筋: D13, D10@200#F3
 復旧: 無収縮モルタル t=120
 新設鉄筋上下D13

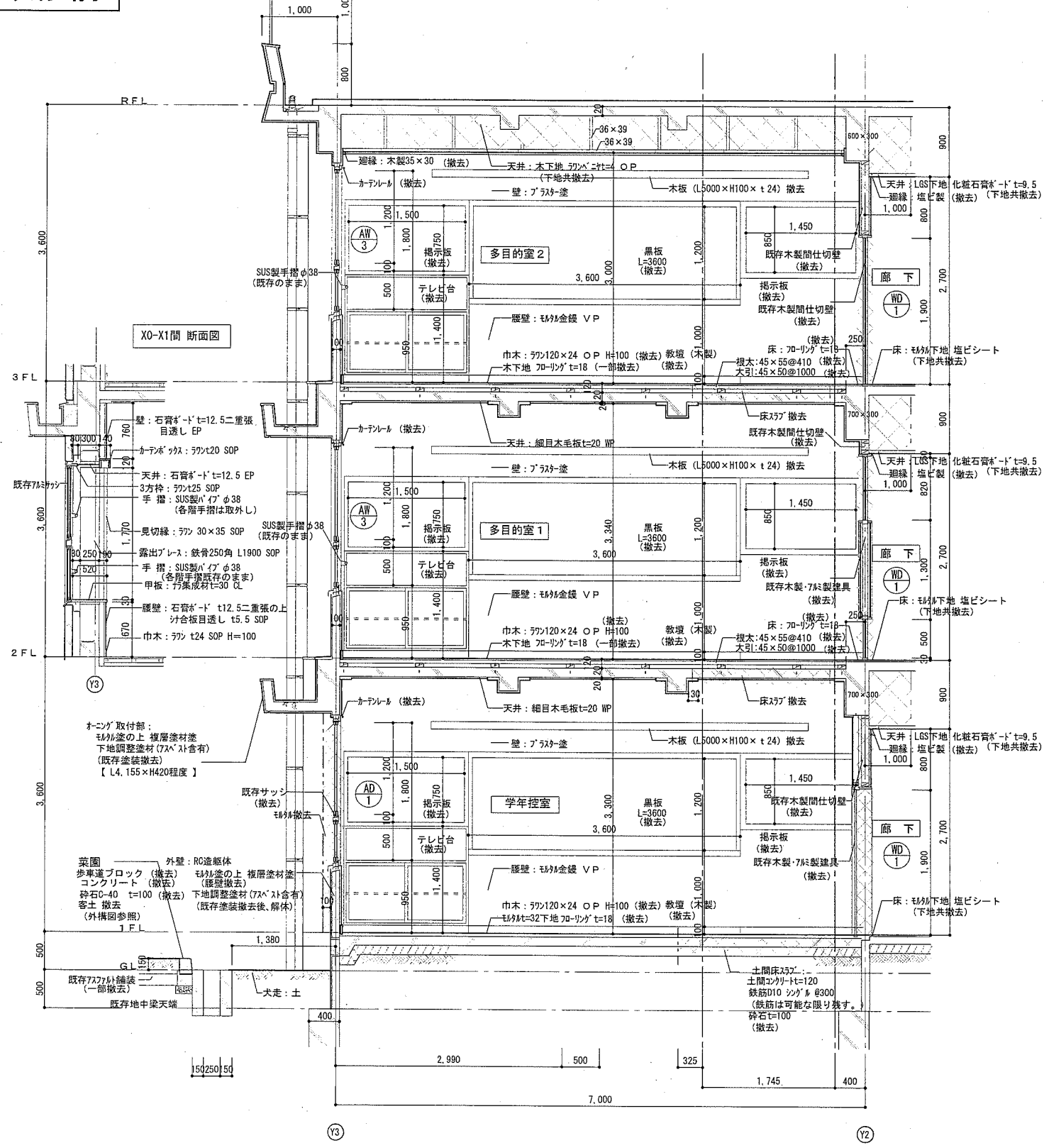
	廊下	多目的室2
床	モルタル=28下地 (一部撤去)	木下地 70-リソウ t=18 (一部撤去)
巾木	モルタル=2.5 (リソウ) (一部撤去)	モルタル=12下地 70-リソウ t=18 (撤去)
壁	モルタル金網 VP H=100 (一部撤去)	モルタル金網 VP H=100 (一部撤去)
天井	LGS下地 (一部撤去)	木下地 (撤去)

改修後



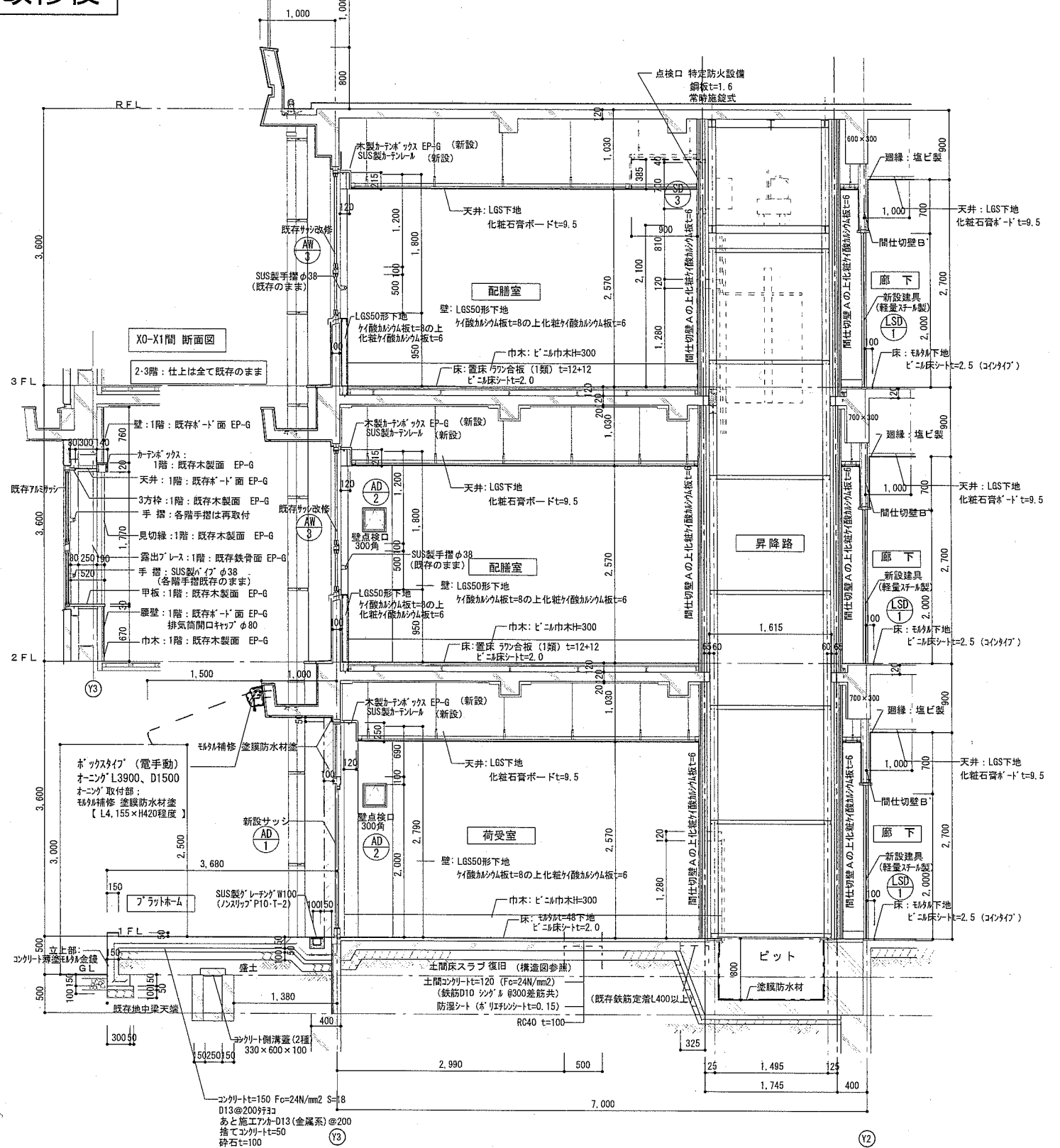
	廊下	多目的室2	配膳室
床	モルタル=28下地 (一部撤去)	木下地 70-リソウ t=18 (一部撤去)	畳床70-リソウ t=12+12 ビニ床 t=2.0 (新設)
巾木	一部モルタル補修の上 EP-G (一部撤去)	モルタル補修の上 EP-G (一部撤去)	モルタル補修の上 EP-G (一部撤去)
壁	一部モルタル補修の上 EP-G (一部撤去)	モルタル補修の上 EP-G (一部撤去)	モルタル補修の上 EP-G (一部撤去)
天井	LGS19形@300 (リソウ共) 下地 (一部撤去)	LGS19形@225 (リソウ共) 下地 (新設)	LGS19形@225 (リソウ共) 下地 (新設)

改修前

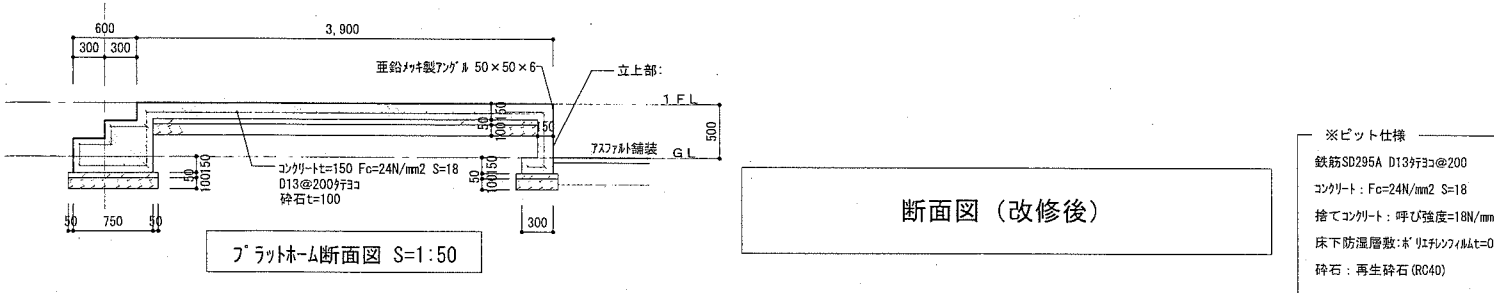


断面図 (改修前)

改修後



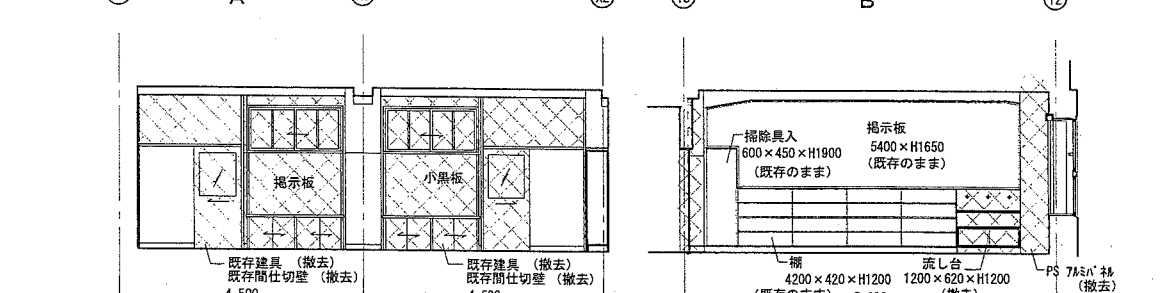
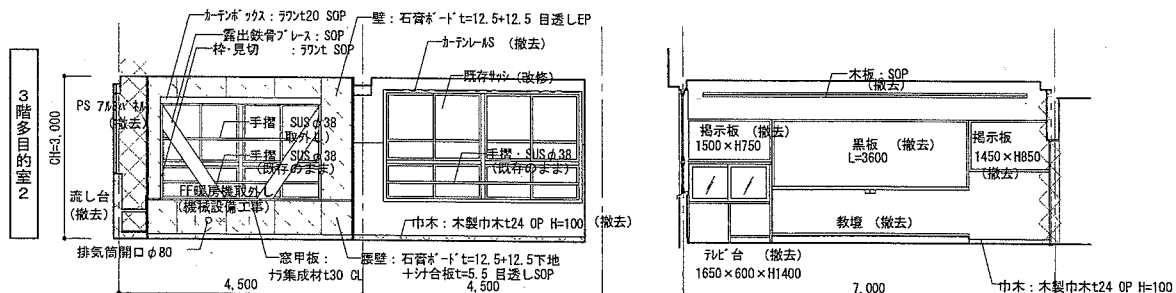
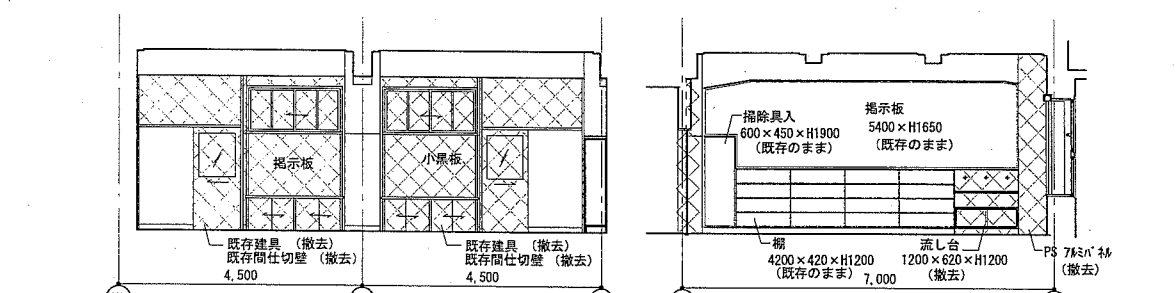
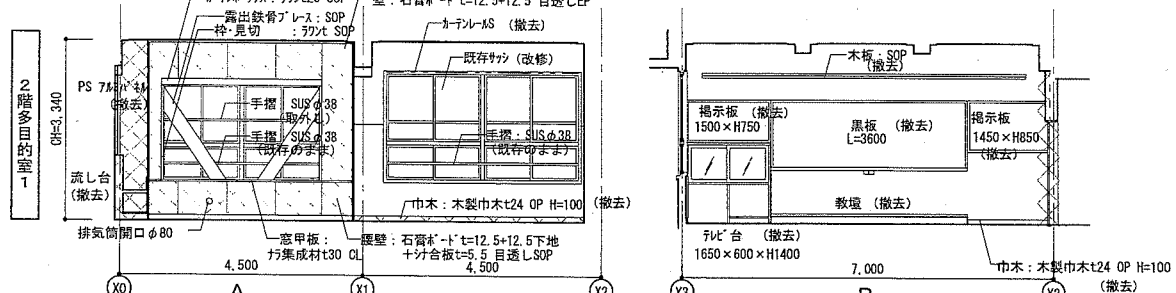
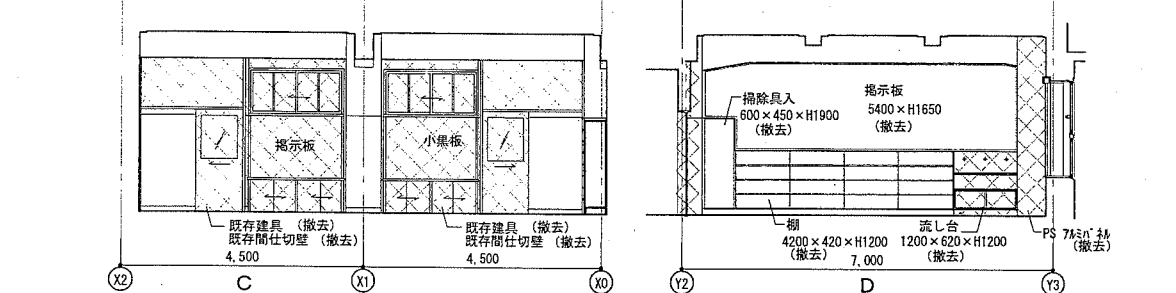
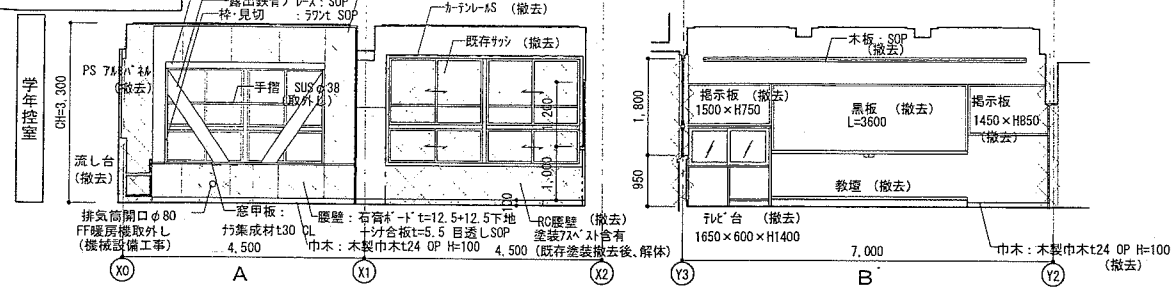
断面図 (改修後)



プラトホーム断面図 S=1:50

※ピット仕様
 鉄筋SD295A D13@200
 コンクリート: Fc=24N/mm² S=18
 捨てコンクリート: 呼び強度=18N/mm² S=18
 床下防湿層: 呼び強度=18N/mm² S=18
 砕石: 再生砕石 (RC40)

改修前

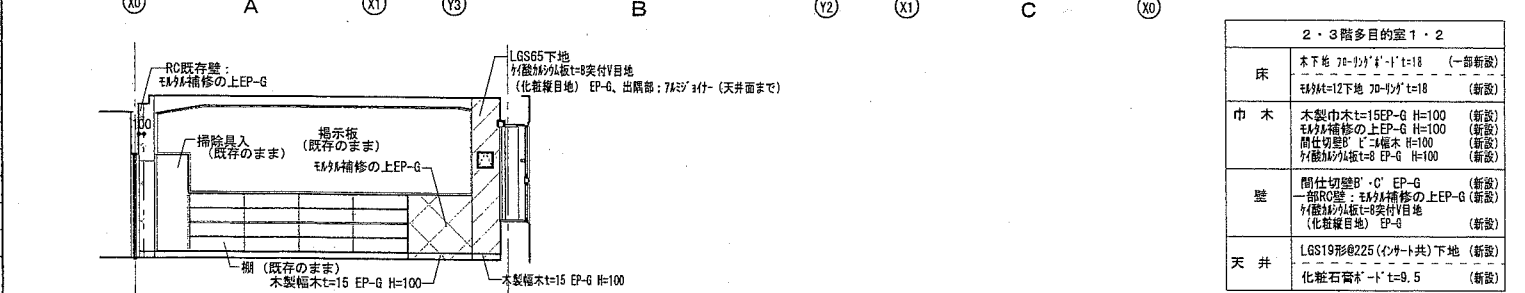
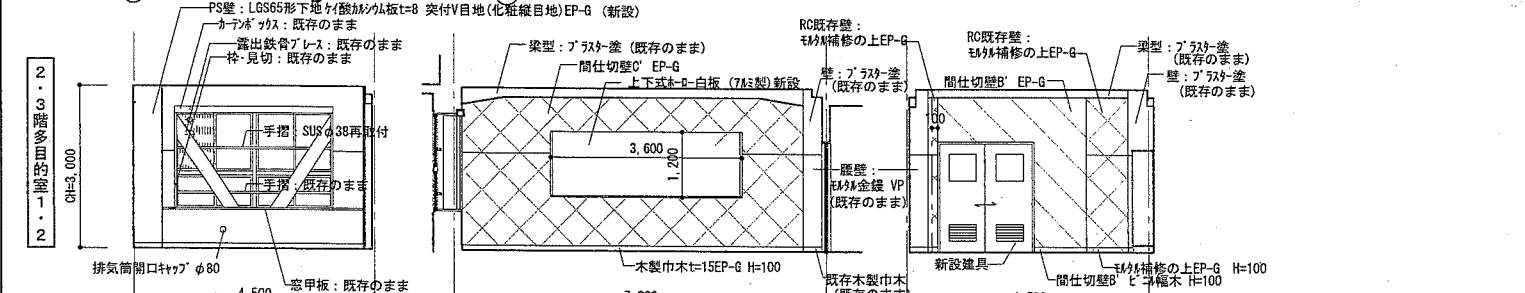
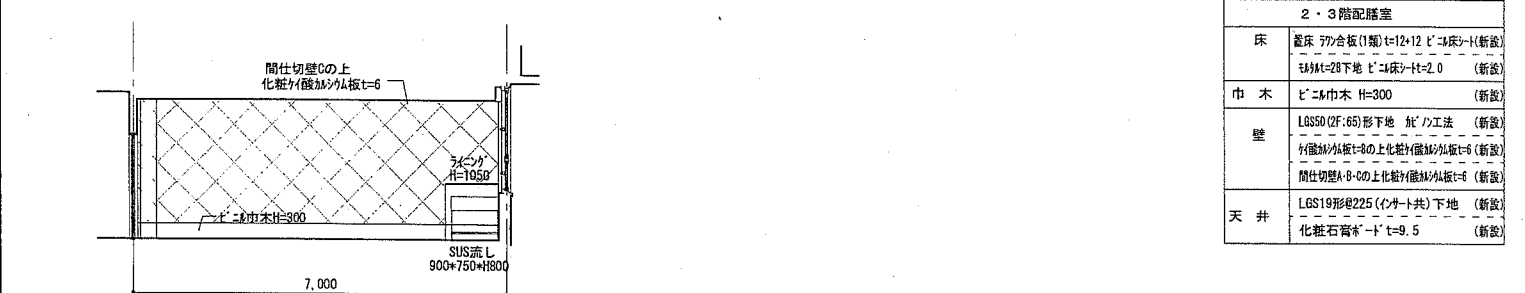
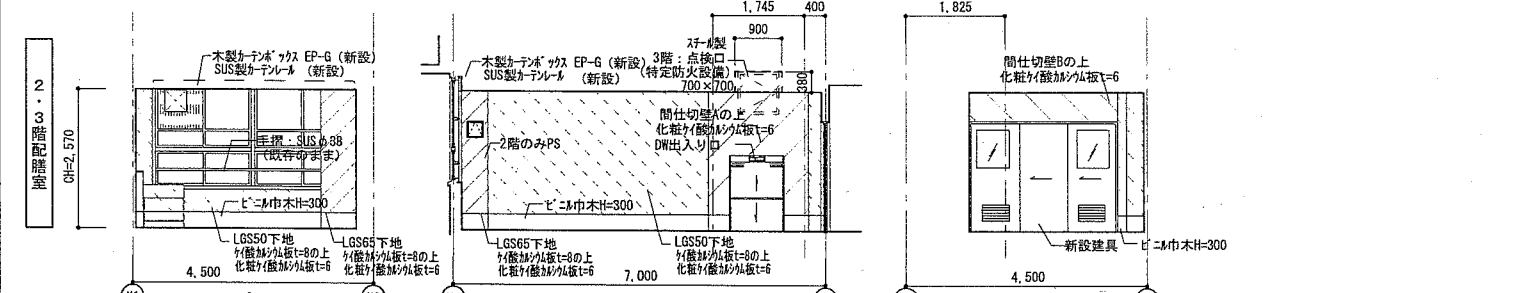
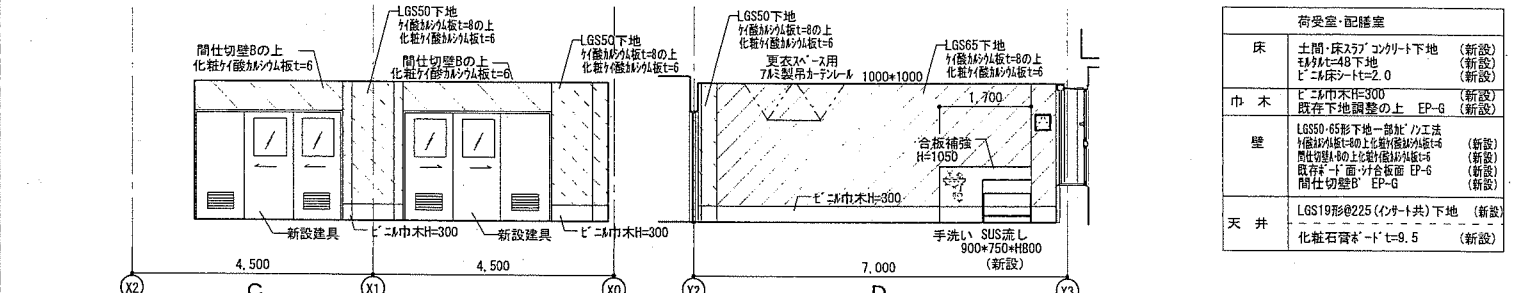
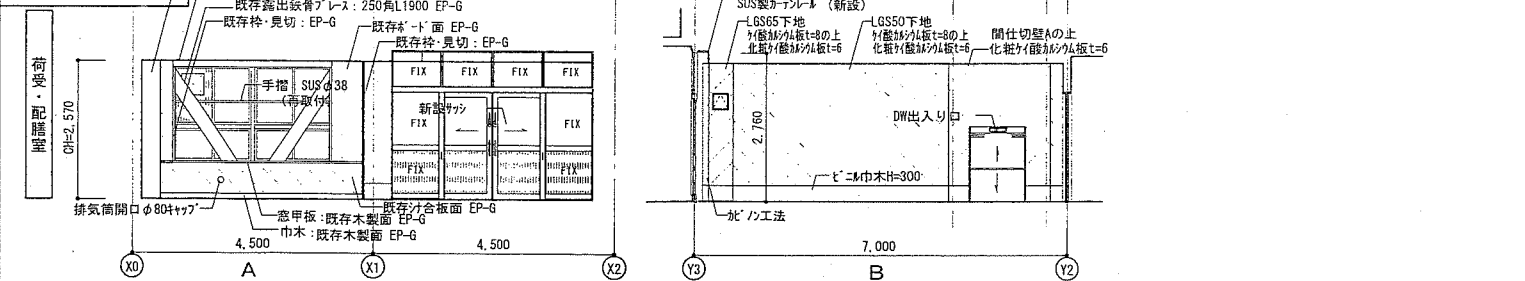


学年控室	
床	杉材下地 (撤去) フローリング t=18 (撤去)
巾木	本製巾木 t=24 OP H=100 (一部撤去)
壁	壁紙: 珪藻土系合紙 (既存のまま) アクリル樹脂付 (既存のまま)
天井	細目木毛板 t=20 WP (既存のまま)

多目的室1	
床	本下地 t=12 OP t=18 (一部撤去) 杉材下地 t=12 OP t=18 (撤去)
巾木	本製巾木 t=24 OP H=100 (一部撤去)
壁	壁紙: 珪藻土系合紙 (既存のまま) アクリル樹脂付 (既存のまま)
天井	細目木毛板 t=20 WP (既存のまま)

多目的室2	
床	本下地 t=12 OP t=18 (一部撤去) 杉材下地 t=12 OP t=18 (撤去)
巾木	本製巾木 t=24 OP H=100 (一部撤去)
壁	壁紙: 珪藻土系合紙 (既存のまま) アクリル樹脂付 (既存のまま)
天井	木下地 (撤去) フローリング t=4 OP (撤去)

改修後



希望室・配膳室	
床	土間・床下コンクリート下地 (新設) 杉材 t=12 OP t=2.0 (新設)
巾木	ビニル巾木 H=300 (新設) 既存下地調整の上 EP-G (新設)
壁	LGS50 (F:65) 下地 珪藻土系合紙 (新設) 珪藻土系合紙 t=8 珪藻土系合紙 t=8 (新設) 珪藻土系合紙 t=8 EP-G (新設) 間仕切壁 B EP-G (新設)
天井	LGS19形 t=25 (C:ナット共) 下地 (新設) 化粧石膏ボード t=9.5 (新設)

2・3階配膳室	
床	珪藻土系合紙 (1層) t=12 OP t=18 (新設) 杉材 t=28 下地 t=12 OP t=2.0 (新設)
巾木	ビニル巾木 H=300 (新設)
壁	LGS50 (F:65) 下地 珪藻土系合紙 (新設) 珪藻土系合紙 t=8 珪藻土系合紙 t=8 (新設) 間仕切壁 A-B-Cの上化粧珪藻土系合紙 t=8 (新設)
天井	LGS19形 t=25 (C:ナット共) 下地 (新設) 化粧石膏ボード t=9.5 (新設)

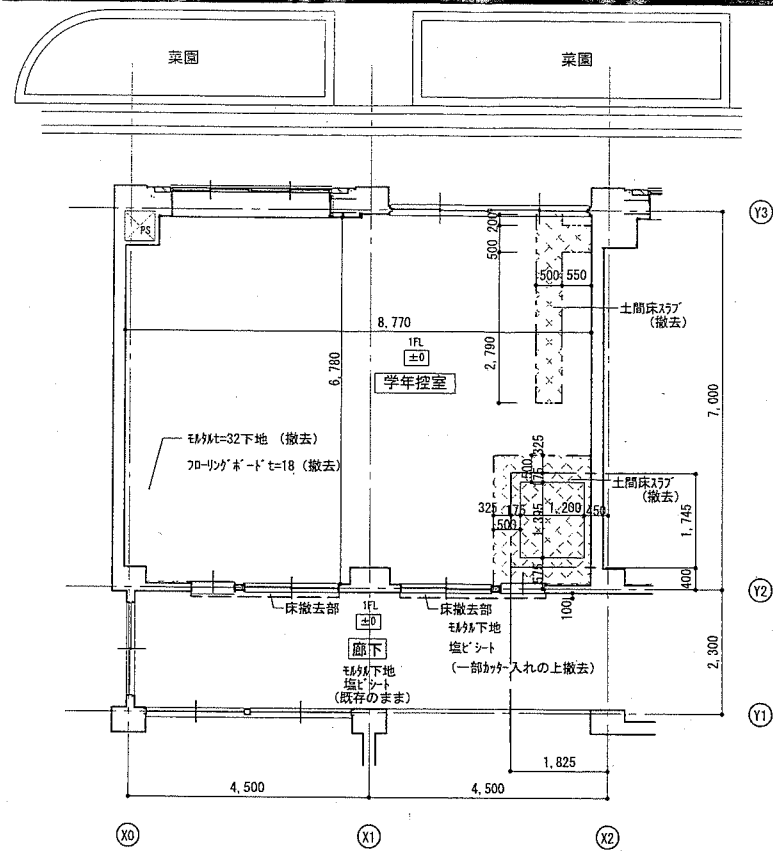
2・3階多目的室1・2	
床	本下地 t=12 OP t=18 (一部新設) 杉材 t=12 下地 t=12 OP t=18 (新設)
巾木	本製巾木 t=15 EP-G H=100 (新設) 珪藻土系合紙の上 EP-G H=100 (新設) 間仕切壁 B t=15 EP-G H=100 (新設) 珪藻土系合紙 t=8 EP-G H=100 (新設)
壁	間仕切壁 B'・C' EP-G (新設) 珪藻土系合紙の上 EP-G (新設) 珪藻土系合紙 t=8 珪藻土系合紙 t=8 (新設) 化粧珪藻土系合紙 t=8 EP-G (新設)
天井	LGS19形 t=25 (C:ナット共) 下地 (新設) 化粧石膏ボード t=9.5 (新設)

公共建築課長	主査等	担当者
--------	-----	-----

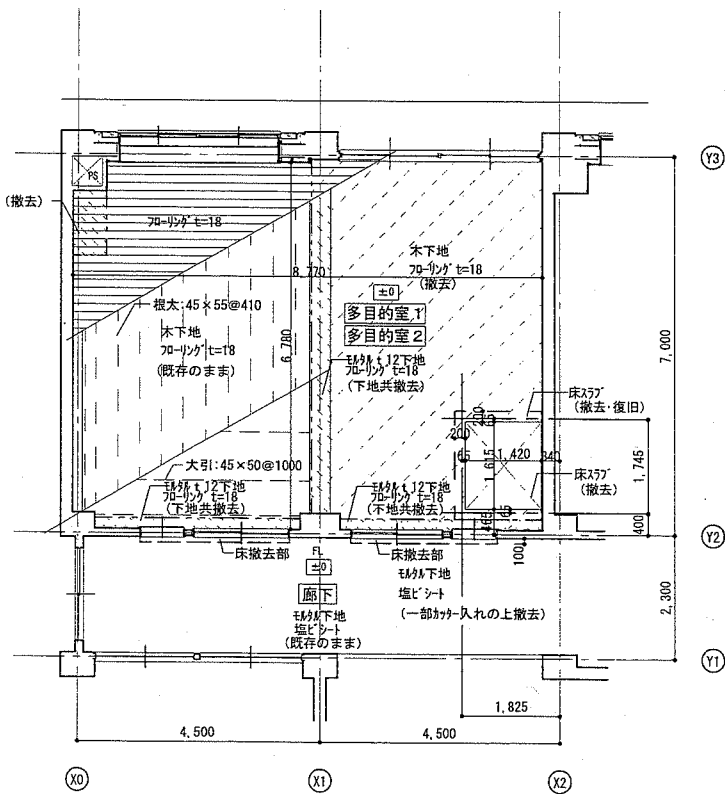
横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成 31年 2月

設計名称 NAME OF PROJECT	市立田浦中学校ほか1校昇降階段設置工事その他工事	図面名称 ITEM OF DRAWING	展開図 (改修前・改修後)
PROJECT NUMBER	(田浦中学校)	DRAWING NUMBER	縮尺 1:100

改修前

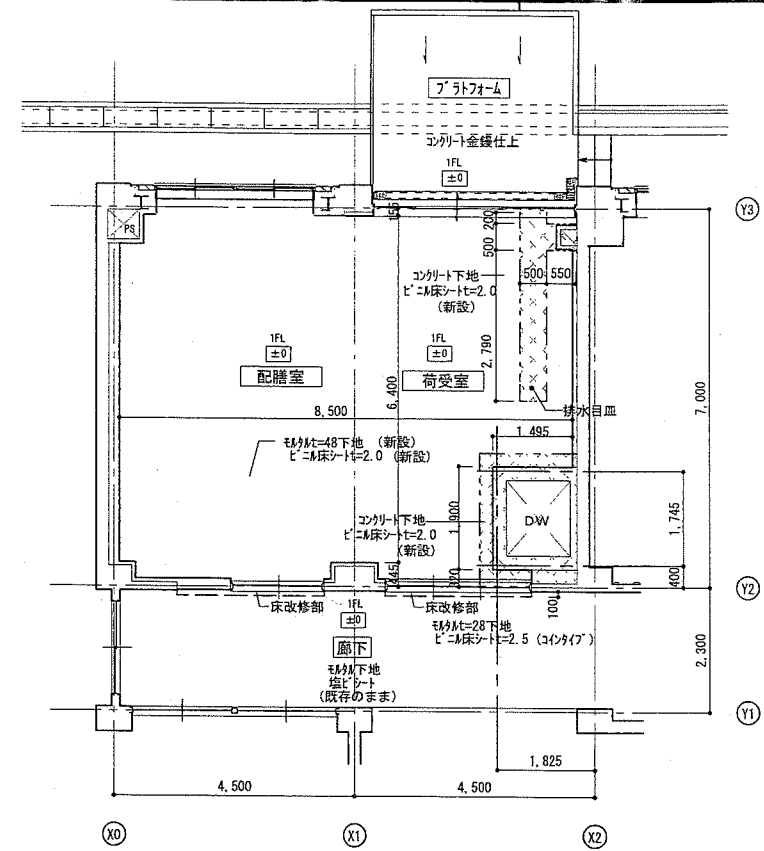


1階学年控室

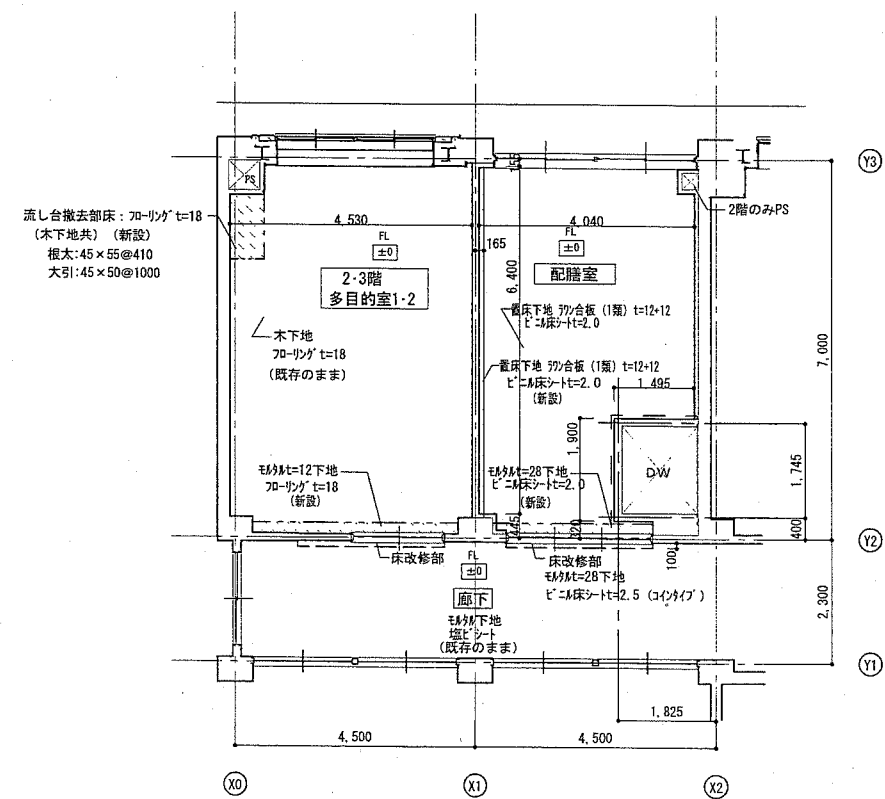


2・3階多目的室1・2

改修後



1階荷受室・配膳室

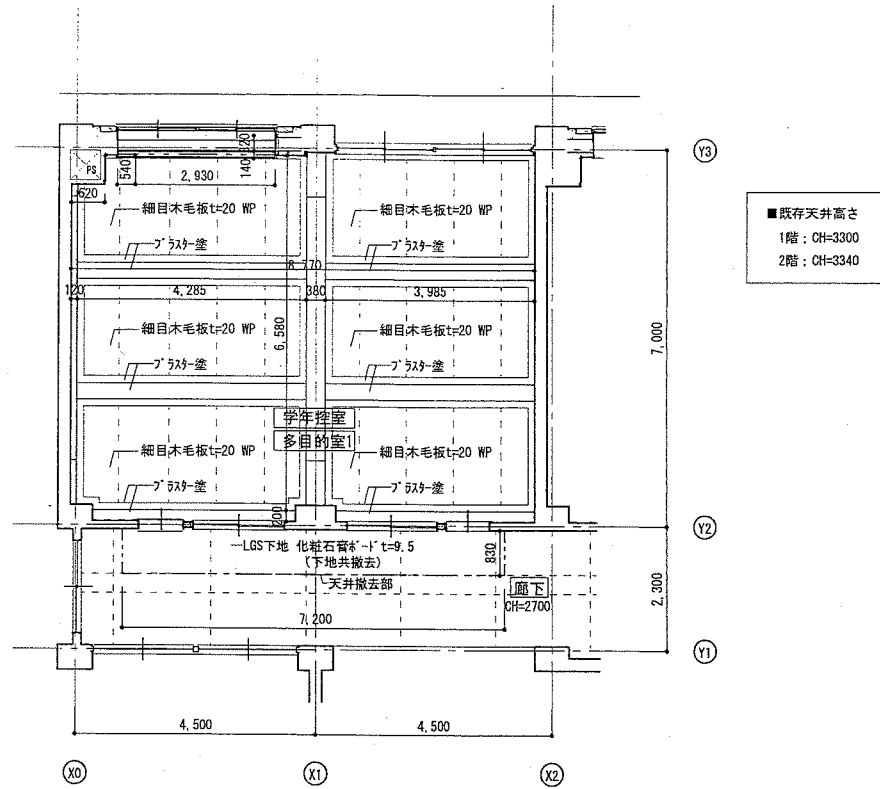


2・3階配膳室、多目的室1・2

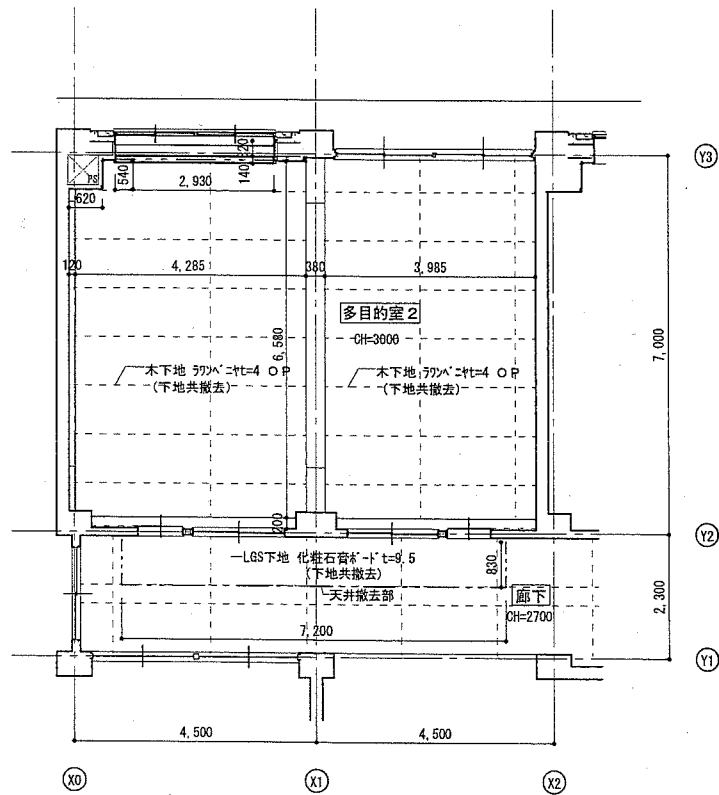
公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課
			設計年月日 平成 31年 2月

設計名称 NAME OF PROJECT	図面名称 ITEM OF DRAWING
市立田沼中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事 (田沼中学校)	床伏図(改修前・改修後)
縮尺 SCALE	1:100

改修前

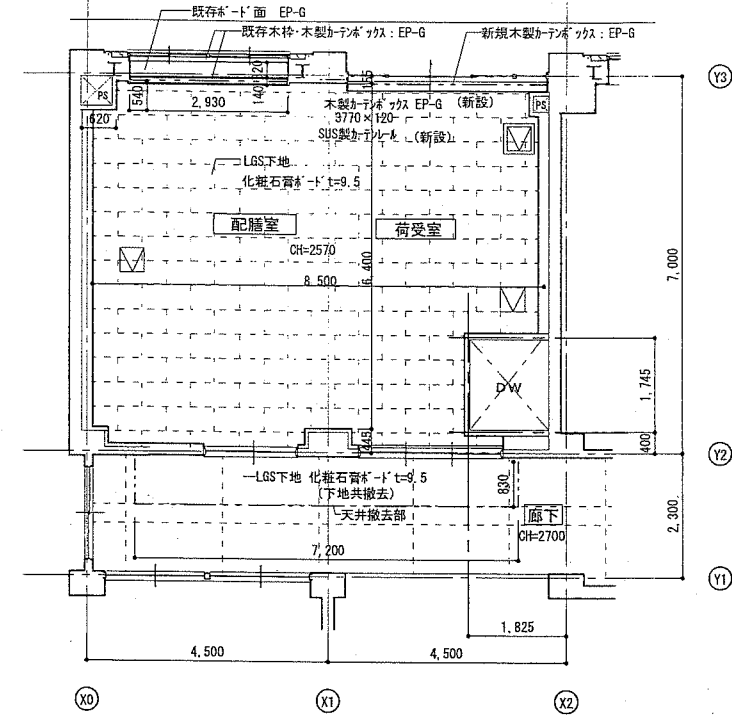


1・2階学年控室・多目的室1

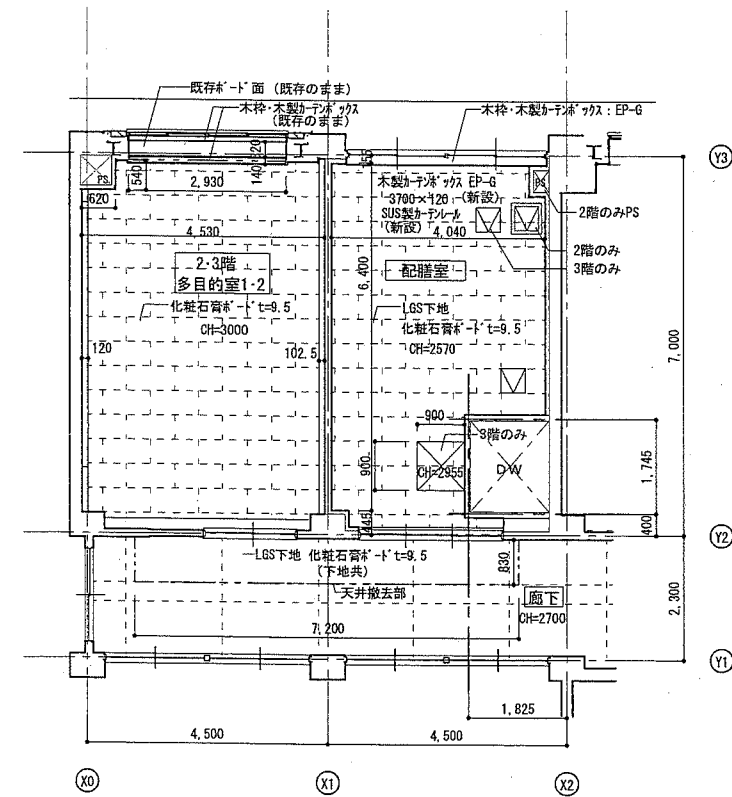


3階多目的室2

改修後



1階荷受室・配膳室



2・3階配膳室・多目的室1・2

(LGS下地開口補強:450角・2箇所)
(LGS下地開口補強:600角・1箇所)

(LGS下地開口補強:450角・3箇所)
(LGS下地開口補強:600角・1箇所)

注記:
LGS下地: 内部LGS(軽量鉄骨)天井下地は19形
外部LGS(軽量鉄骨)天井下地は25形
天井には塩ビ製遮音線を使用する。
天井点検口: 7A型450角 額縁3/4' (下地開口補強共)
天井点検口: 7A型600角 額縁3/4' (下地開口補強共)

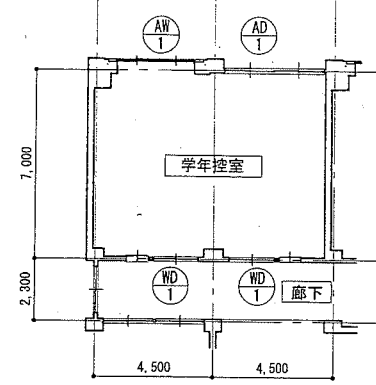
公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課
			設計年月日 平成 31年 2月

設計名称 NAME OF PROJECT	市立田浦中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事
PROJECT NUMBER	(田浦中学校)

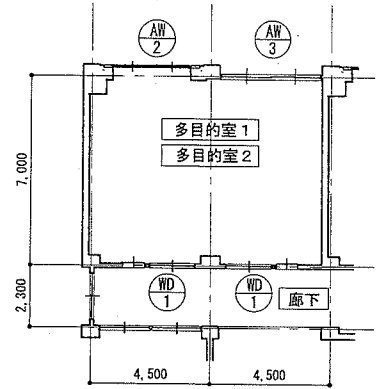
図面名称 ITEM OF DRAWING	天井伏図(改修前・改修後)
DRAWING NUMBER	縮尺 1:100

改修前

建具キープン S=1/200



1階



2・3階

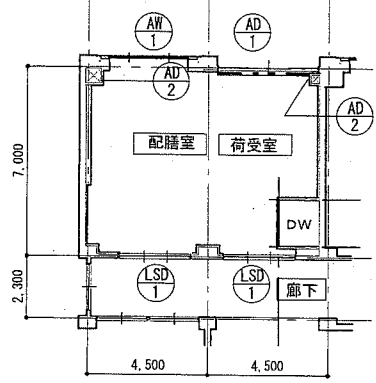
建具表 S=1/100

記号・個数	AD-1 1か所	AW-1 1か所	AW-2 2か所
取付場所	1階学年控室	1階学年控室	2・3階多目的室1, 2
形状・寸法	既存 3,670 1,800 70 1,800 500φ 1,200 1,800	改修 3,740 876.5 100 1,787 100 876.5 有効開口1545以上 FIX FIX FIX FIX 点線部: 7&Mφ 枠t5 900 1,000 1,000 1,000 900 2,000 1,000 2,700	既存 2,840 1,385 70 1,385 600φ 1,050 1,750
見込・寸法	70	100	70
種別方式	引違い窓	FIX付引き分けドア (自動閉鎖式)	引違い窓
材料仕上	アルミ製 (シルバー)	アルミ製 (シルバー)	アルミ製 (シルバー)
ガラス厚	透明ガラス	透明ガラス3.0+透明7&M30mil+透明ガラス3.0	透明ガラス3+F (一部撤去)
付属金物	水切、懸縁	引戸錠、内外通動引寄ハンドル、引棒、シリンダー錠、SUS製フッパレール	付属金物一式
備考	既存サッシ: 撤去	顔縁7&Mφ、7&Mφ 枠t=5、下部レール: SUS製水抜パイプ×4ヶ所	7&Mφ 枠t=3 (一部撤去)

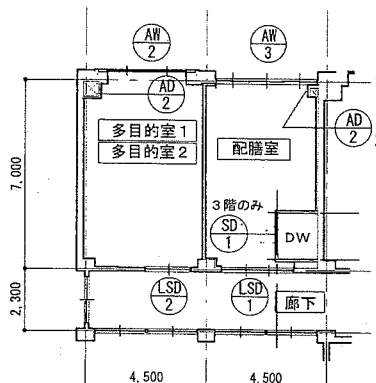
記号・個数	AW-3 2・3階多目的室1, 2	AW-3 2・3階配膳室
取付場所	2・3階多目的室1, 2	2・3階配膳室
形状・寸法	既存 3,670 1,800 70 1,800 ガラス撤去 500φ 1,200 1,800 手摺SUS製φ38 (既存のまま)	改修 3,670 1,800 70 1,800 7&Mφ 枠t=3 500φ 1,200 1,800 手摺SUS製φ38 (既存のまま) ストッパー止め
見込・寸法	70 (おバ-工法)	
種別方式	引違い窓	
材料仕上	アルミ製 (シルバー)	
ガラス厚	透明ガラス3+F (一部撤去)	7&Mφ 枠t=3.0 (穴開け共)
付属金物	付属金物一式	ストッパー止め
備考		

改修後

建具キープン S=1/200



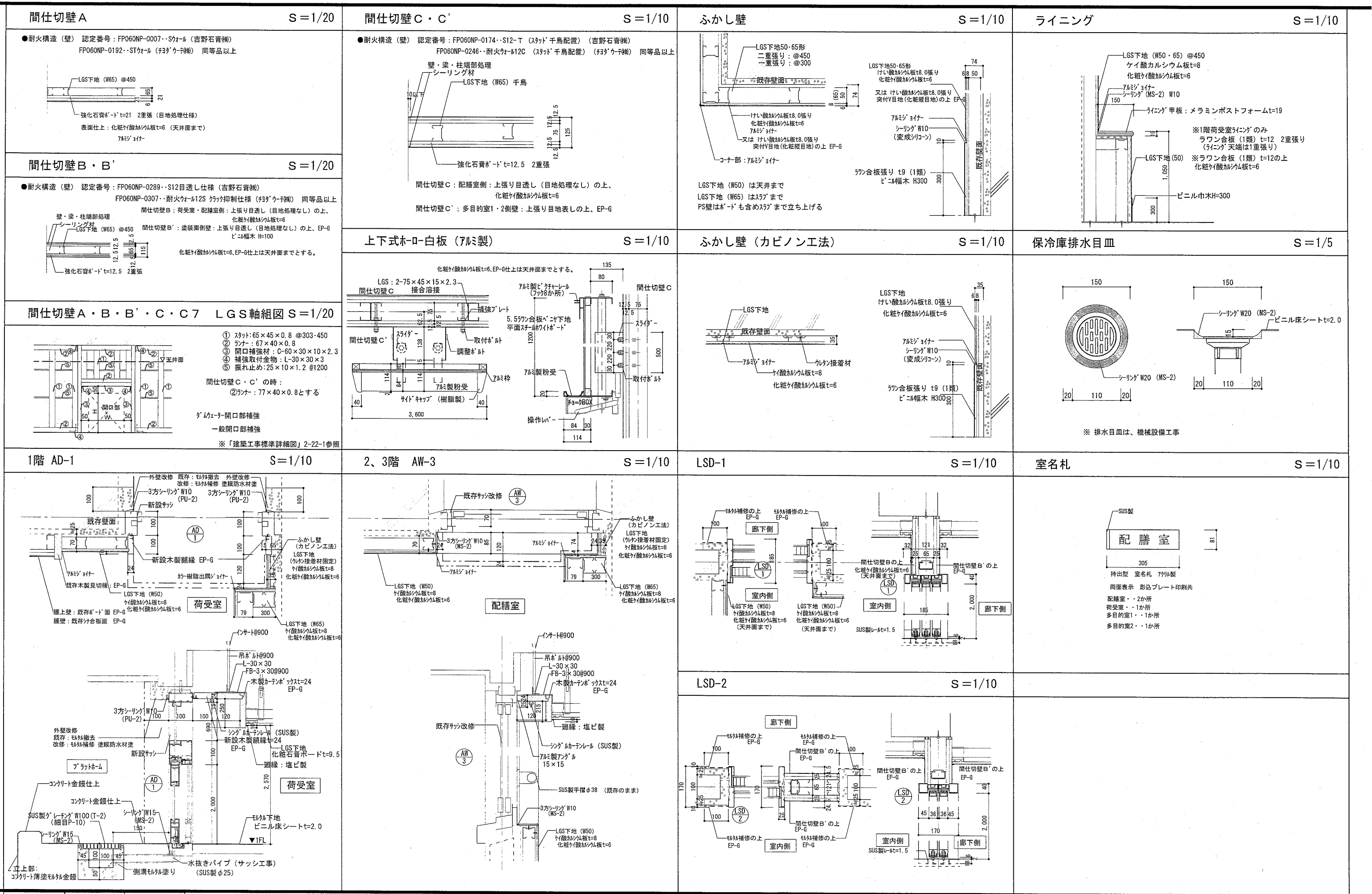
1階

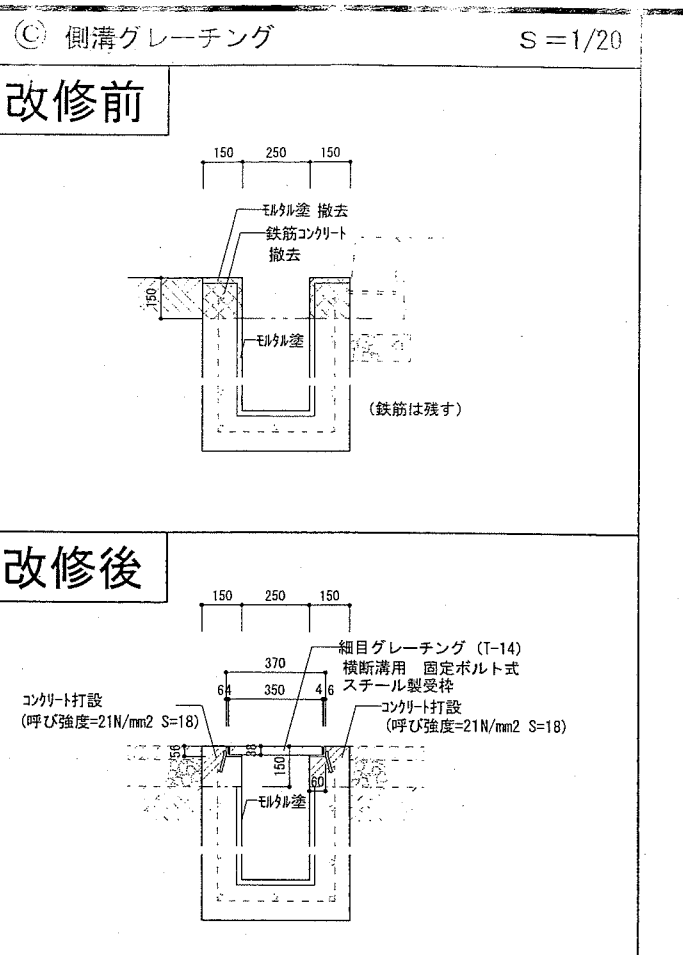
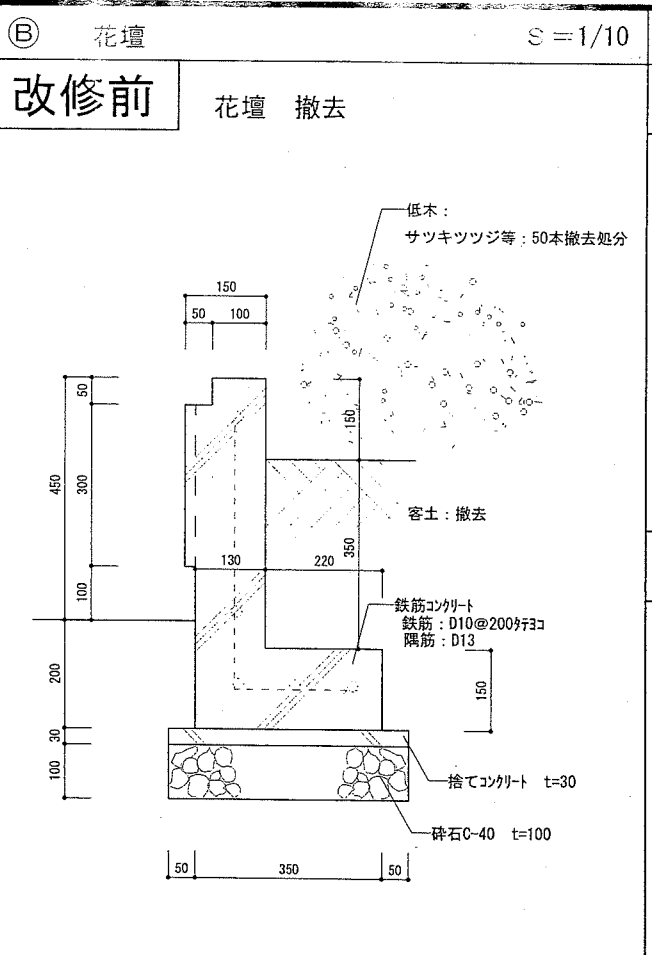
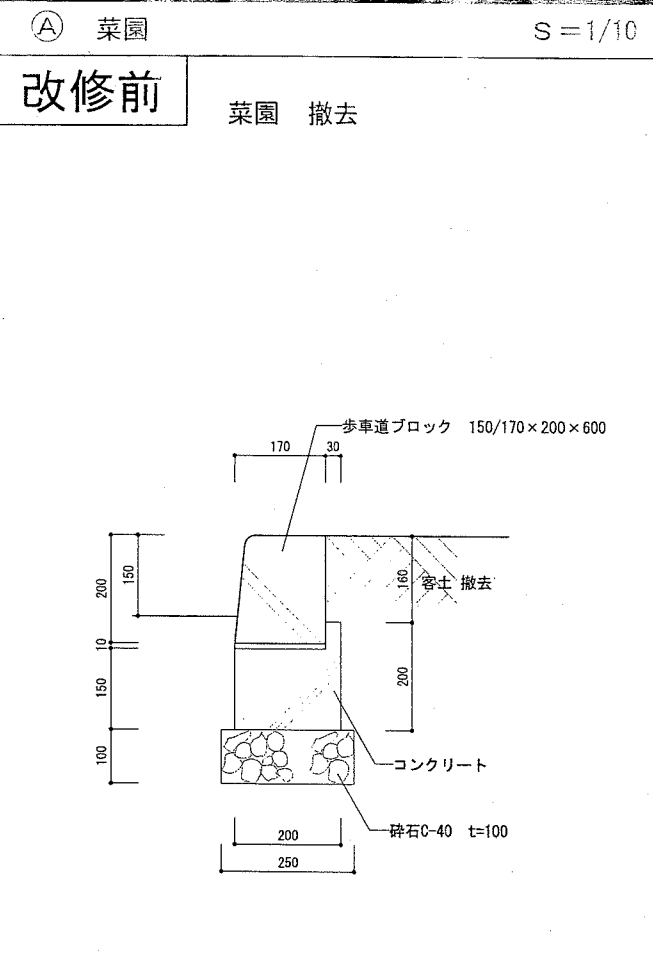
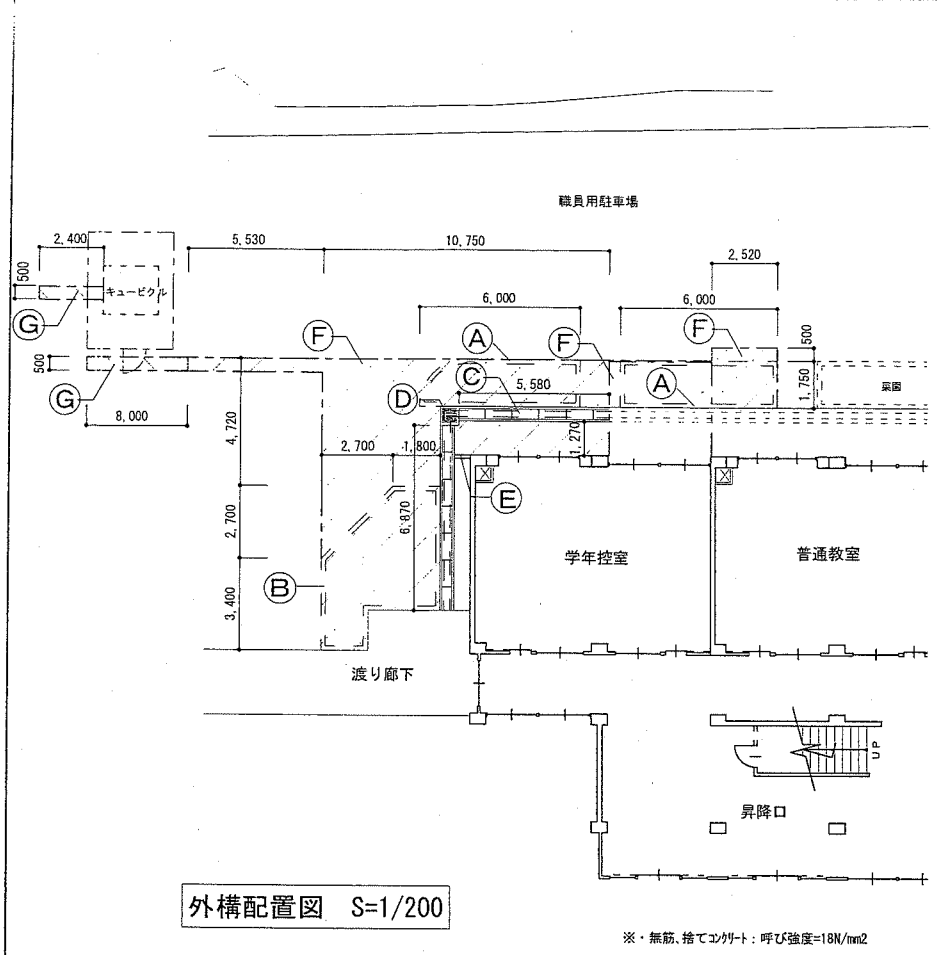


2・3階

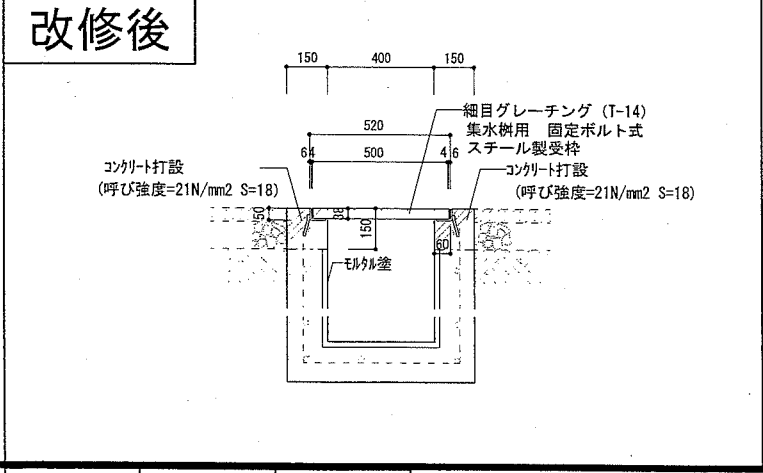
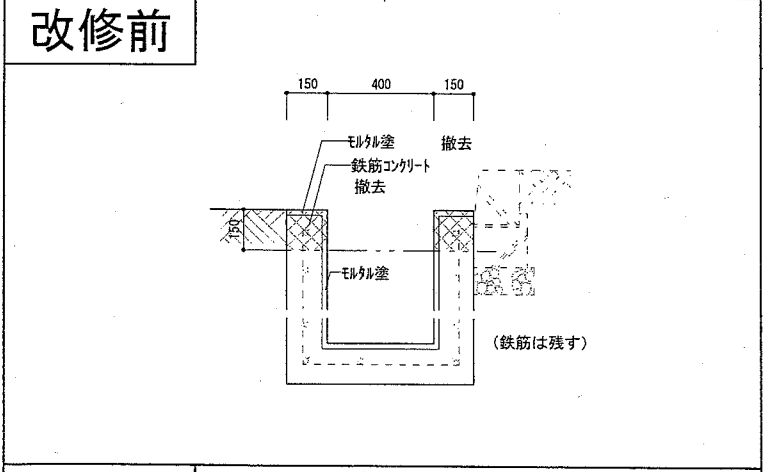
記号・個数	LSD-1 4か所	LSD-2 2か所	SD-1 1か所	AD-2 5か所
取付場所	1階荷受室・配膳室2、3階配膳室	2・3階多目的室1, 2	3階配膳室	1・2階荷受室、配膳室
形状・寸法	改修 2,700 500 500 2,000 (有効開口1500以上)	改修 1,700 500 500 2,000 (有効開口750以上)	改修 700 700 特定防火設備 (常時旋錠式)	改修 300 300 300 網付/ 壁点検口用(同等品以上)
見込・寸法	185	170	80	30
種別方式	片引きドア	引違いドア	片開き点検口	下開き壁点検口
材料仕上	軽量スチール 焼付塗装	軽量スチール 焼付塗装	スチール製t=1.6 EP-G	7&M製懸縁
ガラス厚	網入型板ガラスt6.8	網入型板ガラスt6.8		
付属金物	スチール製、スチール三方枠、スチール懸縁、戸車、錠、引手	スチール製、スチール三方枠、スチール懸縁、戸車、錠、引手	オートロック丁番	錠付
備考	防虫網(SUS304 24メッシュ)	シリンダー錠 (廊下側のみ)	平面ハンドル錠付	

記号・個数	WD-1 6か所
取付場所	学年控室 多目的室1 多目的室2
形状・寸法	既存 RC壁の上 フッパレール下地合板EP-G 透明ガラス 850 800 200 1,700 200 820 1,300 1,300 1,300 530 2,650 網入ガラスt6.8 RC壁 合板OP 合板OP 7&Mφ 戸
見込・寸法	100
種別方式	片引き戸、引違い窓
材料仕上	片引き戸: 7&M製、引違い窓: 木製
ガラス厚	網入りガラスt6.8、透明ガラス
付属金物	
備考	枠共撤去 RC壁: (既存のまま)

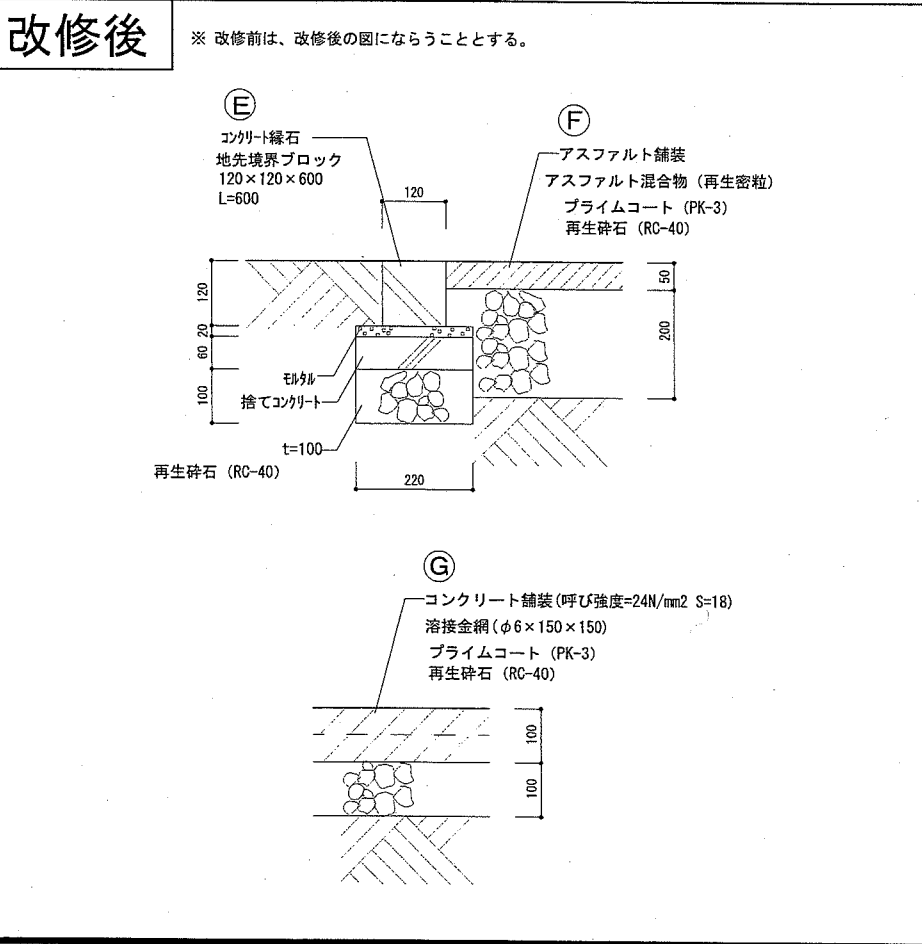




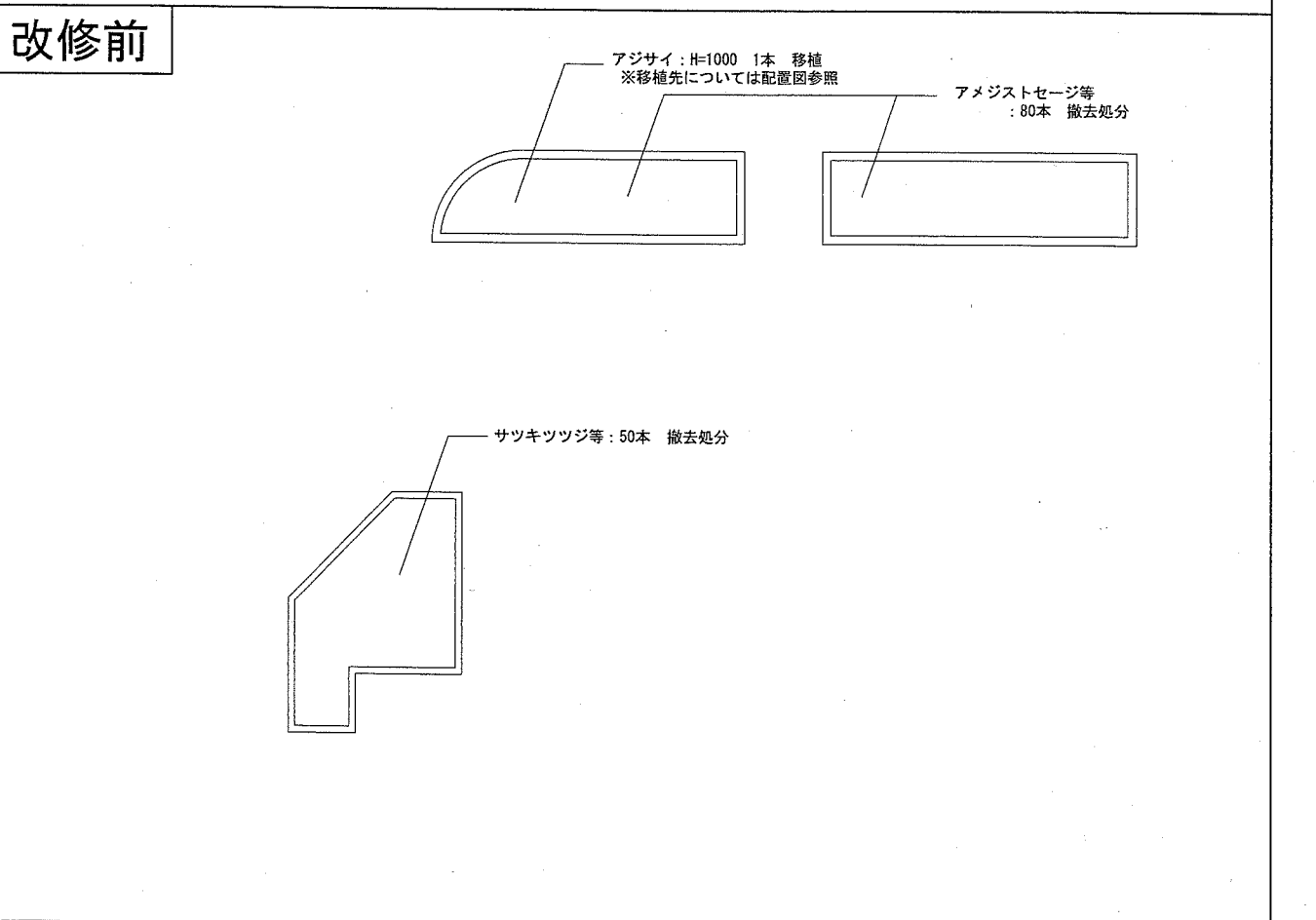
④ 集水樹グレーチング S=1/20

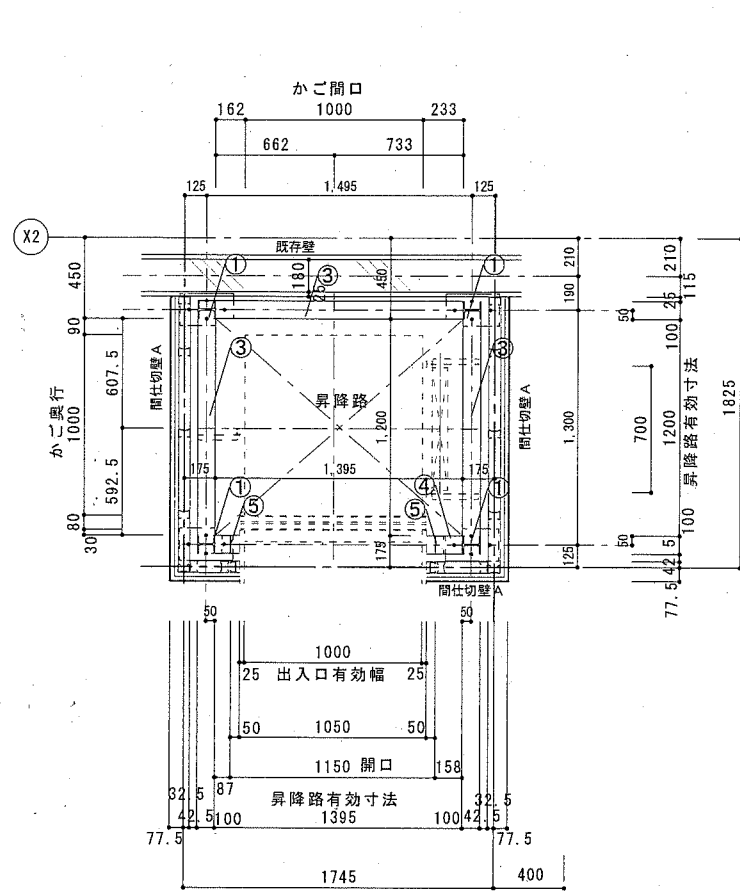


⑤ コンクリート縁石 ⑥ アスファルト舗装 ⑦ コンクリート舗装 S=1/10

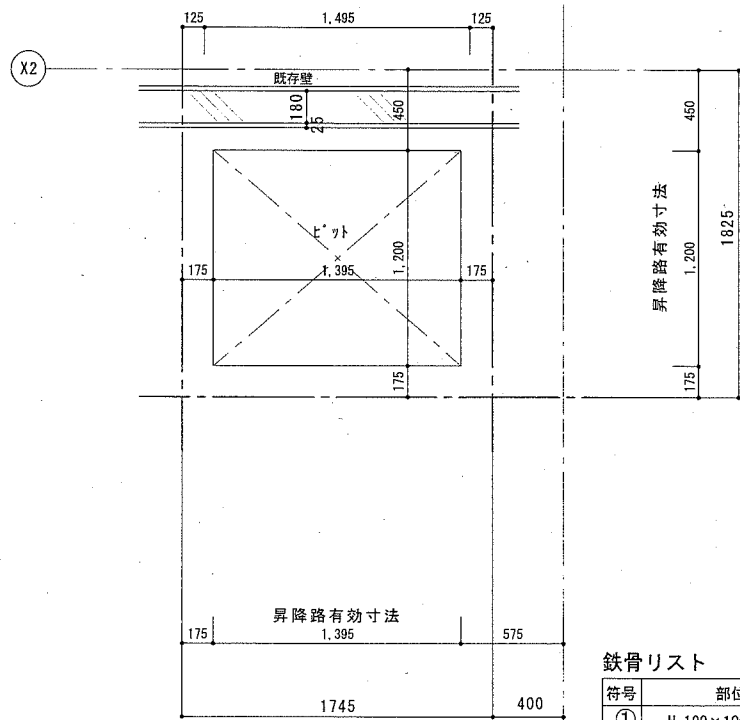


菜園植栽計画 S=1/100





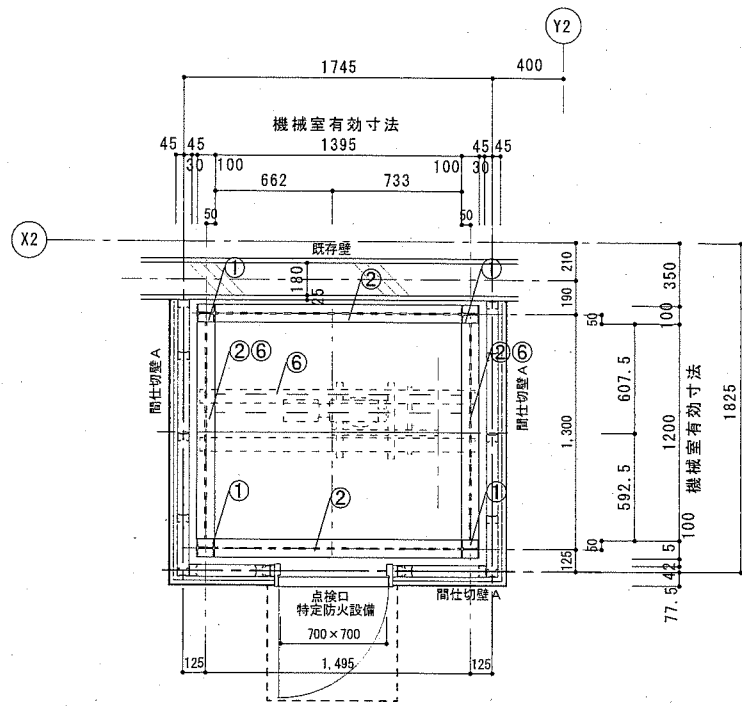
昇降路平面図 S : 1 / 3 0
(1階)



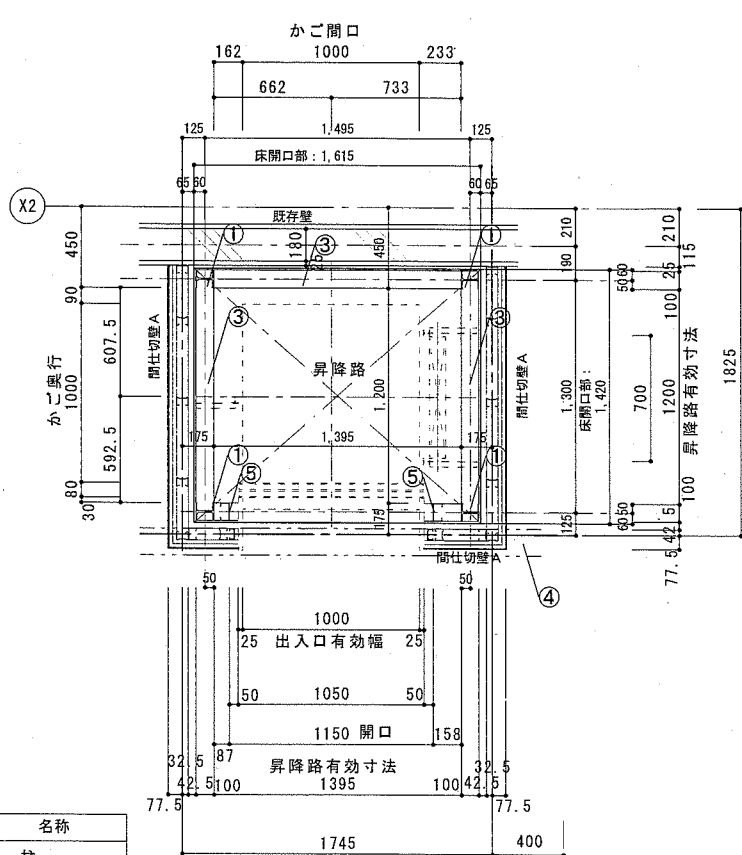
昇降路平面図 S : 1 / 3 0
(2、3階)

鉄骨リスト

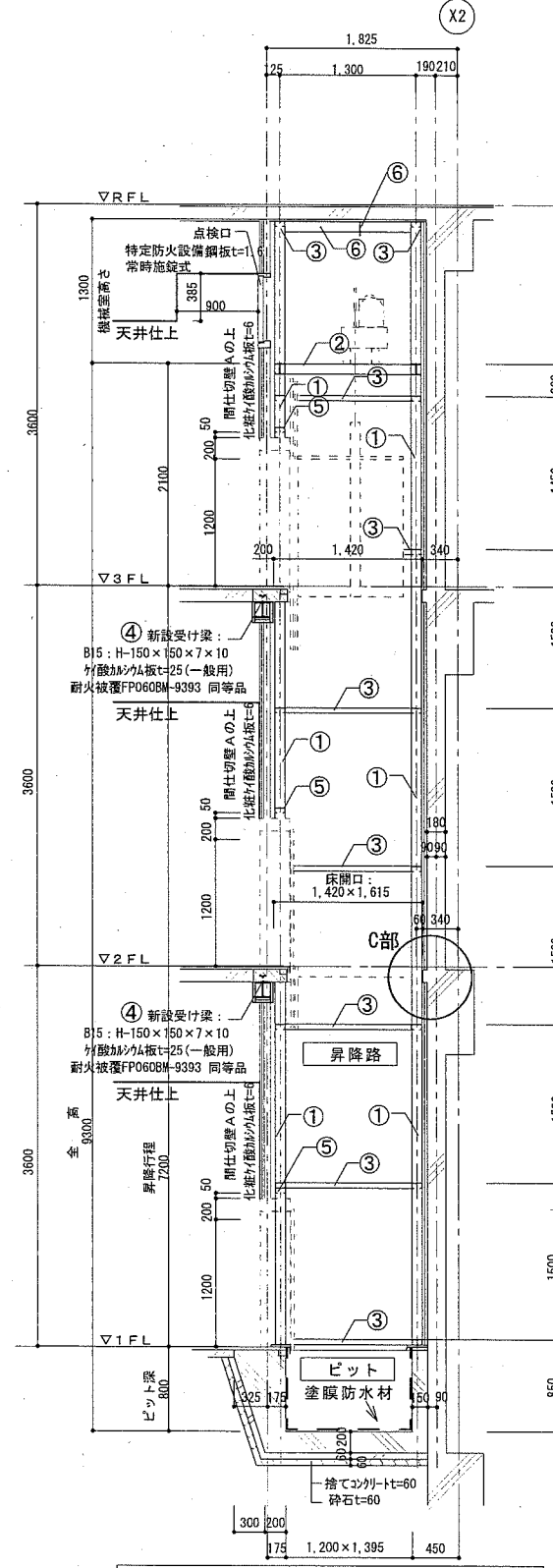
符号	部位	名称
①	H-100×100×6×8	柱
②	H-100×100×6×8	巻上機受け梁
③	C-100×50×20×3.2	レール受け材
④	H-150×150×7×10	B15 受け梁
⑤	C-100×50×20×3.2	枠止め材
⑥	H-100×100×6×8	揚重用梁



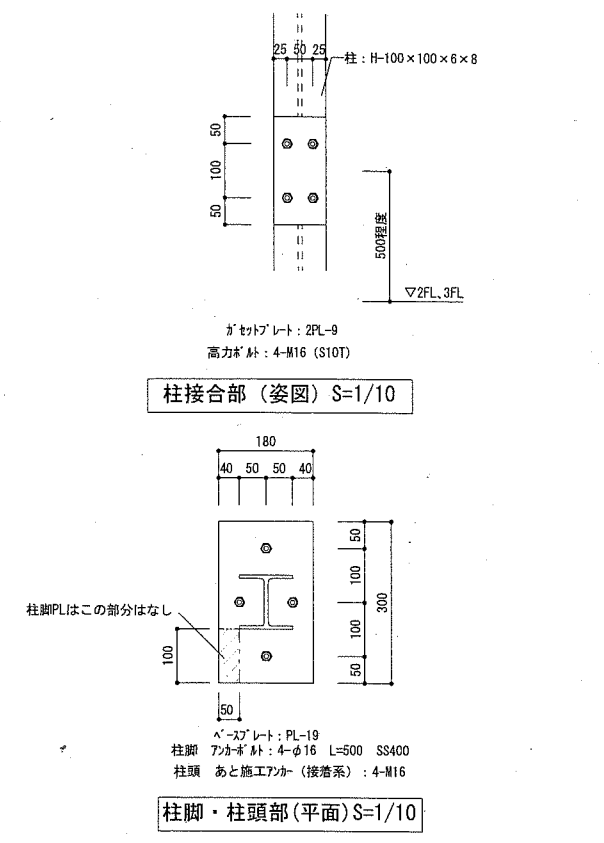
昇降路平面図 S : 1 / 3 0
(3階)



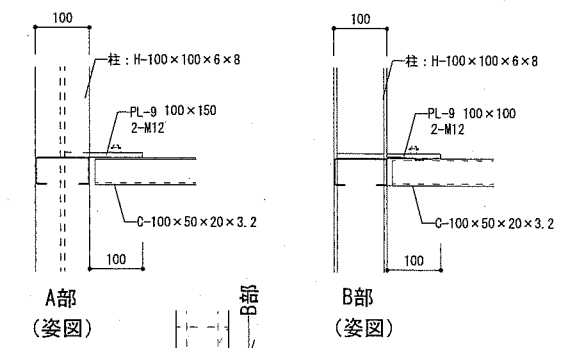
昇降路平面図 S : 1 / 3 0
(2、3階)



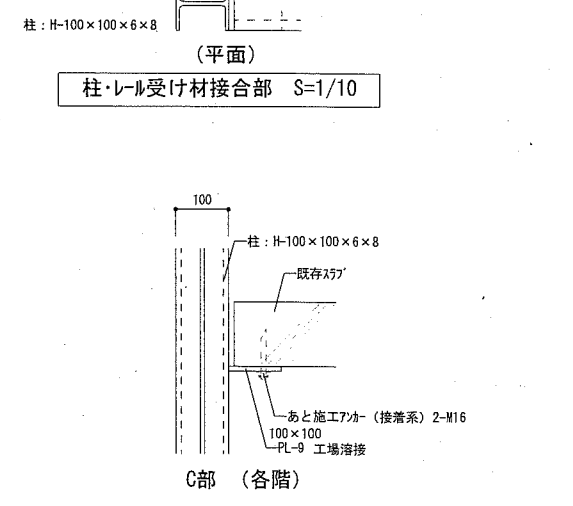
昇降路断面図 S : 1 / 5 0



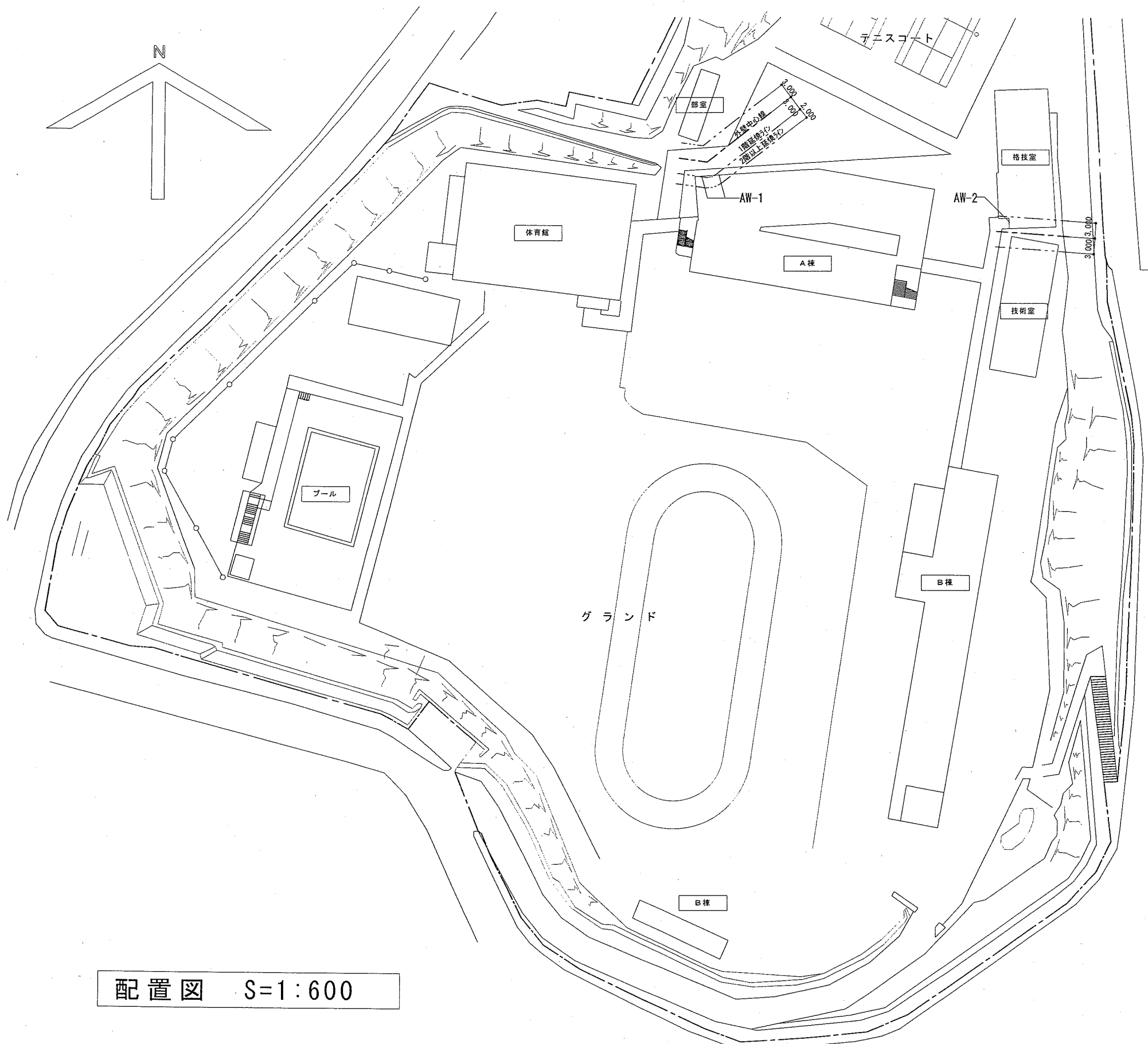
柱脚・柱頭部(平面) S=1/10



柱・レール受け材接合部 S=1/10



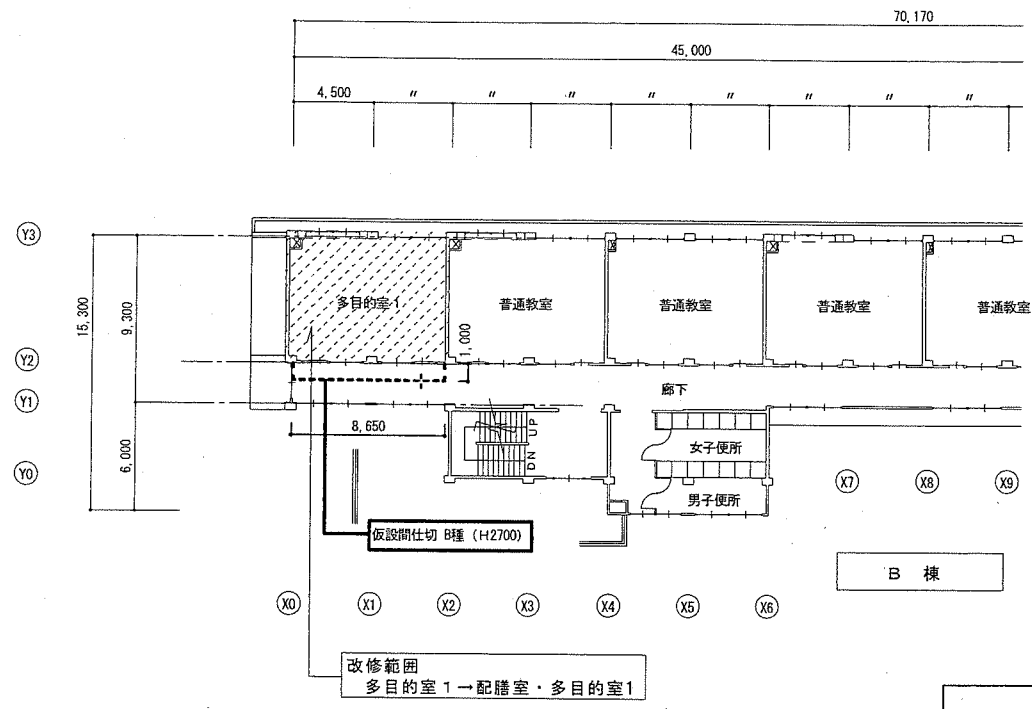
柱・既存アタリ受け材接合部 S=1/10



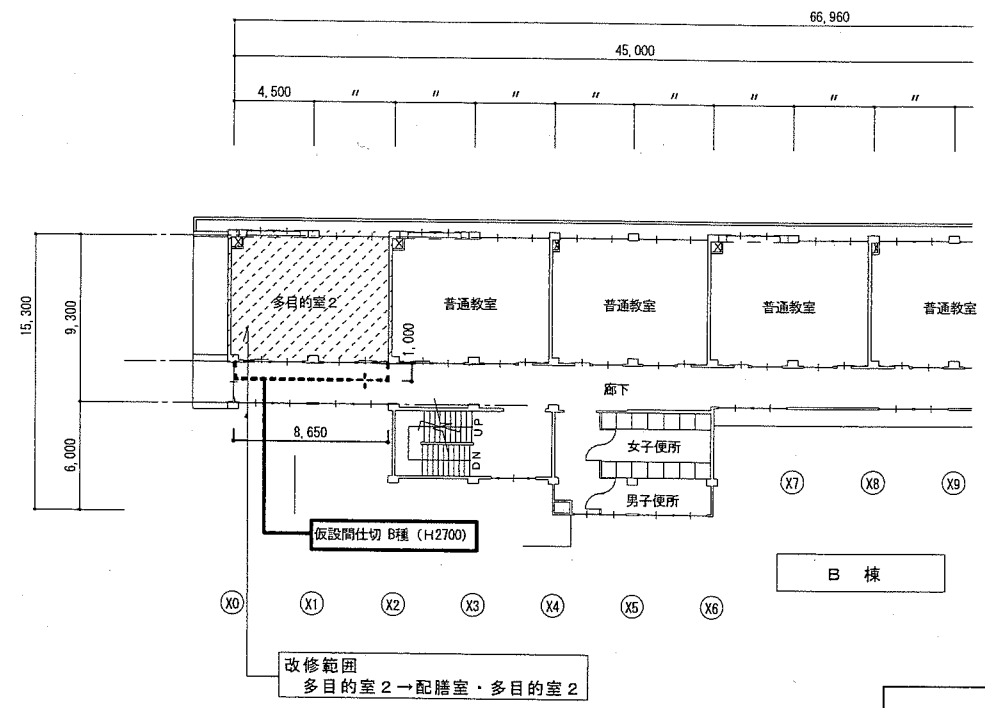
配置図 S=1:600

改修建具表 S=1:100

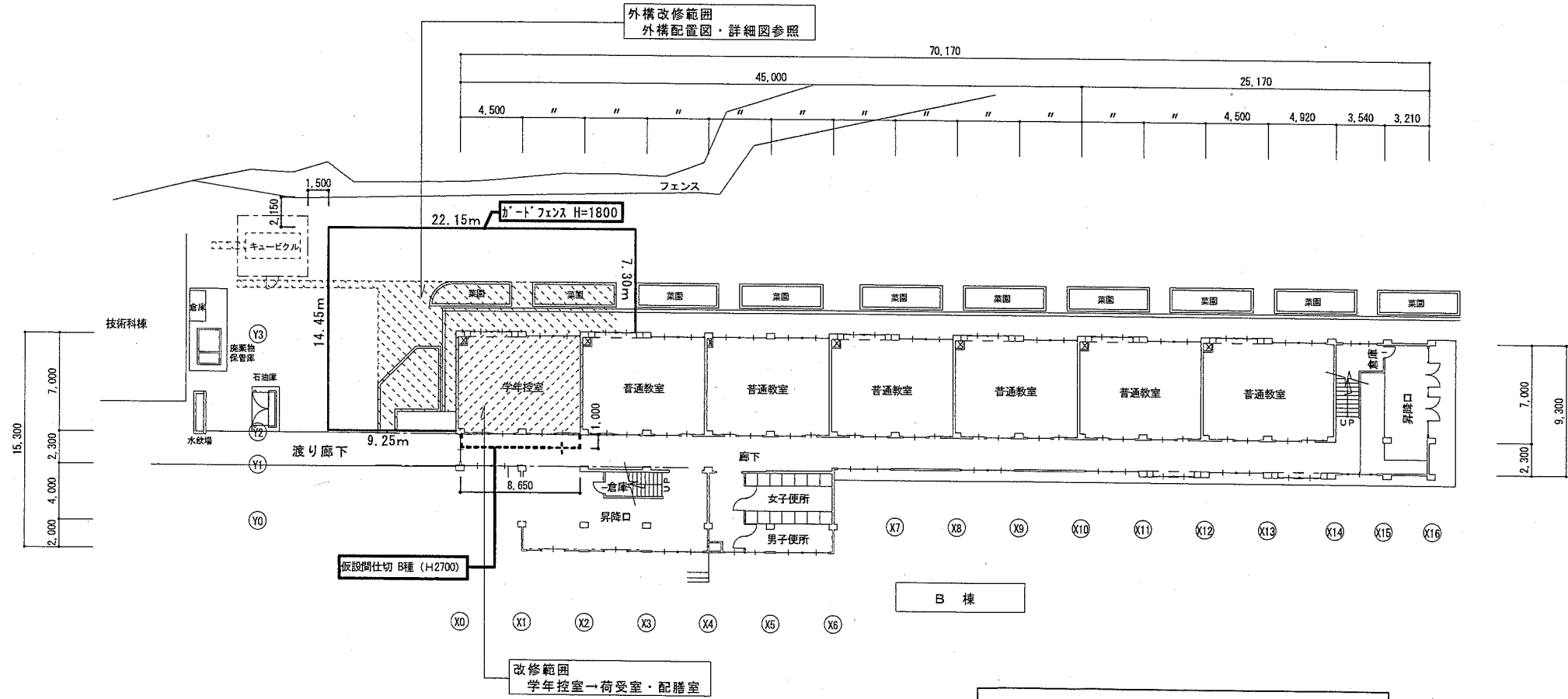
記号・個数	AW-1 2か所	AW-2 1か所
取付場所	1階教室	1階格技室
形状・寸法		
凡例	□ ガラス改修部 F: 飛散防止フィルム貼	
見込・寸法	▽GL	▽GL
種別方式		
材料仕上		
ガラス厚	透明ガラス+F 撤去の上	透明ガラス+F 撤去の上
付属金物	透明網入りガラスt6.8	透明網入りガラスt6.8
備考	*防火設備用シロガ(内外共)	*防火設備用シロガ(内外共)



2階平面図

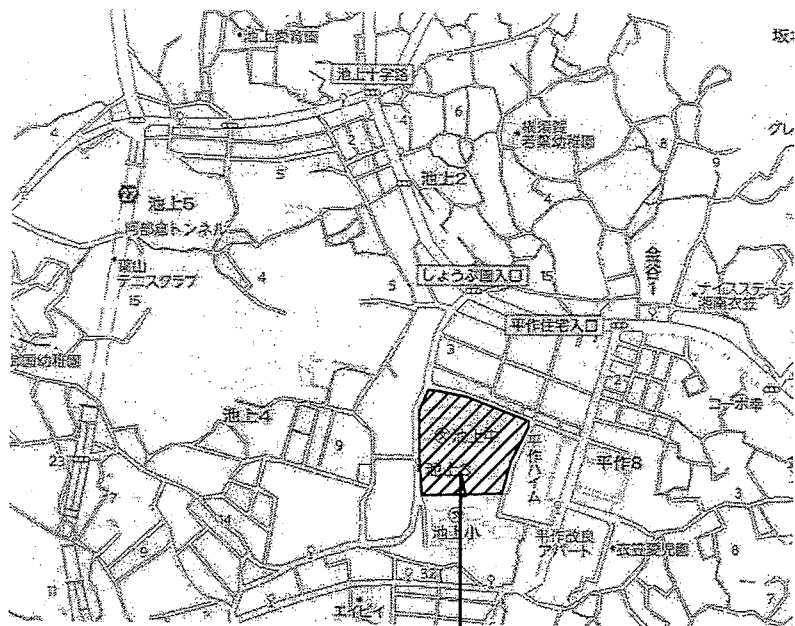


3階平面図



1階平面図

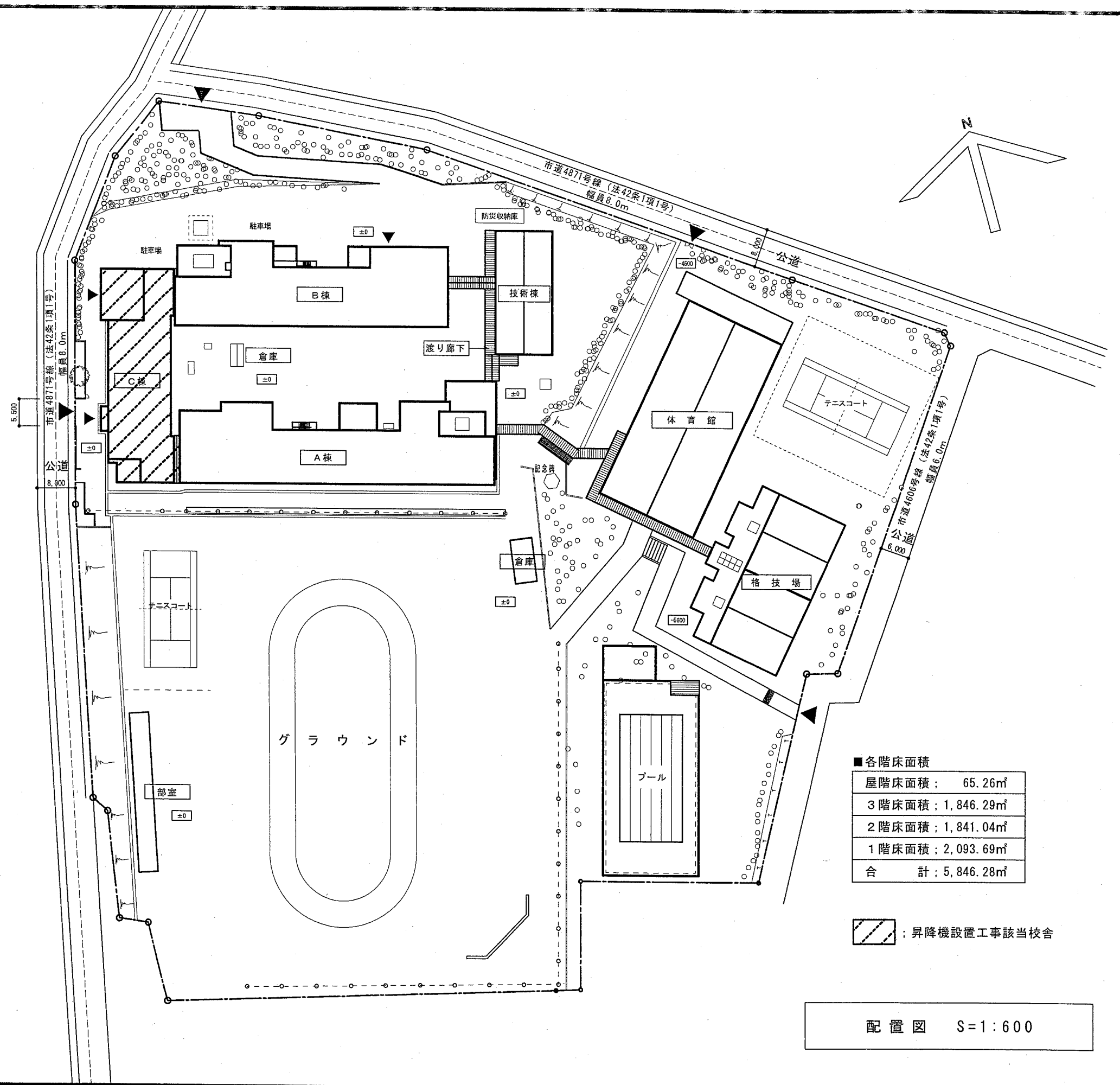
公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	設計年月日 平成 31年 2月	設計名称 NAME OF PROJECT 市立田浦中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事 (田浦中学校)	図面名称 TYPE OF DRAWING 仮設計画図(参考用)	縮尺 1 : 300	A-22
--------	-----	-----	----------------	-----------------	---	---------------------------------------	------------	------



工事場所：市立池上中学校
横須賀市池上3丁目5番1号

案内図

工事区分表					
項目	内容	建築	電気	機械	備考
1	小荷物専用昇降機計画通知申請手続き				
2	仮設足場（脚立を除く）	○	○		
3	発生材運搬・処分	○	○	○	
4	発生土運搬・処分	○	○	○	
5	貫通部穴埋め補修	○	○	○	
6	点検口（天井・壁）取付及び開口補強	○			
7	天井付各種設備器具穴あけ、取付枠及び開口補強	○			
8	天井付各種設備器具取付		○	○	
9	ステンレス製（木製）流し（トラップ共）	○			
10	同上 水栓金物及び配管接続			○	
11	衛生器具取付			○	
12	衛生器具類取付用下地	○			
13	排水目皿			○	
14	排水斜・樹蓋設置及び配管敷設工事			○	
15	倒溝・蓋設置（グレーチング含む）（配管接続は機械設備工事）	○			
16	換気扇取付用アルミパネル	○			
17	同上 穴あけ	○			
18	換気扇スイッチ本体取付、配線		○		
19	給気口及び室内レジスター			○	
20	給気ガラリ	○			
21	空調機各種リモコン			○	
22	空調屋外機・屋内機廻り配線（冷媒管共巻き）			○	
23	空調機器一次側電源供給		○		
24	プロパン庫 撤去（コンクリートブロック製）	○			
25	プロパン庫 新設（基礎共）	○		○	
26	昇降路の築造工事及び仕上げ工事	○			
27	昇降路ビッド防水	○			
28	昇降路頂部機器搬入用ビームの設置工事	○			
29	各階出入口三方枠、インジケーター、押釦等の取付用下地及び穴あけ	○			
30	出入口三方枠、数値、インジケーター等取付後の隙間埋め	○			
31	乗場関係機器取付後の壁、床の仕上げ工事	○			
32	かご前壁と昇降路壁を125mm以下にするフェッシャープレート設置		○		
33	ストップ取外し			○	
34	同上 穴埋め	○		○	



■各階床面積

屋階床面積	65.26㎡
3階床面積	1,846.29㎡
2階床面積	1,841.04㎡
1階床面積	2,093.69㎡
合計	5,846.28㎡

■昇降機設置工事該当校舎

配置図 S=1:600

建築概要 (市立池上中学校)

○昇降機設置に伴う建築工事
・1階 職員用更衣室を荷受け室、配膳室へと改修 パノナーを多目的室及び昇降口の一部を職員更衣室へと改修
・2階 PTA会議室を配膳室及び倉庫をPTA会議室へと改修
・3階 生徒会室を配膳室及び倉庫を生徒会室へと改修
・一部、外構改修工事
・その他 (既存7㎡建具が交換、既存石油庫改修、渡り廊下袖壁改修)
○機械設備工事
○電気設備工事 (別途工事)

外部仕上表

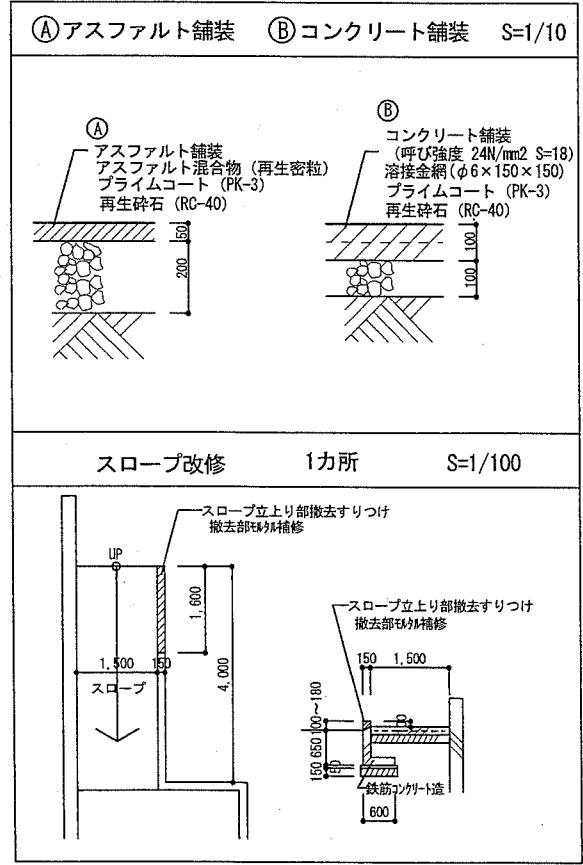
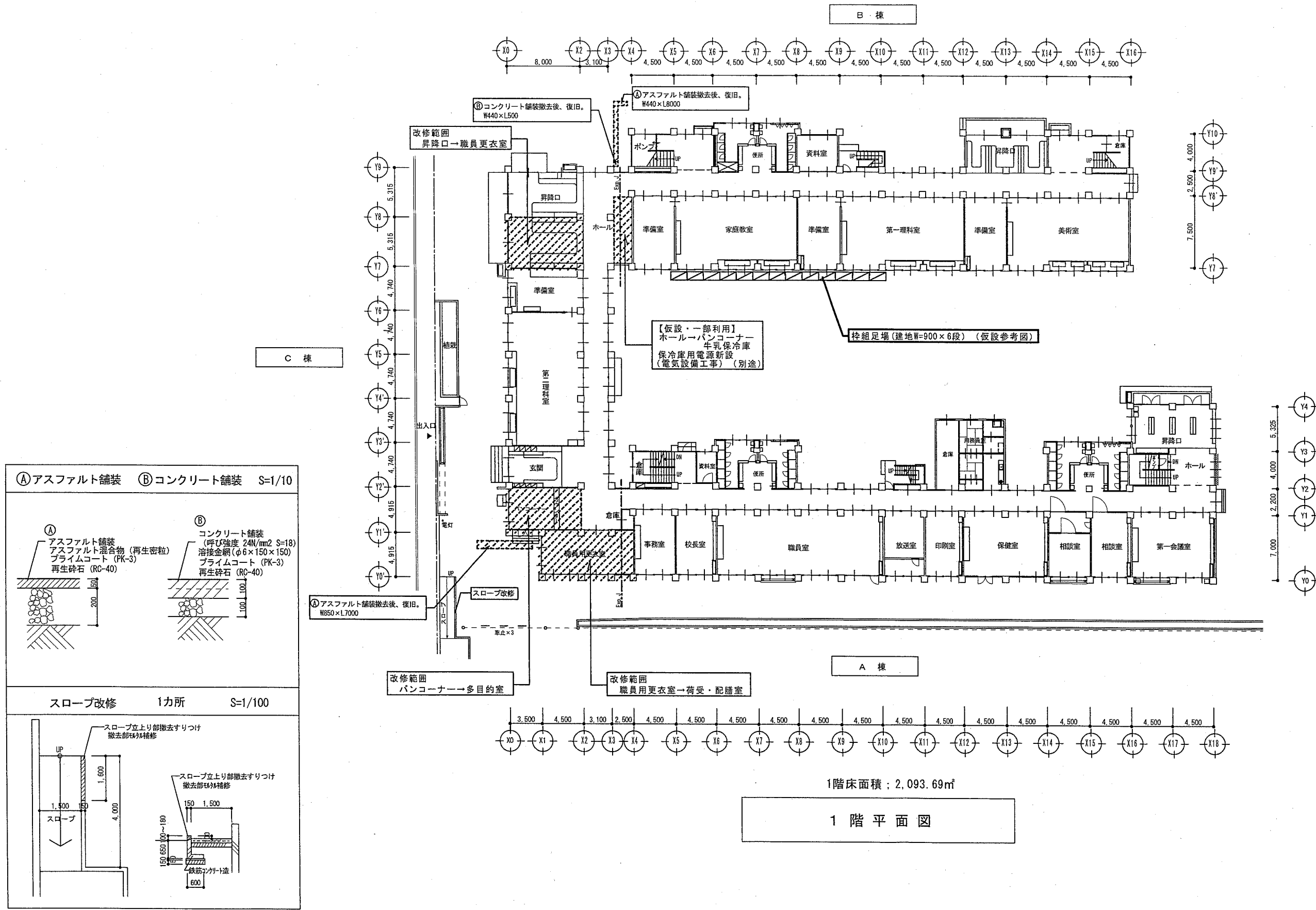
	既存	改修	備考
外壁	コンクリート打ち、複層塗材吹付	サシ撤去部の一部: ALCT=100 塗膜防水材塗 (既存のまま)	
軒裏	7㎡樹脂吹付、一部7㎡ALCT=100	(既存のまま)	
開口部	7㎡製建具 (一部撤去)	一部新設	既存建具種下: 7㎡内7㎡サッシ: 7㎡ (7㎡スト含有成形板) (16㎡)
外中木 (階段・ホーチ)	コンクリート打ち	コンクリート打ち、薄塗	
外構 プラントフォーム		コンクリート金網仕上 (水勾配) 立上: 薄塗	垂れ流し: 50×50×60mm SUS製グレーチング W100 (ノスリップ P10-T-2)
外構 階段・ホーチ	コンクリート造 (カッター入共) (一部撤去)	土間コンクリート金網、立上部: コンクリート造薄塗	
外構 スロープ	コンクリート造 (カッター入共) (一部撤去)	立上一部撤去	

注記

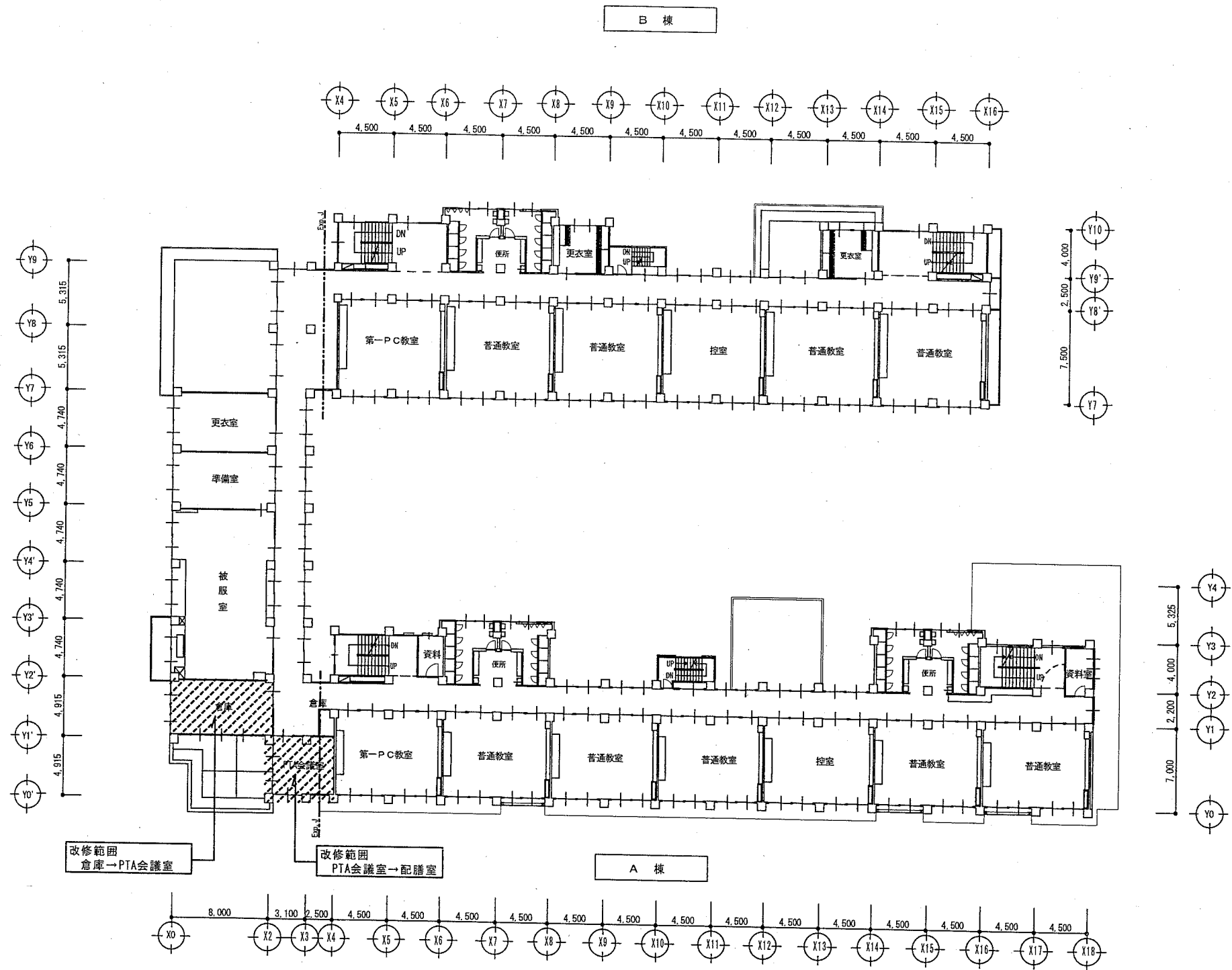
- ・塗膜防水材塗: 建築用塗膜防水材塗 JIS A 6021 (ローラー さざ波模様 シリコン仕上)
- ・下地調整: C-1 (既存塗膜面・新規モルタル面・既存ツル面)
- ・下地調整: C-1 (ALC面)、※下地調整及び下地の乾燥に十分に注意すること。
- ・EP-G: つや合成樹脂エポキシ樹脂塗料
- ・木部・新規: 工程A種 下地調整A種 塗替: 工程B種 下地調整B種
- ・モルタル面・せつこうボード面・鉄鋼面・新規: 工程B種 下地調整B種 塗替: 工程B種 下地調整B種
- ・EP: 合成樹脂エポキシ樹脂塗料
- ・モルタル面・せつこうボード面・新規: 工程B種 下地調整B種 (目透し張り: 縦横目地処理なし) 塗替: 工程B種 下地調整B種
- ・DP: 耐候性塗料塗り 工程B種 下地調整B種 上塗り等級: 1級 (7ヶ所樹根)
- ・荷受室・配膳室・ホーチ: 抗菌、耐動荷重性床シート=2.0
- ・下地調整: 8ヶ所モルタル面
- ・AD-1: 豊和工業株式会社 HAA-100G II-K 同等品以上SUS製フッ素樹脂仕様
- ・移設家具 (既存固定棚等) の移動先については施設管理者と協議の上決定する。
- ・コンクリート: Fc=24N/mm²、捨てコンクリート: 呼び強度=18N/mm²、軽量コンクリート: 1種、呼び強度=21N/mm²
- ・塗膜防水材: ケイ酸系塗布防水 (無機質浸透性防水) JASS8 M-301規格適合品
- ・ALC板: 外壁耐火構造 (平成12年 建設省告示第1399号)

内部仕上表

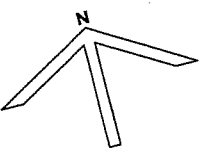
階	室名	床	巾木	壁	天井	高さ	備考
1階	職員用更衣室	モルタル=35下地 (撤去) フローリング=15 (撤去)	木製巾木=24 OP H=100 (撤去)	モルタル金網 EP (既存のまま)	LGS下地 (撤去) 石膏ボード t=9.5 EP (撤去)	2500	撤去: 7㎡製サッシ・軽量鋼製建具 (カッター入共)、木製カテナボックス、カテナレル、木製入口枠、塩ビ廻線、一部撤去: 土間床スラブ (カッター入共)
	荷受室 配膳室	モルタル=48下地 (新設) ビニルシート=2.0 (新設)	ビニル巾木H=300 (新設) 一部モルタル金網 ビニル巾木H=100 (新設)	LGS50・65形下地一部他ノ工法 (新設) ケイ酸カルシウム板t=8の上化粧ケイ酸カルシウム板t=6 (新設) 間仕切壁A・Bの上化粧ケイ酸カルシウム板t=6 (新設)	LGS19形@225 (インサート共) 下地 (新設) 化粧石膏ボード t=9.5 (新設)	2500	新設: 7㎡製サッシ、塩ビ製廻線、7㎡製サッシ、木製カテナボックス、SUS製カテナレル、ライニング、ライニング 甲板 (片面小口化粧) 7㎡製吊カテナレル、ALCT=100外壁、SUS流し (W900×D750×H800 パッカー・ド・排水トラップ付)、天井点検口600角 (7㎡額縁付) 新設昇降路ビニル仕上: 塗膜防水、復旧: 土間床スラブ
	昇降口	モルタル=50 (モルタル=40下地共) (一部撤去)	モルタル金網 EP H=100 (既存のまま)	モルタル金網 EP (既存のまま)	LGS下地 (一部撤去) 石膏ボード t=9.5 EP (一部撤去)	2500 ~2700	撤去: 7㎡製サッシ (カッター入共)、塩ビ廻線、ノスリップ 金物、SUS製モップ 掛け、SUS製排水ビニル蓋、靴置きマット、排水レール 移設: スチール製下足箱
	職員用更衣室 (男子・女子)	軽量コンクリート金網 (一部溶接金網 φ6×100×100) 下地 (新設) ビニルシート=2.0 (マージル) (新設)	間仕切壁B' ビニル巾木H=100 (新設) 既存モルタル面 ビニル巾木 H=100 (新設)	既存モルタル面 EP-G (新設) 間仕切壁B' の上 EP-G (新設) LGS50形下地化粧ケイ酸カルシウム板t=8(喫煙目地) (化粧目地) EP-G (新設)	LGS19形@225 (インサート共) 下地 (新設) 化粧石膏ボード t=9.5 (新設)	2500	新設: 7㎡製サッシ、軽量鋼製建具、塩ビ製廻線、木製カテナボックス、SUS製カテナレル、ALCT=100外壁、排水溝ふさぎ (外部): 塩ビ製排水用キャップ φ50
2階	PTA会議室	モルタル=28下地 (既存のまま) 塩ビシート (仕上撤去)	木製巾木=24 OP H=100 (撤去)	モルタル金網 EP (既存のまま)	LGS下地 (撤去) 石膏ボード t=9.5 EP (撤去)	2500	撤去: 7㎡製サッシ (カッター入共)、ノスリップ 金物、木製カテナボックス、カテナレル、木製カテナ
	配膳室	既存モルタル面下地調整の上 ビニルシート=2.0 (新設)	ビニル巾木H=260~300 (新設) 一部モルタル金網 ビニル巾木H=40~100 (新設)	LGS50・65形下地一部他ノ工法 (新設) ケイ酸カルシウム板t=8の上化粧ケイ酸カルシウム板t=6 (新設) 間仕切壁A・Bの上化粧ケイ酸カルシウム板t=6 (新設)	LGS19形@225 (インサート共) 下地 (新設) 化粧石膏ボード t=9.5 (新設)	2500	新設: 7㎡製サッシ、軽量鋼製建具、木製廻線、塩ビ製廻線、7㎡製サッシ、木製カテナボックス、SUS製カテナレル (シングル)、ライニング、ライニング 甲板 (片面小口化粧)、ALCT=100外壁、SUS流し (W900×D750×H800 パッカー・ド・排水トラップ付)、天井点検口450角 (7㎡額縁付) 復旧: 土間床スラブ
	倉庫	モルタル=28下地 (既存のまま) 塩ビシート (仕上撤去) 木下地 フラン合板t=15 フローリング t=15 (下地共撤去)	木製巾木=24 OP H=100 (撤去) モルタル金網 EP H=100 (既存のまま)	モルタル金網 EP (既存のまま)	LGS下地 (撤去) 石膏ボード t=9.5 EP (撤去)	2500	撤去: 木製流し台、木製櫃
	PTA会議室	既存モルタル面下地調整の上 ビニルシート=2.0 (マージル) (新設) モルタル=28下地 ビニルシート=2.0 (マージル) (新設)	モルタル金網 ビニル巾木 H=100 (新設) 既存モルタル面 ビニル巾木 H=100 (新設)	既存モルタル面 EP-G (新設) 巾木撤去部: モルタル金網の上 EP-G (新設)	LGS19形@225 (インサート共) 下地 (新設) 化粧石膏ボード t=9.5 (新設)	2500	新設: 塩ビ製廻線、PS穴ふさぎ7㎡プレート、天井点検口450角 (7㎡額縁付) ・既存木製カテナボックス: EP-G、既存カテナレル: 取外し・再取付
3階	生徒会室	モルタル=28下地 (既存のまま) 塩ビシート (仕上撤去)	木製巾木=24 OP H=100 (撤去)	モルタル金網 EP (既存のまま)	LGS下地 (撤去) 石膏ボード t=9.5 EP (撤去)	2500	撤去: 7㎡製サッシ・軽量鋼製建具 (カッター入共)、木製カテナボックス、カテナレル、SUS製手摺 φ38 一部撤去: 床スラブ (カッター入共)
	配膳室	既存モルタル面下地調整の上 ビニルシート=2.0 (新設)	ビニル巾木H=260~300 (新設) 一部モルタル金網 ビニル巾木H=40~100 (新設)	LGS50・65形下地一部他ノ工法 (新設) ケイ酸カルシウム板t=8の上化粧ケイ酸カルシウム板t=6 (新設) 間仕切壁A・Bの上化粧ケイ酸カルシウム板t=6 (新設)	LGS19形@225 (インサート共) 下地 (新設) 化粧石膏ボード t=9.5 (新設)	2500	新設: 7㎡製サッシ、軽量鋼製建具、木製廻線、塩ビ製廻線、7㎡製サッシ、木製カテナボックス、SUS製カテナレル (シングル)、ライニング、下り壁塩ビ見切線 ライニング 甲板 (片面小口化粧)、ALCT=100外壁、SUS流し (W900×D750×H800 パッカー・ド・排水トラップ付)、天井点検口450角 (7㎡額縁付) 復旧: 床スラブ
	倉庫	モルタル=28下地 (既存のまま) 塩ビシート (仕上撤去) 木下地 フラン合板t=15 フローリング t=15 (下地共撤去)	木製巾木=24 OP H=100 (撤去) モルタル金網 EP H=100 (一部撤去)	モルタル金網 EP (既存のまま) Y2' 通り側 モルタル金網 EP-G (撤去)	LGS下地 (撤去) 石膏ボード t=9.5 EP (撤去)	2500	撤去: 木製流し台、木製カテナボックス・カテナレル、木製櫃
	生徒会室	既存モルタル面下地調整の上 ビニルシート=2.0 (マージル) (新設) モルタル=28下地 ビニルシート=2.0 (マージル) (新設)	モルタル金網 ビニル巾木 H=100 (新設) 既存モルタル面 ビニル巾木 H=100 (新設)	既存モルタル面 EP-G (新設) Y2' 通り側 モルタル金網の上 EP-G (新設)	LGS19形@225 (インサート共) 下地 (新設) 化粧石膏ボード t=9.5 (新設)	2500	新設: 塩ビ製廻線、PS穴ふさぎ7㎡プレート、天井点検口450角 (7㎡額縁付) ・既存木製カテナボックス: EP-G、既存カテナレル: 取外し・再取付
1階	ホール	モルタル=28下地 (既存のまま) 塩ビシート=2.5 (コシタイプ) (一部カッター入れの上撤去)	モルタル金網 VP H=100 (既存のまま)	モルタル金網 EP (既存のまま)	LGS下地 (一部撤去) 石膏ボード t=9.5 EP (一部撤去)	2500	一部撤去: 塩ビ製廻線
	ホール	既存モルタル面下地調整の上 ビニルシート=2.5 (コシタイプ) (新設)	モルタル金網 VP H=100 (既存のまま) 間仕切壁B' ビニル巾木H=100 (新設)	間仕切壁B' の上 EP-G (一部新設)	LGS19形@300 (インサート共) 下地 (一部新設) 石膏ボード t=9.5 目透し張りEP (一部新設)	2500	一部新設: 塩ビ製廻線
各階	廊下	モルタル=28下地 (一部カッター入れの上撤去) 塩ビシート=2.5 (コシタイプ) (一部カッター入れの上撤去)	モルタル金網 VP H=100 (一部カッター入れの上撤去)	モルタル金網 EP (一部カッター入れの上撤去)	LGS下地 (一部撤去) 石膏ボード t=9.5 EP (一部撤去)	2500	一部撤去: 塩ビ製廻線
	廊下	モルタル=28下地 (一部新設) ビニルシート=2.5 (コシタイプ) (新設)	一部モルタル補修の上 EP-G (一部新設) 間仕切壁B' ビニル巾木H=100 (新設)	一部モルタル補修の上 EP-G (一部新設) 間仕切壁B' の上 EP-G (一部新設)	LGS19形@300 (インサート共) 下地 (一部新設) 石膏ボード t=9.5 目透し張りEP (一部新設)	2500	新設: 天井点検口450角 (7㎡額縁付) 一部新設: 塩ビ製廻線



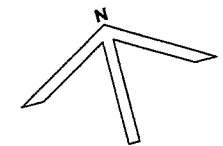
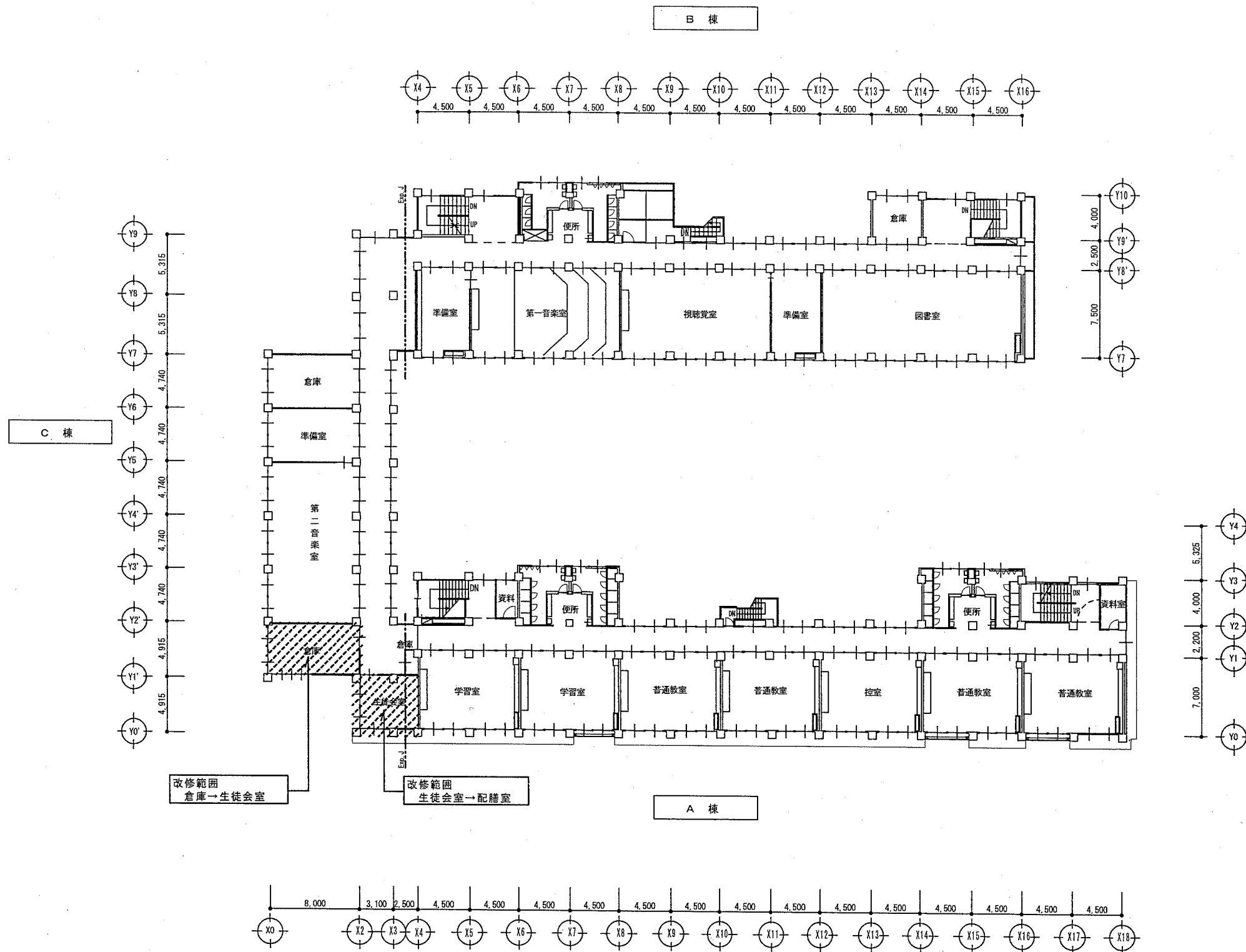
公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	設計名称 市立田原中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事 (池上中学校)	図面名称 1階平面図・舗装改修図・スロープ改修図	A-25
			設計年月日 平成 31年 2月	縮尺 1 : 10, 100, 300		



2階平面図

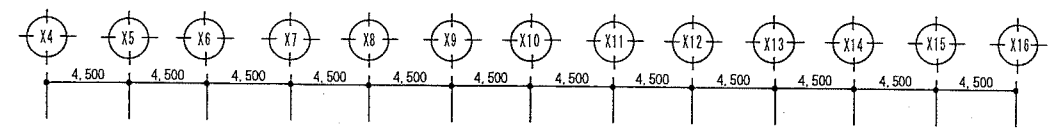


公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	設計年月日 平成 31年 2月	設計名称 市立田浦中学校区1校昇降機設置その他建築工事 (池上中学校)	図面名称 2階平面図	縮尺 1 : 300	A-26
--------	-----	-----	----------------	-----------------	---	---------------	------------	------

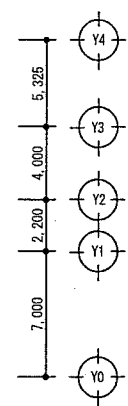
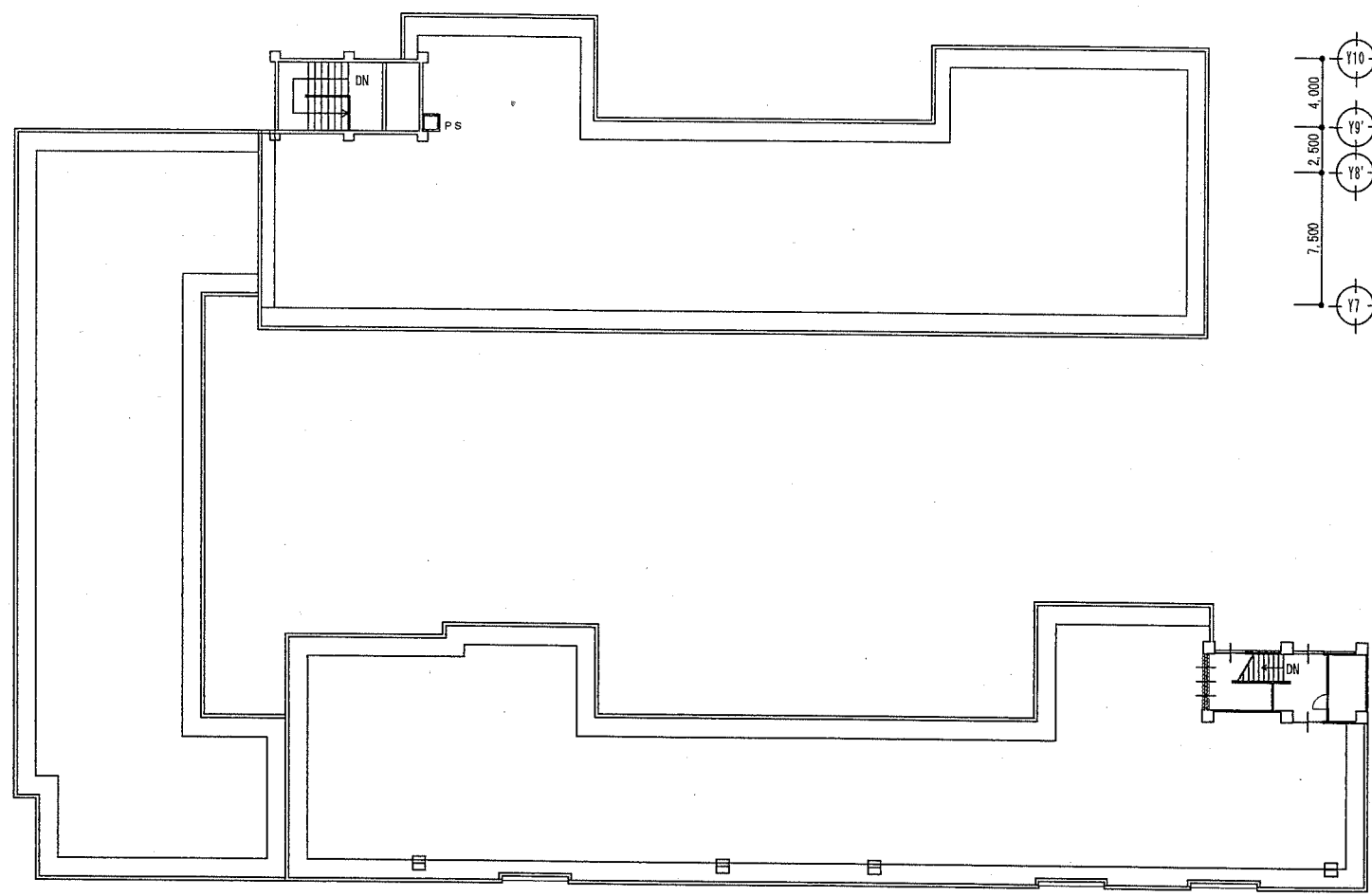
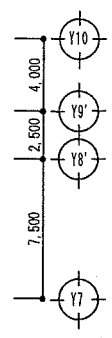
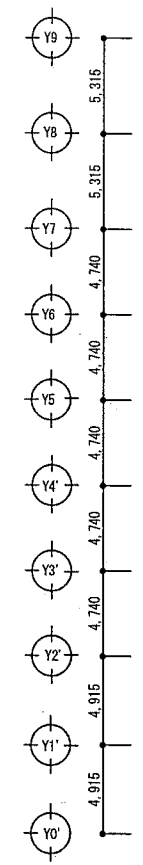


公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	設計名称 市立田原中学校ほか1校再建校舎建築工事 (池上中学校)	図面名称 3階平面図	縮尺 1 : 300	A-2.7
設計年月日 平成 31年 2月				図面番号			

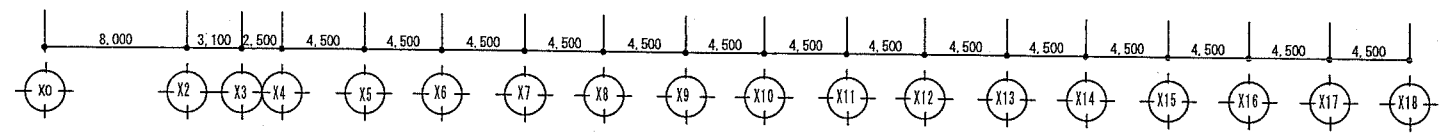
B 棟



C 棟

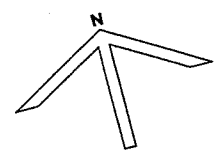


A 棟



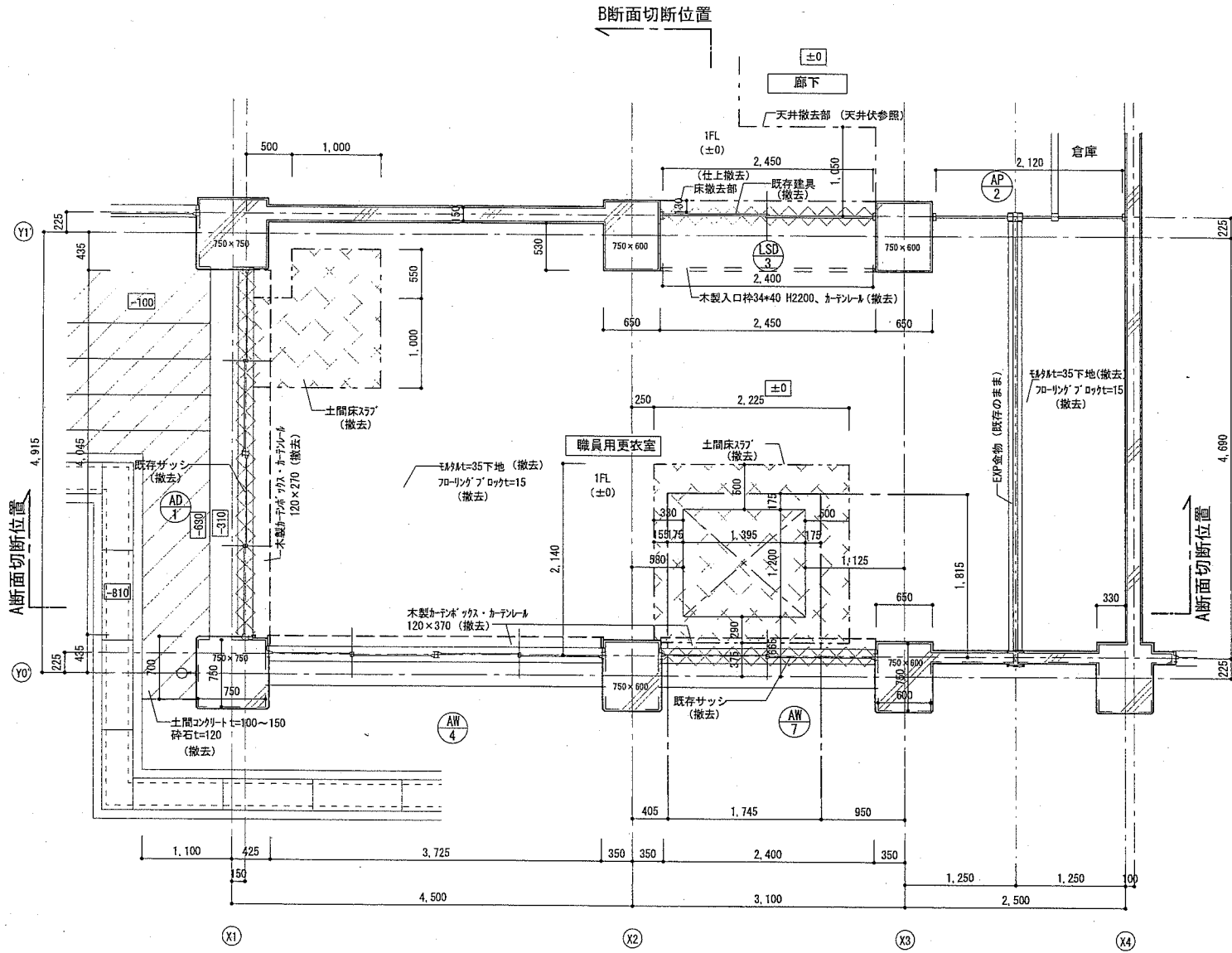
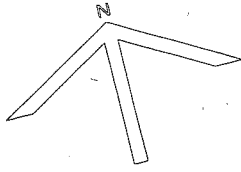
屋階床面積 ; 65.26㎡

屋階平面図

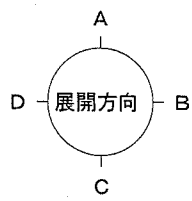


公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	設計名称 市立田浦中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事 (池上中学校)	図面名称 屋階平面図	縮尺 1 : 300	A - 28
			設計年月日 平成 31年 2月	PROJECT NUMBER	DRAWING NUMBER	SCALE	NO.

改修前



B断面切断位置

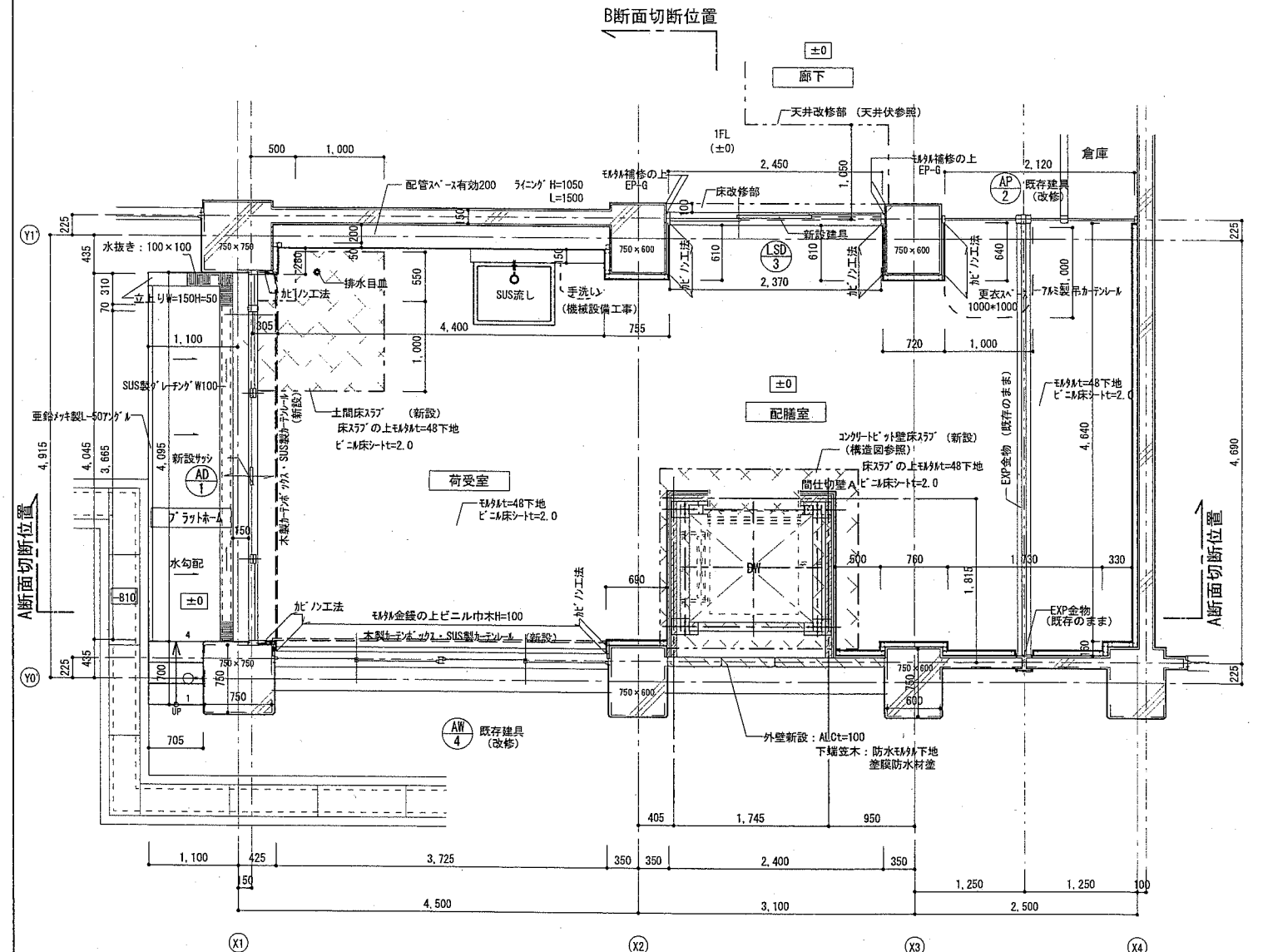
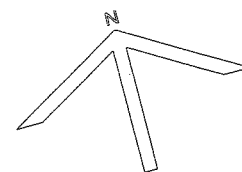


1階平面詳細図 (改修前・職員用更衣室)

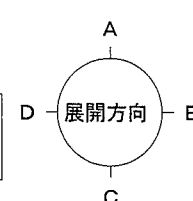
廊下		職員用更衣室	
床	モルタル=28下地 (一部入れの上撤去) 塩化ビニル=50(100) (一部入れの上撤去)	床	モルタル=35下地 (撤去) 70-リング'ア'ロケット=15 (撤去)
巾木	モルタル金網 EP H=100 (一部撤去)	巾木	木製巾木t=24 OP H=100 (撤去)
壁	モルタル金網 EP (一部撤去)	壁	モルタル金網 EP (既存のまま)
天井	LGS下地 (撤去) 石膏ボードt=9.5 EP (一部撤去)	天井	LGS下地 (撤去) 石膏ボードt=9.5 EP (撤去)

既存土間床スラブ: 土間コンクリート=120
鉄筋: D10@300x300
砕石t=120

改修後



B断面切断位置



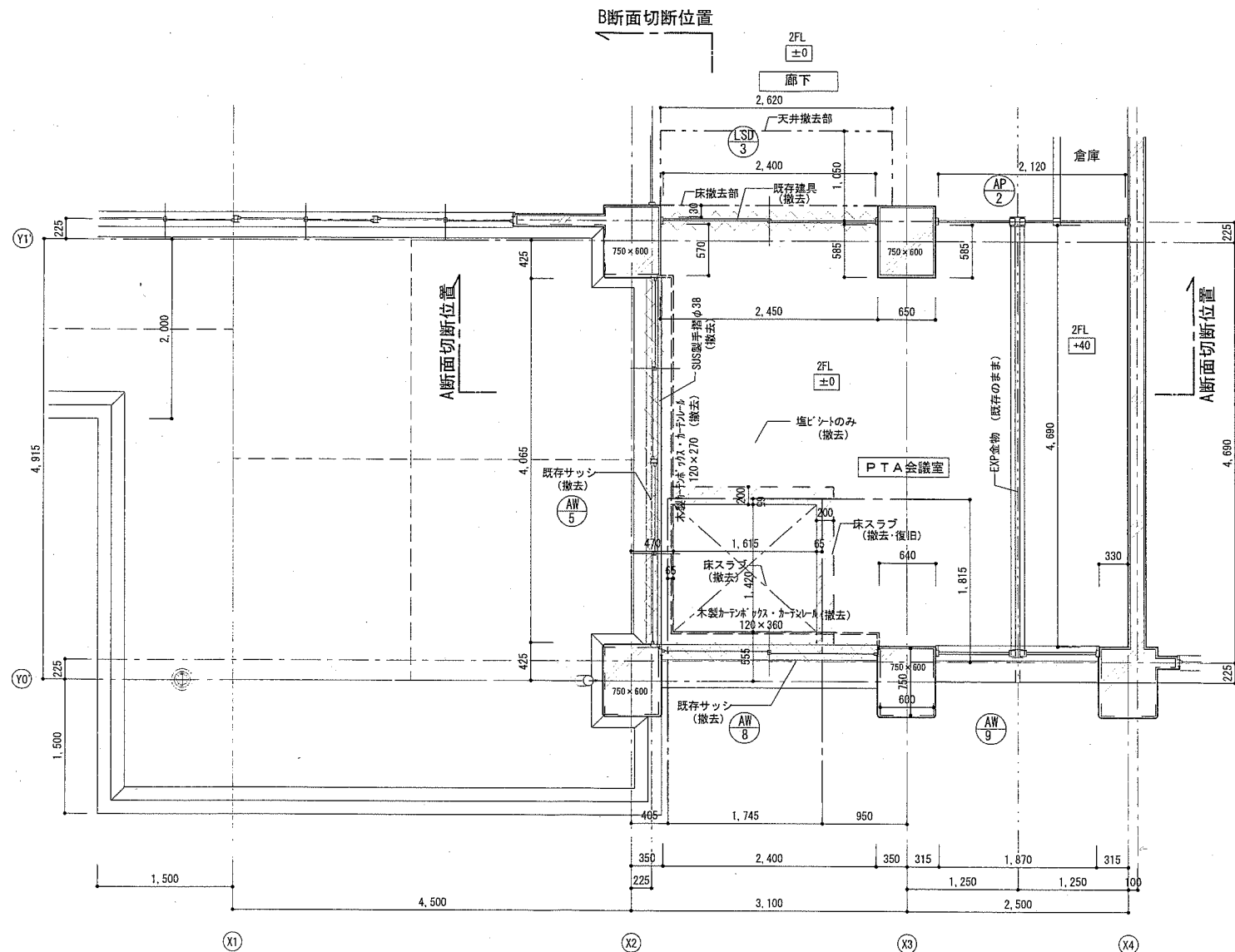
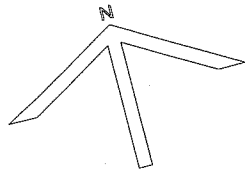
1階平面詳細図 (改修後・荷受配膳室)

土間床スラブ 復旧 (構造図参照)
土間コンクリート=120 (F_c=24N/mm²)
(鉄筋D10 シット M#300)
防湿シート (ネリシット) t=0.15
RC40 t=120

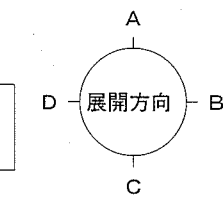
ふかし壁: 表記以外LGS50形とする。

廊下		荷受室・配膳室	
床	モルタル=28下地 (一部新設) 塩化ビニル=2.5 (30/100) (一部新設)	床	モルタル=48下地 (新設) ビニル床シート=2.0 (新設)
巾木	一部モルタル補修の上 EP-G H=100 (一部新設) LGS50-65下地一部撤去ノ工法 (新設)	巾木	一部モルタル補修の上 EP-G H=100 (新設) 一部モルタル補修の上 EP-G H=100 (新設)
壁	一部モルタル補修の上 EP-G (一部新設) 間仕切壁B'の上 EP-G (一部新設)	壁	外壁新設: ALU t=100 下層窓木: 防水モルタル下地 塗膜防水材塗 (新設) 間仕切壁A-Bの上化樹脂樹脂t=6 (新設)
天井	LGS19形@200(100x100)下地 (一部新設) 石膏ボードt=9.5目透し EP (一部新設)	天井	LGS19形@225(100x100)下地 (新設) 化粧石膏ボードt=9.5 (新設)

改修前



B断面切断位置

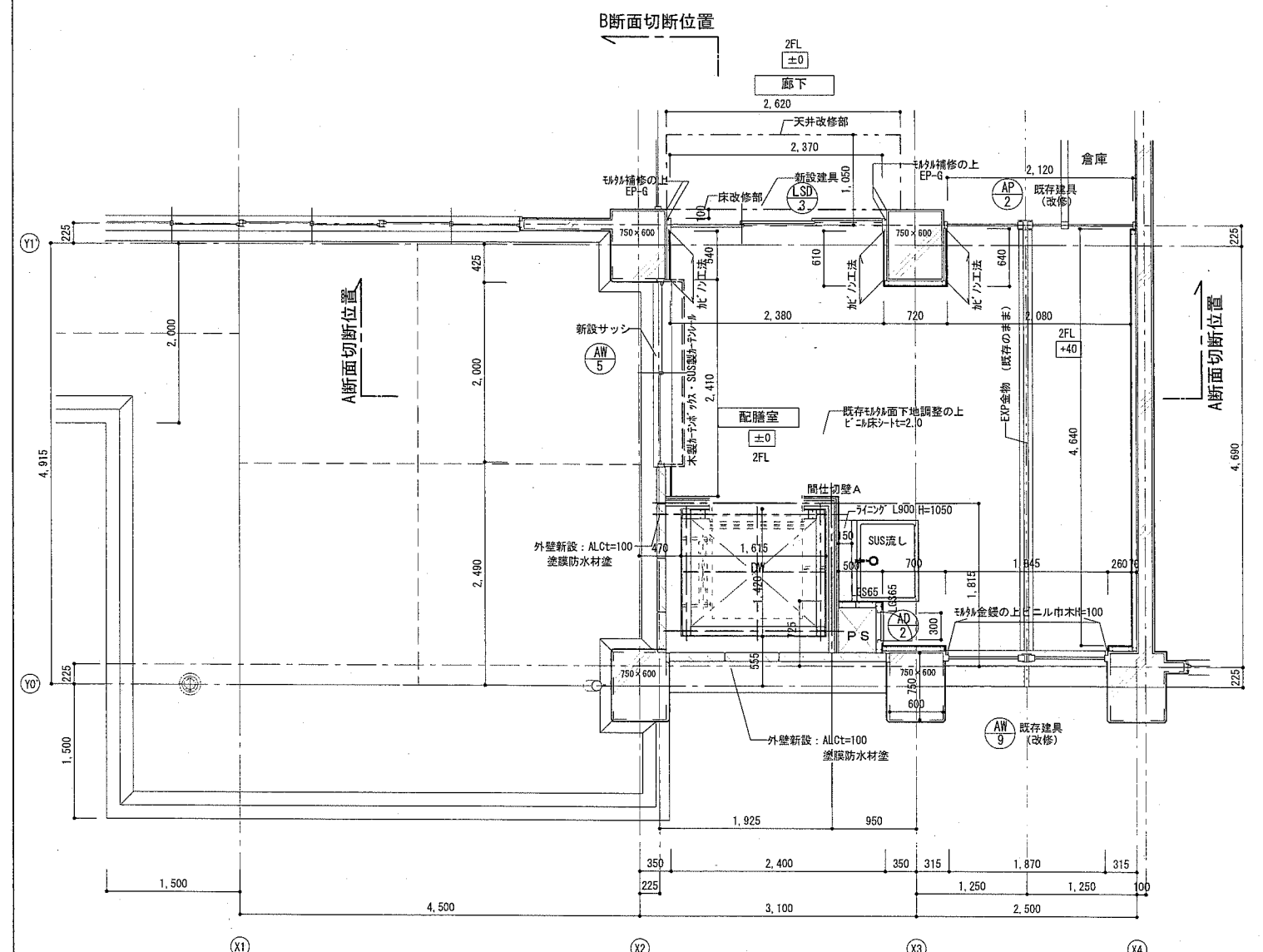
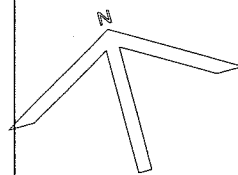


2階平面詳細図 (改修前・PTA会議室)

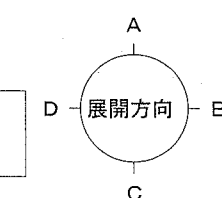
- 凡例
- 床スラブ (撤去・復旧)
 - 撤去: 床スラブ厚=150, 鉄筋t=28
 - 鉄筋上下筋: D13, D10@200等
 - 復旧: 無収縮モルタル=150, 鉄筋t=28
 - 新設鉄筋上下D13

廊下		PTA会議室	
床	モルタル=28下地 (一部入れ上り撤去)	床	モルタル=28下地 (既存のまま)
巾木	塩ビシート (一部入れ上り撤去)	巾木	塩ビシート (撤去)
壁	モルタル金網 EP H=100 (一部撤去)	壁	モルタル金網 EP (既存のまま)
天井	LGS下地 (一部撤去)	天井	LGS下地 (撤去)
	石膏ボード=9.5 EP (一部撤去)		石膏ボード=9.5 EP (撤去)

改修後



B断面切断位置



2階平面詳細図 (改修後・配膳室)

ふかし壁: 表記以外LGS50形とする。

廊下		配膳室	
床	モルタル=28下地 (一部新設)	床	既存モルタル面下地調整の上
巾木	塩ビシート=2.5 (一部新設)	巾木	モルタル=300
壁	一部モルタル補修の上 EP-G H=100 (一部新設)	壁	モルタル金網の上ビニル巾木H=100 (新設)
天井	LGS19形@225 (インサート共) 下地 (新設)	天井	LGS19形@225 (インサート共) 下地 (新設)
	石膏ボード=9.5目差し EP (一部新設)		化粧石膏ボード=9.5 (新設)

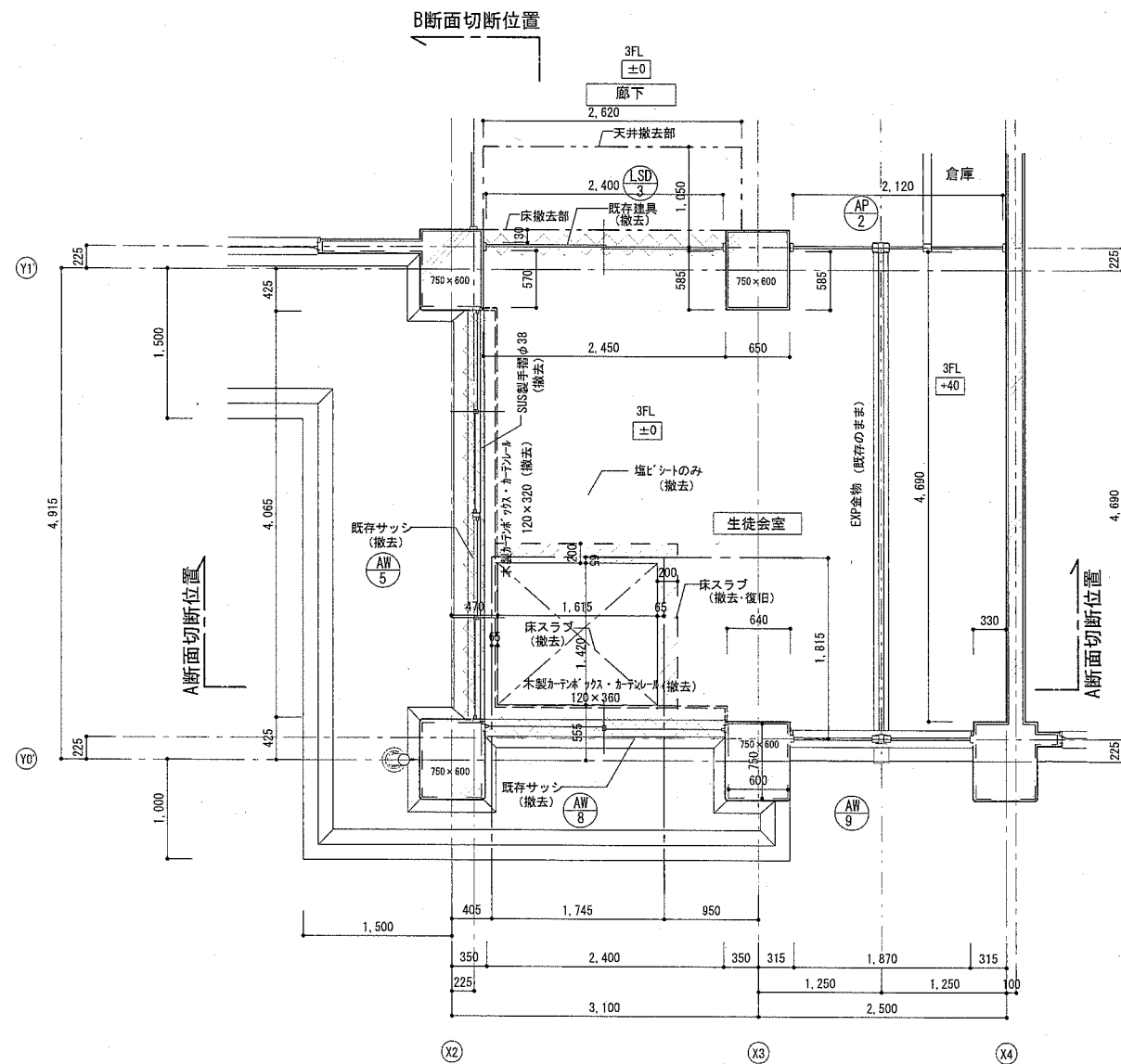
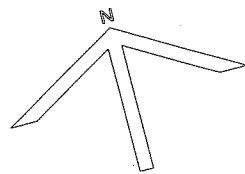
公共建築課長	主査等	担当者
--------	-----	-----

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成 31年 2月

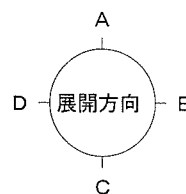
設計名称
市立田沼中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事
(池上中学校)

図面名称
配膳室 2階平面詳細図 (改修前・改修後)
縮尺 1:50

改修前



3階平面図 (改修前・生徒会室)

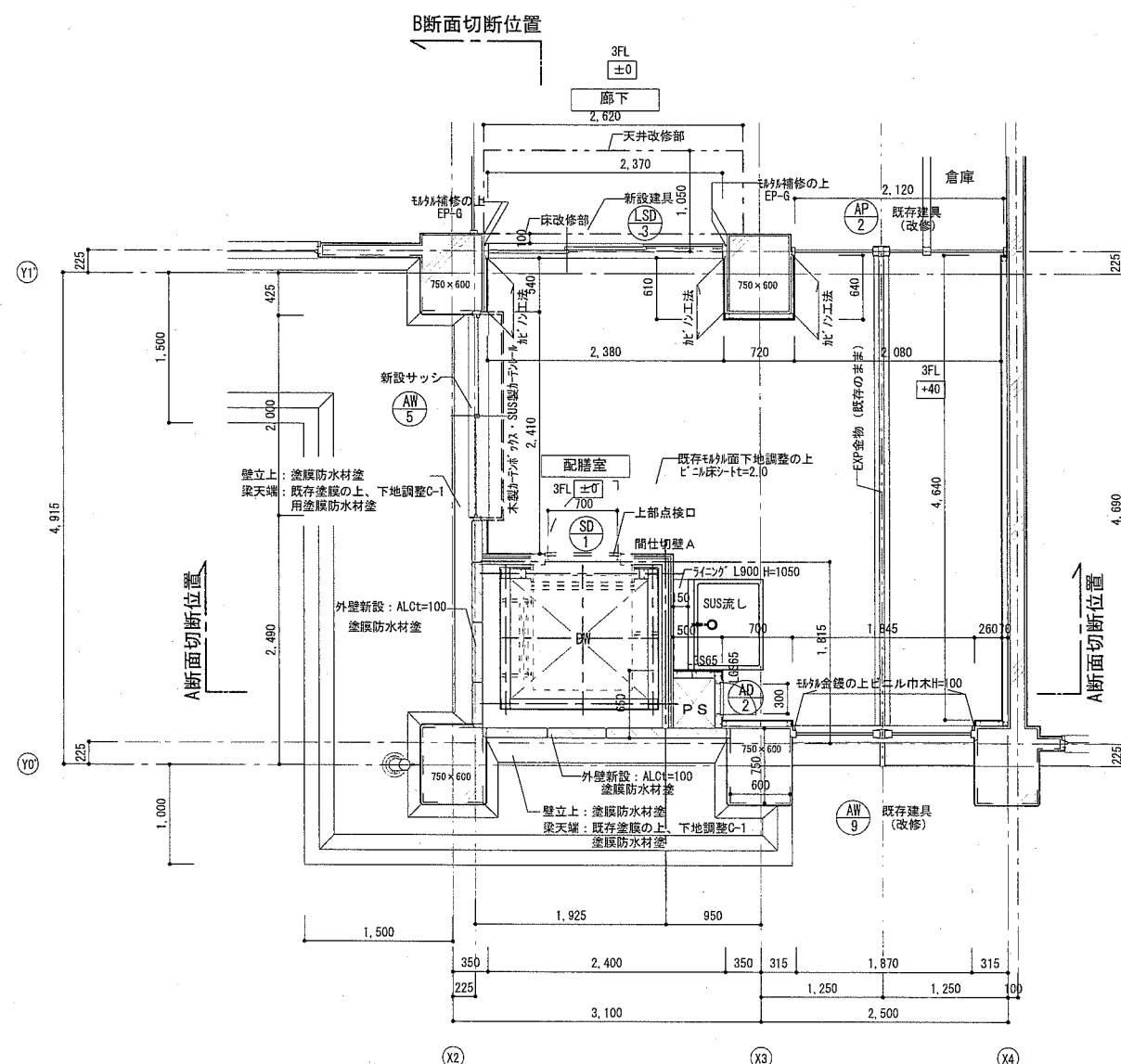
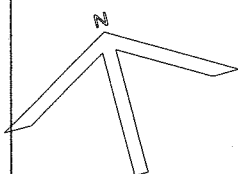


凡例

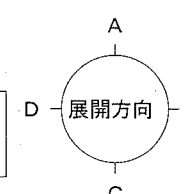
- 床スラブ (撤去・復旧)
- 撤去: 床スラブ t=150, 鉄筋 t=28
- 鉄筋上下筋: D13, D10@200#3
- 復旧: 無収縮鉄筋 t=150, 鉄筋 t=28
- 新設鉄筋上下D13

廊下		PTA会議室	
床	モルタル=28下地 (一部撤去・入れの上撤去) 塩ビシート=2.5G(1/7) (一部撤去・入れの上撤去)	床	モルタル=28下地 (既存のまま) 塩ビシート (撤去)
巾木	モルタル金線 EP H=100 (一部撤去)	巾木	木製巾木=24 OP H=100 (撤去)
壁	モルタル金線 EP (一部撤去)	壁	モルタル金線 EP (既存のまま)
天井	LGS下地 (一部撤去) 石膏ボード t=9.5 EP (一部撤去)	天井	LGS下地 (撤去) 石膏ボード t=9.5 EP (撤去)

改修後



3階平面図 (改修後・配膳室)



ふかし壁: 表記以外LGS50形とする。

廊下		配膳室	
床	モルタル=28下地 (一部新設) 塩ビシート=2.5 (撤去) 塩ビシート=2.0 (一部新設)	床	既存モルタル下地調整の上 ビニル床シート=2.0 (新設)
巾木	一部モルタル補修の上 EP-G H=100 (一部新設)	巾木	木製巾木=300 (新設) モルタル金線の上ビニル巾木=100 (新設)
壁	一部モルタル補修の上 EP-G (一部新設) 間仕切壁B'の上 EP-G (一部新設)	壁	LGS50-65下地+部材/工法 (新設) 外壁がけ板=8の上化粧板がけ板=6 (新設) 間仕切壁A-8の上化粧板がけ板=6 (新設)
天井	LGS19形@225(インポート)下地 (一部新設) 石膏ボード t=9.5目返し EP (一部新設)	天井	LGS19形@225(インポート)下地 (新設) 化粧石膏ボード t=9.5 (新設)

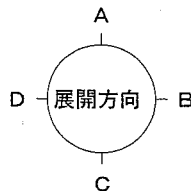
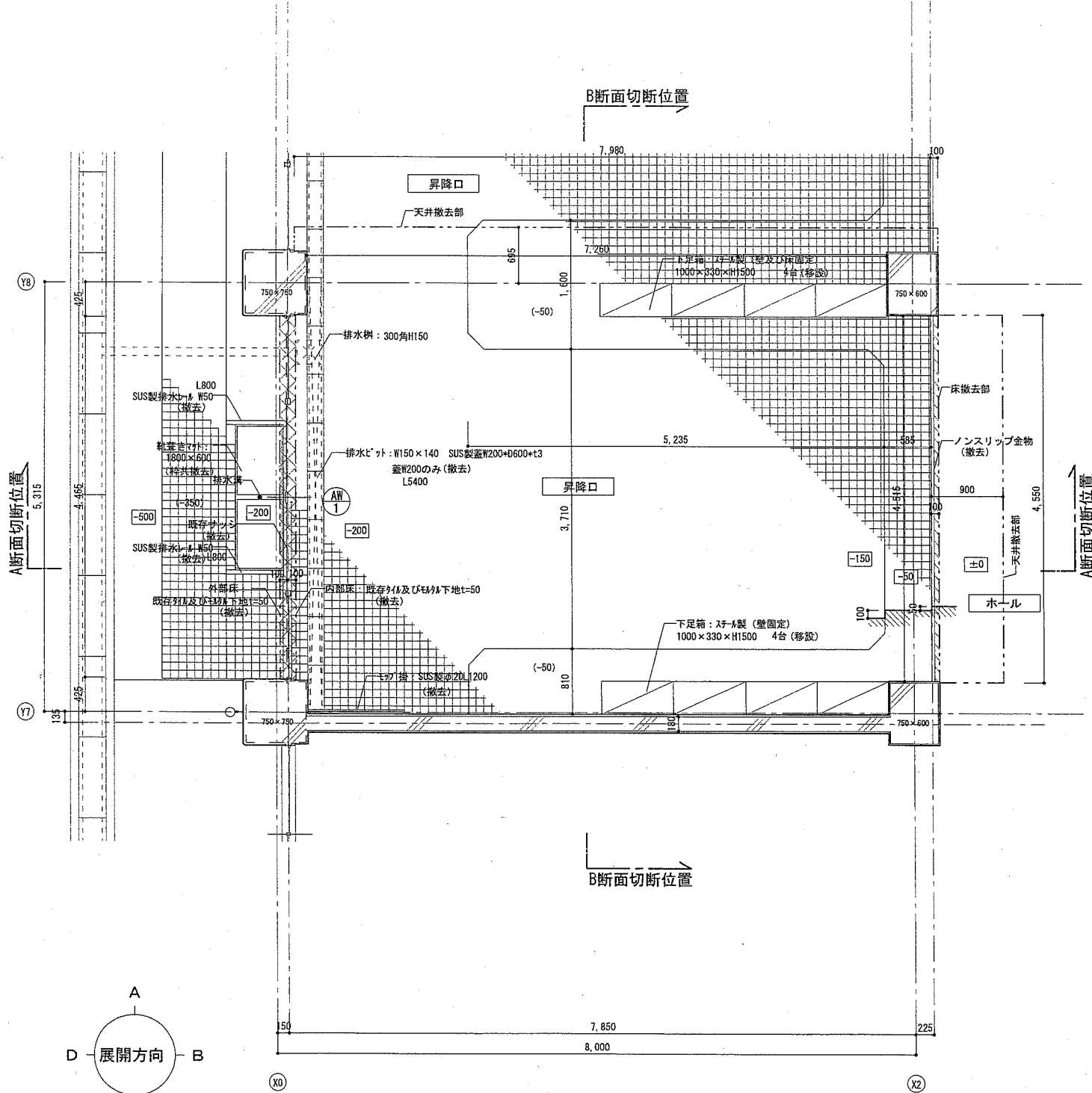
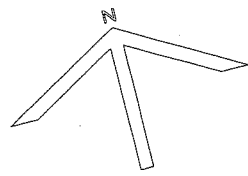
公共建築課長 主査等 担当者

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成 31年 2月

設計名称
市立甲浦中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事
(池上中学校)

図面名称
配膳室 3階平面詳細図(改修前・改修後)
縮尺 1:50

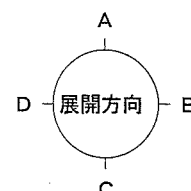
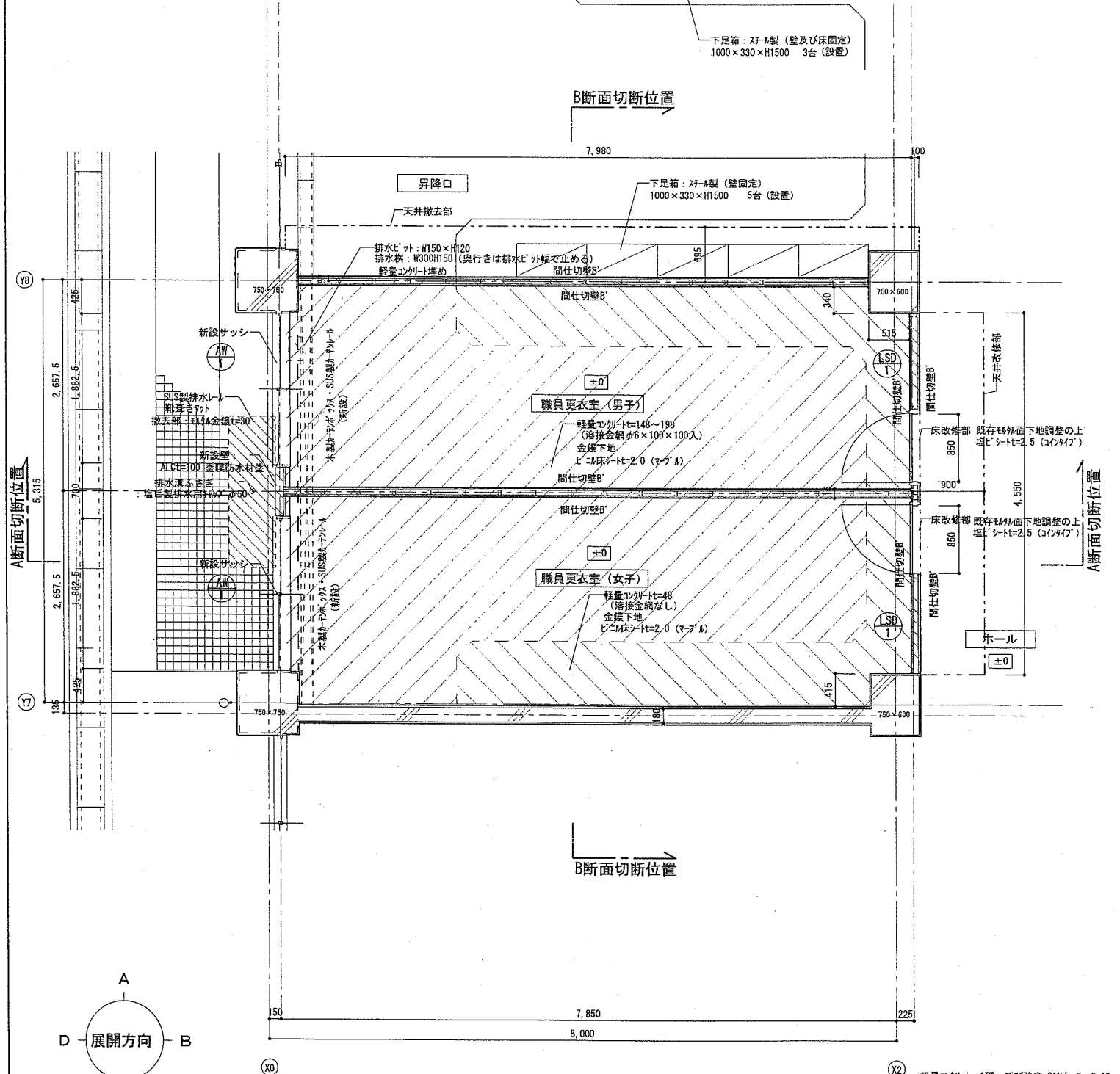
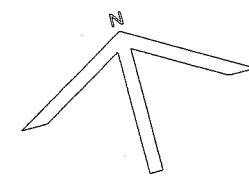
改修前



1階平面詳細図(改修前・昇降口)

昇降口		天井	
床	既存下地 4/16貼り (一部撤去)	床	塩ビシート=2.5 (コウキア) (一部撤去)
巾木	既存金縁 EP H=100 (既存のまま)	巾木	既存金縁 EP H=100 (既存のまま)
壁	既存金縁 EP (既存のまま)	壁	既存金縁 EP (既存のまま)
天井	LGS下地 (一部撤去) 石膏ボード=9.5 EP (一部撤去)	天井	LGS下地 (一部撤去) 石膏ボード=9.5 EP (一部撤去)

改修後

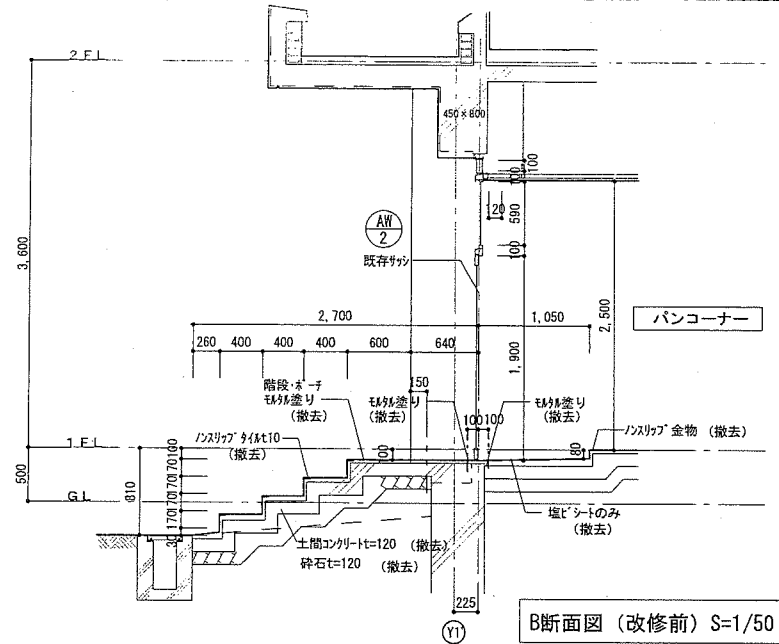


1階平面詳細図(改修後・職員更衣室)

昇降口		天井		職員用更衣室(男子・女子)	
床	既存下地 4/16貼り (既存のまま)	床	既存下地調整の上 塩ビシート=2.5 (コウキア) (一部新設)	床	軽量コンクリート金縁下地 (新設)
巾木	既存金縁 EP H=100 (既存のまま) 薄塗金縁 EP-G (一部新設) 間仕切壁B' 巾木H=100 (新設)	巾木	既存金縁 EP H=100 (既存のまま) 間仕切壁B' 巾木H=100 (新設)	巾木	間仕切壁B' 巾木H=100 (新設)
壁	既存金縁 EP (既存のまま) 間仕切壁B'の上 EP-G (一部新設)	壁	間仕切壁B'の上 EP-G (一部新設) 間仕切壁B'の上 EP-G (新設) 化粧石膏ボード=9.5 (化粧目地) EP-G (新設)	壁	既存下地調整の上 EP-G (新設) 化粧石膏ボード=9.5 (化粧目地) EP-G (新設)
天井	LGS19形@300(イオ付)下地(一部新設) 石膏ボード=9.5目直し EP (一部新設)	天井	LGS19形@300(イオ付)下地(一部新設) 石膏ボード=9.5目直し EP (一部新設)	天井	LGS19形@225(イオ付)下地 (新設) 化粧石膏ボード=9.5 (新設)

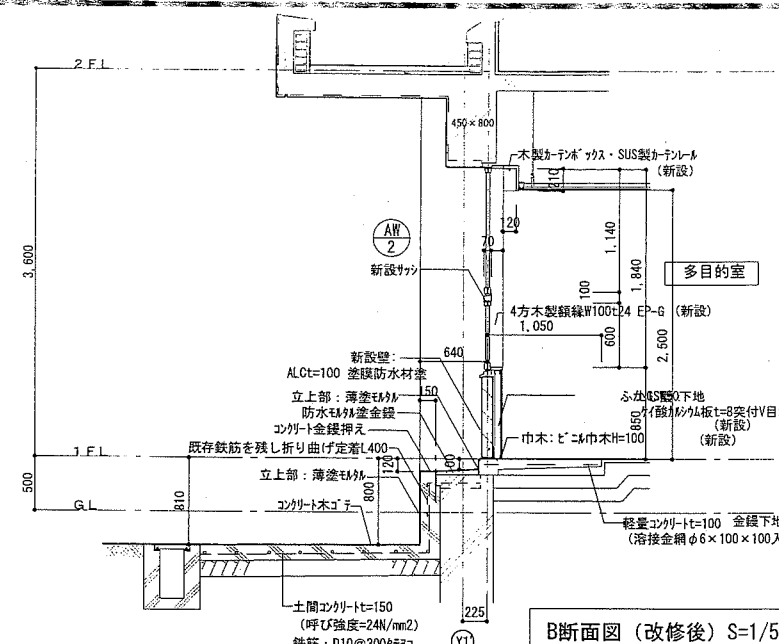
◎ 軽量コンクリート: 1種、呼び強度=21N/mm² S=18

改修前

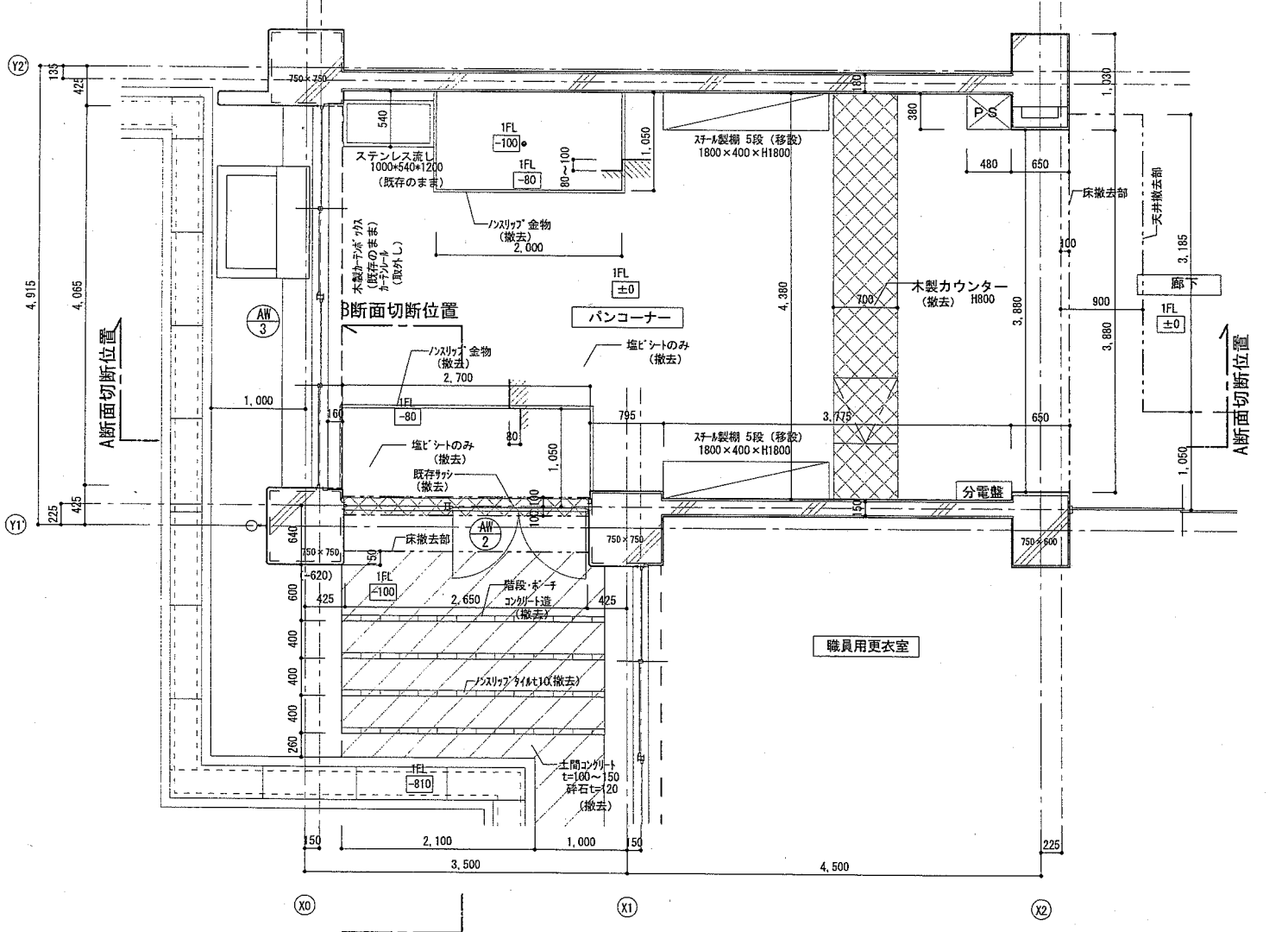


B断面図 (改修前) S=1/50

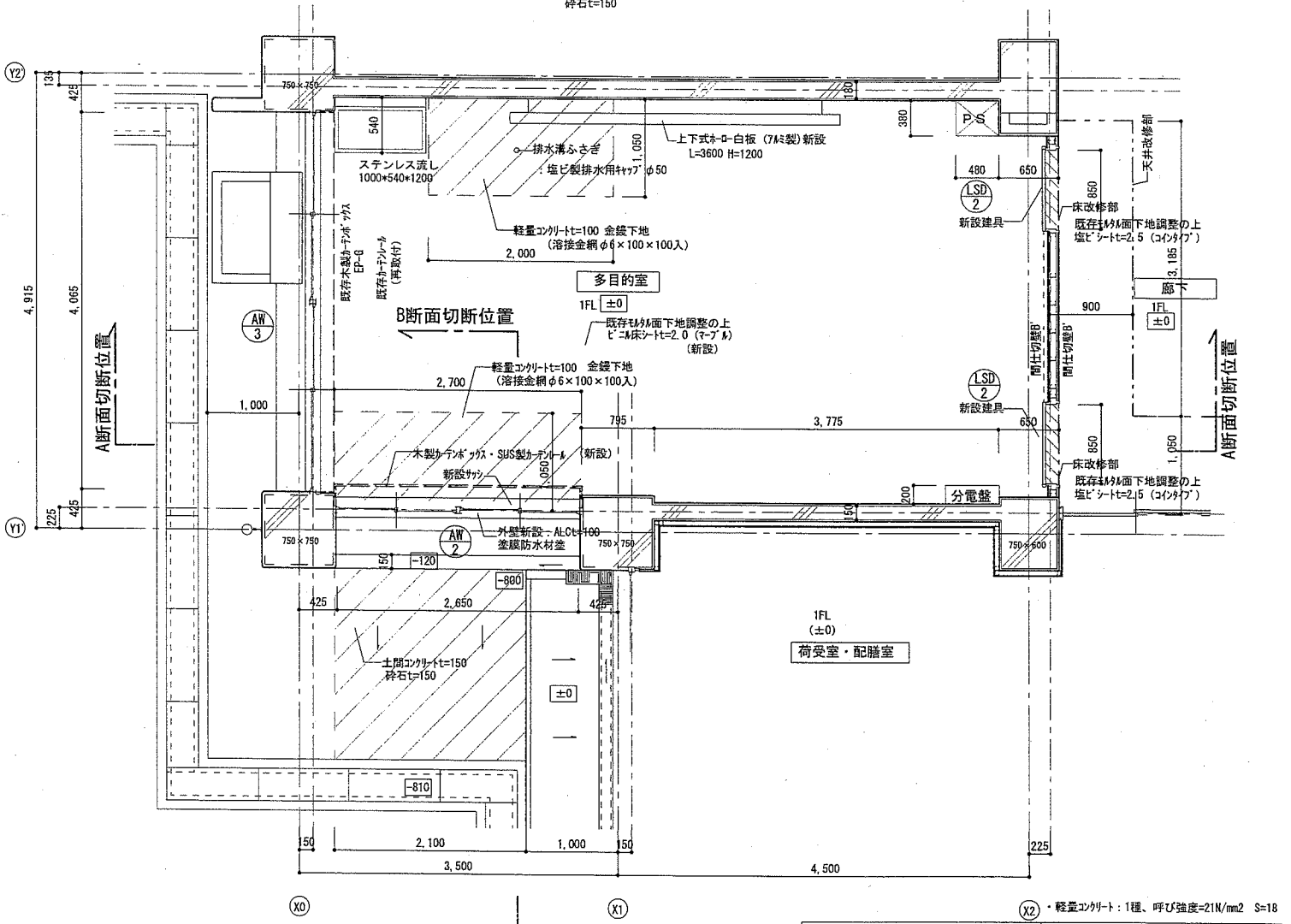
改修後



B断面図 (改修後) S=1/50



1階平面図 (改修前・バンコーナー)

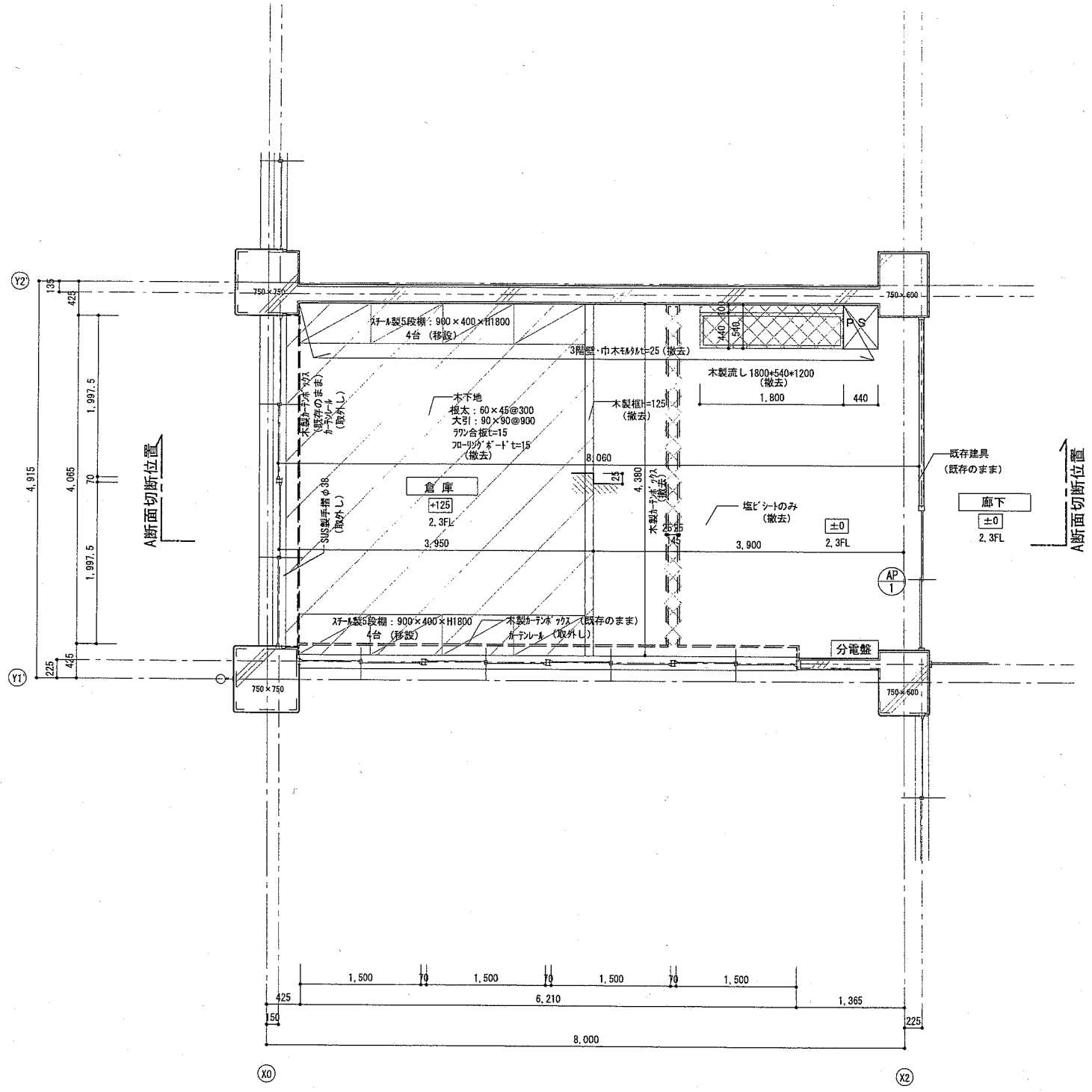
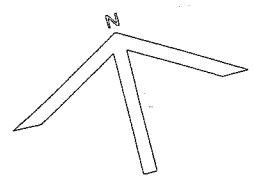


1階平面図 (改修後・多目的室)

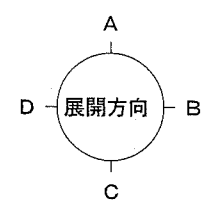
廊下	バンコーナー
床 塩ビシート=2.5 (コイタワ) (一部がけ入れの上撤去)	床 MM=28下地 (既存のまま) 塩ビシート (仕上撤去)
巾木 MM金縁 EP H=100 (既存のまま)	巾木 MM金縁 EP H=100 (既存のまま)
壁 MM金縁 EP (既存のまま)	壁 MM金縁 EP (既存のまま)
天井 LGS下地 (一部撤去) 石膏板-t=9.5 EP (一部撤去)	天井 LGS下地 (撤去) 石膏板-t=9.5 EP (撤去)

廊下	多目的室
床 既存MM面下地調整の上 塩ビシート=2.5 (コイタワ) (一部新設)	床 既存MM面下地調整 一部軽量コンクリート金縁下地 塩ビシート=2.0 (マアム) (新設)
巾木 MM金縁 EP H=100 (既存のまま) 間仕切壁B ^上 ビニル巾木H=100 (新設)	巾木 ビニル巾木H=100 (新設) 間仕切壁B ^上 ビニル巾木H=100 (新設)
壁 MM金縁 EP (既存のまま) 間仕切壁B ^上 EP-G (一部新設)	壁 既存MM面 EP-G (新設) 間仕切壁B ^上 EP-G (新設) ケレン加工板=8突付目地 (化粧観目地) EP-G (新設)
天井 LGS19形@300 (Y+1共)下地 (一部新設) 石膏板-t=9.5 EP (一部新設)	天井 LGS19形@225 (Y+1共)下地 (新設) 化粧石膏板-t=9.5 (新設)

改修前

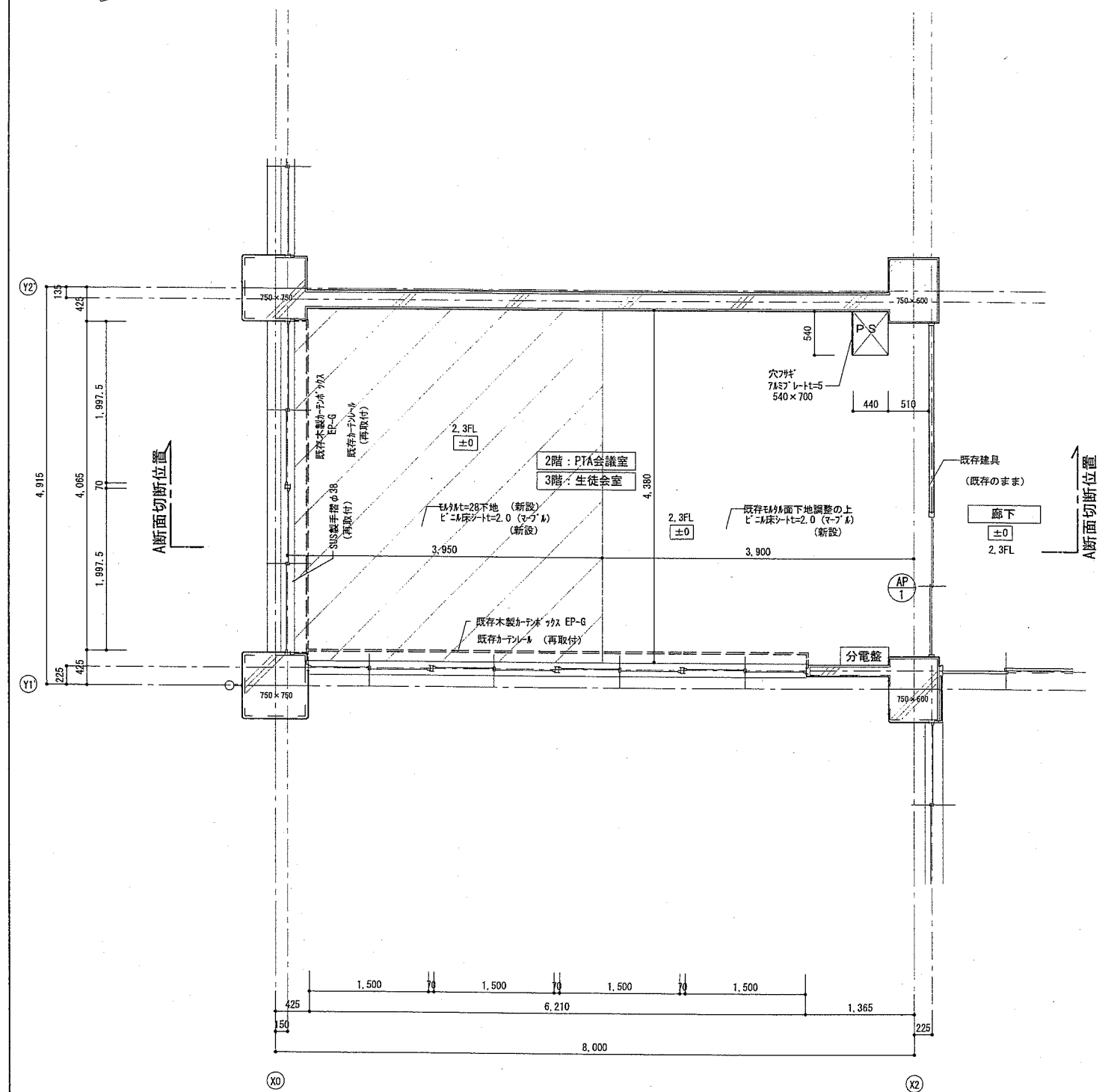
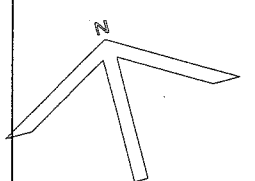


2・3階平面詳細図(改修前・倉庫)

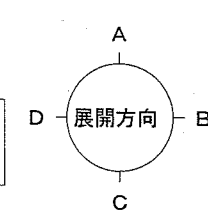


2・3階倉庫	
床	モルタル28下地 (仕上撤去) 塩ビシート 木下地 700合板t=15 700合板t=15 (下地共撤去)
巾木	木製巾木t=24 OP H=100 (3階一部撤去)
壁	モルタル金網 EP (3階一部撤去)
天井	LGS下地 (撤去) 石膏ボードt=9.5 EP (撤去)

改修後

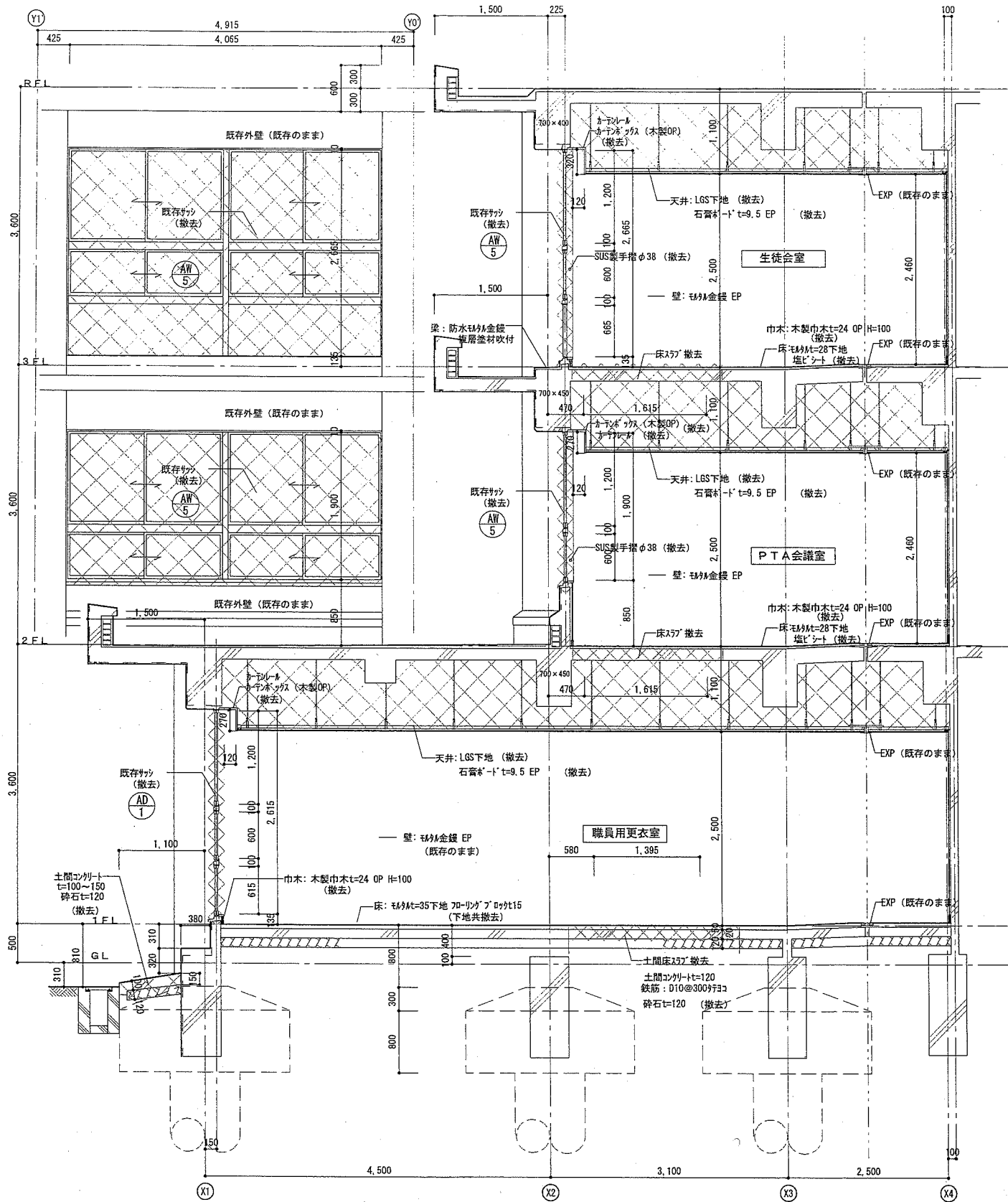


2・3階平面詳細図(改修後:PTA会議室・生徒会室)



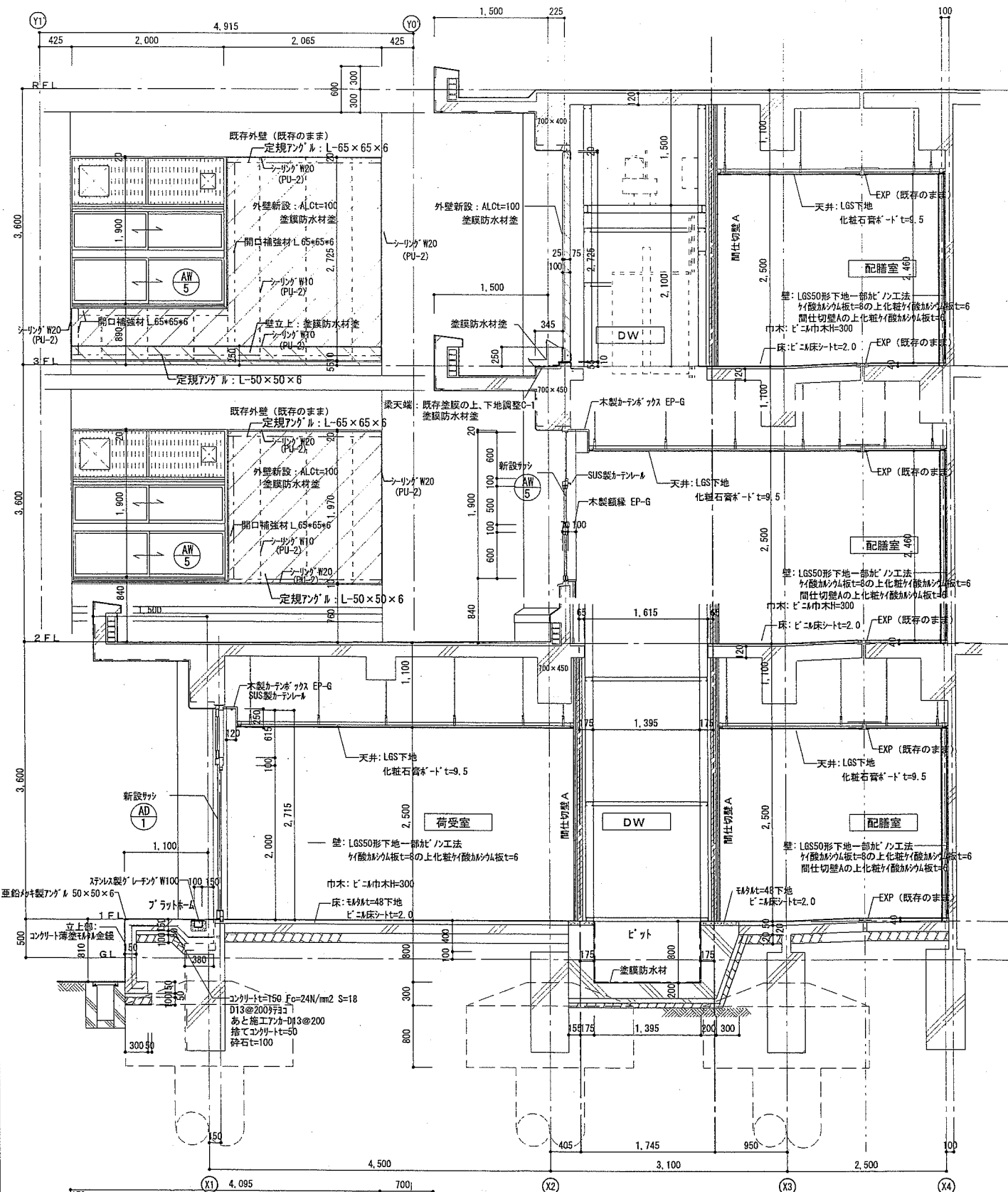
2階PTA会議室・3階生徒会室	
床	モルタル28下地及び 既存モルタル下地調整の上 ビニル床シート=2.0 (EP-G) (新設)
巾木	モルタル金網 ビニル巾木 H=100 (新設) 既存モルタル面 ビニル巾木 H=100 (新設)
壁	既存モルタル面 EP-G (新設) モルタル金網の上 EP-G (新設)
天井	LGS19形@225 (100系)下地 (新設) 化粧石膏ボードt=9.5 (新設)

改修前



A断面図 (改修前)

改修後

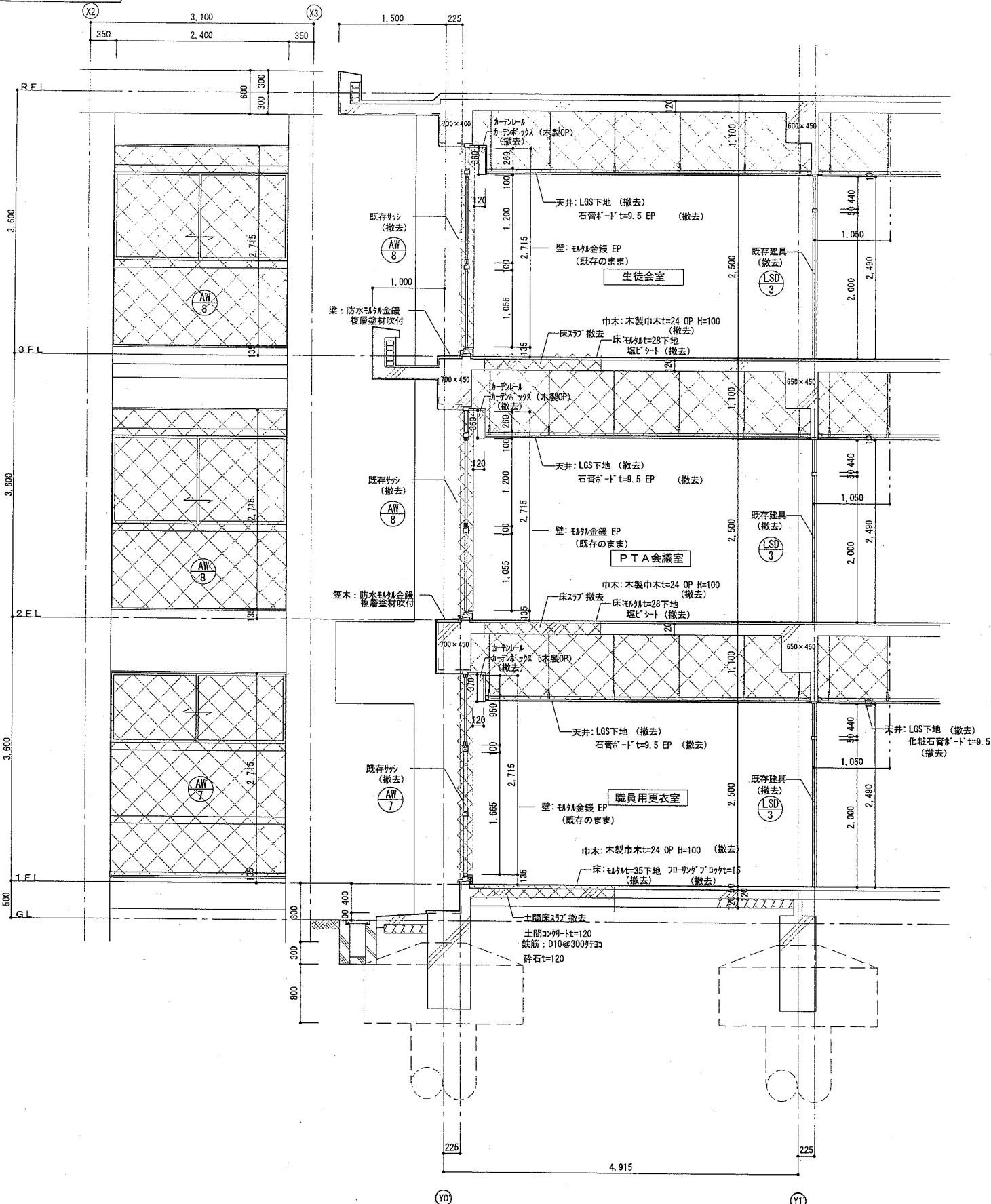


A断面図 (改修後)

プラットフォーム断面図 S=1:50

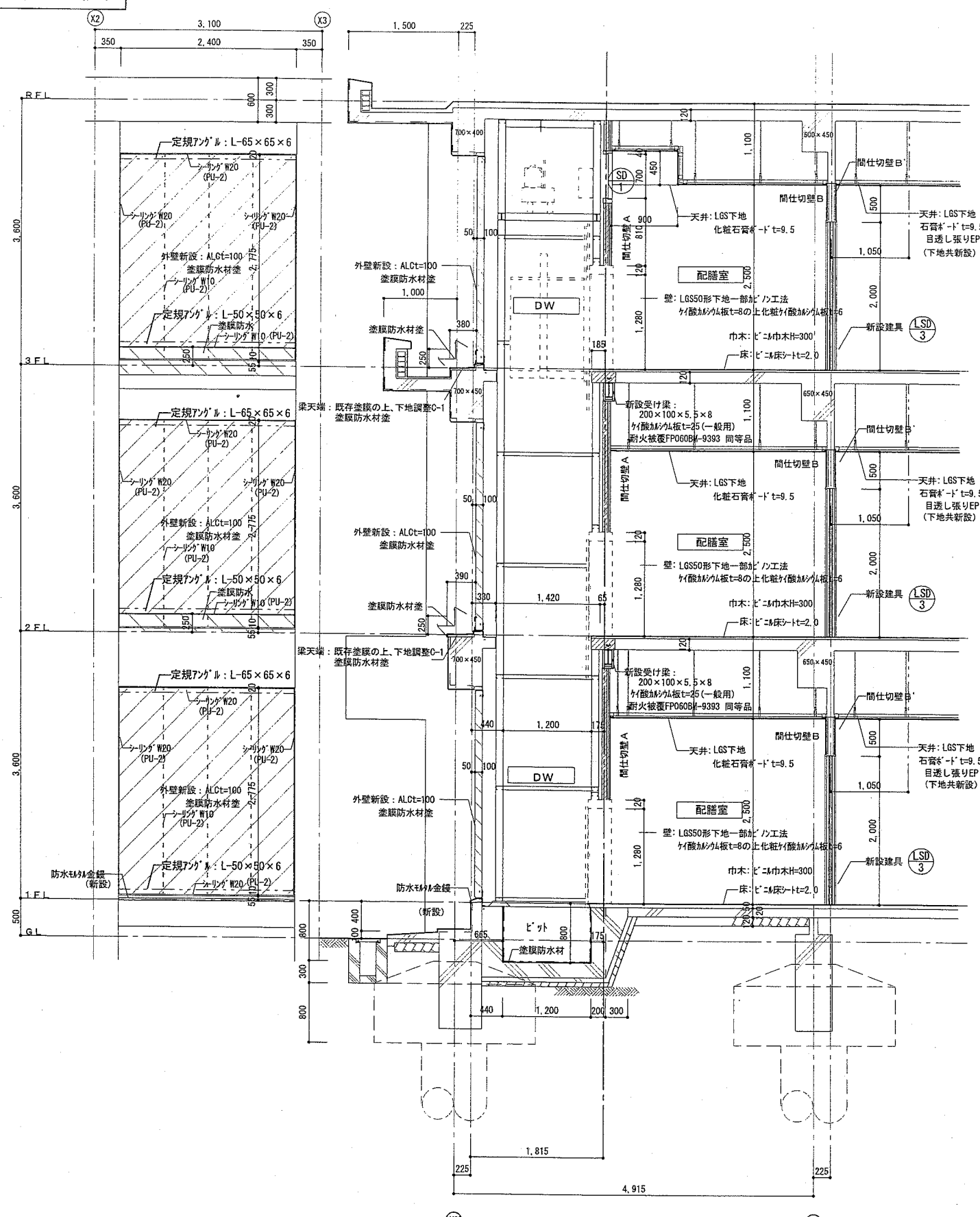
※ピット仕様
 鉄筋SD295A D13@200
 コンクリート: Fc=24N/mm² S=18
 捨てコンクリート: 呼び強度=18N/mm² S=18
 床下防湿層: 呼び強度=18N/mm² S=18
 砕石: 再生砕石 (RC40)

改修前



B断面図 (改修前)

改修後

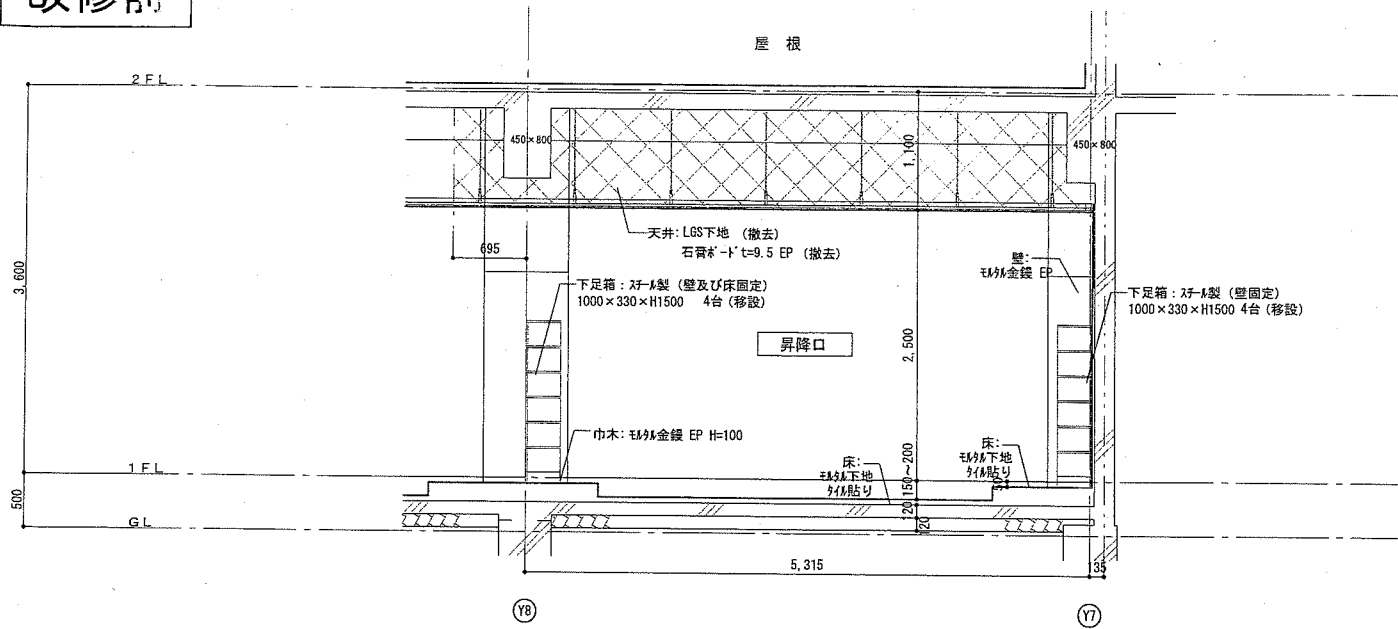


B断面図 (改修後)

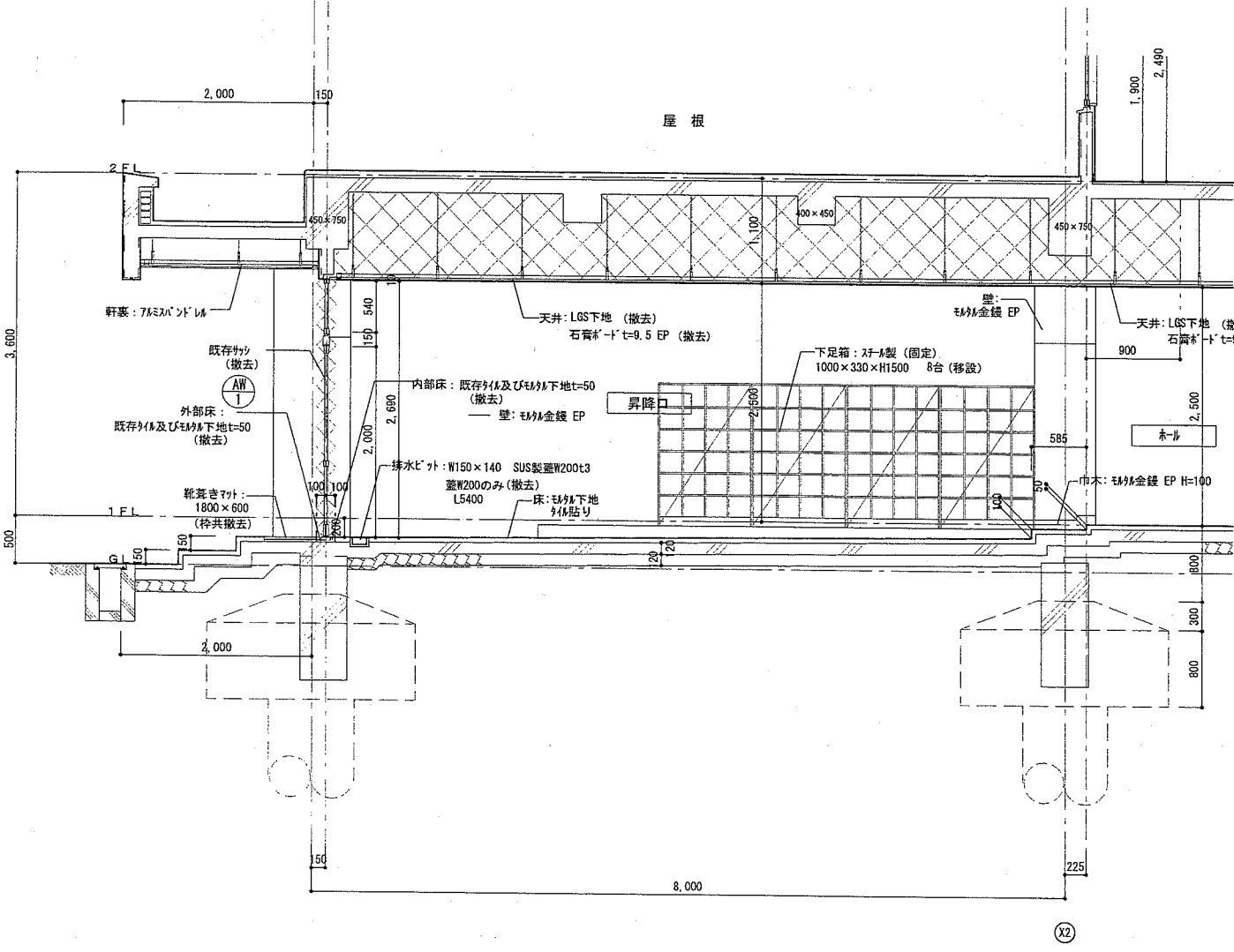
※ビット仕様
鉄筋SD295A D13@300
コンクリート: F=24N/mm² S=18
捨てコンクリート: 呼び強度=18N/mm² S=18
床下防湿層: 呼び強度=0.15
砕石: 再生砕石 (RC40)

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	設計年月日 平成 31年 2月	設計名称 市立田浦中学校ほか1校具隣接施設建築その他工事 (池上中学校)	図面名称 B部 断面図(改修前・改修後)	縮尺 1:50	A-36
--------	-----	-----	----------------	-----------------	--	-------------------------	---------	------

改修前

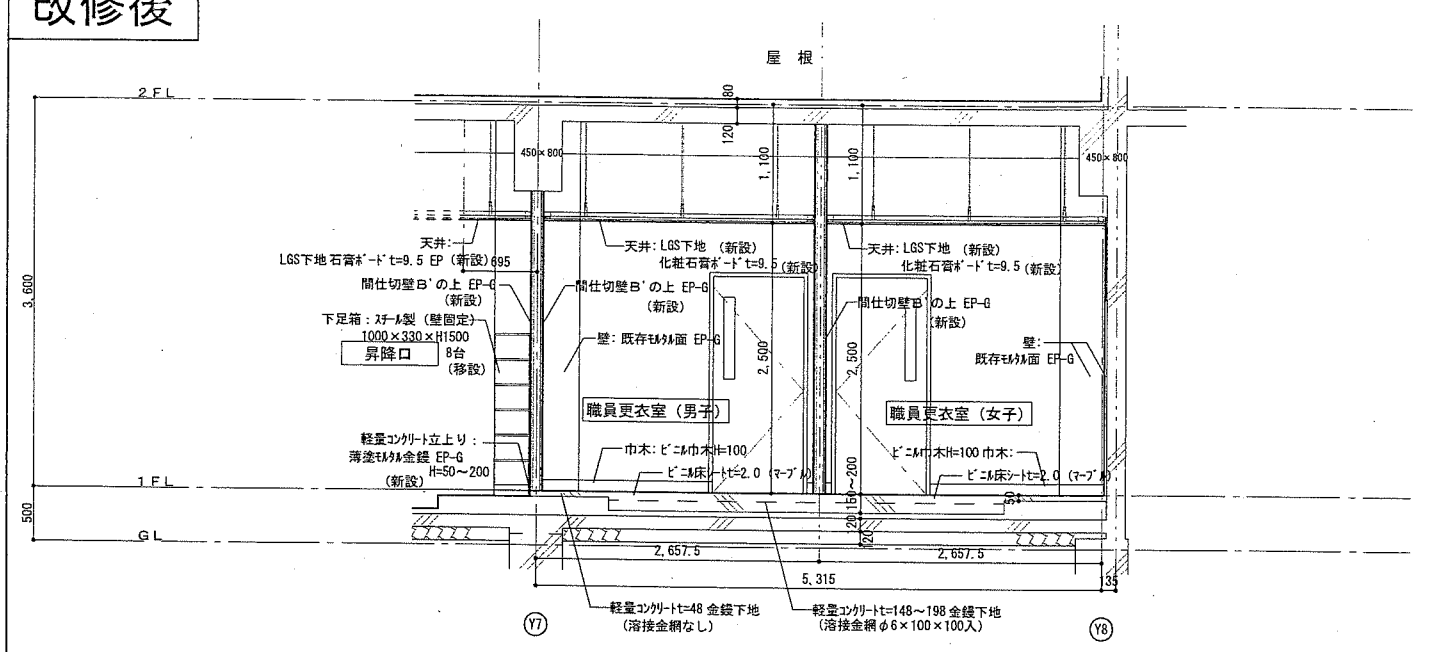


B断面図 (改修前)

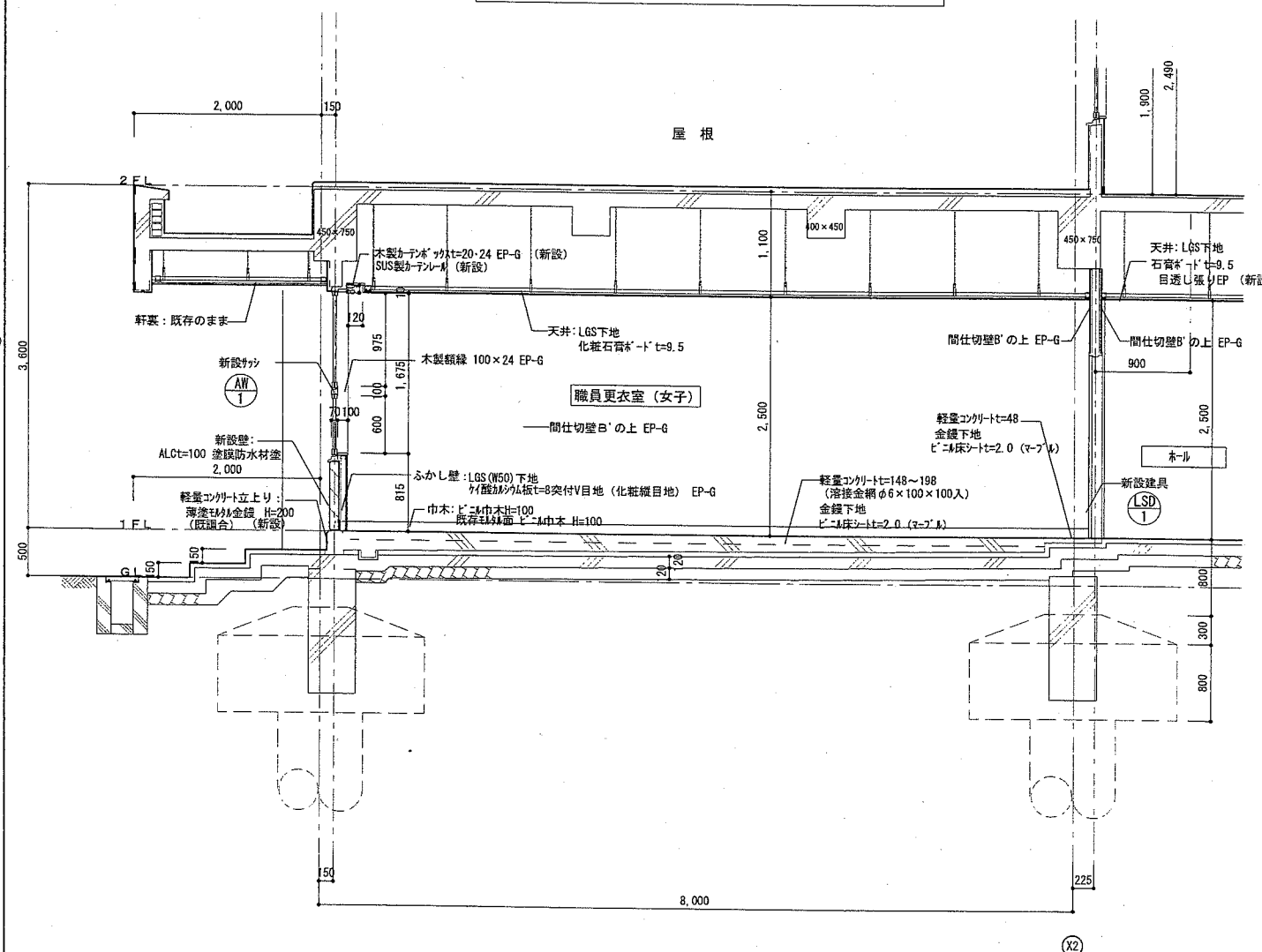


A断面図 (改修前)

改修後



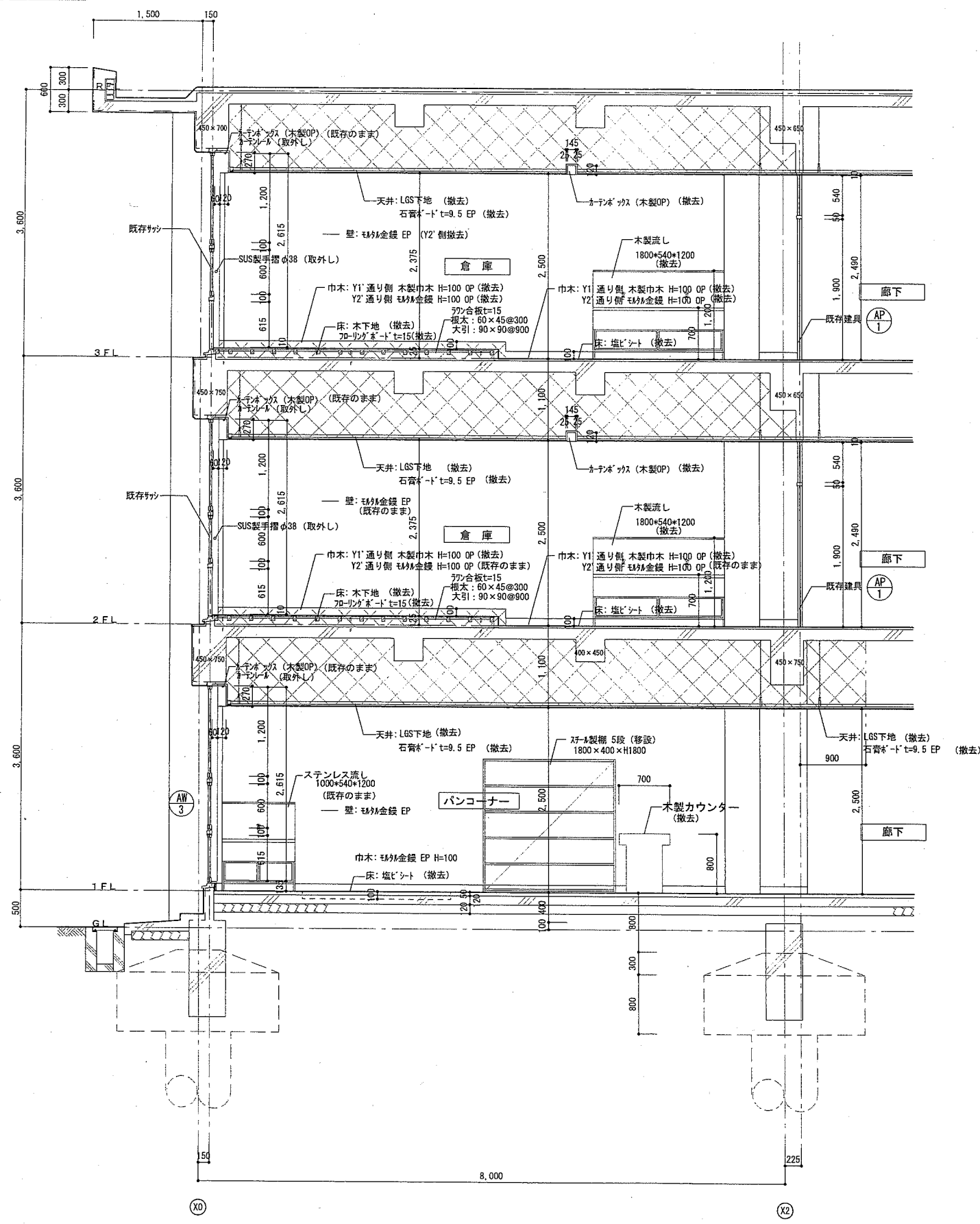
B断面図 (改修後)



A断面図 (改修後)

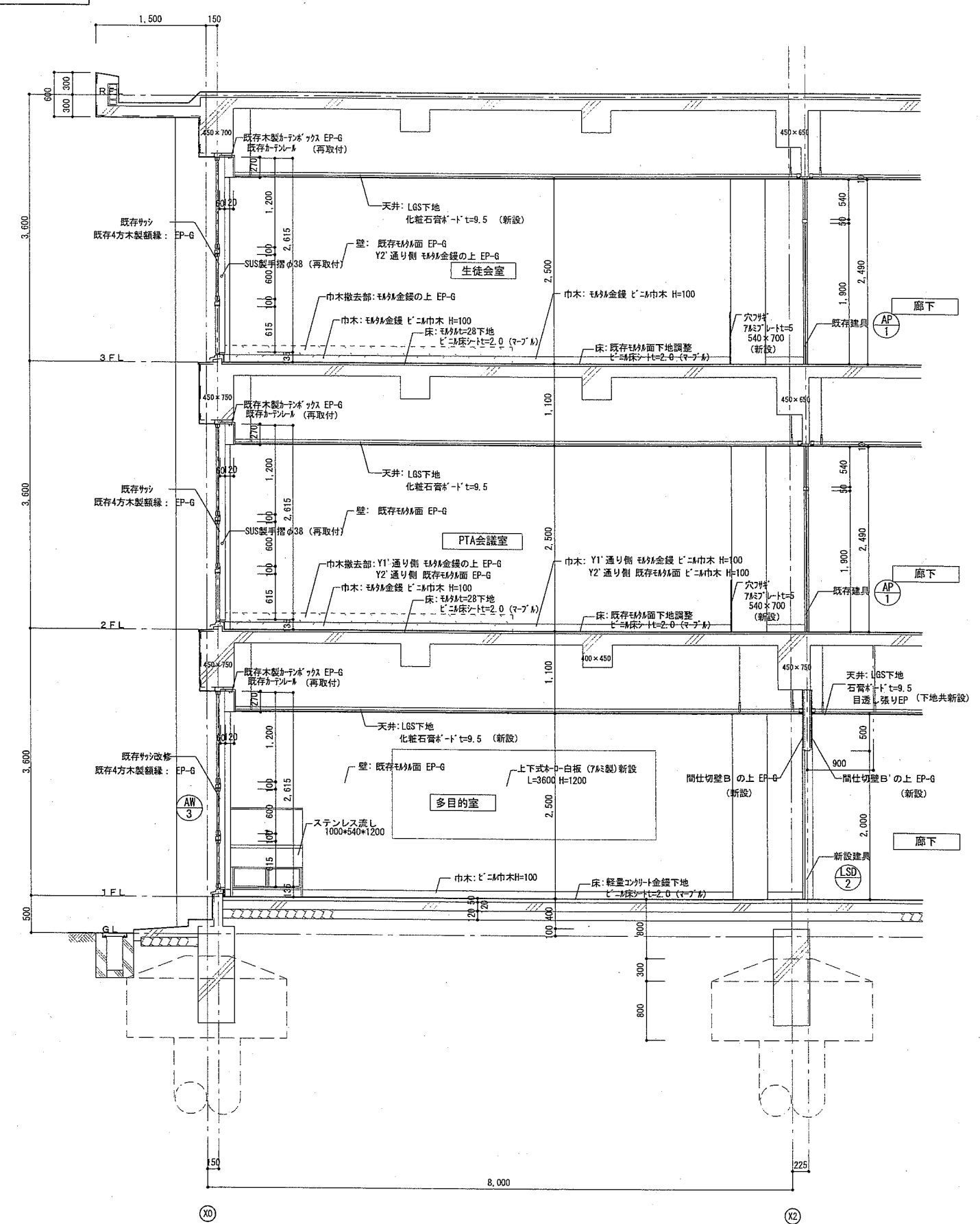
公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	設計名称 市立田浦中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事 (池上中学校)	図面名称 職員更衣室 断面図(改修前・改修後)	縮尺 1 : 50	A - 37
			設計年月日 平成 31年 2月	PROJECT NUMBER	DRAWING NUMBER	SCALE	

改修前



A断面図 (改修前)

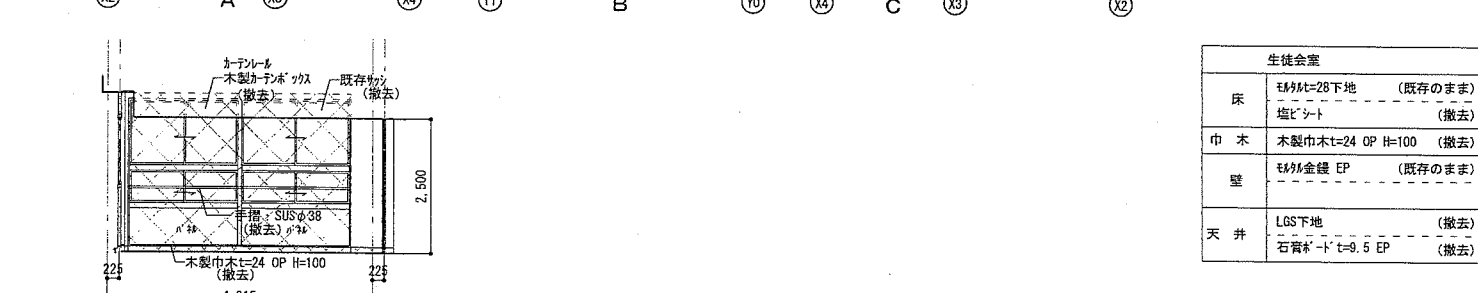
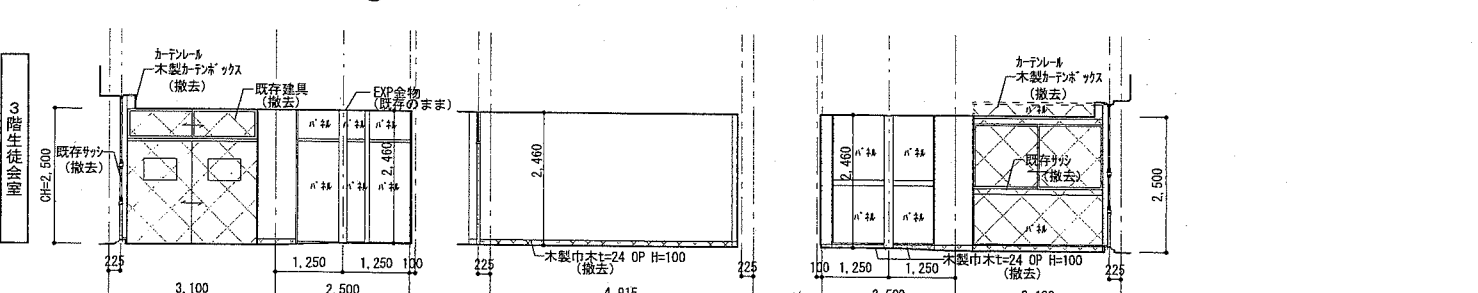
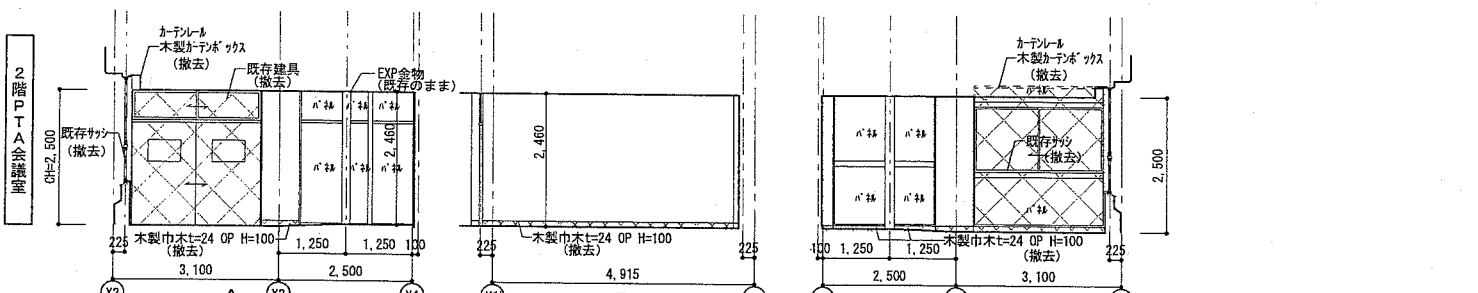
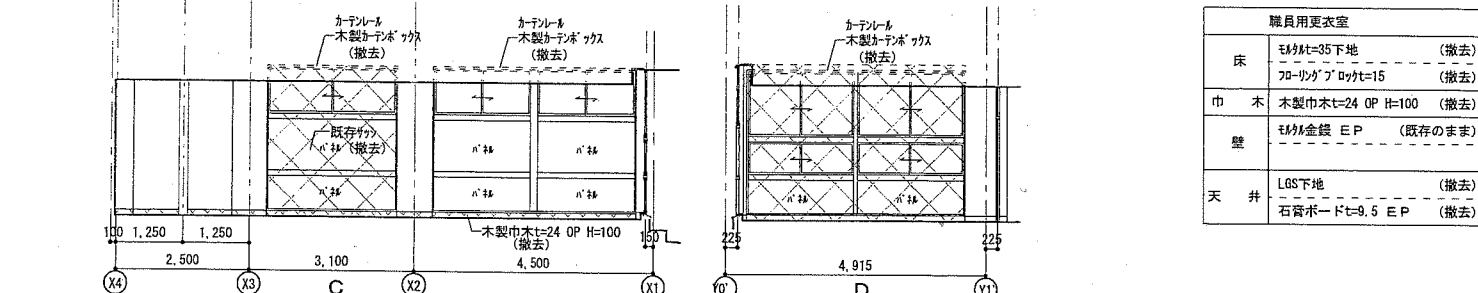
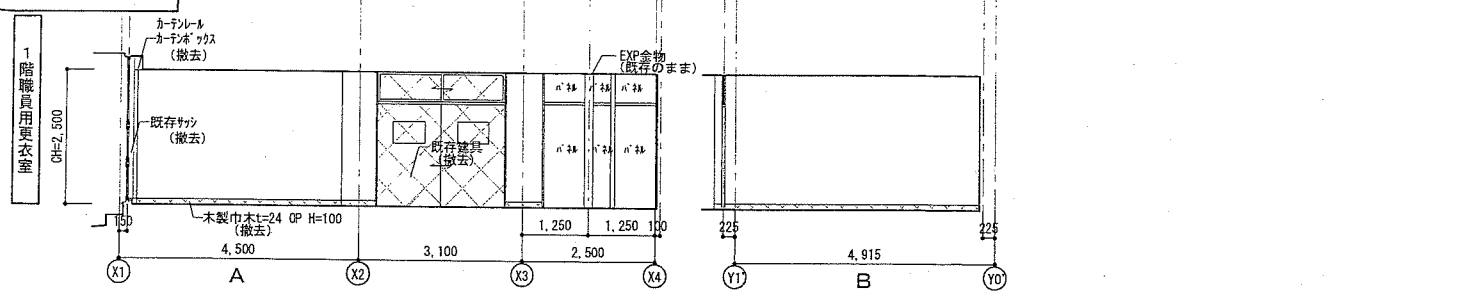
改修後



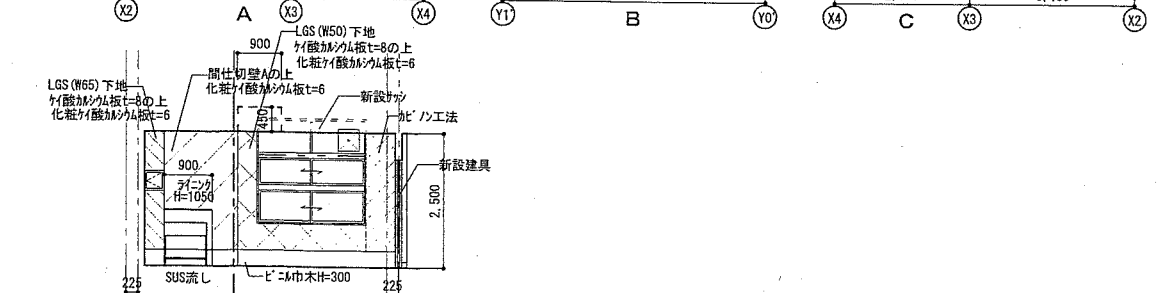
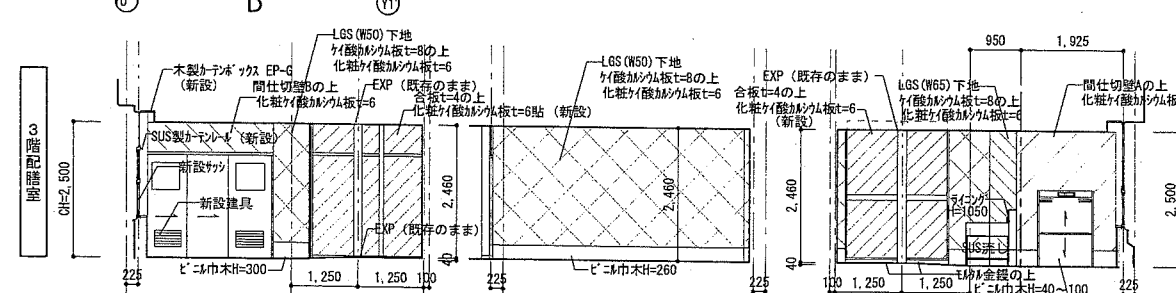
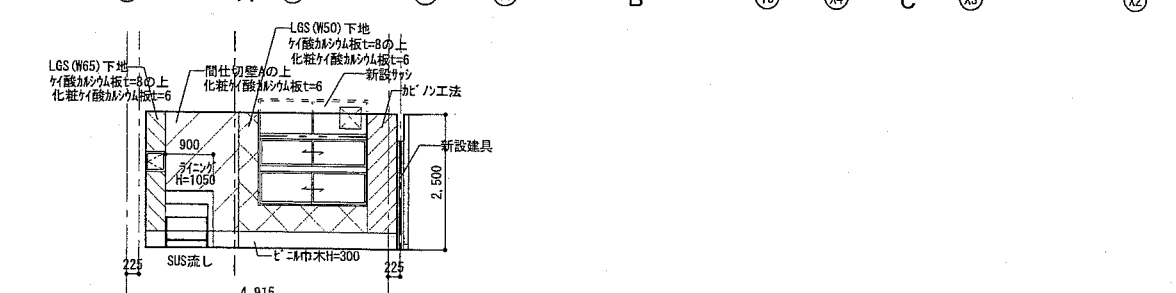
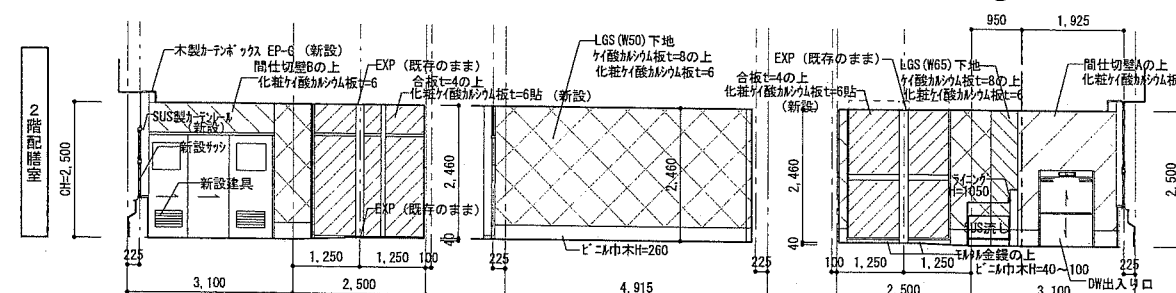
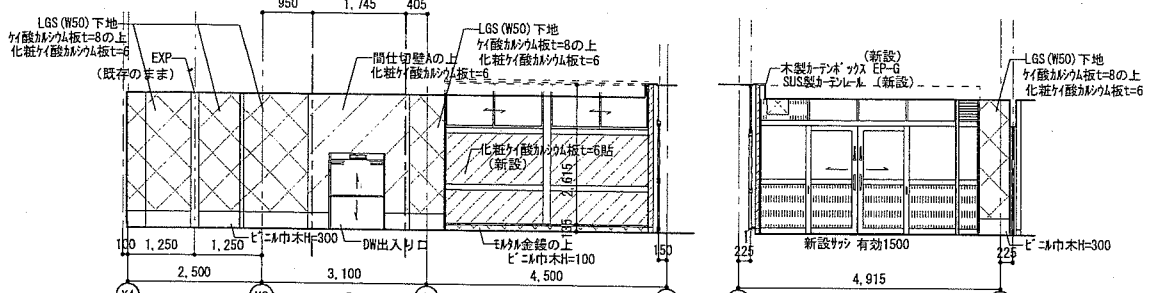
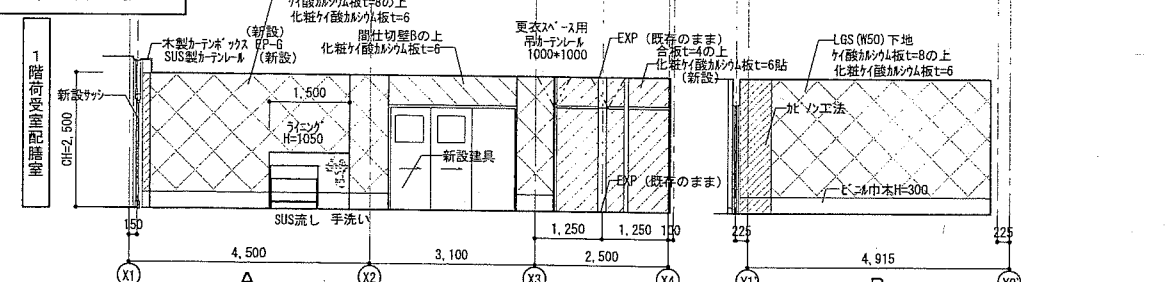
A断面図 (改修後)

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	設計年 月 日	平成 31 年 2 月
			設計名称 市立田浦中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事 (池上中学校)	図面名称 多目的室・PTA会議室・生徒会室 断面図(改修前・改修後)	縮尺 1 : 50

改修前



改修後



1階職員用更衣室	
床	モルタル=48下地 (新設)
巾木	ビニル床シート=2.0 (新設)
壁	LGS50-65形下地一部貼付工法 (新設)
天井	LGS19形φ225 (インサート)下地 (新設)

2階配膳室	
床	既存モルタル下地調整の上
巾木	ビニル床シート=2.0 (新設)
壁	LGS50-65形下地一部貼付工法 (新設)
天井	LGS19形φ225 (インサート)下地 (新設)

3階配膳室	
床	既存モルタル下地調整の上
巾木	ビニル床シート=2.0 (新設)
壁	LGS50-65形下地一部貼付工法 (新設)
天井	LGS19形φ225 (インサート)下地 (新設)

職員用更衣室	
床	モルタル=35下地 (撤去)
巾木	フーリングボード=15 (撤去)
壁	モルタル金網 EP (既存のまま)
天井	LGS下地 (撤去)

PTA会議室	
床	モルタル=28下地 (既存のまま)
巾木	木製巾木=24 OP H=100 (撤去)
壁	モルタル金網 EP (既存のまま)
天井	LGS下地 (撤去)

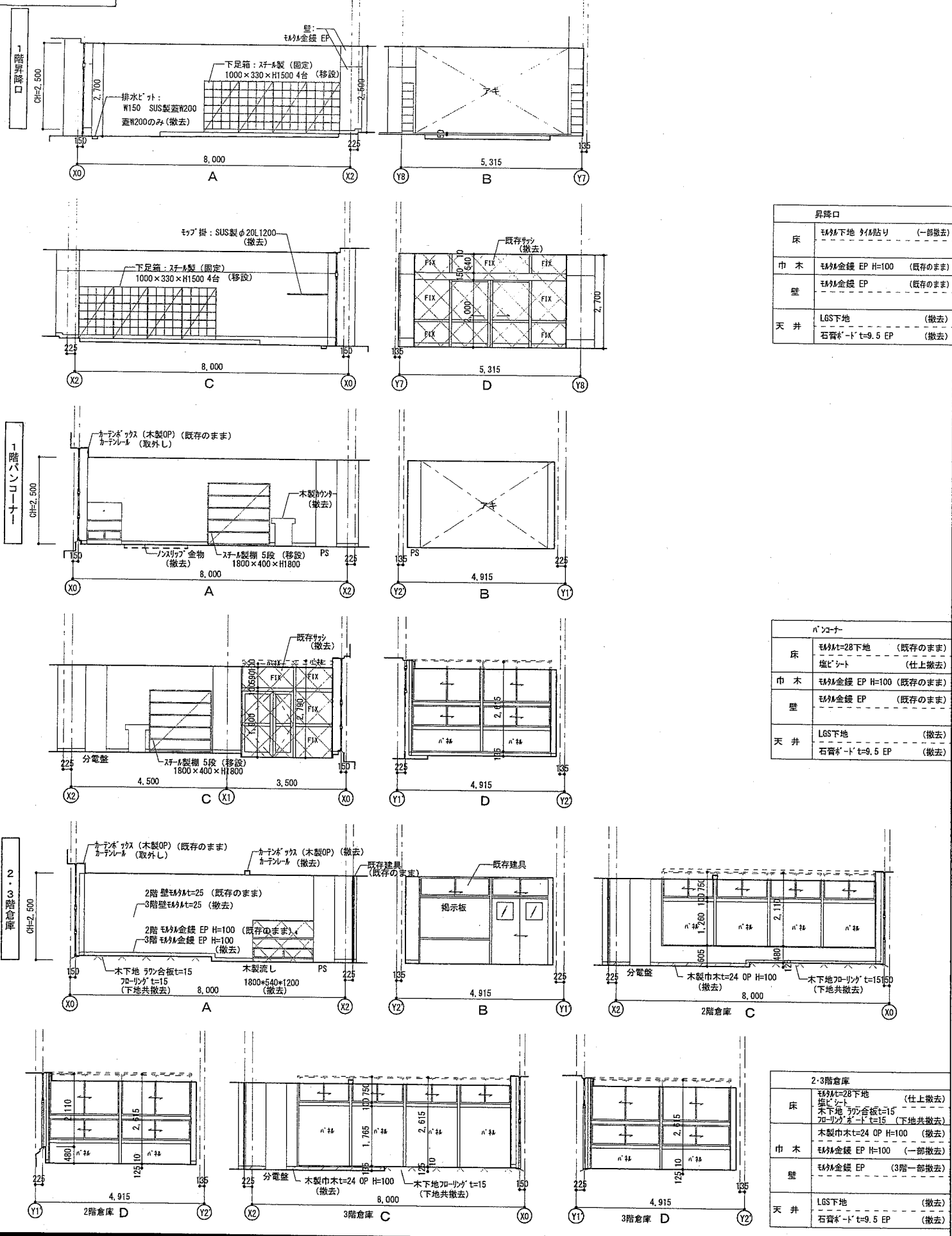
生徒更衣室	
床	モルタル=28下地 (既存のまま)
巾木	木製巾木=24 OP H=100 (撤去)
壁	モルタル金網 EP (既存のまま)
天井	LGS下地 (撤去)

公共建築課長 主査等 担当者

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成 31年 2月

設計名称 市立田浦中学校校舎1棟昇降機設置工事
図面名称 展開図1(改修前・改修後)
設計者 (池上中学校)
縮尺 1:100

改修前

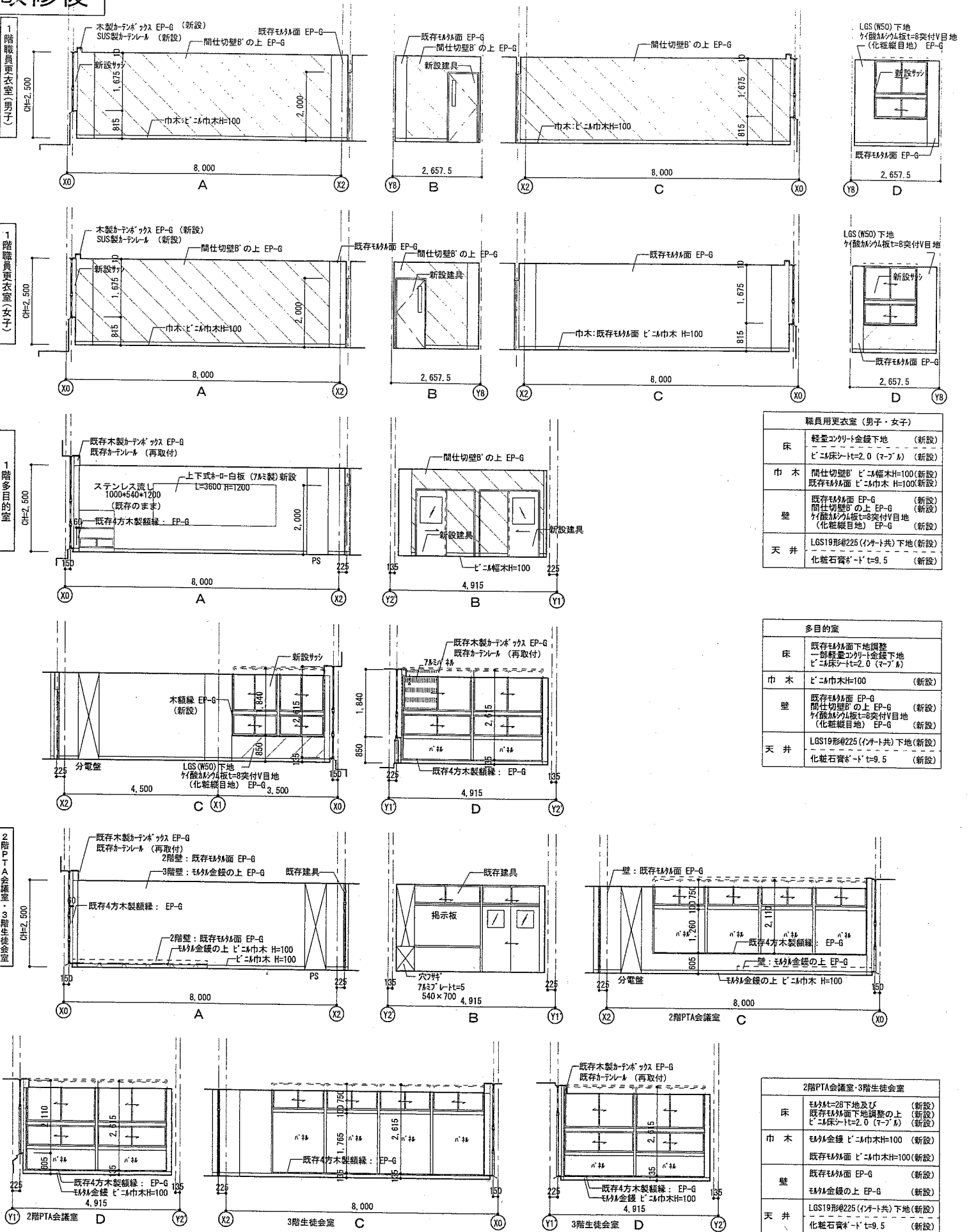


床	珪藻土下地 珪藻土貼り (一部撤去)
巾木	珪藻土金縁 EP H=100 (既存のまま)
壁	珪藻土金縁 EP (既存のまま)
天井	LGS下地 (撤去) 石膏ボード t=9.5 EP (撤去)

床	珪藻土=28下地 (既存のまま) 塩ビシート (仕上げ撤去)
巾木	珪藻土金縁 EP H=100 (既存のまま)
壁	珪藻土金縁 EP (既存のまま)
天井	LGS下地 (撤去) 石膏ボード t=9.5 EP (撤去)

床	珪藻土=28下地 (仕上げ撤去) 木下地 30合板 t=15 70-リグ t=15 (下地共撤去)
巾木	木製巾木 t=24 OP H=100 (撤去)
壁	珪藻土金縁 EP (3階一部撤去)
天井	LGS下地 (撤去) 石膏ボード t=9.5 EP (撤去)

改修後

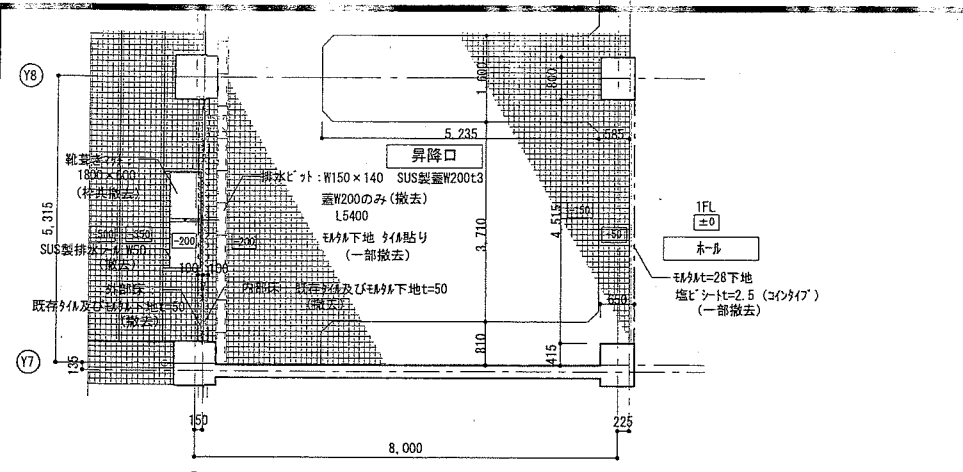


床	軽量コンクリート金縁下地 (新設) ビニル床シート=2.0 (テープ貼) (新設)
巾木	間仕切壁B' ビニル巾木H=100 (新設) 既存珪藻土面 ビニル巾木 H=100 (新設)
壁	既存珪藻土面 EP-G (新設) 間仕切壁B'の上 EP-G (新設) 珪藻土金縁 t=8突付V目地 (化粧縦目地) EP-G (新設)
天井	LGS19形#225 (イナト共)下地 (新設) 化粧石膏ボード t=9.5 (新設)

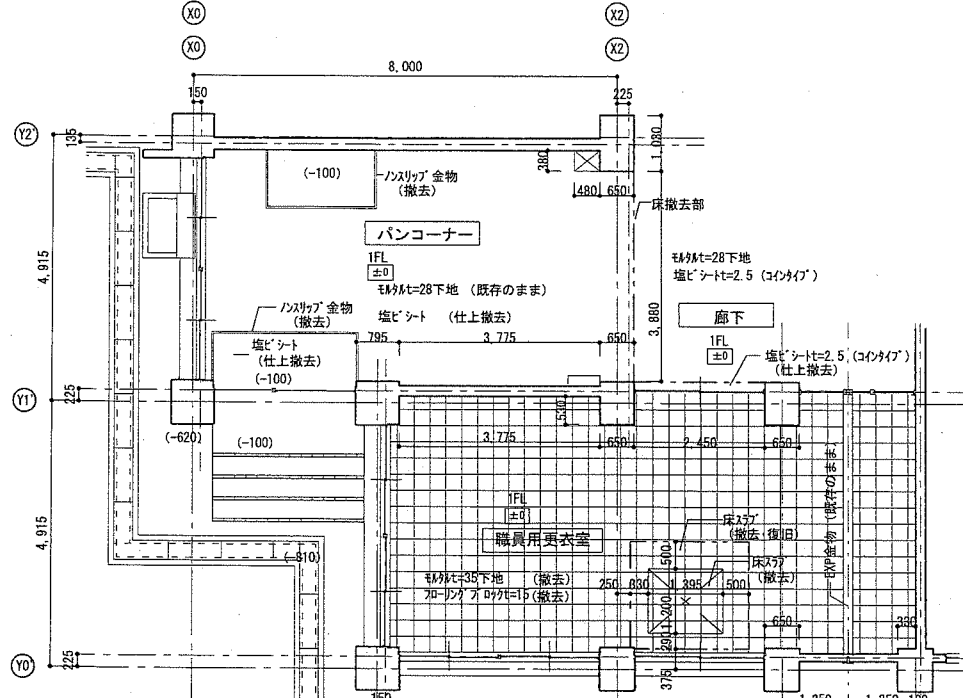
床	既存珪藻土面下地調整 一部軽量コンクリート金縁下地 ビニル床シート=2.0 (テープ貼) (新設)
巾木	ビニル巾木H=100 (新設)
壁	既存珪藻土面 EP-G (新設) 間仕切壁B'の上 EP-G (新設) 珪藻土金縁 t=8突付V目地 (化粧縦目地) EP-G (新設)
天井	LGS19形#225 (イナト共)下地 (新設) 化粧石膏ボード t=9.5 (新設)

床	珪藻土=28下地及び 既存珪藻土面下地調整の上 (新設) ビニル床シート=2.0 (テープ貼) (新設)
巾木	珪藻土金縁 ビニル巾木H=100 (新設) 既存珪藻土面 ビニル巾木H=100 (新設)
壁	既存珪藻土面 EP-G (新設) 珪藻土金縁の上 EP-G (新設)
天井	LGS19形#225 (イナト共)下地 (新設) 化粧石膏ボード t=9.5 (新設)

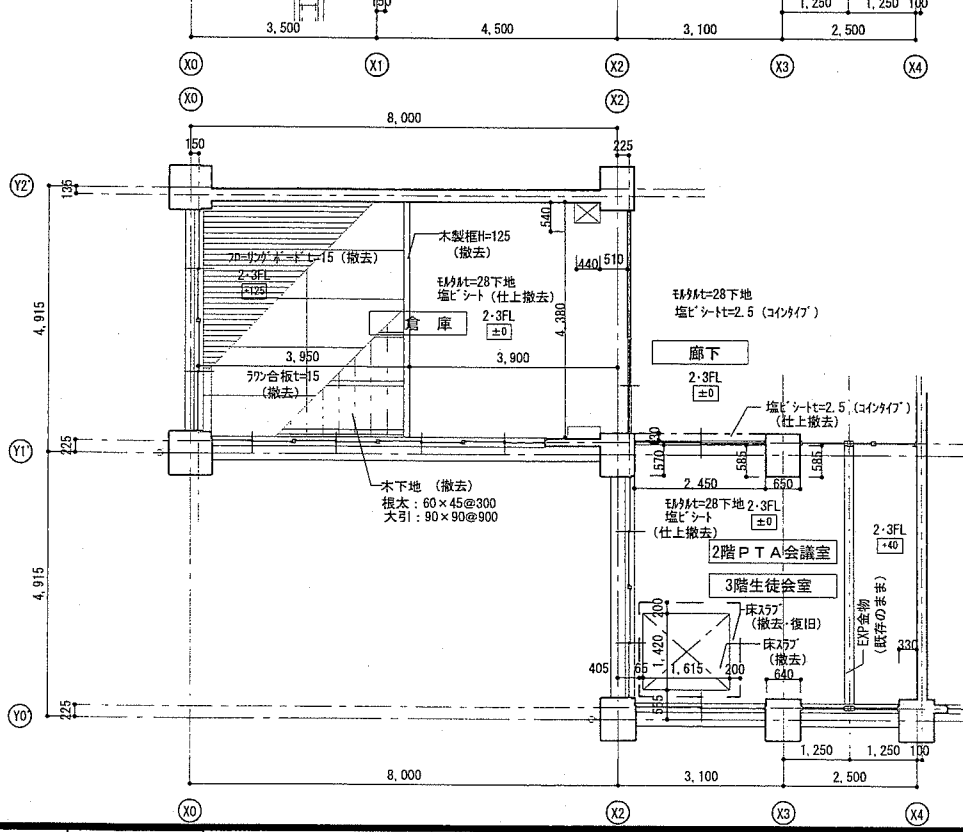
改修前



1階昇降口

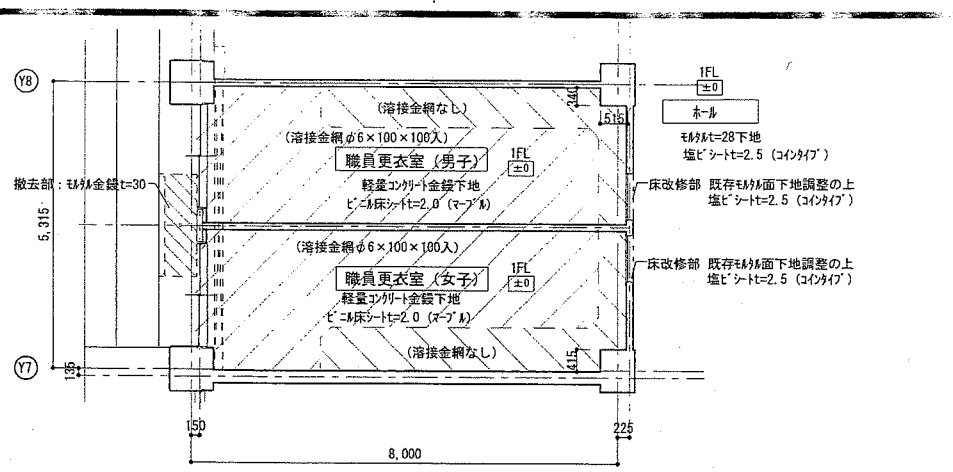


1階パノコーナ・職員更衣室

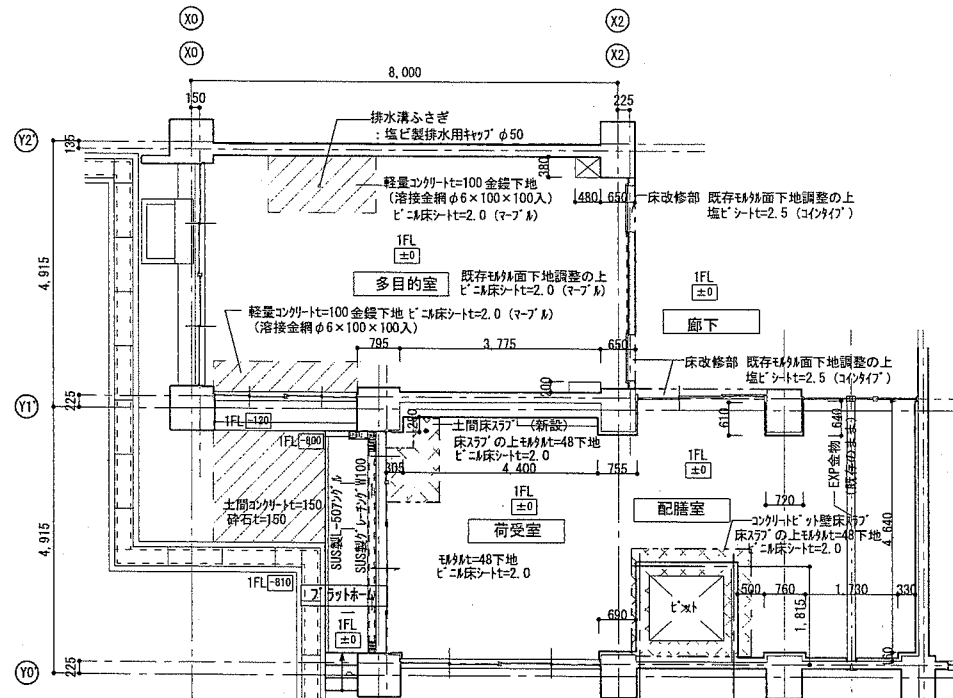


2階倉庫・PTA会議室
3階倉庫・生徒会室

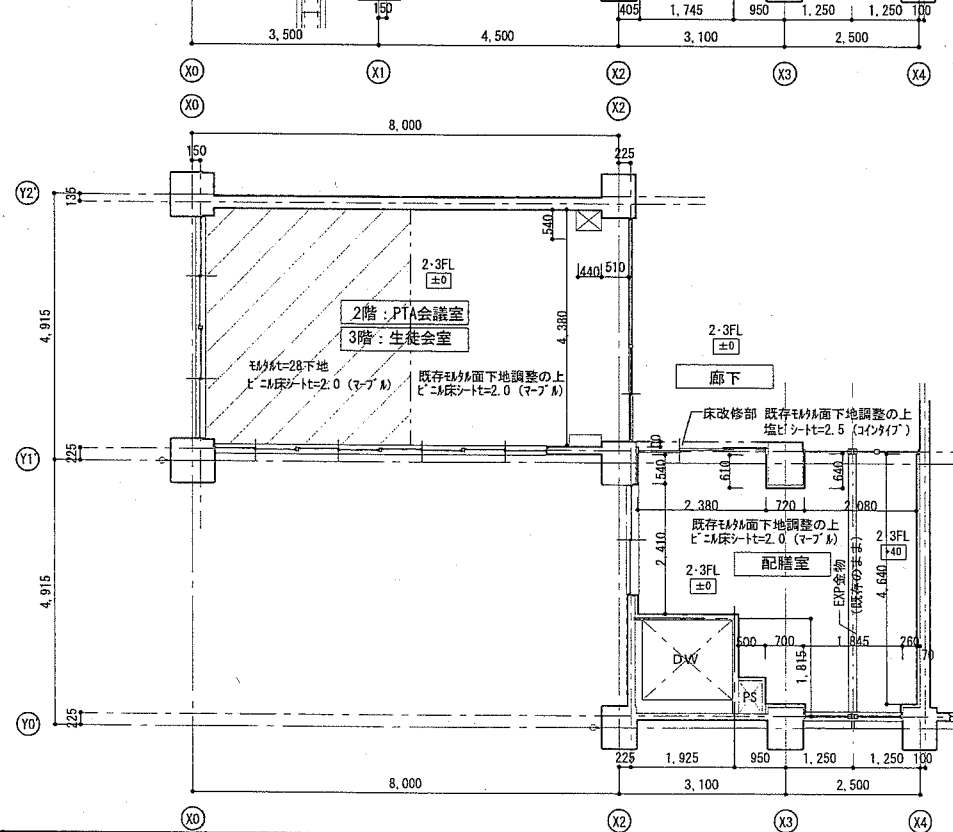
改修後



1階職員更衣室(男女)



1階荷受室・配膳室、多目的室



2階配膳室、PTA会議室
3階配膳室、生徒会室

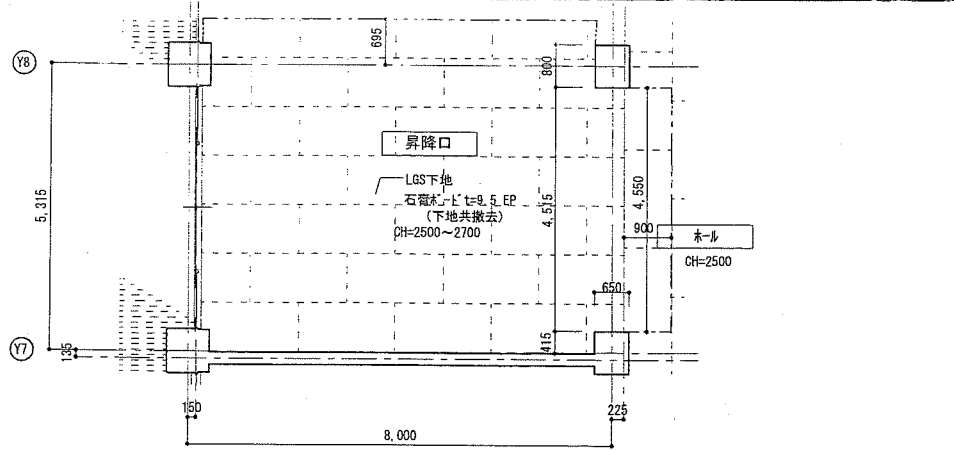
公共建築課長	主査等	担当者

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成 31年 2月

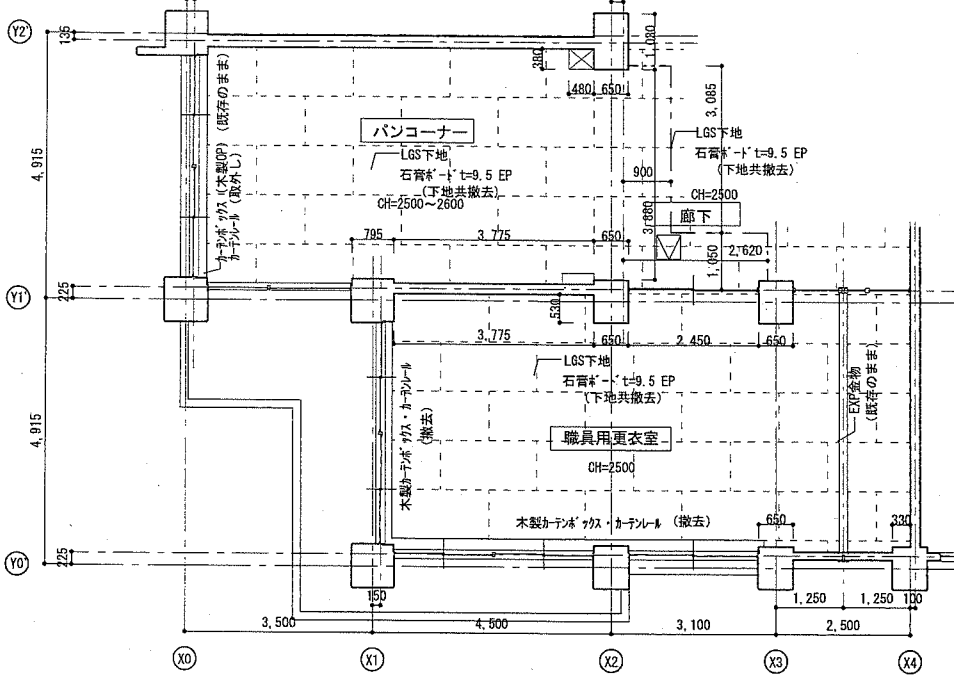
設計名称
市立田沼中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事
（池上中学校）

図面名称
床伏図（改修前・改修後）
縮尺 1:100

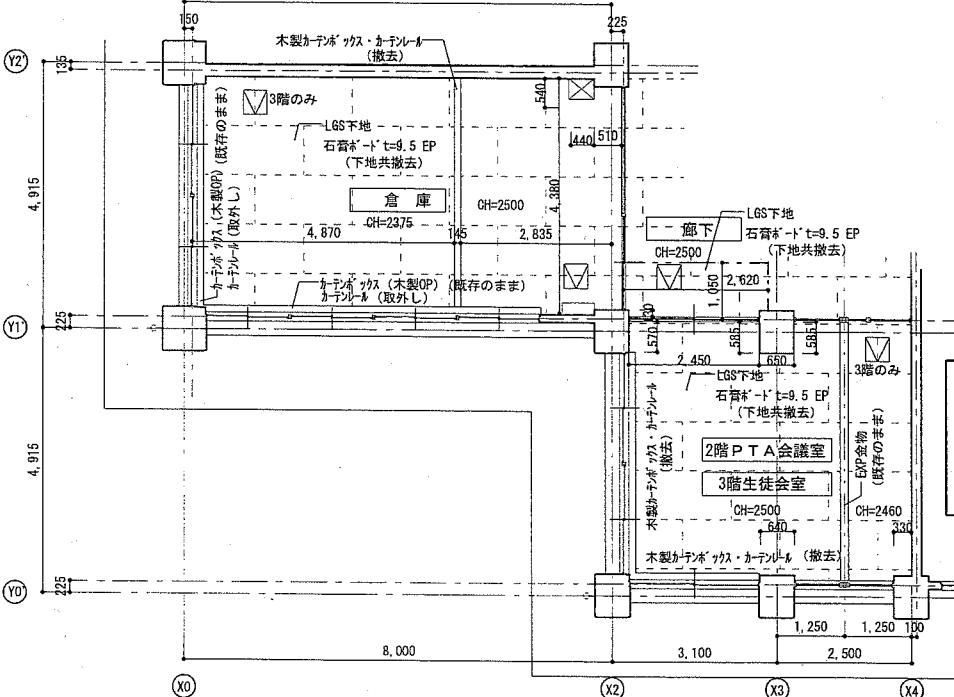
改修前



1階昇降口



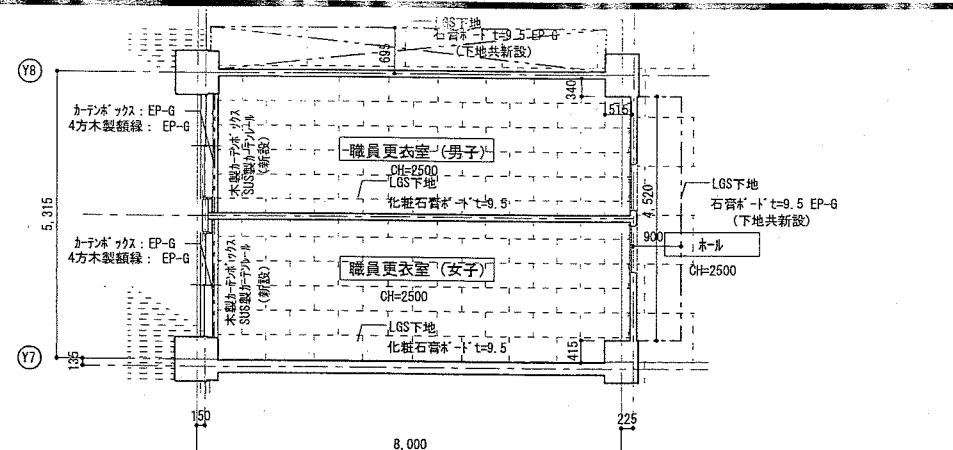
1階バンコナー・職員更衣室



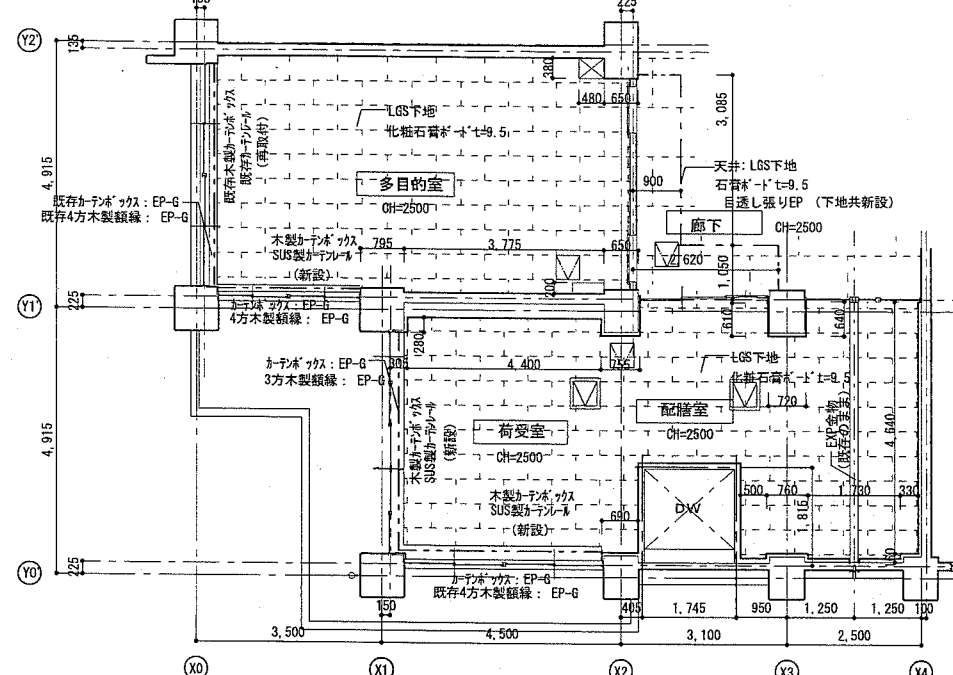
2階倉庫・PTA会議室
3階倉庫・生徒会室

注記：
天井点は塩ビ製廻縁とする。
天井点検口：7ø製450角 額縁付

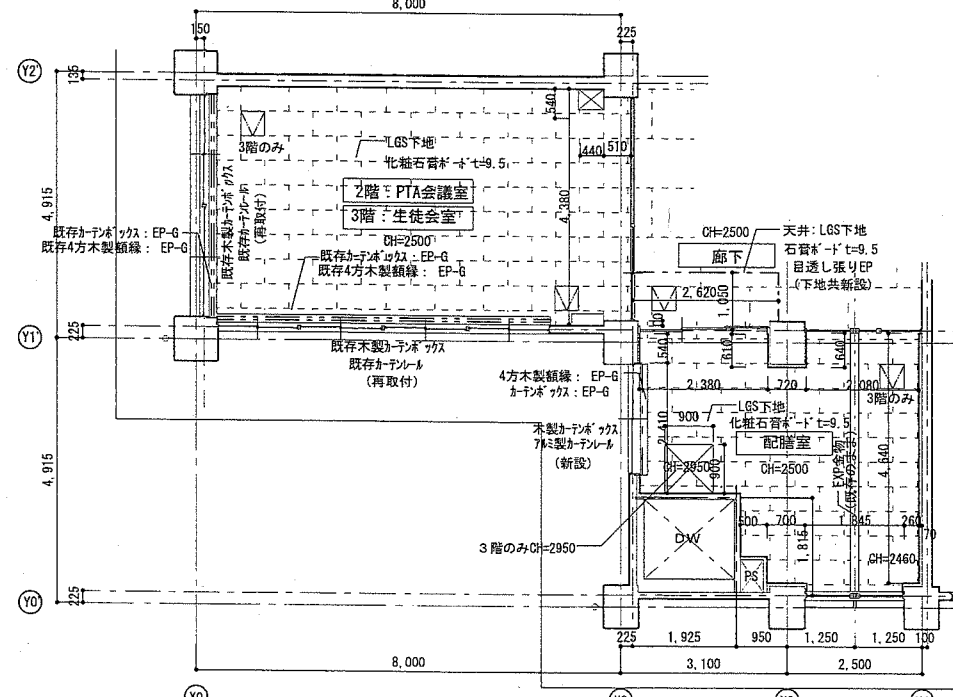
改修後



1階職員更衣室 (男女)



1階荷受室・配膳室、多目的室

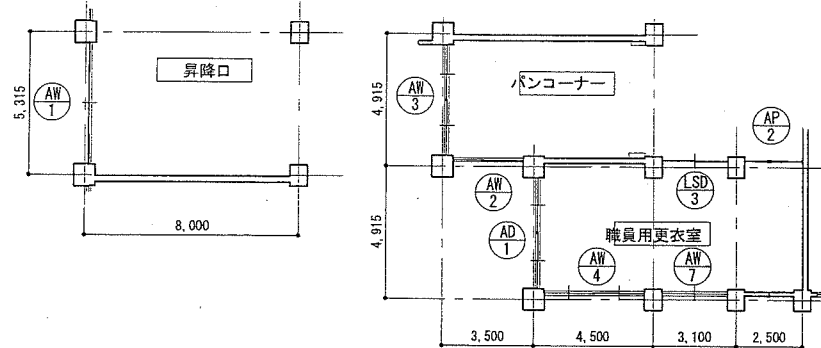


2階配膳室、PTA会議室
3階配膳室、生徒会室

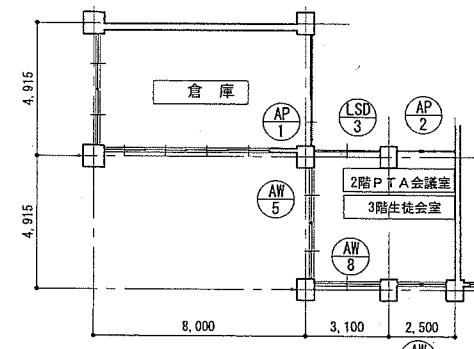
注記：
LGS下地：内部LGS(軽量鉄骨)天井下地は19形 外部LGS(軽量鉄骨)天井下地は25形 天井には塩ビ製廻縁を使用する。
天井点検口：7ø製450角 額縁付(下地開口補強共)
天井点検口：7ø製600角 額縁付(下地開口補強共)

改修前

建具キープラン S=1/200



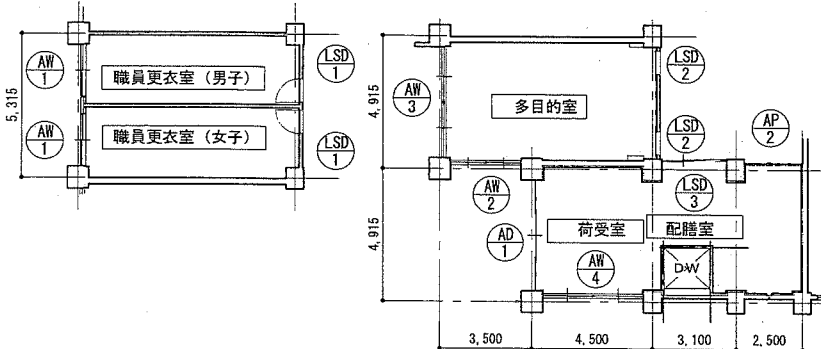
1階



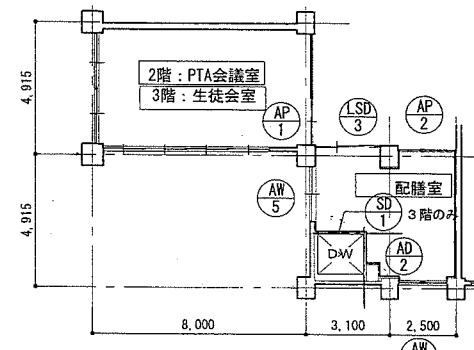
2・3階

改修後

建具キープラン S=1/200



1階



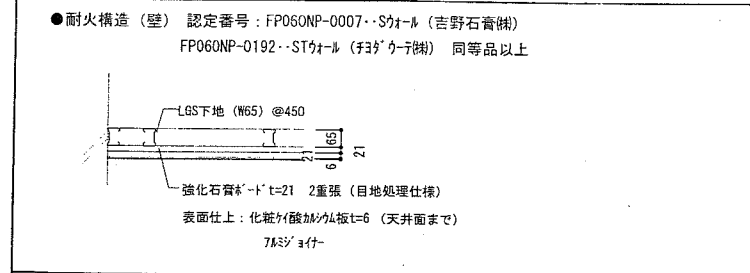
2・3階

建具表 S=1/100

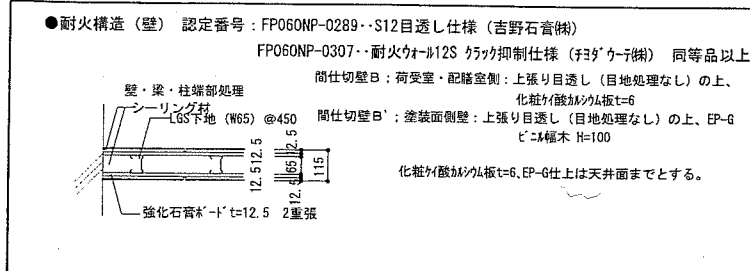
※既存n'材: 外部: 亜鉛鉄板t1.6+ガラスt4 (7mm'付含有)、芯: 発泡スチロール、内部: 着色珪酸塩板t1.6

Table of window and door specifications. Columns include: 記号・個数 (Symbol/Quantity), 取付場所 (Installation Location), 形状・寸法 (Shape/Dimensions), 見込・寸法 (Clearance/Dimensions), 種別方式 (Type/Method), 材料仕上 (Material/Finish), ガラス厚 (Glass Thickness), 付属金物 (Accessories), 備考 (Remarks).

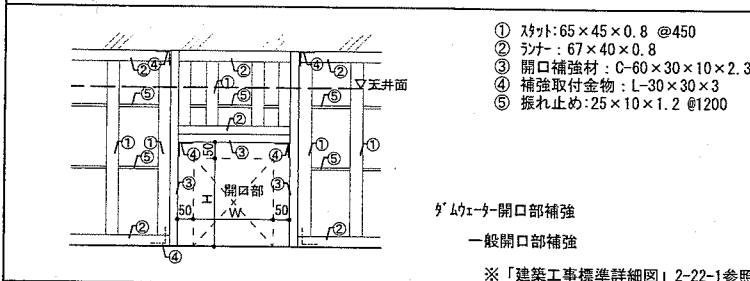
間仕切壁 A S=1/20



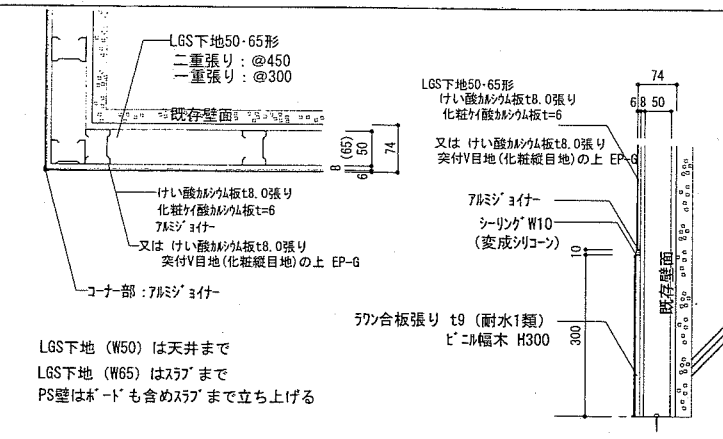
間仕切壁 B・B' S=1/20



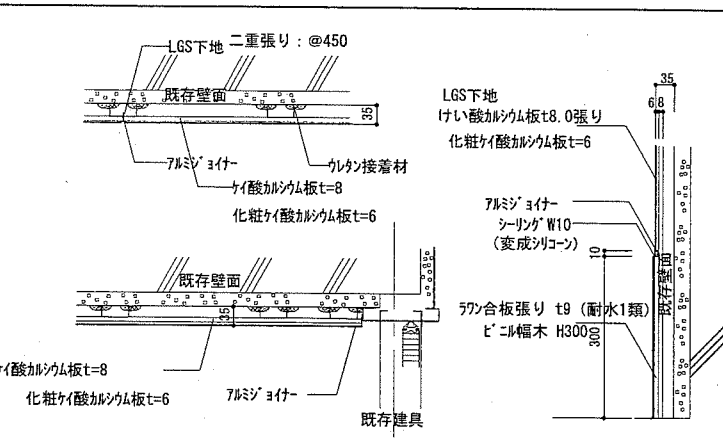
間仕切壁 A・B・B' LGS軸組図 S=1/20



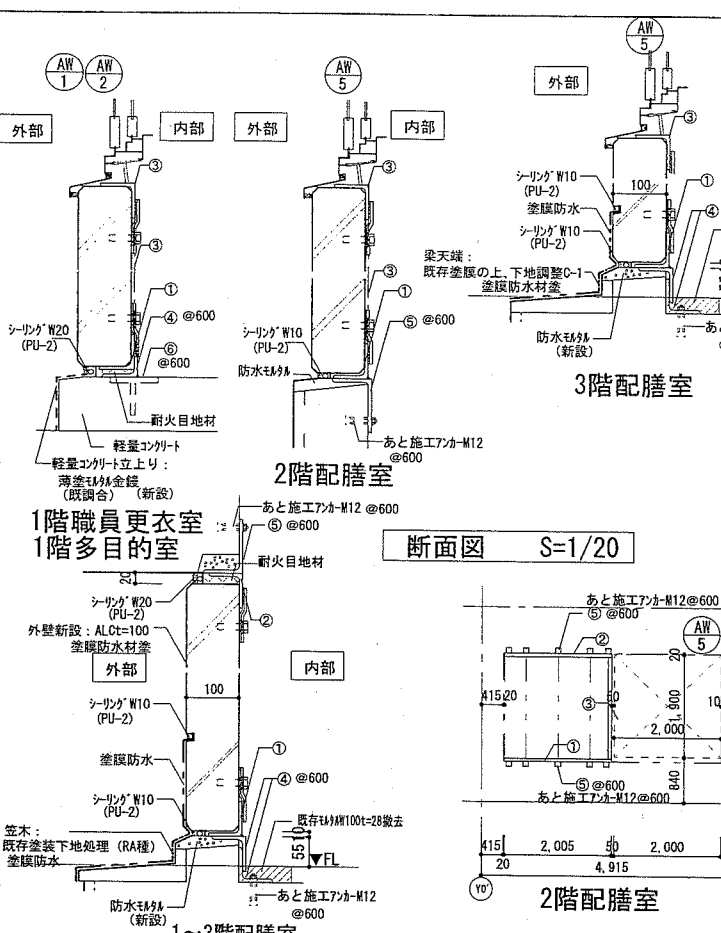
ふかし壁 S=1/10



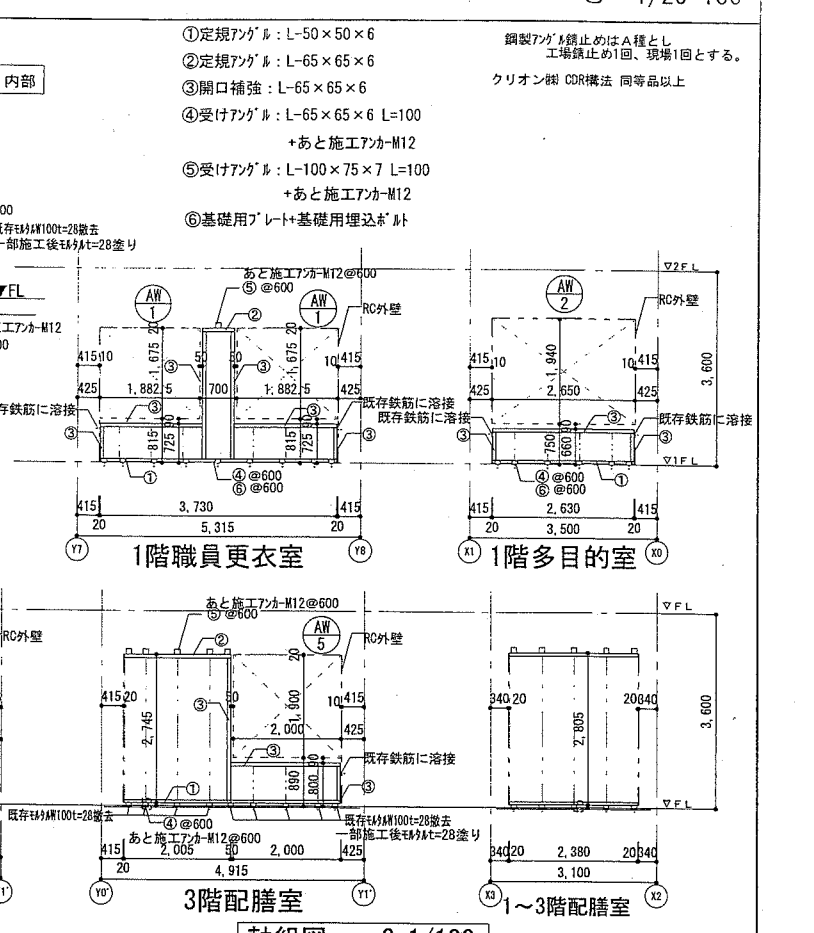
ふかし壁 (カビノン工法) S=1/10



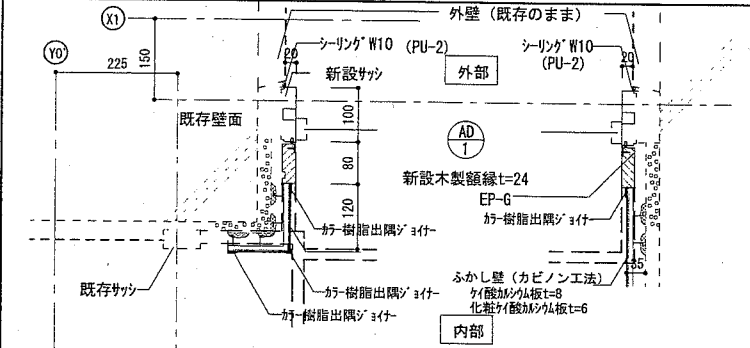
外壁新設: ALCt=100 S=1/20・100



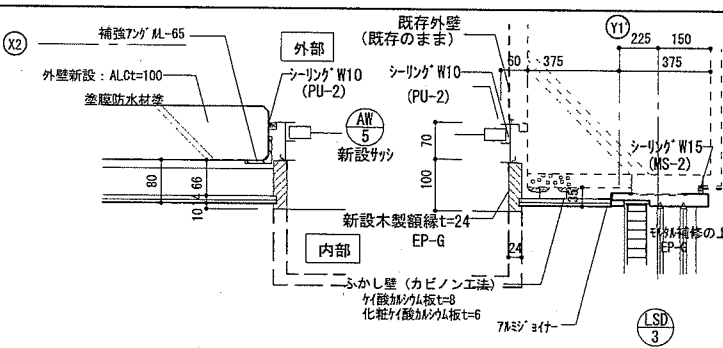
軸組図 S=1/100



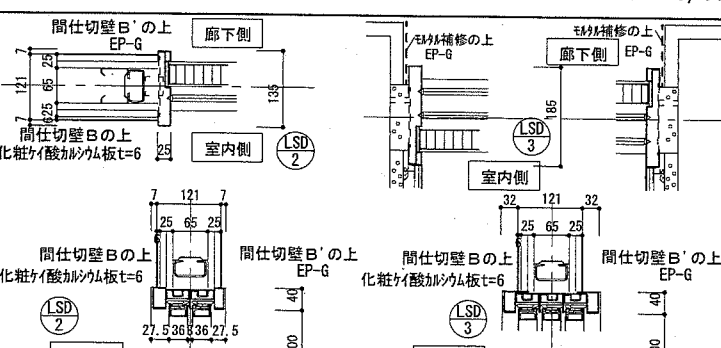
1階 AD-1 S=1/10



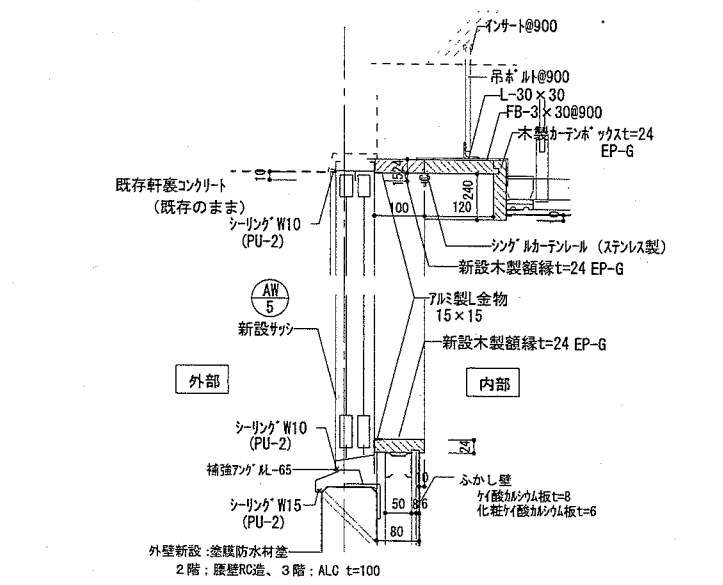
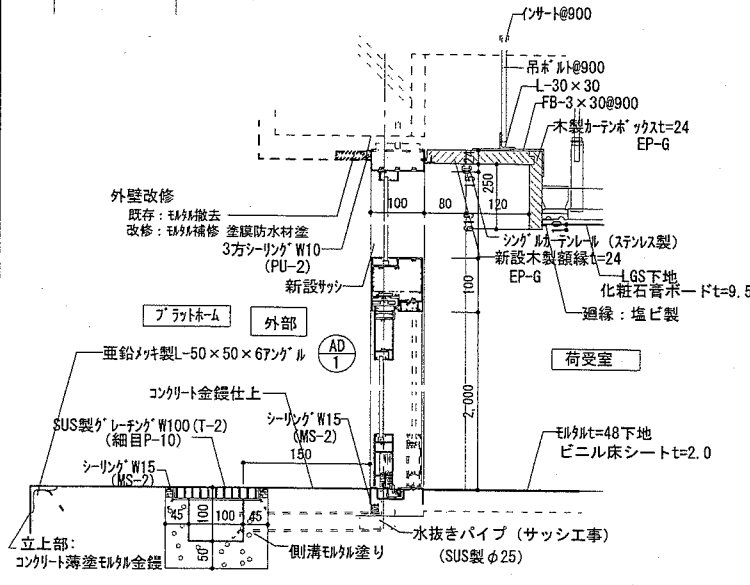
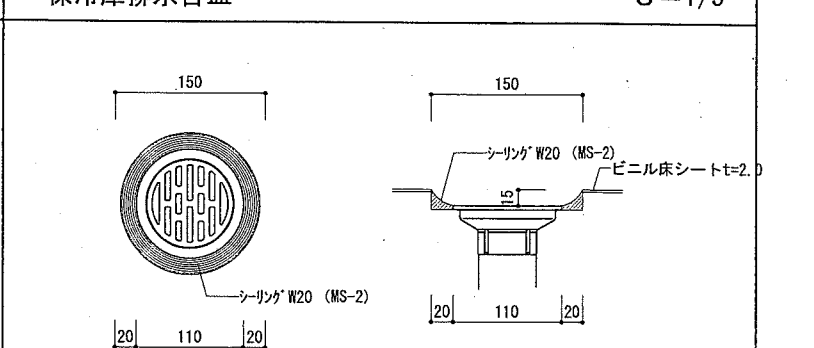
2, 3階 AW-5 S=1/10



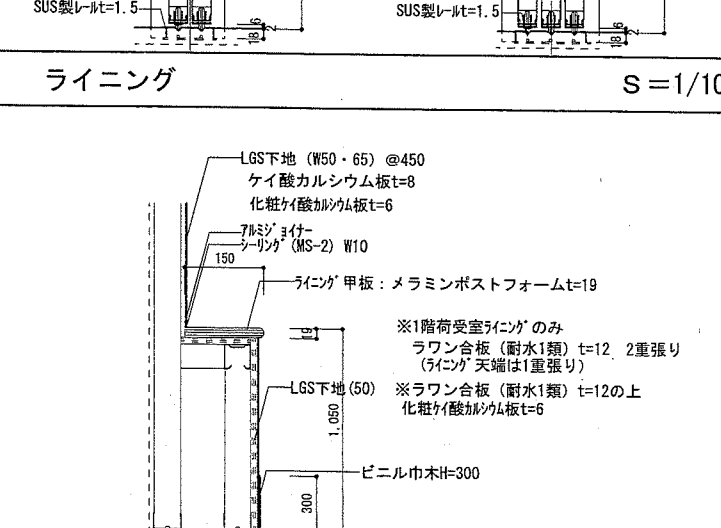
LSD-2・3 S=1/10



保冷库排水目皿 S=1/5



ライニング S=1/10



室名札 S=1/10

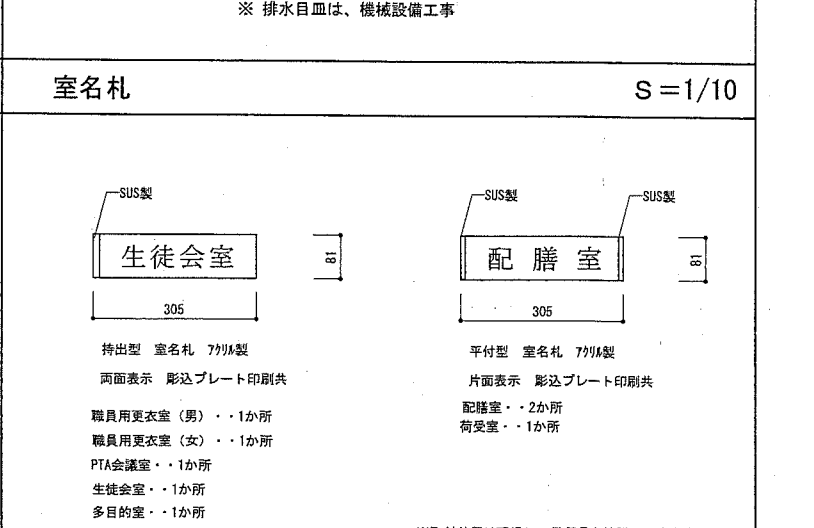
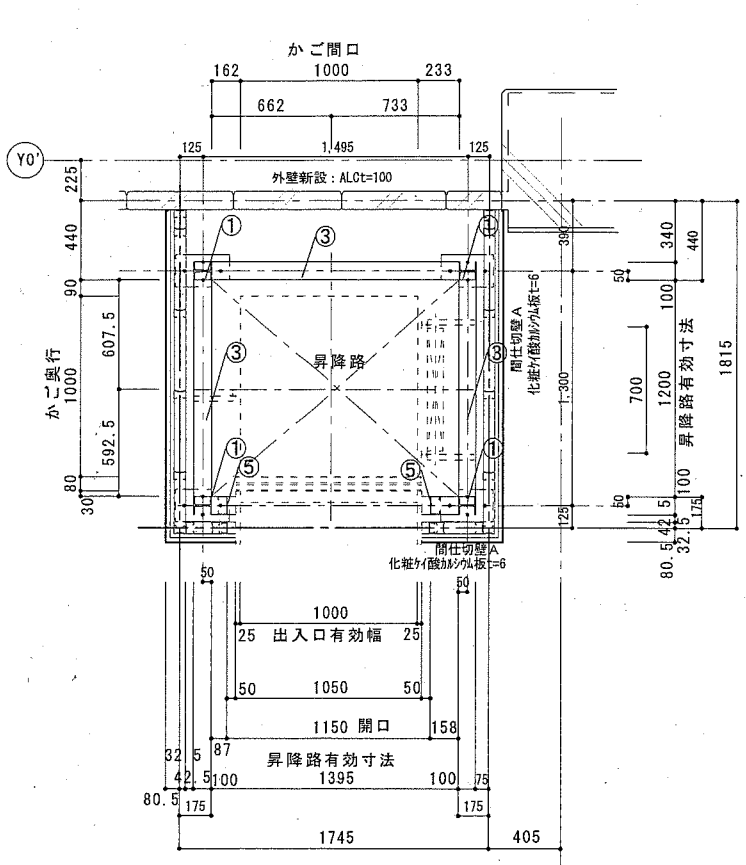
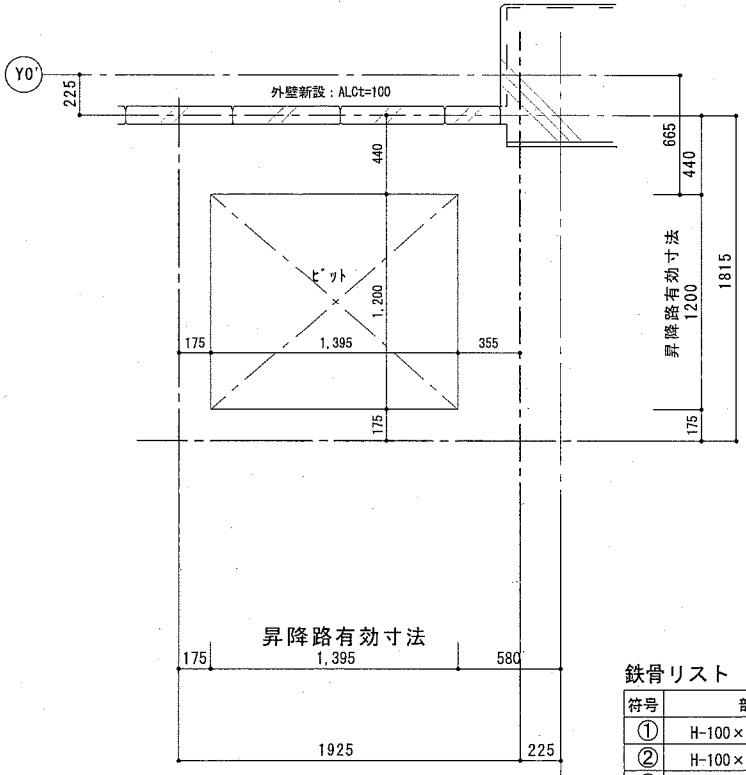


Table with project information including design name, location (Hiroshima City), date (February 2019), and scale (1:5,100).



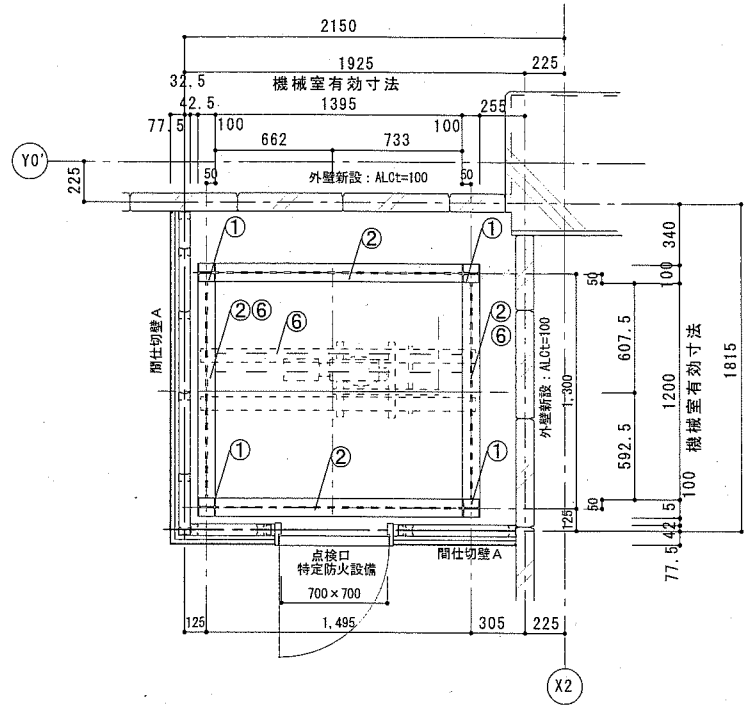
昇降路平面図 S : 1 / 3 0



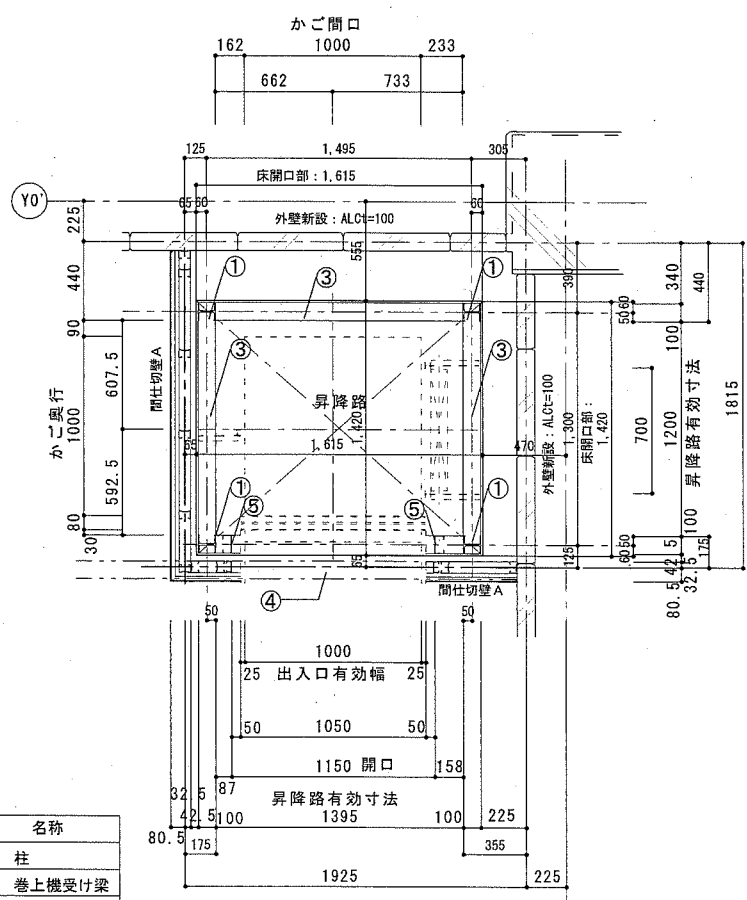
昇降路平面図 S : 1 / 3 0

鉄骨リスト

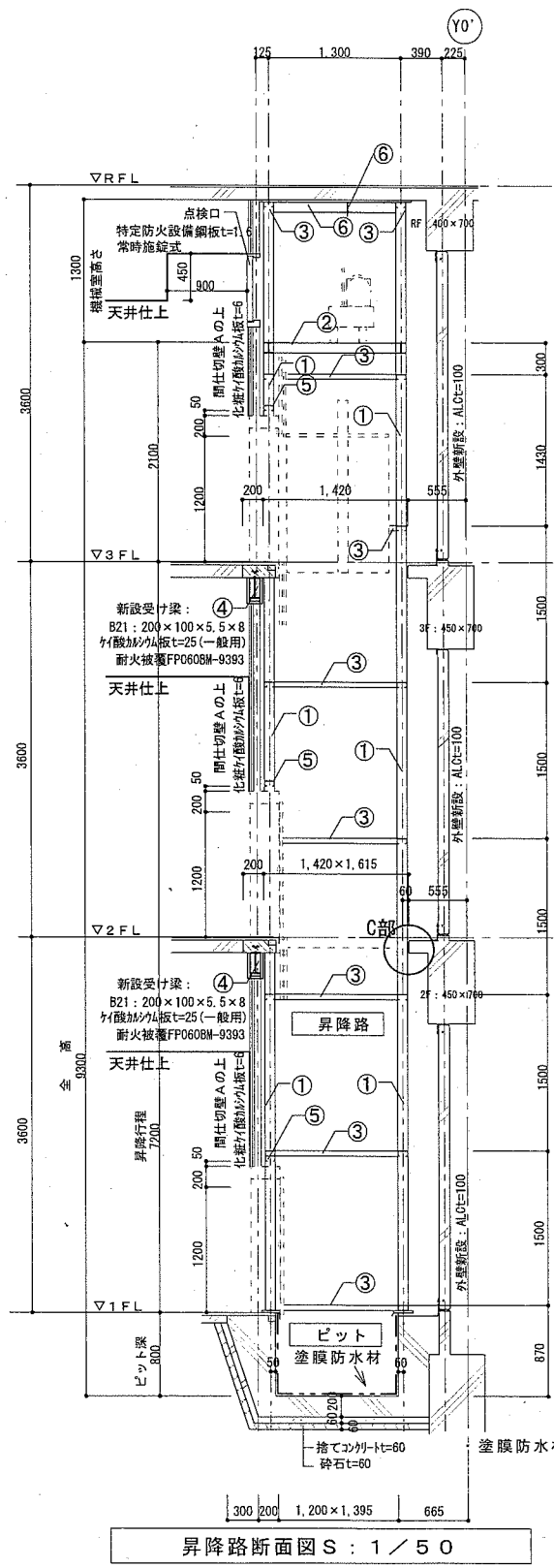
符号	部位	名称
①	H-100×100×6×8	柱
②	H-100×100×6×8	巻上機受け梁
③	C-100×50×20×3.2	レール受け材
④	H-200×100×5.5×8	B21
⑤	C-100×50×20×3.2	枠止め材
⑥	H-100×100×6×8	揚重用梁



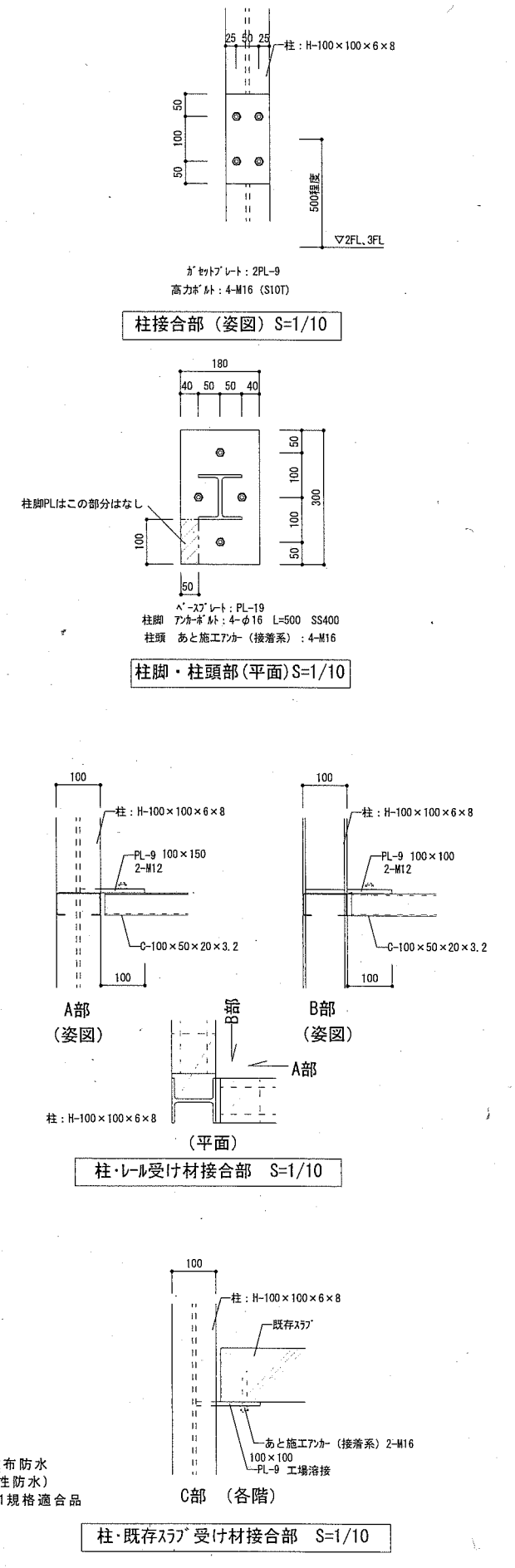
昇降路平面図 S : 1 / 3 0



昇降路平面図 S : 1 / 3 0



昇降路断面図 S : 1 / 5 0



柱接合部 (姿図) S=1/10

柱脚・柱頭部 (平面) S=1/10

A部 (姿図)

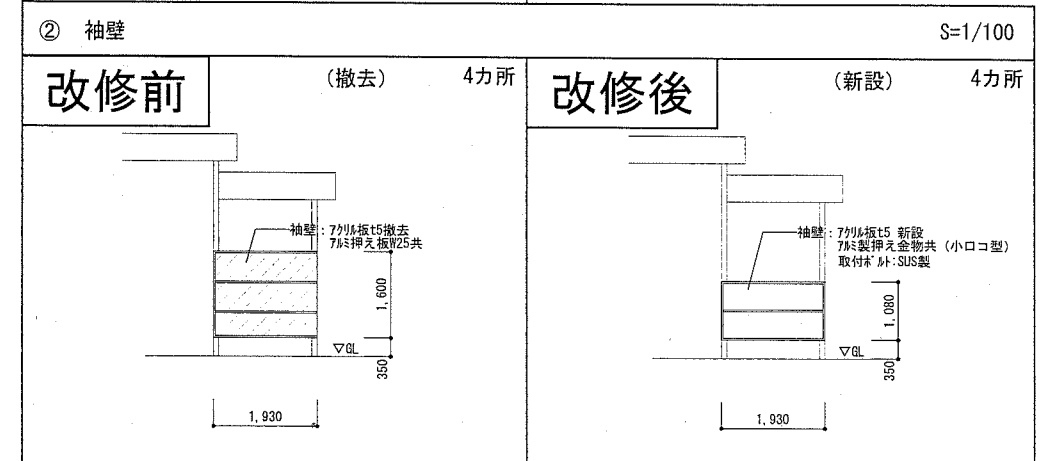
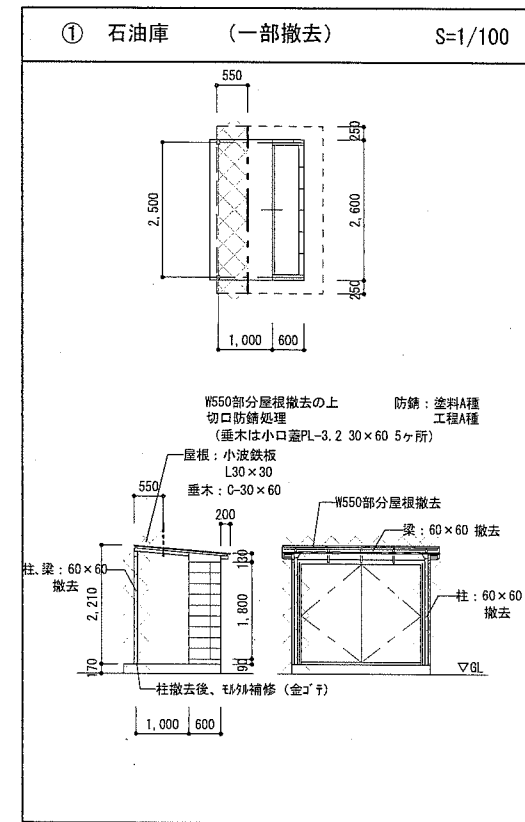
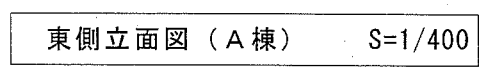
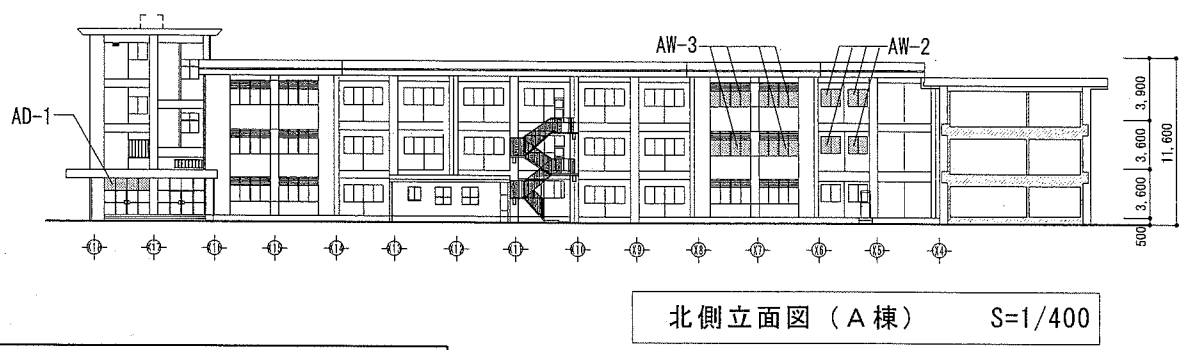
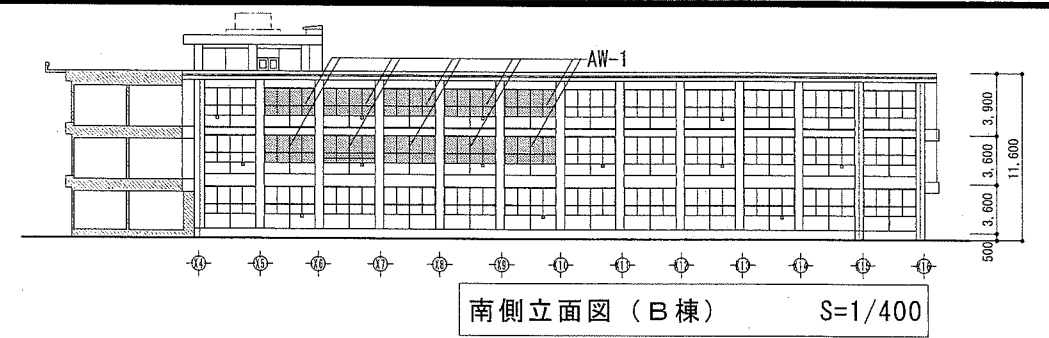
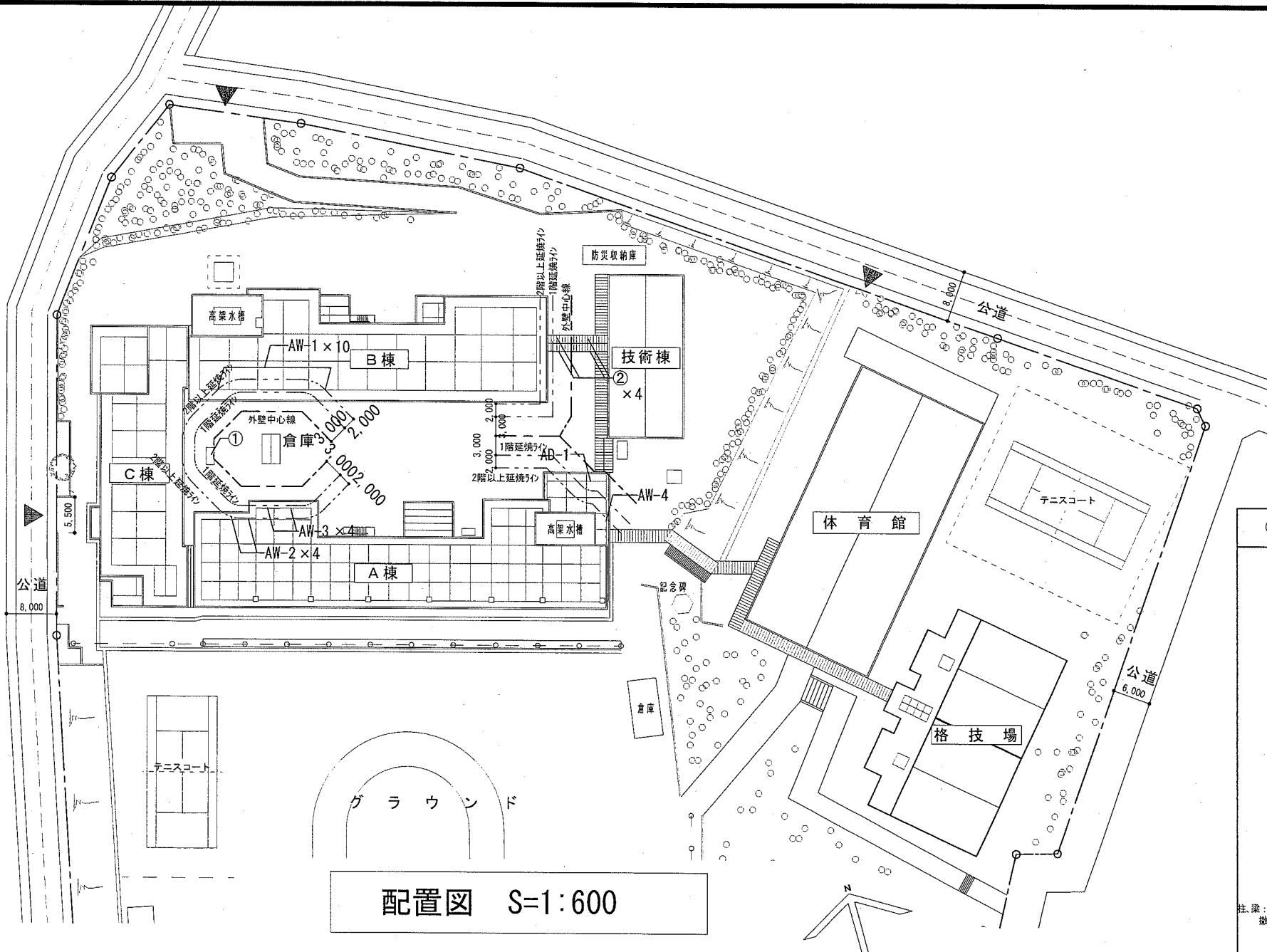
B部 (姿図)

(平面)

柱・レール受け材接合部 S=1/10

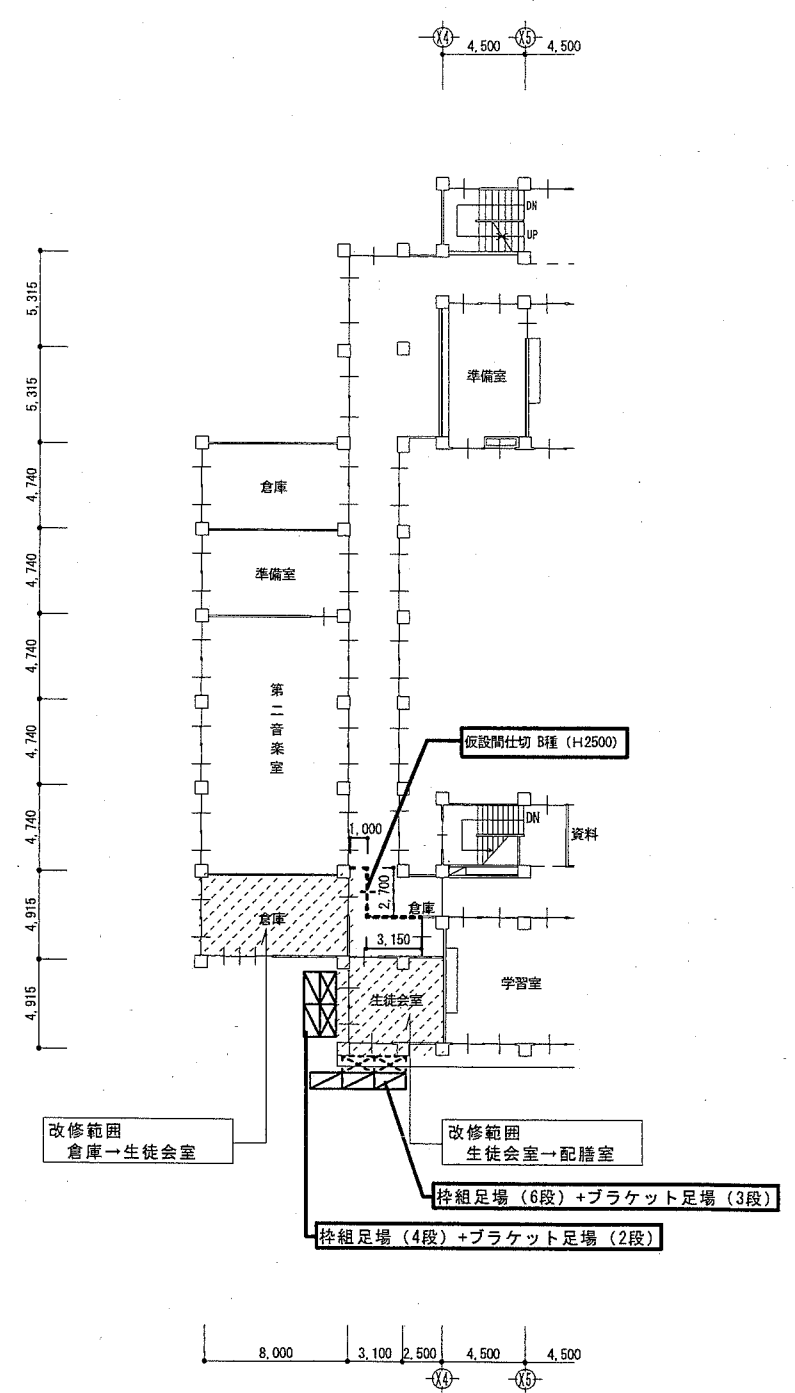
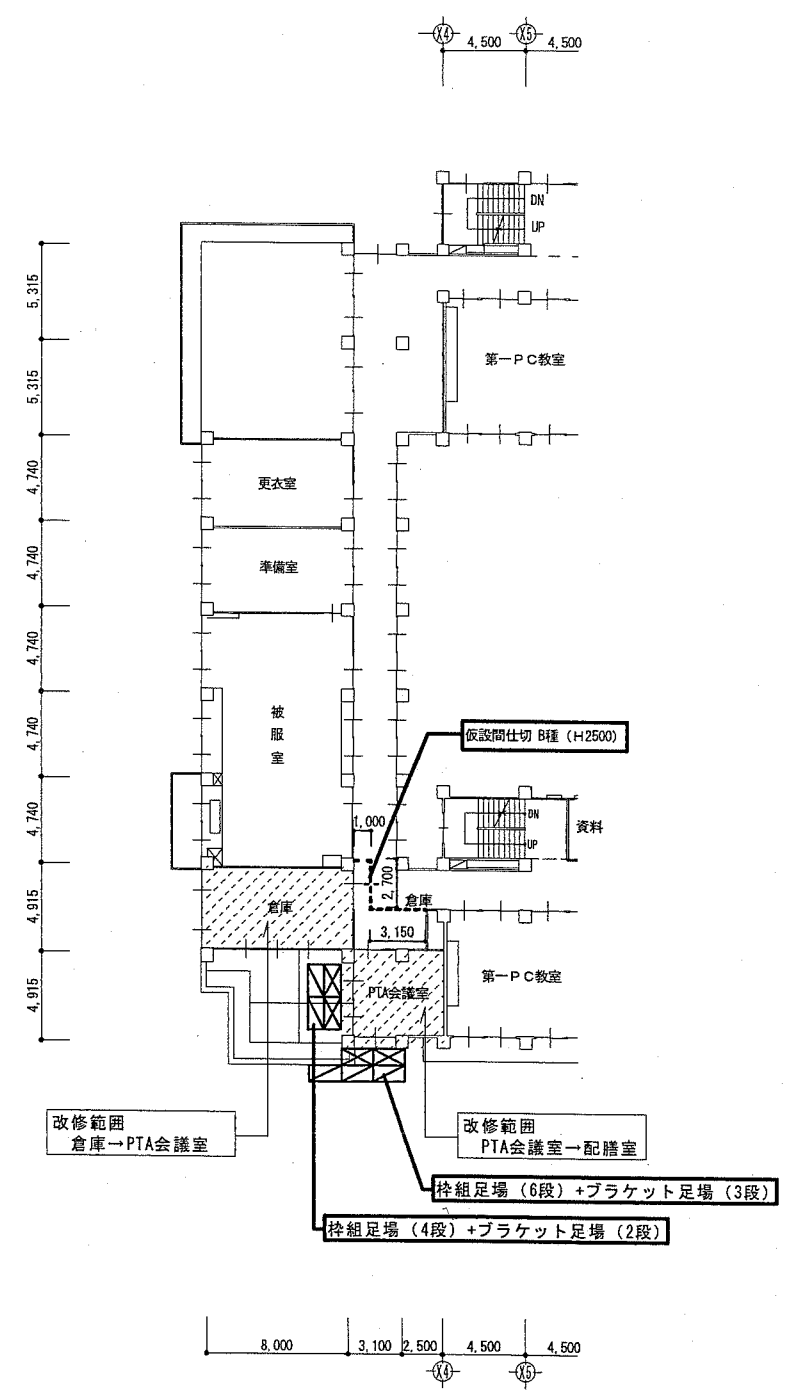
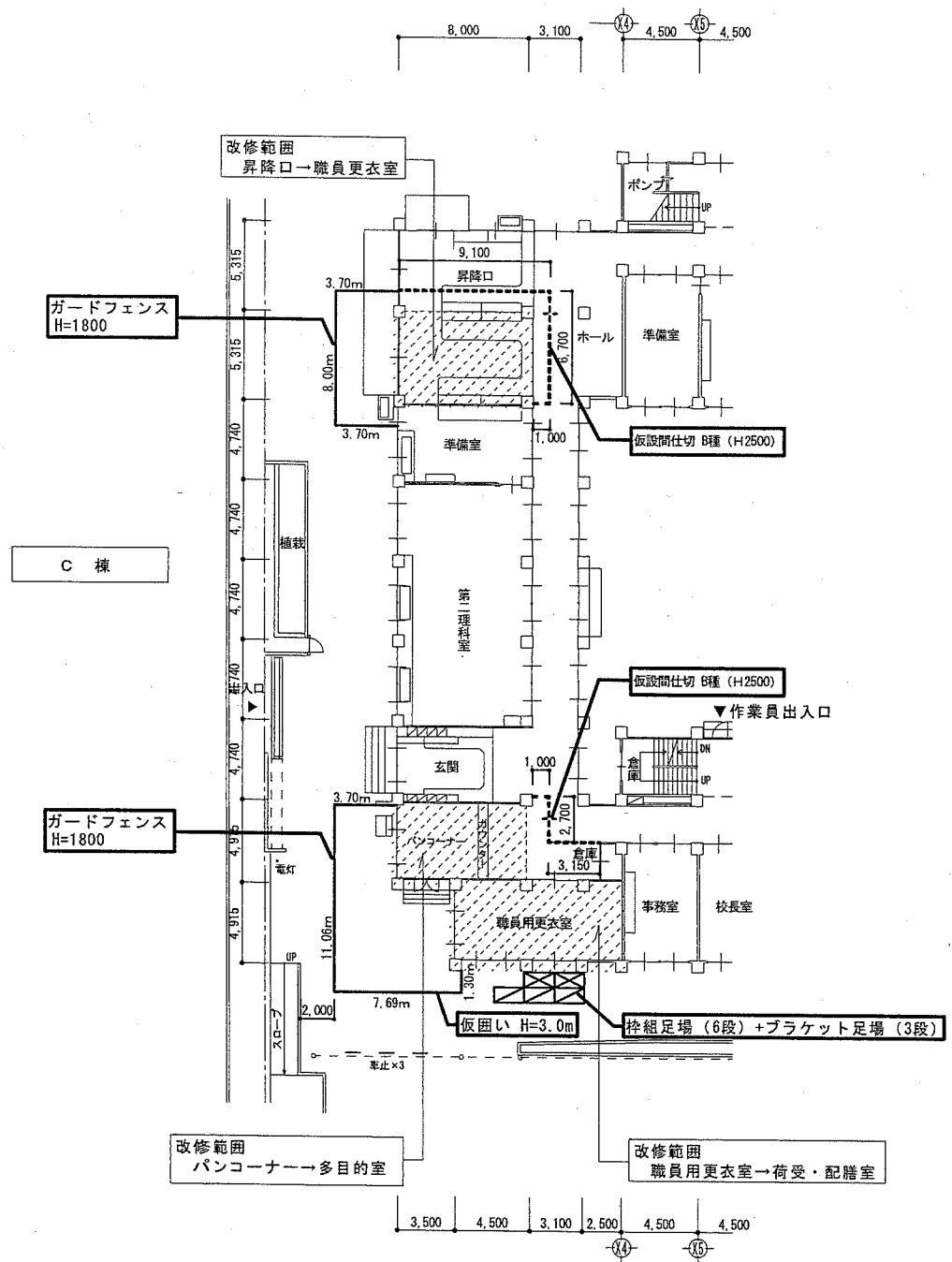
C部 (各階)

柱・既存スリット受け材接合部 S=1/10



改修建具表 S=1:100

記号・個数	AW-1 10か所	AW-2 4か所	AW-3 4か所	AW-4 1か所	AD-1 1か所
取付場所	B棟2~3階教室	A棟2~3階廊下	A棟2~3階便所	A棟1階昇降口	A棟1階昇降口
形状・寸法	3.770 1.850 70 1.850 4か所は既存765mm 枠 880 1.200 600 1.200 1.900	1.400 1.200	2.870 1.400 70 1.400 1.200	2.470 900 1.950	1.900 FIX FIX 700 2.150
見込寸法				▽GL	▽GL
種別方式					
材料仕上					
ガラス厚	透明ガラス5+F 撤去	透明ガラス3+F 撤去	スリガラス3+F 撤去	透明ガラス3+F 撤去	透明ガラス3+F 撤去
付属金物	透明網入りガラスt6.8+防火設備用シリング(内外共)	透明網入りガラスt6.8	型板網入りガラスt6.8	透明網入りガラスt6.8	透明網入りガラスt6.8
備考		+防火設備用シリング(内外共)	+防火設備用シリング(内外共)	+防火設備用シリング(内外共)	+防火設備用シリング(内外共)



公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	設計名称 市立田沼中学校ほか1校群総棟設置建築その他工事 (池上中学校)	図面名称 仮設計画図 (参考用)	A-47
			設計年月日 平成 31年 2月	縮尺 1:300		

構造設計特記仕様書

1. 構造設計概要

- (1) 工事名称: 市立田浦中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事
(2) 建築場所: 横須賀市船越町7丁目6番地 田浦中学校
(3) 構造種別: 鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造
(4) 工事種別: 新築 増築 増改築 改築
(5) 階数等: 地上3階、地下1階、PH1階
(6) 建物用途: 中学校校舎
(7) 付属物・特殊荷重等
(8) 構造設計一級建築士の関与: 必要 必要としない

2. 使用材料

Table with columns: 適用箇所, 種類, 設計基準強度, 構造体強度, スラップ. Includes concrete and rebar specifications.

コンクリートの調合強度 (普通ポルトランドセメント)
- 使用するコンクリートの圧縮強度の標準偏差: σ
- 設計基準強度: Fc
- 耐久設計基準強度: Fd
- 品質基準強度: Fq = max (Fc, Fd)
- コンクリート打込みから28日までの期間の予想平均気温: θ°
- 構造体強度補正係数: S = 3 (θ ≤ 8°C), 6 (0 ≤ θ < 8)
- 調合管理強度: Fm = Fq + S
- 調合強度: F ≥ Fm + 1.73σ
F ≥ 0.85Fm + 3σ

(2) コンクリートブロック JIS A5406

種類: □A種, □B種, □C種
厚さ: □100, □120, □150, □190
使用箇所:

(3) 鉄筋

Table with columns: 種類, 規格, 径, 使用箇所. Lists rebar types like SD295A, SD295B, SD345, SD390, UHYフープ, リバーボン785, リバーボン1275, ウルボン1275, SR235, SR3551.

(3) 鉄骨

Table with columns: 種類, 使用箇所. Lists steel plate types like SS400, SN400A, SN400B, SN400C, SN490A, SN490B, SN490C, STKN400B, STKN490B, BCR295, BCP235, BCP325, SSC400.

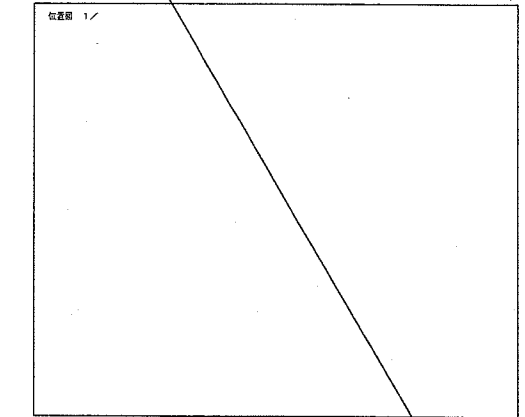
(4) ボルト

Table with columns: 種類, 規格, 径, 使用箇所. Lists bolt types like SF10T, S10T, F8T, M16, M20, M22, M24, SS400, SS490, M12, M16, M20, M22, M24, M27, M30, 頭付きスタッドボルト.

3. 地盤

Table with columns: 調査項目, 資料有り, 調査計画. Lists items like 地盤調査資料, ポーリング, 標準貫入試験, 水平地盤反力係数測定 (LLT), 土質試験, 凍結融解試験, 凍結融解試験, 凍結融解試験, スウェーデン式サウンディング, PS試験.

(2) ポーリング位置図



(2) ポーリング柱状図、標準貫入試験値

Table with columns: NO, 深度, 土質, N値, 標準貫入試験. Includes a grid for recording test results.

4. 地業工事

- (1) 直接基礎: べた基礎, 布基礎, 独立基礎
(2) 地盤改良: 浅層混合処理工法, 改良土, 深層混合処理工法, 改良土, 改良土, 改良土, スウェーデン式サウンディング, PS試験
(3) 杭基礎: 支持層: 泥岩層
○既成コンクリート杭: CPCR杭, SC杭, Hyper-ストリート工法, 杭頭接合部
○鋼管杭: 鋼材: STK490, 杭頭接合部

5. 鉄筋コンクリート工事 (施工方法等計画書)

- (1) コンクリート: コンクリートはJIS A5308 (レディーミクストコンクリート) に適合する...
(2) 鉄筋: 鉄筋はJIS G3112の規格品を標準とする...
(3) 型枠: 材料: 合板厚 12mm以上を標準とする...
Table for concrete strength and rebar details.

6. 鉄骨工事 (施工方法等計画書)

- (1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
(2) 工事監督者の承認を必要とするもの
(3) 工事監督者が行う検査項目
(4) 接合部の溶接は下記によること
(5) 接合部の検査
(6) 防錆塗装
(7) 耐火検査
(8) その他

<h3>1. 一般事項</h3> <p>1-1. 基礎 ① 基礎 : 直接基礎・支持層 ② 設計地耐力 : ③ 杭基礎 : ③ 支持層 : 地中掘削層 ④ 杭種 : 鋼管杭 ⑤ 工法 : 回転圧入工法 (大臣認定工法)</p> <p>1-2. コンクリート ① 普通コンクリート (JIS規格) $f_c = 24 \text{ N/mm}^2$: 標準 (構造体コンクリートの強度は、設計基準強度 f_c に割増し 3 N/mm² 以上を加えた値以上とする。) $f_t = 1.8 \text{ N/mm}^2$: 捨てコンクリート ② 収縮コンクリート (収縮率コンクリート標準値による)</p> <p>1-3. 鉄筋 : SD345 : D19, 22, 25 (JIS規格) SD295A : D10, 13, 16 (JIS規格)</p> <p>1-4. その他 ① 設計図に記載なき場合は、本標準図に依る。 ② 本標準図に記載なき場合は、下記による。 1) 公共建築工事標準仕様書 (最新版) 「公共建築協会、国土交通大臣官庁官庁官庁官庁」 2) 公共建築改修工事標準仕様書 (最新版) 「」 3) 建築工事監理指針 (最新版) 「」 4) 建築改修工事監理指針 (最新版) 「建築保全センター、国土交通大臣官庁官庁官庁官庁」 5) 建築工事標準仕様書 JASS5 鉄筋コンクリート工事 (最新版) 「日本建築学会」 6) 鉄筋コンクリート設計指針案 「日本建築学会」</p>	<h3>2-1, 2. 共通事項 (鉄筋の表示記号、フック)</h3> <p>2-1. 鉄筋の表示記号</p> <table border="1"> <tr> <td>異形鉄筋</td> <td>D10</td> <td>D13</td> <td>D16</td> <td>D19</td> <td>D22</td> <td>D25</td> <td>D28</td> <td>D32</td> </tr> <tr> <td>表示記号</td> <td> </td> <td>×</td> <td>▲</td> <td>●</td> <td>○</td> <td>◇</td> <td>×</td> <td>*</td> </tr> </table> <p>2-1. 鉄筋のフック 下記の1)~6)に示す鉄筋の末端部には、フックをつける。 1) 丸鋼 2) あばら筋及び帯筋 (閉鎖型を除く) 3) 埋入鉄筋 4) 単筋梁の支持端及び片持梁・片持スラブの上端部の先端 5) 最上層及びこれに準ずる個所の柱筋の4隅の鉄筋 6) 柱及び梁 (地中梁を除く) の出露部分の鉄筋 (下図)</p> <p>上の印の鉄筋の末端には、フックが必要</p>	異形鉄筋	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D28	D32	表示記号		×	▲	●	○	◇	×	*	<h3>2-3. 共通事項 (鉄筋の折り曲げ)</h3> <p>2-3. 鉄筋の折り曲げ (SD345, SD295) d: 鉄筋の公称直径</p> <table border="1"> <tr> <th>鉄筋の折り曲げ角度</th> <th>鉄筋の折り曲げうちの寸法</th> <th>鉄筋の余長</th> </tr> <tr> <td>180°</td> <td>4d以上</td> <td>4d以上</td> </tr> <tr> <td>135°</td> <td>4d以上</td> <td>6d以上</td> </tr> <tr> <td>90°</td> <td>4d以上</td> <td>8d以上</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>鉄筋の折り曲げ角度</th> <th>鉄筋の仕様書による呼称</th> <th>鉄筋径による区分</th> <th>鉄筋の折り曲げうちの寸法</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">90°以下</td> <td rowspan="2">あばら筋・帯筋 スパイラル筋</td> <td>D16以下</td> <td>4d以上</td> </tr> <tr> <td>D19~D25</td> <td>5d以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">上記以外の鉄筋</td> <td>D25以下</td> <td>6d以上</td> </tr> <tr> <td>D29~D32</td> <td>8d以上</td> </tr> </table>	鉄筋の折り曲げ角度	鉄筋の折り曲げうちの寸法	鉄筋の余長	180°	4d以上	4d以上	135°	4d以上	6d以上	90°	4d以上	8d以上	鉄筋の折り曲げ角度	鉄筋の仕様書による呼称	鉄筋径による区分	鉄筋の折り曲げうちの寸法	90°以下	あばら筋・帯筋 スパイラル筋	D16以下	4d以上	D19~D25	5d以上	上記以外の鉄筋	D25以下	6d以上	D29~D32	8d以上	<h3>2-4. 共通事項 (鉄筋の定着及び重ね継手の長さ)</h3> <p>2-4. 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ (SD345, SD295) d: 鉄筋の公称直径</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">コンクリートの設計基準強度</th> <th colspan="3">定着長さ (L)</th> <th rowspan="2">重ね継手長さ (L)</th> </tr> <tr> <th>一般</th> <th>小梁</th> <th>スラブ</th> </tr> <tr> <td>21~30</td> <td>35d (フックなし) 25d (フックつき)</td> <td>25d (フックなし) 15d (フックつき)</td> <td>10d かつ 150以上</td> <td>40d (フックなし) 30d (フックつき)</td> </tr> <tr> <td>21未満</td> <td>40d (フックなし) 30d (フックつき)</td> <td>30d (フックなし) 20d (フックつき)</td> <td>10d かつ 150以上</td> <td>45d (フックなし) 35d (フックつき)</td> </tr> </table> <p>注1. 末端のフックは、定着及び重ね継手の長さにはふくまない。 2. 直径の異なる鉄筋の重ね長さは、細い方の鉄筋の公称直径とする。 3. 梁及びスラブの定着のための中間折り曲げにあたっては、表中の定着長さ (L) にかかわらず、柱及び梁の中心をこえてから折り曲げる。 4. 溶接鋼の重ね継手は、1層半以上かつ150mm以上。</p>	コンクリートの設計基準強度	定着長さ (L)			重ね継手長さ (L)	一般	小梁	スラブ	21~30	35d (フックなし) 25d (フックつき)	25d (フックなし) 15d (フックつき)	10d かつ 150以上	40d (フックなし) 30d (フックつき)	21未満	40d (フックなし) 30d (フックつき)	30d (フックなし) 20d (フックつき)	10d かつ 150以上	45d (フックなし) 35d (フックつき)
異形鉄筋	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D28	D32																																																										
表示記号		×	▲	●	○	◇	×	*																																																										
鉄筋の折り曲げ角度	鉄筋の折り曲げうちの寸法	鉄筋の余長																																																																
180°	4d以上	4d以上																																																																
135°	4d以上	6d以上																																																																
90°	4d以上	8d以上																																																																
鉄筋の折り曲げ角度	鉄筋の仕様書による呼称	鉄筋径による区分	鉄筋の折り曲げうちの寸法																																																															
90°以下	あばら筋・帯筋 スパイラル筋	D16以下	4d以上																																																															
		D19~D25	5d以上																																																															
	上記以外の鉄筋	D25以下	6d以上																																																															
		D29~D32	8d以上																																																															
コンクリートの設計基準強度	定着長さ (L)			重ね継手長さ (L)																																																														
	一般	小梁	スラブ																																																															
21~30	35d (フックなし) 25d (フックつき)	25d (フックなし) 15d (フックつき)	10d かつ 150以上	40d (フックなし) 30d (フックつき)																																																														
21未満	40d (フックなし) 30d (フックつき)	30d (フックなし) 20d (フックつき)	10d かつ 150以上	45d (フックなし) 35d (フックつき)																																																														
<h3>2-5, 6. 共通事項 (継手一般、鉄筋のあき)</h3> <p>2-5. 継手一般 1) 圧接位置 間隔: $a \geq 400$ あき: $e \leq 0.2d$ $d' \geq 1.4d$</p> <p>2) 重ね継手 (下記のいずれかとする) $1.5 \cdot L$ 以上 $約0.5 \cdot L$</p> <p>3) D19以上は、圧接継手とする。 4) 鉄筋径の差が7mmをこえる場合は、圧接としてはならない。</p> <p>2-6. 鉄筋のあき 1) 鉄筋のあきは、原則として下記による。 ・異形鉄筋 1.7d以上 ・粗骨材の最大寸法の1.25倍以上 ・かつ25mm以上</p> <p>2) 鉄筋径が異なる場合は大きい方による。</p>	<h3>2-7. 共通事項 (かぶり厚さ)</h3> <p>2-7. かぶり厚さ 鉄筋に対するコンクリートの「標準かぶり厚さ」と「最小かぶり厚さ」(mm) (水セメント比 55パーセント以下の場合)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">構造部分の種別</th> <th colspan="2">コンクリートの種類</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>普通コンクリート</th> <th>高強度コンクリート</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">土に接しない部分</td> <td>床・屋根スラブ</td> <td>仕上あり 30 (20) 仕上なし 40 (30)</td> <td rowspan="4">X</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">柱、梁、耐力壁</td> <td>屋内 仕上あり 40 (30) 仕上なし 40 (30)</td> </tr> <tr> <td>屋外 仕上あり 40 (30) 仕上なし 50 (40)</td> </tr> <tr> <td>換気、耐圧スラブ</td> <td>50 (40)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">土に接する部分</td> <td>柱、梁、スラブ</td> <td>50 (40)</td> <td rowspan="2">X</td> </tr> <tr> <td>基礎、換気、耐圧スラブ</td> <td>70 (60)</td> </tr> <tr> <td>煙突など、高熱を受ける部分</td> <td colspan="2">70 (60)</td> <td rowspan="2">X</td> </tr> <tr> <td colspan="3">注) 1) () 内の数値は、「最小かぶり厚さ」を示す。 2) 仕上げ(モルタル打掛し等)の無い場合は、上記数値に10mm以上を加える事</td> </tr> </table>	構造部分の種別	コンクリートの種類		備考	普通コンクリート	高強度コンクリート	土に接しない部分	床・屋根スラブ	仕上あり 30 (20) 仕上なし 40 (30)	X	柱、梁、耐力壁	屋内 仕上あり 40 (30) 仕上なし 40 (30)	屋外 仕上あり 40 (30) 仕上なし 50 (40)	換気、耐圧スラブ	50 (40)	土に接する部分	柱、梁、スラブ	50 (40)	X	基礎、換気、耐圧スラブ	70 (60)	煙突など、高熱を受ける部分	70 (60)		X	注) 1) () 内の数値は、「最小かぶり厚さ」を示す。 2) 仕上げ(モルタル打掛し等)の無い場合は、上記数値に10mm以上を加える事			<h3>3-1, 2, 3. 柱 (主筋の継手、定着、しぼり)</h3> <p>3-1. 主筋の継手 ・継手は、原則として下図斜線範囲に設ける。</p> <p>3-2. 主筋の定着 ・柱筋は、原則として4隅の主筋にフックをつける。</p> <p>3-3. 主筋の絞り (柱径が異なる場合) $e/D < 1/6$ の場合 $e/D > 1/6$ の場合</p>	<h3>3-4. 柱 (帯筋の形状)</h3> <p>3-4. 帯筋の形状</p> <p>a. 主帯筋の形状 ① 135度フックの場合 ② 溶接の場合 ③ スパイラル筋の場合 ④ FRPリング等認定品の場合</p> <p>b. 副帯筋 (中筋) の形状 シングル ダブル</p> <p>c. 二段配筋の場合 補助筋: J型 (D10加工又は既成品) D10加工又は既成品</p>																																			
構造部分の種別	コンクリートの種類		備考																																																															
	普通コンクリート	高強度コンクリート																																																																
土に接しない部分	床・屋根スラブ	仕上あり 30 (20) 仕上なし 40 (30)	X																																																															
	柱、梁、耐力壁	屋内 仕上あり 40 (30) 仕上なし 40 (30)																																																																
		屋外 仕上あり 40 (30) 仕上なし 50 (40)																																																																
	換気、耐圧スラブ	50 (40)																																																																
土に接する部分	柱、梁、スラブ	50 (40)	X																																																															
	基礎、換気、耐圧スラブ	70 (60)																																																																
煙突など、高熱を受ける部分	70 (60)		X																																																															
注) 1) () 内の数値は、「最小かぶり厚さ」を示す。 2) 仕上げ(モルタル打掛し等)の無い場合は、上記数値に10mm以上を加える事																																																																		
<h3>3-5. 柱 (帯筋の配置)</h3> <p>3-5. 帯筋の配置 a. 帯筋の配置は下図による。 ・第一帯筋は、最小せいの梁上下端レベルに入れ、その間を設計ピッチ以下に割り付ける。 b. 主筋を絞る場合 ・上下の柱断面が異なる場合、主・副帯筋を2段重ねる</p>	<h3>4-1, 2. 梁 (主筋の継手、定着)</h3> <p>4-1. 主筋の継手 a. 一般の梁の場合 (地中梁を含む) ・継手は、原則として下図斜線範囲に設ける。 b. 地中梁で、地反力を受ける場合 ・べた基礎、布基礎</p> <p>4-2. 主筋の定着 a. 一般梁の場合 b. 最上層の梁 c. 小梁の場合</p>	<h3>4-3. 梁 (あばら筋の形状)</h3> <p>4-3. あばら筋の形状 a. 主あばら筋の形状 135度フック 180度フック キャップタイ付きの場合 梁せいが大きい場合</p> <p>b. 副あばら筋 (中筋) 135度フック 180度フック</p> <p>c. 壁式構造の梁 ・あばら筋の形状は、原則として下図による。 ・$B < 220$ の場合のあばら筋は、原則としてD10とする。 $B = 150$ の場合 $B = 180$ の場合 $B > 200$ の場合</p>	<h3>4-4, 5. 梁 (あばら筋の配置、補助筋)</h3> <p>4-4. あばら筋の配置 a. 一般の梁 ・第一あばら筋を柱面に入れ、内面を設計ピッチ以下に割り付ける。 b. 梁先端部及び壁式構造の梁先端部 ・大梁、又は主梁のあばら筋を先端部まで配置する。 c. 壁部と開口部の区分は下図による。</p> <p>4-5. 補助筋 中筋筋 約1.5d 止め筋 あばら筋に結束 中筋筋</p>																																																															

鉄骨一般事項

- 1) 鋼材 : 鋼材材種 : 使用位置
- ・SHC490B (熱間成形角形鋼管)
 - ・SHC400B (")
 - ・BCP325 (冷間プレス成形角形鋼管)
 - ・BCP235 (")
 - ・BCR295 (冷間ロール成形角形鋼管)
 - ・STKR400 (冷間成形角形鋼管)
 - ・SN490C : 通しダイヤフラム
 - ・SN490B
 - ・SN400C
 - ・SN400B : 大梁端部
 - ・SN400A
 - ・STKN400W, B :
 - SS400 : DW柱、小梁及びプレート等
 - ・STK490
 - ・STK400
 - ・SSC400

- 2) 溶接 : ○適用する溶接工法は、「アーク手溶接」「ガスシールドアーク半自動溶接」及び「サブマージアーク自動溶接」とする。
- 突合せ溶接継目は、母材強度と同等とする。
- ・上記条件を満足するよう、大匠認定を受けた工場で行うこととし、必要な書類の提出等を行う事。

- 3) 高力ボルト : ○セットの種類 : F10T, S10T (JIS規格品)
- ~~ハイベス~~ (溶接用締め高力ボルト) 使用指針
- 摩擦面は、摩擦係数 $\mu = 0.45$ (F8T : 0.40) が充分得られる状態とする。
 - ボルト穴は、すべてドリル明けとする。
 - 主要箇所締め付けは、二度締めとする。
- (高力ボルト締め付け要領による)
- ボルトに熱影響のある場所での溶接・ガス切断等は行わない。
 - 標準ピッチ等 : ・ピッチ : 継手標準図による
 - ・はし明き、へり明き :

- 4) アンカーボルト : ・材種 : ・SS400 (JIS規格)
- ・特記以外のアンカーボルトは、すべてフック付きとする。
- ~~ハイベス~~及び~~スパン~~のアンカーボルト等は各施工標準図による。
- ~~出板~~アンカーは、~~ケミカル~~アンカー~~実用タイプ~~(~~ボタイプ~~)または同等以上とする。
- ・その他、「ベース・アンカーボルト標準図」による。

- 5) 中ボルト : ○材種 : ・SS400 (JIS規格)
- ・標準ピッチ等 : ・ピッチ : 50 mm
- ・はし明き、へり明き : 25 mm

- 6) スパンプレート : ・材種 : ・SN400, SNR400 (JIS規格)
- ・ねじ加工は、転造ネジとする。
- ・ターンバックス付とする。

- 7) デッキプレート : ・使用デッキプレート : ・QL-99-50, QL-99-75 JFE建材 (株)
- ・E-Z50, E-Z75 日鐵建工業 (株)
- ・または同等以上
- ・合成スラブの場合
1. 施工にあたっては、「標準図」及び「合成スラブ施工要領」に従うこと。
 2. 施工後、所定の検査を受け、チェックリストを提出すること。

- 8) 防錆塗装 : ・下記表示位置以外
- 下地処理 : ・下地処理 :
・防錆塗装 :
- ・無塗装箇所
・無塗装範囲 :
下地処理 :
・塗装雰囲気内
使用位置 :
下地処理 :
防錆塗装 :
・溶融亜鉛メッキ
使用位置 : 柱・梁他
下地処理を含め「施工要領書」を作成し、承諾を得ること。

- 9) スタッドボルト : ○JIS規格 頭付きスタッドボルト
- ピッチ等は、リスト又は詳細図による。

- 10) 溶接部の検査
- 溶接部全体について、目視による検査を行う。
- 超音波検査 : ・検査対象部位 : ・ $t \geq 8$ mmの突合せ溶接部
- 工場自主検査 : ・工場溶接・現場溶接対象部位の100%
- 第三者検査 : ・検査はCIW認定事業者が行う
- 工場溶接 : 対象部位の 30% (約 力所)
- 現場溶接 : 対象部位の % (約 力所)
- あわせて外観検査を行う
- ・カラーチェック : ・検査対象部位 :

- 11) 提出書類 : 施工に先立ち、下記の書類を提出し、承諾を得ること。
1. 工作図
 2. 作業要領書
 3. 検査要領書
 4. 建方要領書
 5. その他施工、及び建築確認検査等に必要なもの

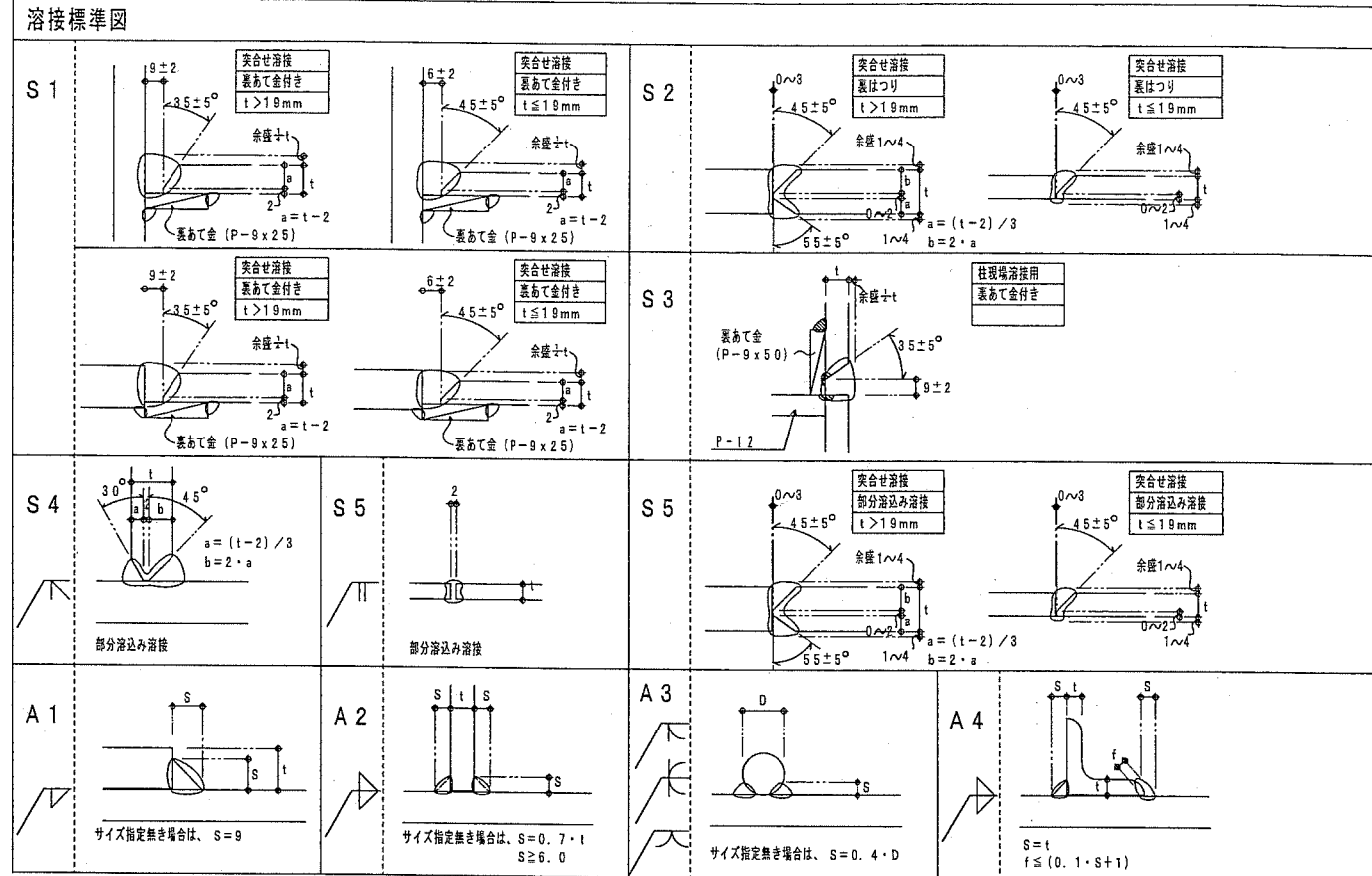
- 12) 監督官庁提出書類 : 1. 溶接作業計画書 (工事開始前に提出)
- ~~ハイベス~~溶接用締め高力ボルト~~使用指針~~
- ~~ハイベス~~溶接用締め高力ボルト~~使用指針~~

高力ボルト締め付け要領 (二度締め)

- 1) 適用部材等 : DW柱、小梁
- 2) 締め付け要領
1. 仮締めボルト
 - ・建入れ直後に、組立用仮締めボルトを充分締め付け、接合材相互を密着させる。
 2. 本締め用高力ボルト、一次締め
 - ・締め付けには、プレセット型トルクレンチを用いる。
 - ・一次締めは、ボルト呼び径に応じて下表に示すトルク値で締め付ける。
 - 表のトルク値では、十分な密着状態にならない場合は、幾分か大きい値としてもよい。
 3. マーキング
 - ・マーキングは、図に示すようにボルト軸からナット・座金・母材にかけて、白いマジックインクなどで線を引いて印をする。
 4. 本締め
 - ・専用レンジで、ピンチールが破断するまで締め付け、ナットが正しく回転したことを確認する。

ボルト呼び径	一次締め付けトルク値 (kgf・cm)
M16	約 1000
M20, M22	約 1500
M24	約 2000

図 : 一次締め付け後のマーキング



無収縮モルタル標準図

・グラウト材料材料及び施工一般事項

- (1) 材料
- 圧入モルタルは早強形特殊セメント系無収縮モルタルとし、調合はプレミックスタイプを使用し、品質は下記の項目を満足するものとする。なお、監督官の承諾を得ること。

項目	コンシステンシーの範囲 (J14ルート)	圧縮強度	乾燥収縮 ($\times 10^{-4}$)
品質	8 ± 2 秒	300 kgf/cm ² 以上 (3.0N/mm ²)	0

- (2) 型枠
- モルタル圧入部の型枠は注入圧力に耐え得るグラウト用とし、周囲に急峻性又は透水性コーキング材を施し、モルタル漏れのないようにする。

- (3) 使用材料の保管
- 使用するグラウト材は、夏の直射日光の当たる場所や雨が当たる場所には放置せずに保管する。

- (4) 注入

- モルタル注入工事はメーカーの責任施工とし、事前に詳細な施工要領書を監督官に提出し承諾を得ること。
- モルタルの注入前に既存コンクリート表面及びコンクリート打継部の清掃及び水湿しを十分に行う。注入に先立ち試し練りを行い、適切な練り上がり温度及び所定のコンシステンシーが得られる事を確認してから注入を開始する。
- 施工時に水温の管理を十分に行い、水温10℃以上の水を用いてグラウト材を練り上げ、練り上がり時の温度が10~35℃の範囲のものを用いる。なお、グラウト材の練混ぜ温度が規定温度以上になる場合は、水を添加する等の措置を講じた冷水を用いる。
- グラウト材の攪拌には、アルミ羽の攪拌機を用いないこと。
- 圧入は適切な圧力で行い、打継ぎのないように行う。グラウト孔をスパン中央下部端に、空気抜きを上部スパン両端に設け、グラウト孔にホースを接続して連続圧送を行い、グラウトモルタルが空気抜きに出てくることを確認した段階で注入を中断し、各空気抜きパイプの封入を確認した後、再び加圧し作業を終了する。密封後の圧力は、圧力計を用い注入孔側で0.5~1.0 kgf/cm²程度を確認すること。

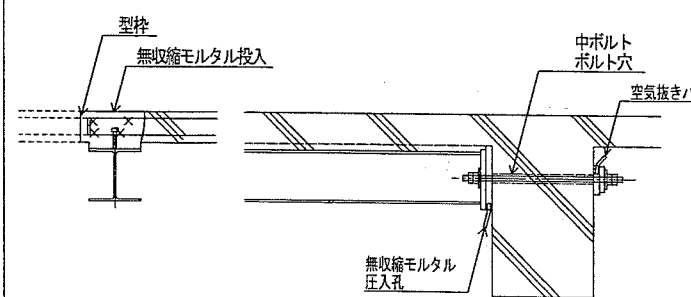
- (5) 試験確認等
- a) コンシステンシー試験 試験は日本道路公団「無収縮モルタル基準」に示されている試験方法による。試験はロート法とし、ロートはJ14ロートとする。試験は午前・午後各1回、打設前及び監督官が指示した時に行う。

- (6) 材料メーカー
- ・太平洋マテリアル㈱ プレユーロックスM
 - ・㈱ABC商會 ノンシュリンク グラウトスタンダード
 - ・㈱ボソリス物産 マスターフロー-540 グラウト
- 同等以上とする。

- (7) ボルト穴施工及びモルタル圧入要領

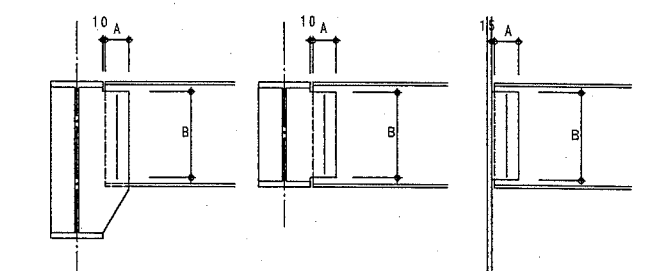
- モルタル圧入及び空気抜き穴は、ボルト及びベースプレート周りにモルタル充填が確実に出来る位置に設けること。また、モルタル充填が確認出来るようにする事。
- 型枠及びシーリング材は、モルタル充填に対して、十分な強度・気密性を持つようにする事。
- ボルト穴径は、モルタル充填が確実に出来るものとして決定する事。

無収縮モルタル圧入詳細図 1/20 (増設鉄骨梁上部スラブ)

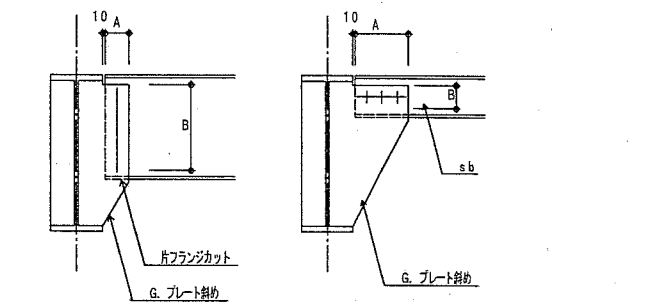


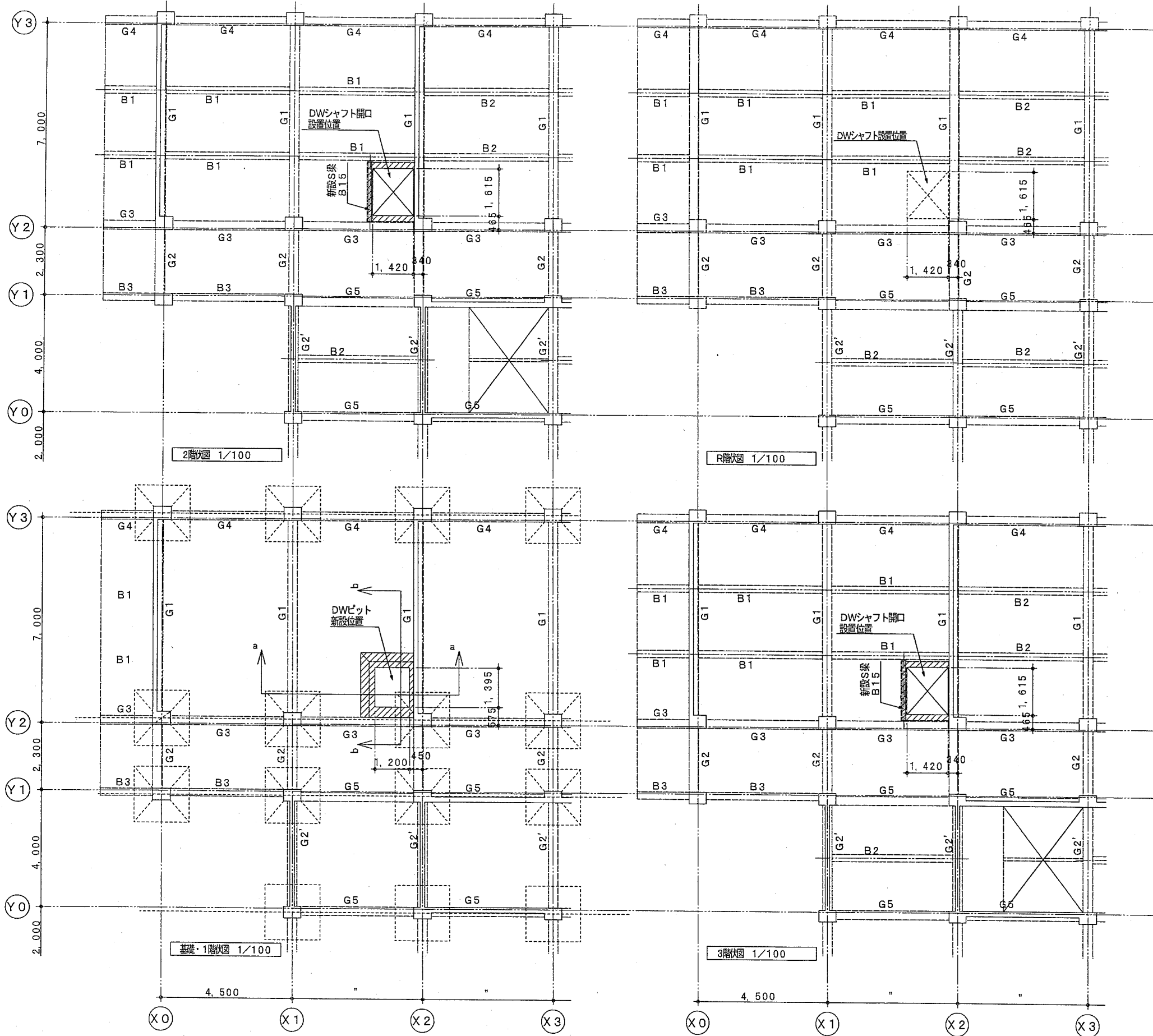
小梁継手標準図

ガセットプレート表示 : P-t x A x B



指定位置小梁の納まり





1. 使用材料
- ・コンクリート $F_c=24$ N/mm² (JIS規格) : DWピット増設
 - ・無収縮モルタル $F_c=30$ N/mm² : DWシャフト増設
 - ・鉄筋 D13:SD295A (JIS規格) : DWピット・シャフト
 - ・鉄骨 SS400 (JIS規格) : 増設S梁

2. 部材サイズ一覧表 (田浦中学校)

- 既存RC梁
- ・G1 RF 330x800~650
3F 330x800~650
2F 330x900~650
1F 400x1,000
 - ・G3, 4 RF 330x600
3F 330x700
2F 330x700
1F 400x900
 - ・B1 RF 300x400
3F 250x400
2F 250x300

- 増設S梁
- ・B15 2, 3F H-150x150x7x10
- 既存スラブ厚さ $t=120$ mm

・床開口施工手順

1. 床開口寸法+200mm (片側) でコンクリートを撤去する。コンクリートを撤去する前に、カッターで両面に切り込みを入れ、ひび割れが入らないよう、また、鉄筋を切断しないようにすること。
2. 鉄筋は新設コンクリート (モルタル) 部への定着部分を残して切断する。
3. 増設S梁がある場合は、中ボルトを用いて設置する。
4. 既存鉄筋及び増設の鉄筋を加工配置する。
5. 清掃ののち、型枠を設置する。
壁型枠上端に、無収縮モルタル充填用の取入口を設ける。
6. 無収縮モルタルを充填する。
7. 養生ののち型枠解体。

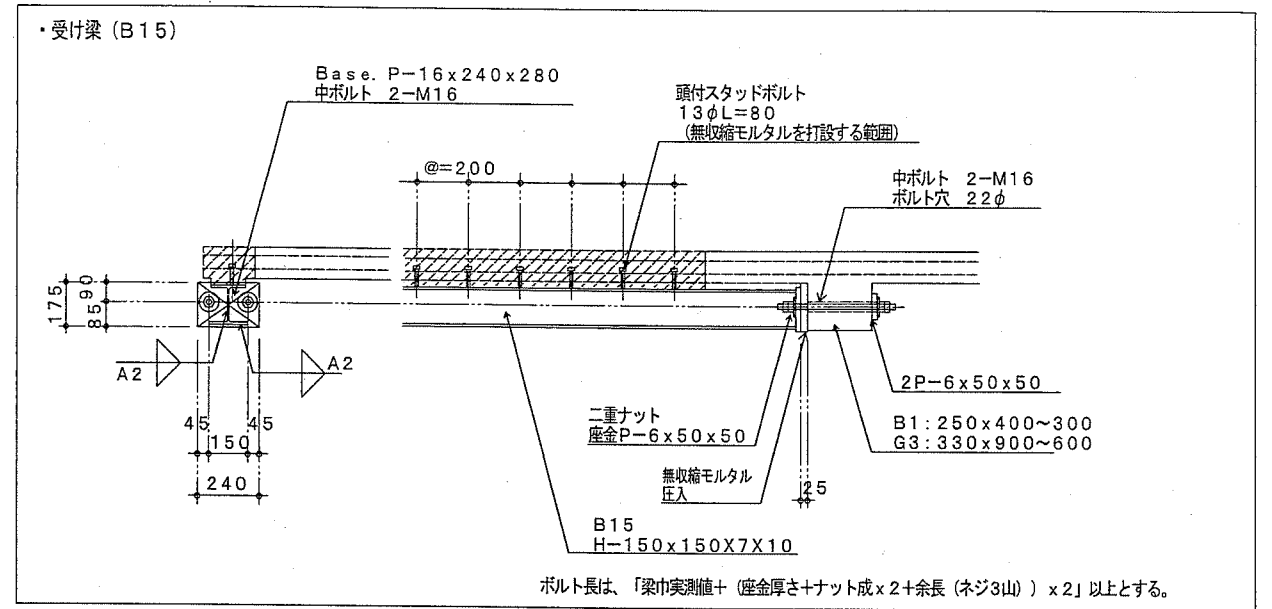
・中ボルト施工手順

1. ボルト用穴をドリル空ける。
2. 鉄骨受け梁 (ベースプレート付) を設置する。
3. ボルトを設置する。
4. 無収縮モルタル充填用の取入口を設け、周囲をシールする。
5. 無収縮モルタルを充填する。

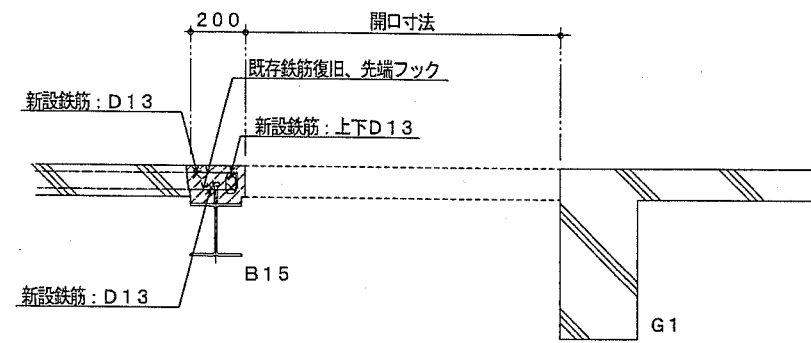
公共建築課長 主査等 担当者
 横須賀市 都市部 公共建築課
 設計年月日 平成 31年 2月

設計名称 市立田浦中学校校舎1 校舎隣接部改築工事
 図面名称 基礎・2・3R階伏図 (DW改修用)
 縮尺 1:100
 設計者 (田浦中学校) 図面番号

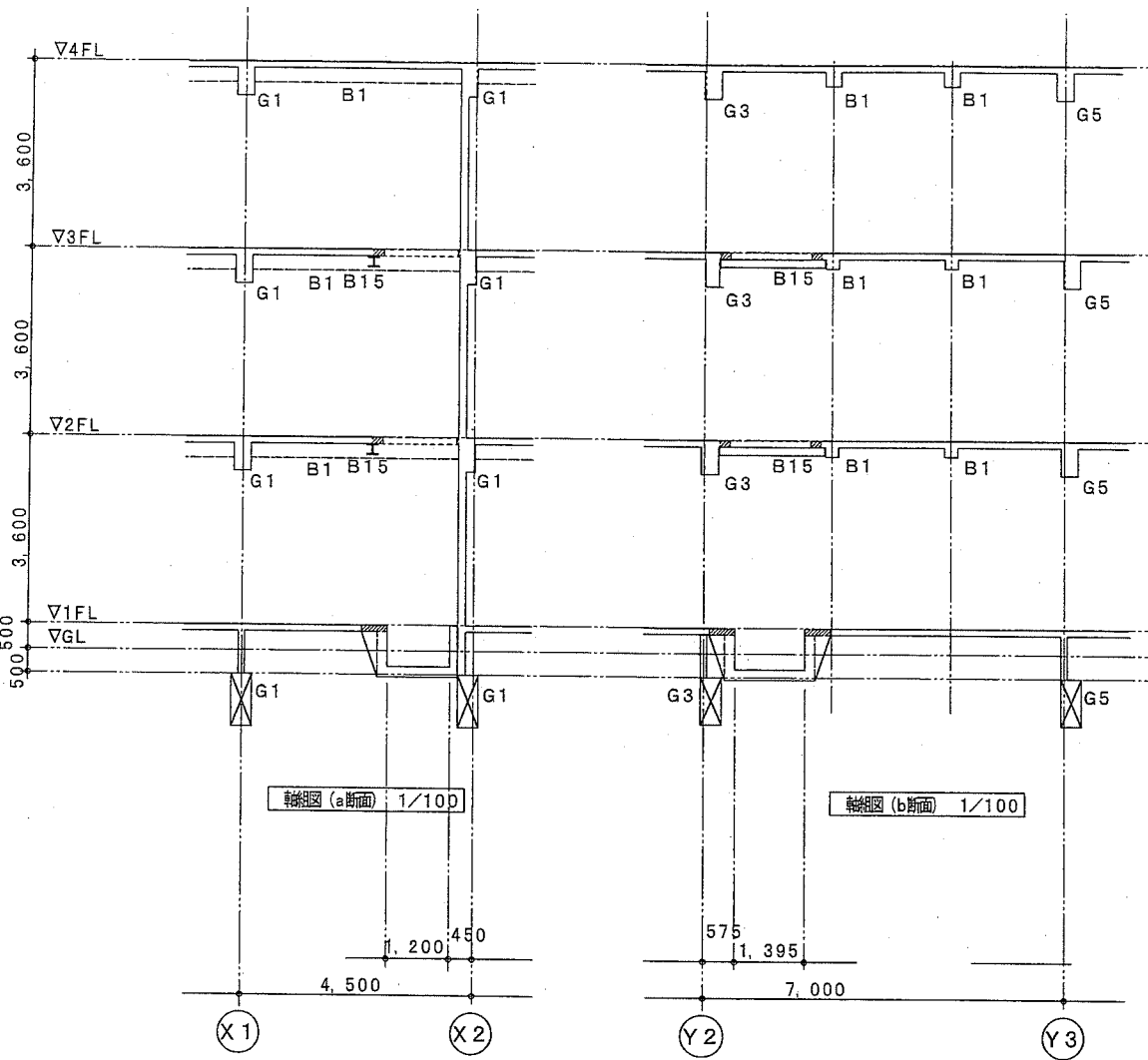
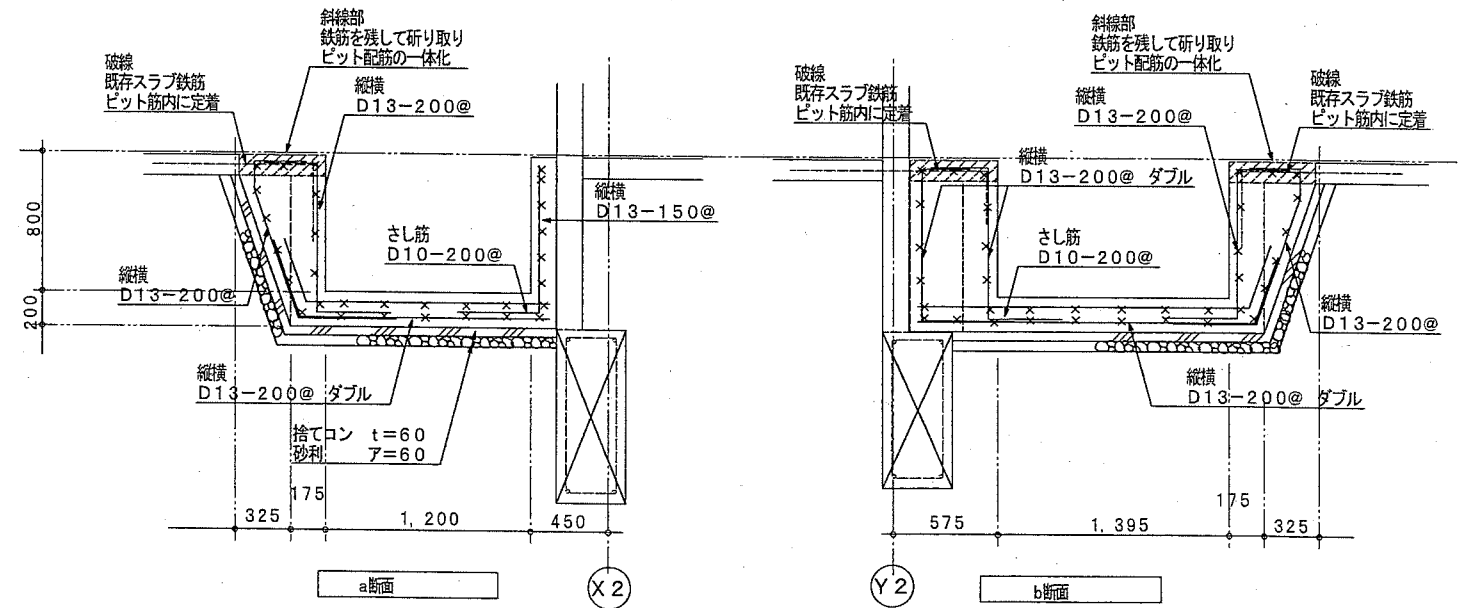
鉄骨受け梁・端部及びシャーコネクター詳細図 1/20



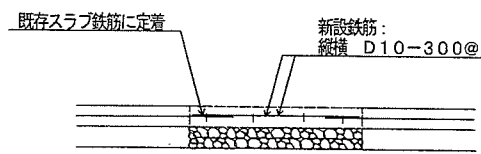
2, 3階DWシャフト詳細図 1/20



DWビット増設詳細図 1/30



土間スラブ改修部復旧詳細図 1/30



公共建築課長 主査等 担当者

横須賀市 都市部 公共建築課

設計年月日 平成 31年 2月

設計名称

市立田沼中学校ほか1校昇降階段設置工事の施工

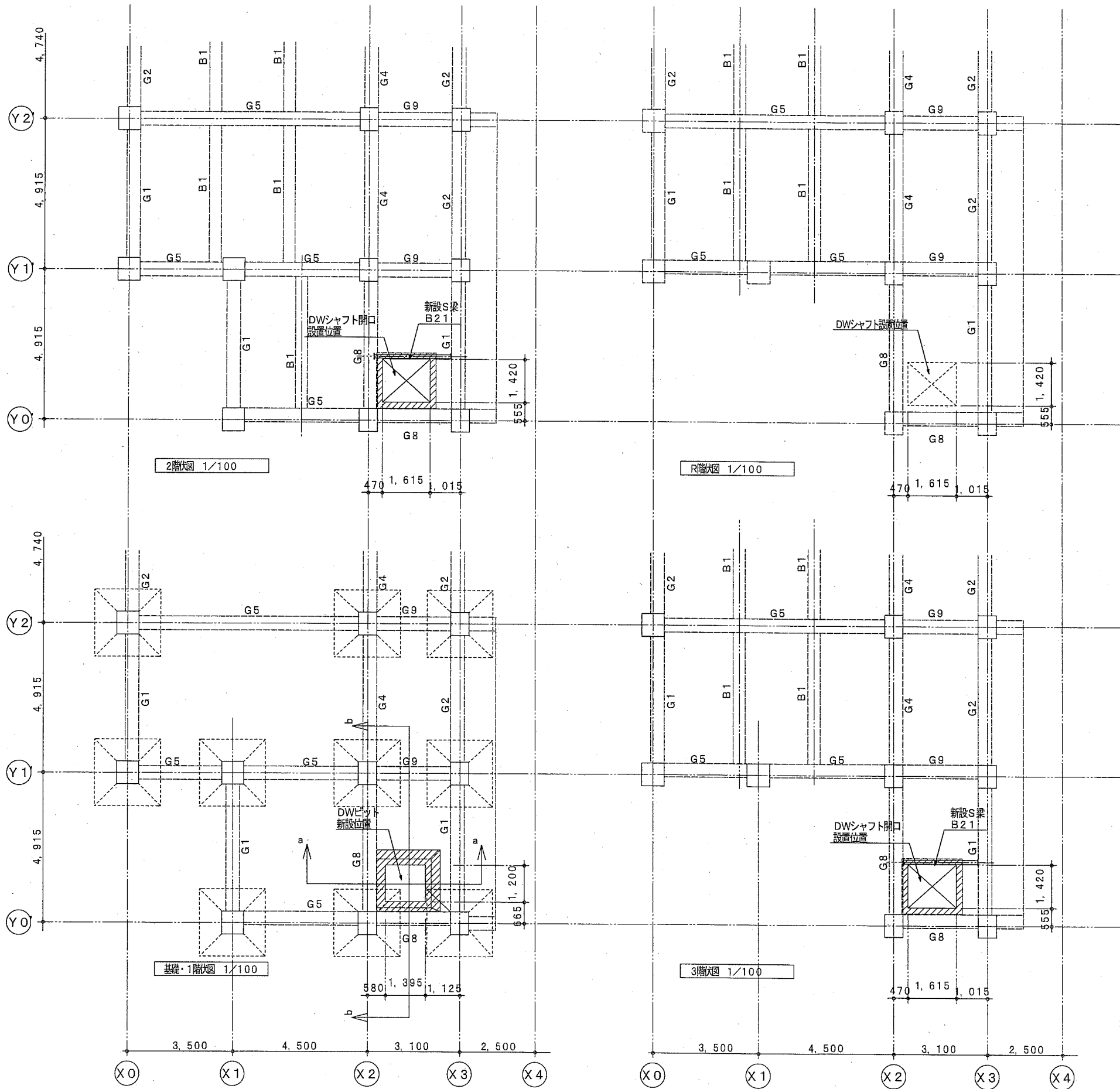
【田沼中学校】

図面名称

軸組図・床補強詳細図・ビット配筋図 (DW改修用)

縮尺 1:100 3Q 20

S-05



1. 使用材料
- ・コンクリート $F_c=24$ N/mm² (JIS規格) : DWピット増設
 - ・無収縮モルタル $F_c=30$ N/mm² : DWシャフト増設
 - ・鉄筋 D13 : SD295A (JIS規格) : DWピット・シャフト
 - ・鉄骨 SS400 (JIS規格) : 増設S梁

2. 部材サイズ一覧表 (池上中学校)

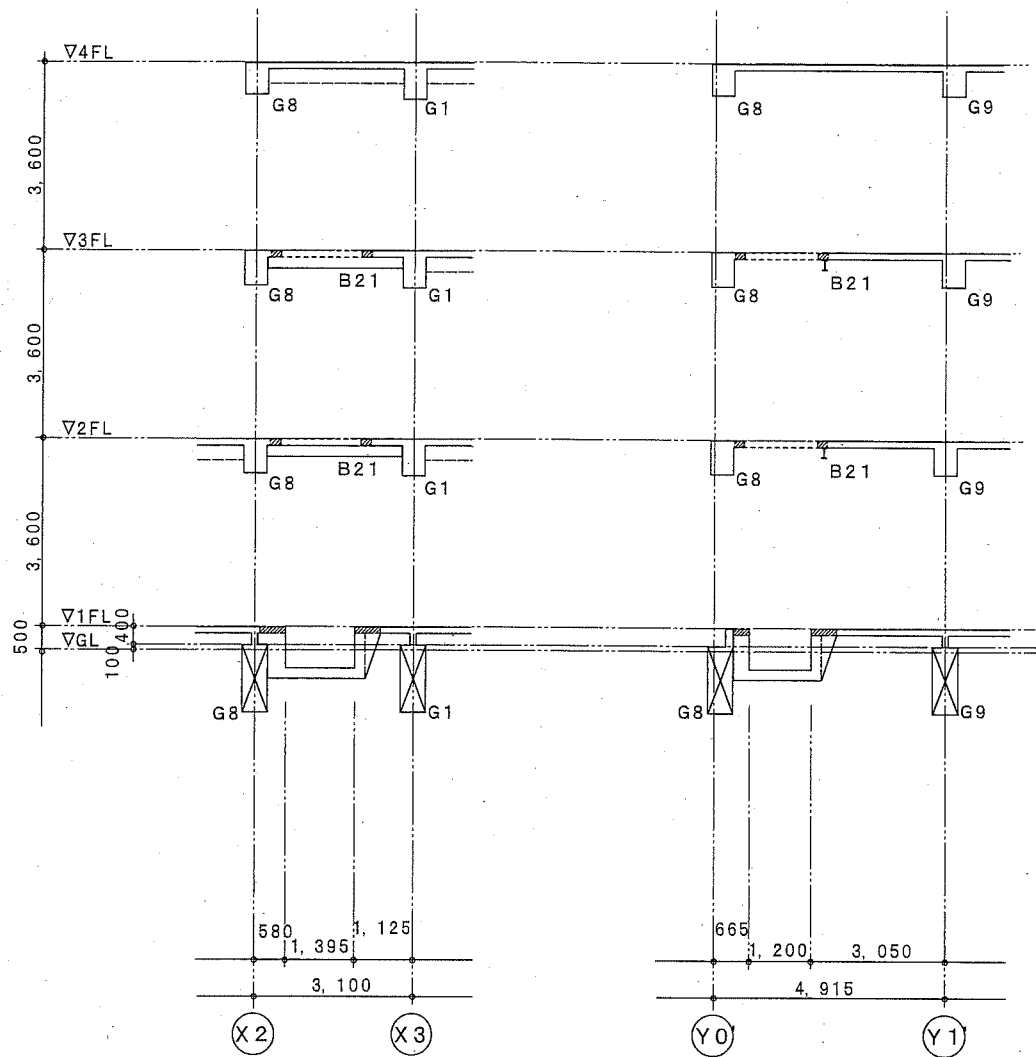
- 既存RC梁
- ・G1, G8 RF 400x700
 - 3F 450x700
 - 2F 450x700
 - 1F 500x1,300
- 増設S梁
- ・B21 2, 3F H-200x100x5.5x8
- 既存スラブ厚さ $t=120$ mm

・床開口施工手順

1. 床開口寸法+200mm (片側) でコンクリートを撤去する。コンクリートを研る前に、カッターで断面に切り込みを入れ、ひび割れがはいるよう、また、鉄筋を切断しないようにすること。
2. 鉄筋は新設コンクリート (モルタル) 部への定着部分を残して切断する。
3. 増設S梁がある場合は、中ボルトを用いて設置する。
4. 既存鉄筋及び増設鉄筋を加工配置する。
5. 清掃ののち、型枠を設置する。壁型枠上端、無収縮モルタル充填用の投入口を設ける。
6. 無収縮モルタルを充填する。
7. 養生ののち型枠解体。

・中ボルト施工手順

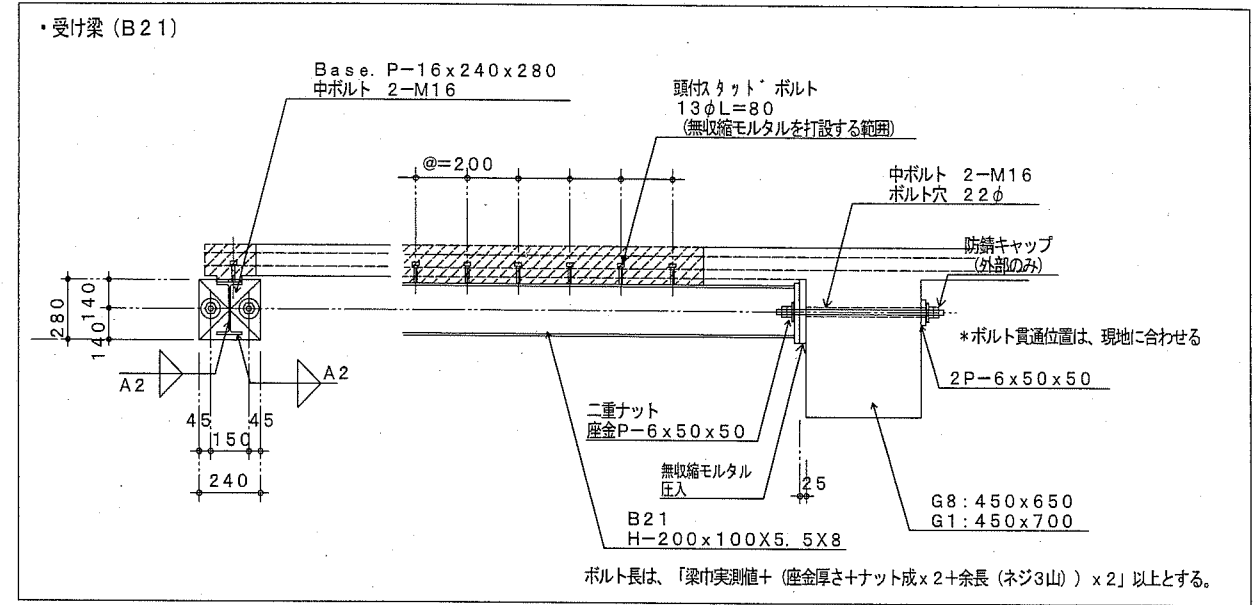
1. ボルト用穴をドリル空ける。
2. 鉄骨受け梁 (ベースプレート付) を設置する。
3. ボルトを設置する。
4. 無収縮モルタル充填用の投入口を設け、周囲をシーリングする。
5. 無収縮モルタルを充填する。



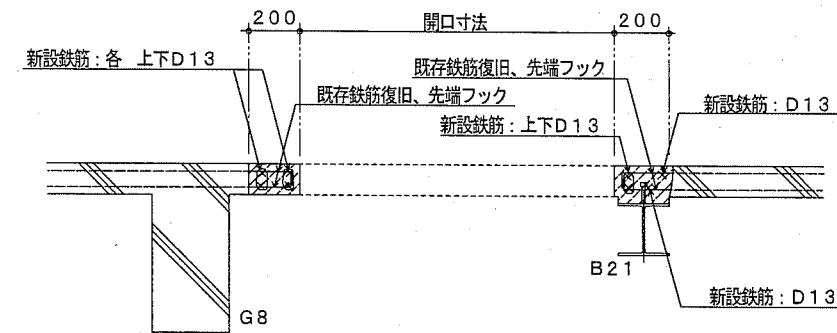
軸組図 (a断面) 1/100

軸組図 (b断面) 1/100

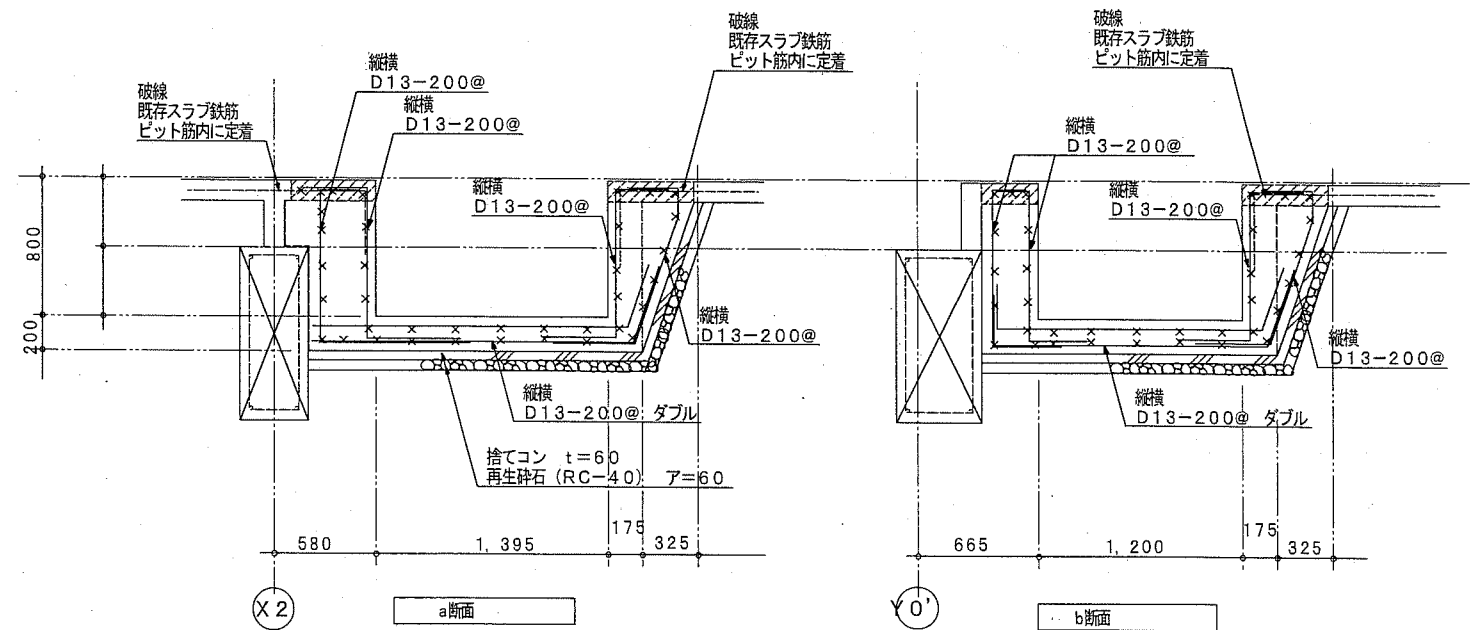
鉄骨受け梁・端部及びシャコネクター詳細図 1/20



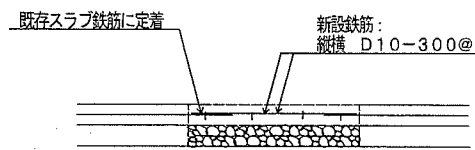
2. 3階DWシャフト詳細図 1/20



DWピット増設詳細図 1/30



土間スラブ改修部復旧詳細図 1/30



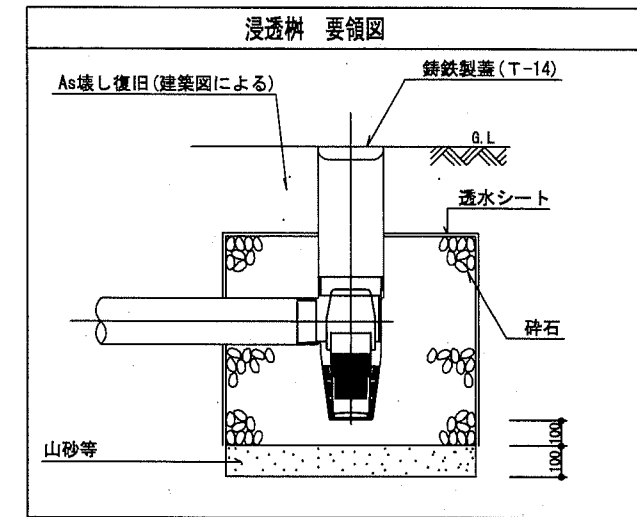
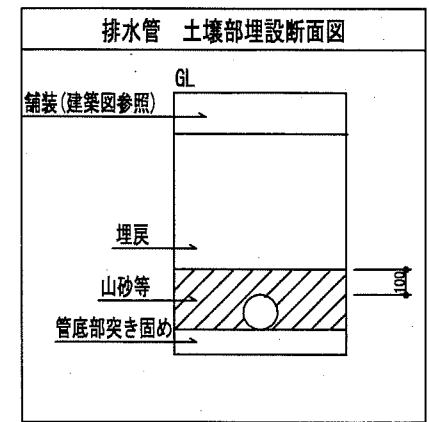
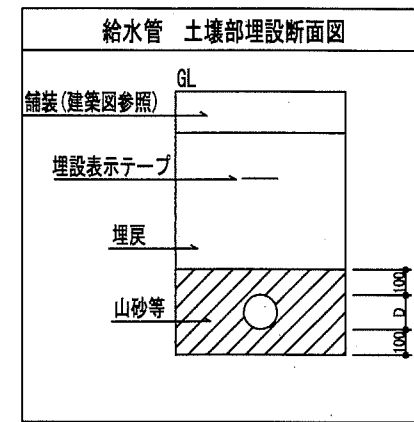
パッケージ形空調和機											
機器番号	型式	形状	機器能力		電源容量			仕様	台数	設置場所	備考
			冷房	暖房	相電圧	圧縮機	APF 2015				
			[kw]	[kw]	(φ)	(V)					
ACP-1	天井吊形	シングル	5.6	6.3	3-200	1.1	5.5以上	付属品：ワイヤレスリモコン、基礎ボルト(SUS) コンクリート製基礎ブロック(ゴムシート敷き)L=600、他標準付属品一式	1	2階 多目的室1	耐重塩害仕様
ACP-2	天井吊形	シングル	5.6	6.3	3-200	1.1	5.5以上	付属品：ワイヤレスリモコン、基礎ボルト(SUS) コンクリート製基礎ブロック(ゴムシート敷き)L=600、他標準付属品一式	1	3階 多目的室2	耐重塩害仕様

【特記】 1.機器類の能力は表示された値とする
2.電源周波数は50Hzとする。
3.機器能力及び消費電力は、JIS B 8616 に規定された定格条件による。
4.クリーン購入法適合品とする。
5.高効率型・新冷媒対応機種(オゾン破壊係数：0)とする。
6.室外機に機器番号・設置場所の表示を行うこと。
7.室外機に防護網なしとする。

換気機器												
機器番号	名称	機器仕様	機器能力		電源容量		ウェザーカーバー	防漏	その他 付属品	台数	設置場所	備考
			風量	静圧	相電圧	電圧						
			(m3/h)	(Pa)	(φ)							
F-1	換気扇	φ300壁取付	1,000	40	1-100	●	●	●	1	1階 荷受配膳室	学校用	
F-2	換気扇	φ250壁取付	500	40	1-100	●	●	●	1	2階 配膳室	学校用	
F-3	換気扇	φ200壁取付	450	40	1-100	●	●	●	1	3階 配膳室	学校用	

【特記】 1.機器類の能力・容量は表示された能力以上とする。
2.電源周波数は50Hzとする。
3.ウェザーカーバーはステンレス製とする。
4.スイッチは別途工事

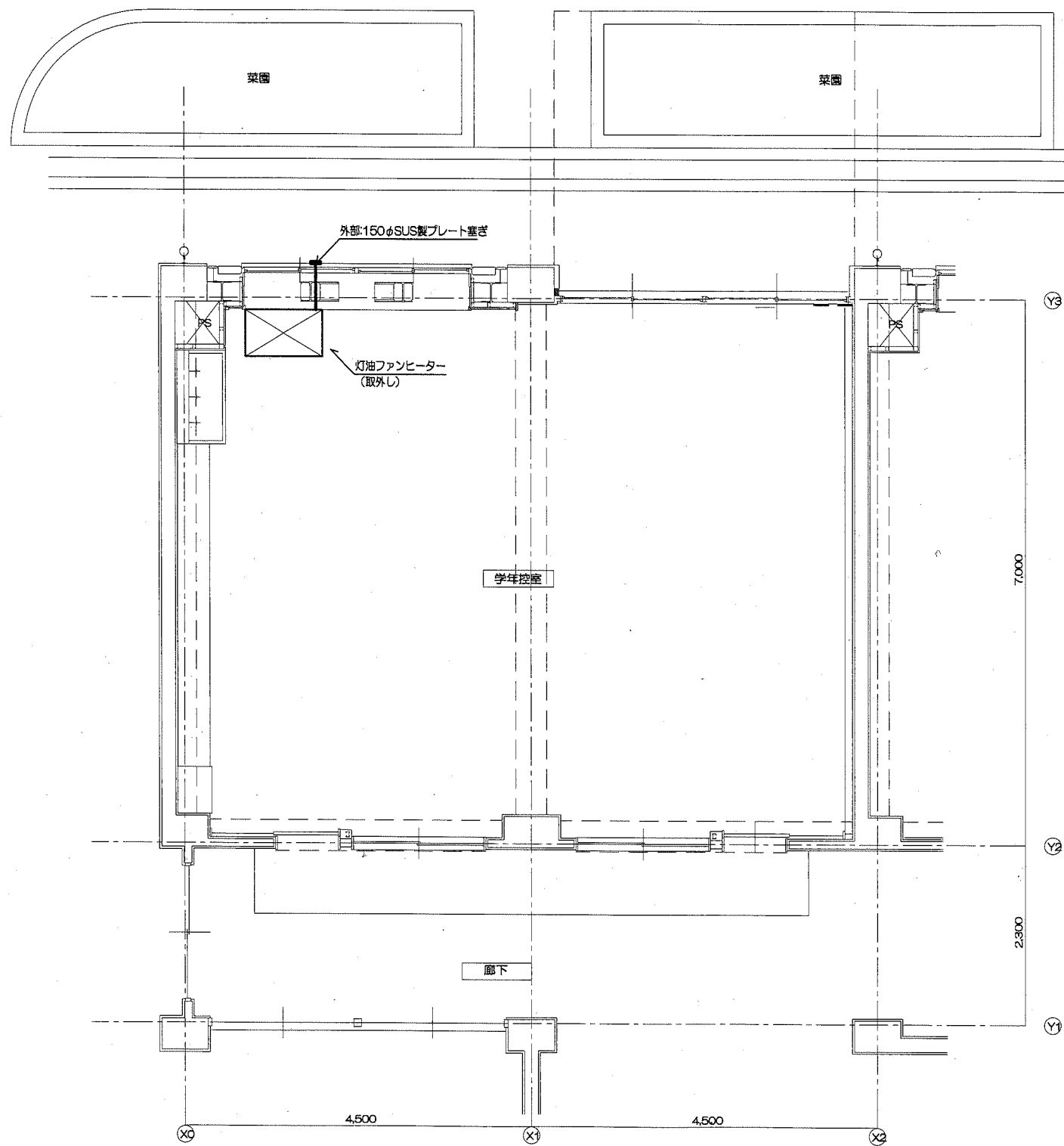
器具表											
名称	(A社) 参考型番	(B社) 参考型番	付属品	1階 荷受配膳室	2階 配膳室	3階 配膳室	計	備考			
洗面器	L210C	L-176UEC	自動水栓、Pトラップ、壁給水	1			1				
自在水栓	T131SUN13C	LF-16F-13		1	1	1	3				



凡例				
記号	名称	施工場所	材料	保温防食塗装
— R —	冷媒管	屋内露出	冷媒用被覆銅管	保温化粧ケース
		屋外露出		SUSラッキング
— D —	ドレン管	屋内露出	保温付VP	保温化粧ケース
		屋外露出	カラーVP	—
— — —	給水管	屋内隠蔽	SUS-C	—
			SGP-VB	グラスウール+ALGC(c2,(口),Ⅷ)
		屋内露出	SUS-C	—
		埋設	HVP	管廻り100mm山砂
— — —	排水管	屋内隠蔽	VP	グラスウール+ALGC(c2,(口),Ⅷ)
		屋外露出	カラーVP	—
		土間(第一枺まで)	VP	管底より環状部100mmまで山砂(管底は突き固め)
		埋設	VU	管底より環状部100mmまで山砂(管底は突き固め)
○	枺			
□	単水栓			
— —	既設配管切断・接続			

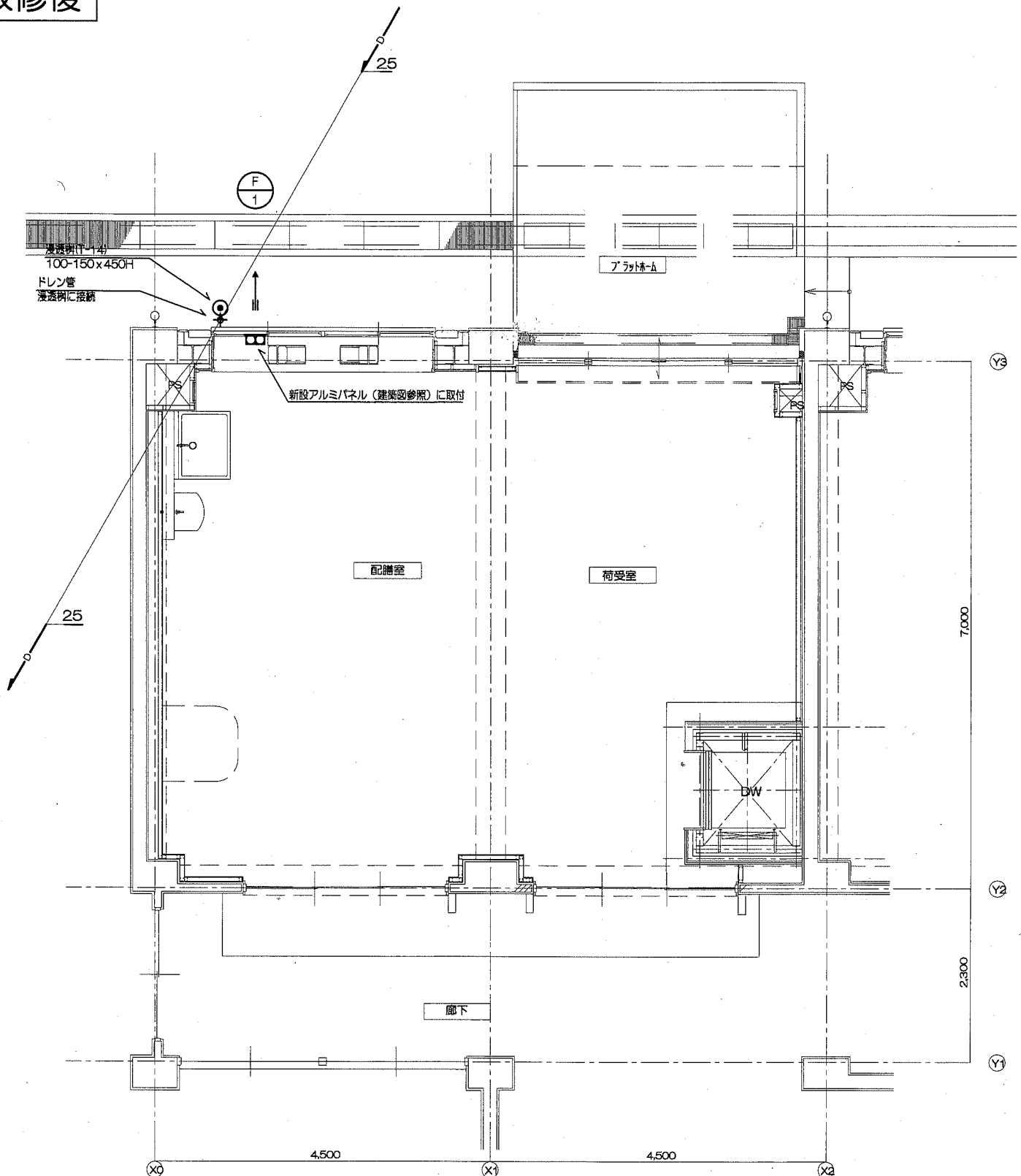
改修前

改修後



1階平面図 (改修前・学年控室)

※ファンヒーター取外し後、学校保管とする。



1階平面図 (改修後・荷受室・配膳室)

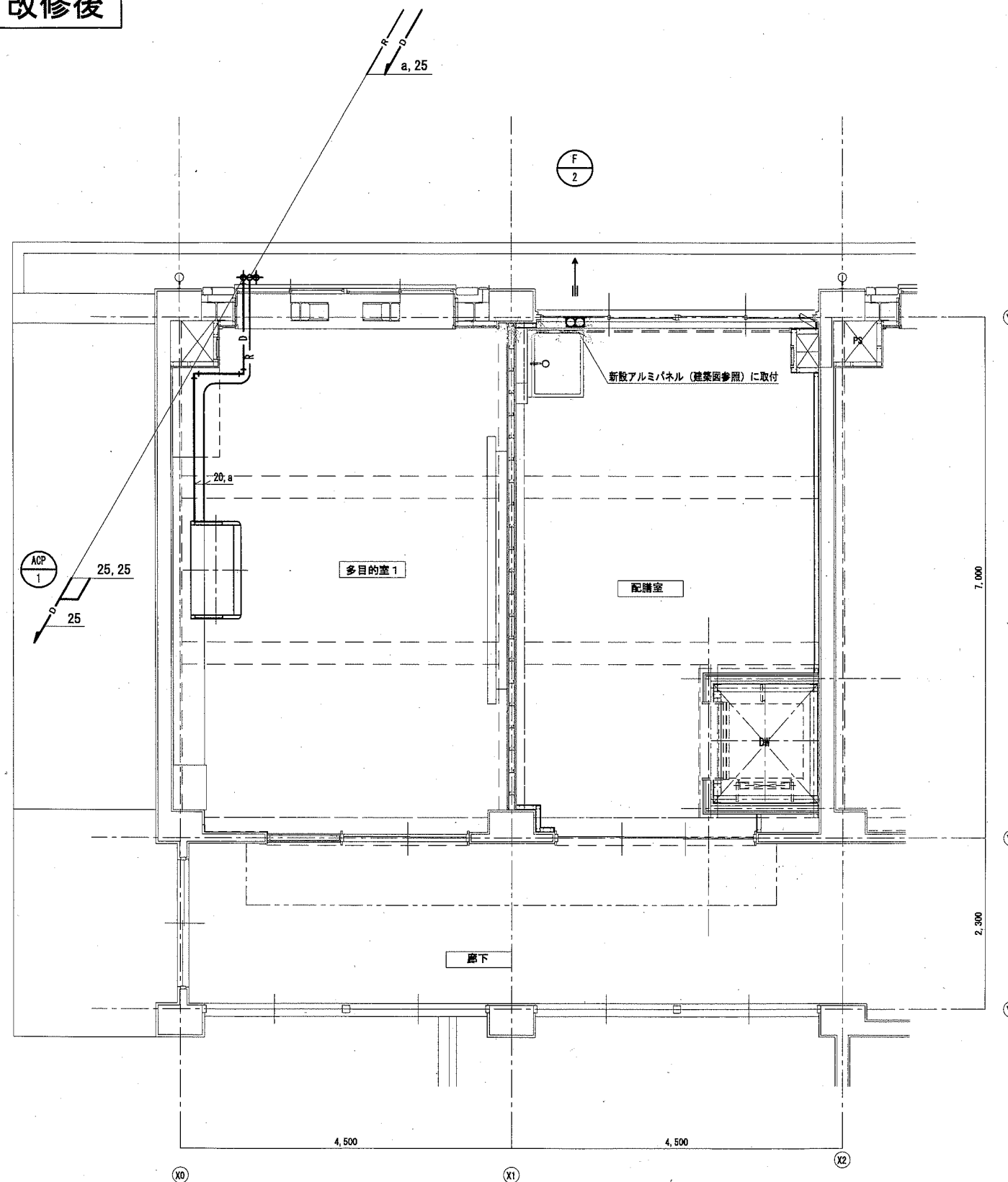
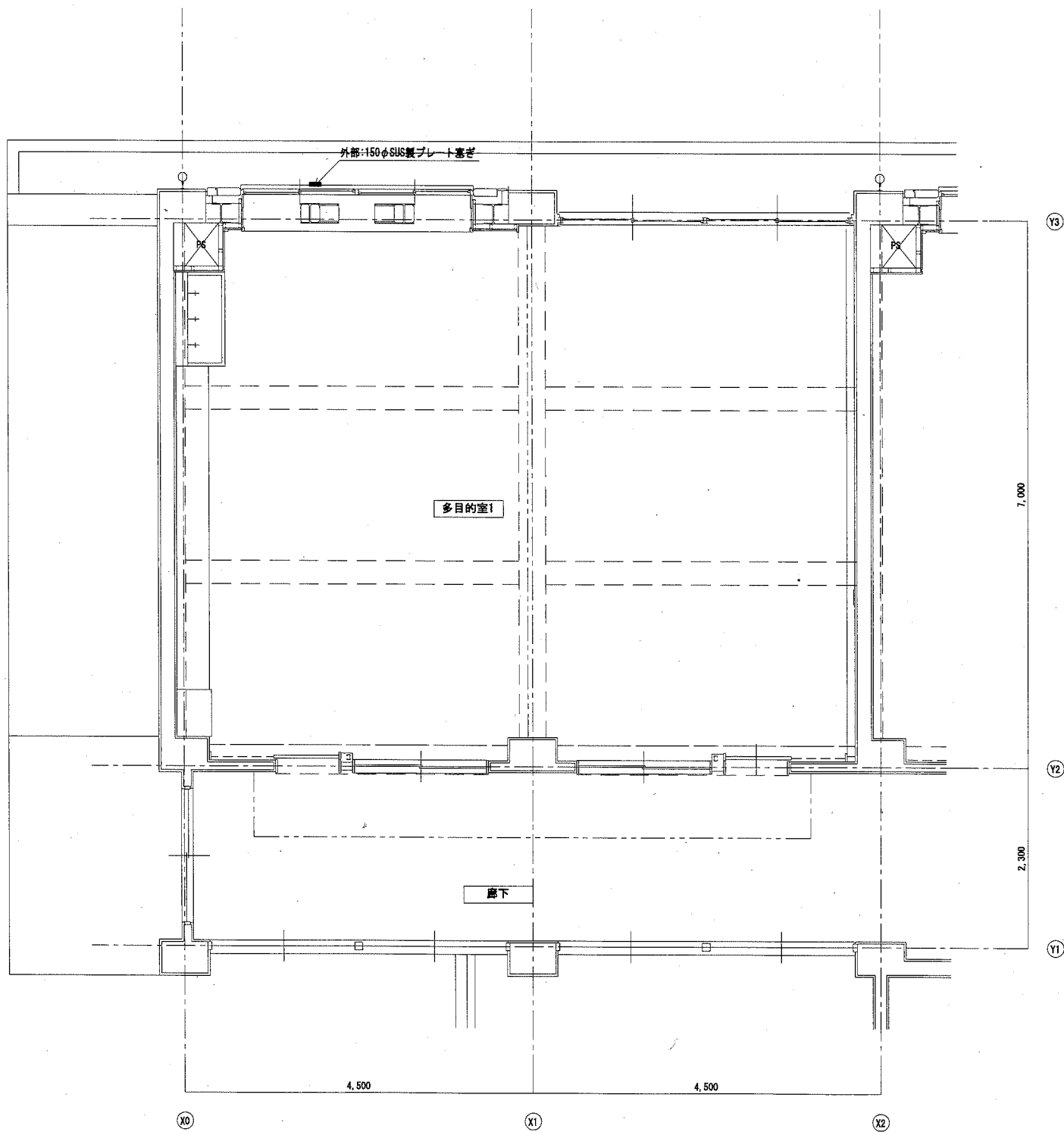
公共建築課長	主査等	担当者

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成 31年 2月

設計名称 NAME OF PROJECT 市立田浦中学校第1校舎附属設置建築その他工事 (田浦中学校)	図面名称 ITEM OF DRAWING 空調換気設備 1階平面図
PROJECT NUMBER	DRAWING NUMBER
	縮尺 1:50 SCALE

改修前

改修後



2階平面図 (改修前・多目的室1)

2階平面図 (改修後・配膳室・多目的室1)

記号	液管	ガス管
a	6.4φ	12.7φ

※1, 内外連絡配線は冷媒管共巻工事
 ※2, 冷媒管・ドレン管はアルミパネル貫通とする。(建築図参照)

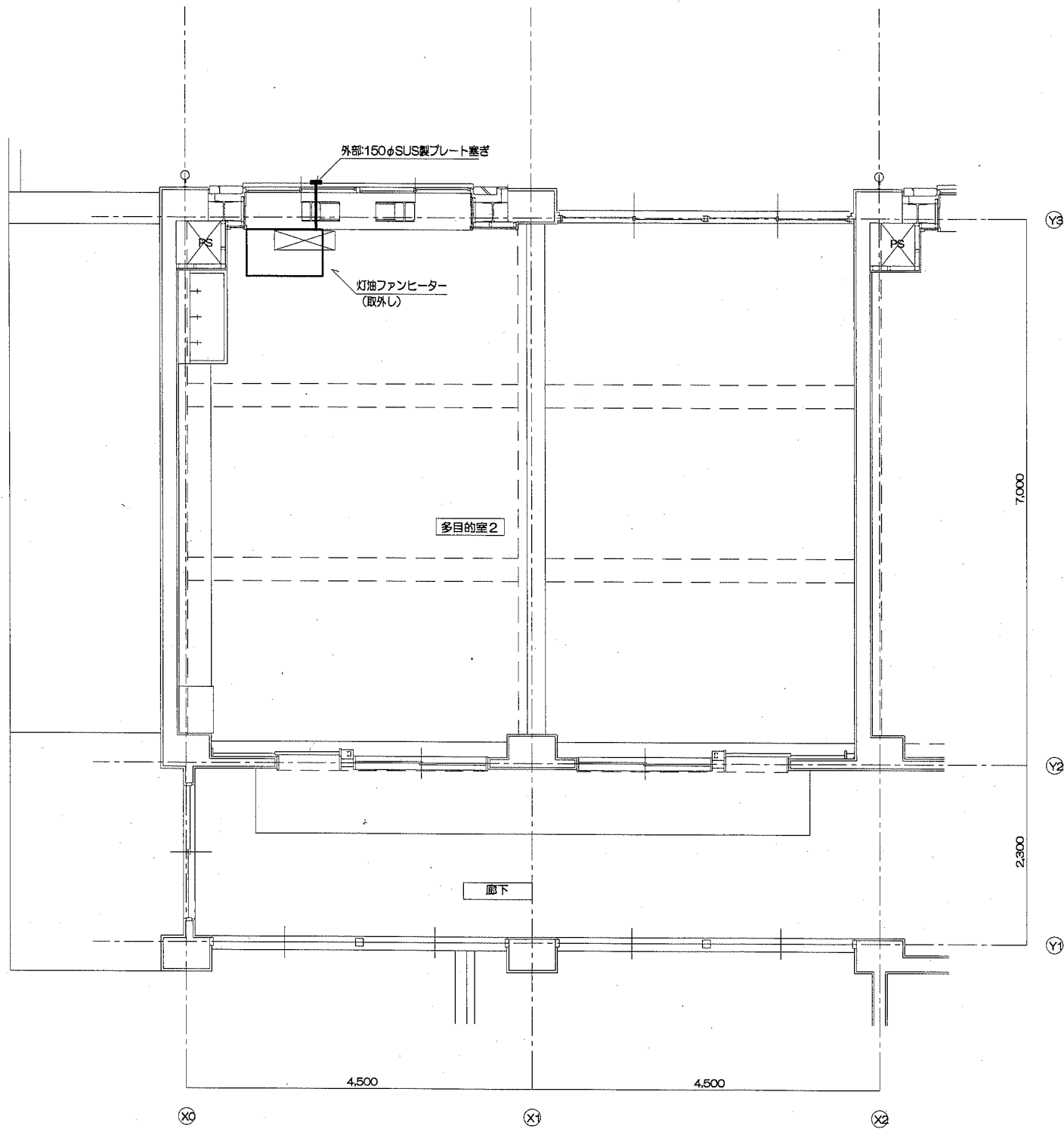
公共建築課長 主査等 担当者

横須賀市 都市部 公共建築課
 平成 31 年 2 月

設計名称
 市立田浦中学校(仮)1校舎附属施設設置事業その他工事
 (田浦中学校)
 図面名称
 空調換気設備 2階平面図
 縮尺 1 : 50

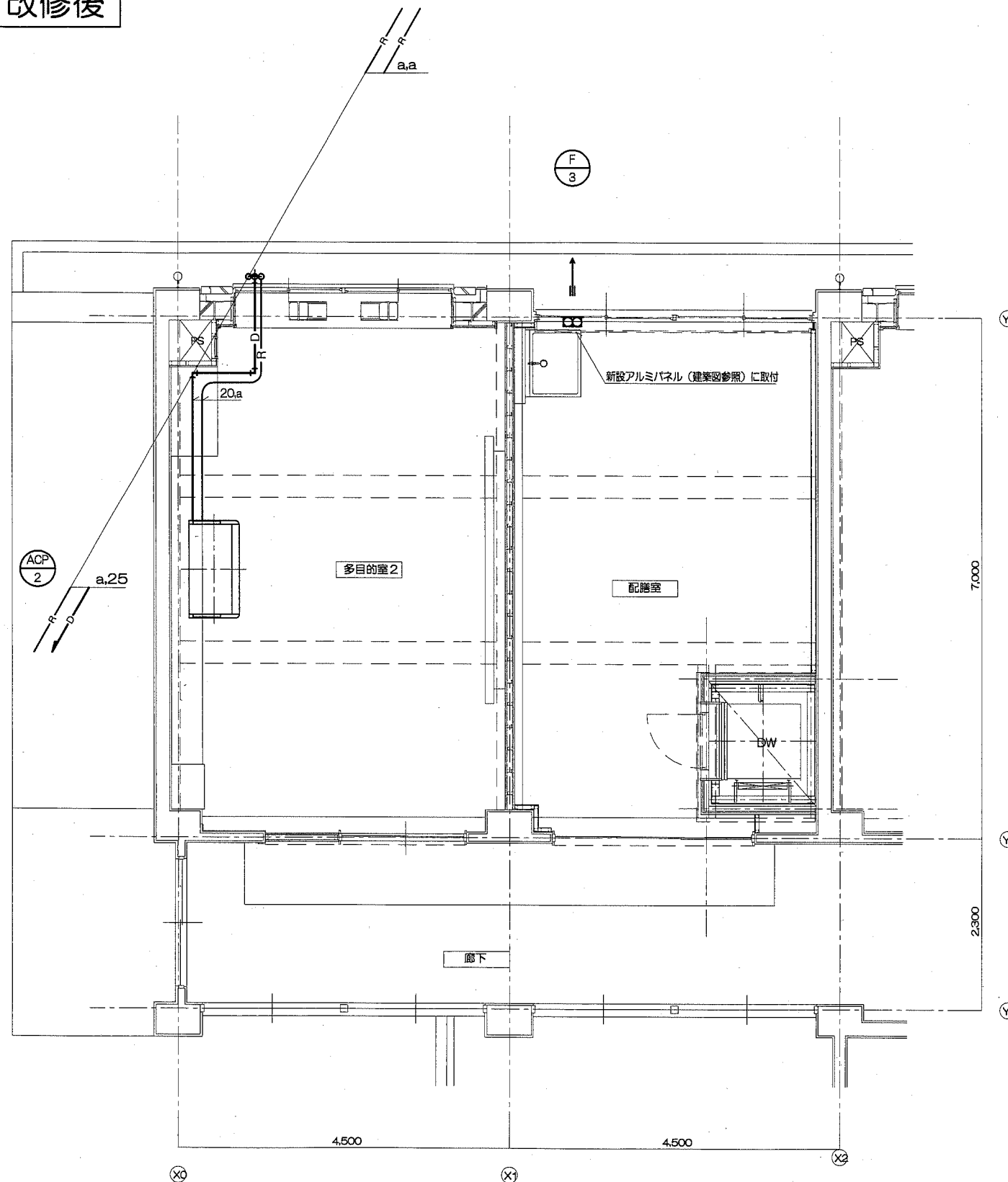
改修前

改修後



3階平面図 (改修前・多目的室2)

※ファンヒーター取外し後、学校保管とする。



3階平面図 (改修後・配膳室・多目的室2)

冷媒配管口径表

記号	液管	ガス管
a	6.4φ	12.7φ

※1,内外連絡配線は冷媒管共巻工事
2,冷媒管・ドレン管はアルミパネル貫通とする。(建築図参照)

公共建築課長	主査等	担当者

横須賀市 都市部 公共建築課

平成 31 年 2 月

設計名称 NAME OF PROJECT	図面名称 TITLE OF DRAWING
市立田浦中学校ほか1校再整備計画実施その他の工事 (田浦中学校)	空調換気設備 3階平面図
PROJECT NUMBER	DRAWING NUMBER

縮尺 1 : 50

M-04

ACP
2

ACP
1

既存室外機

配管架台

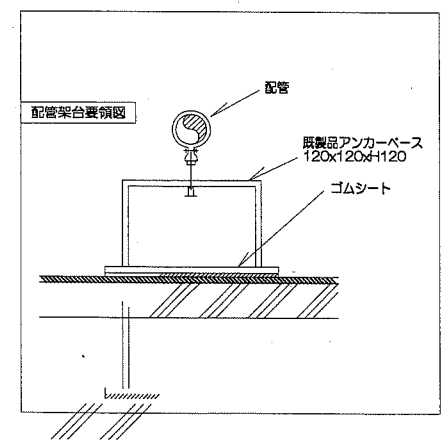
a.a

7,000

2,900

4,500 4,500 4,500 4,500

屋上平面図



冷媒配管口径表		
記号	液管	ガス管
a	6.4φ	12.7φ

※内外連絡配線は冷媒管共巻工事

公共建築課長 主査等 担当者

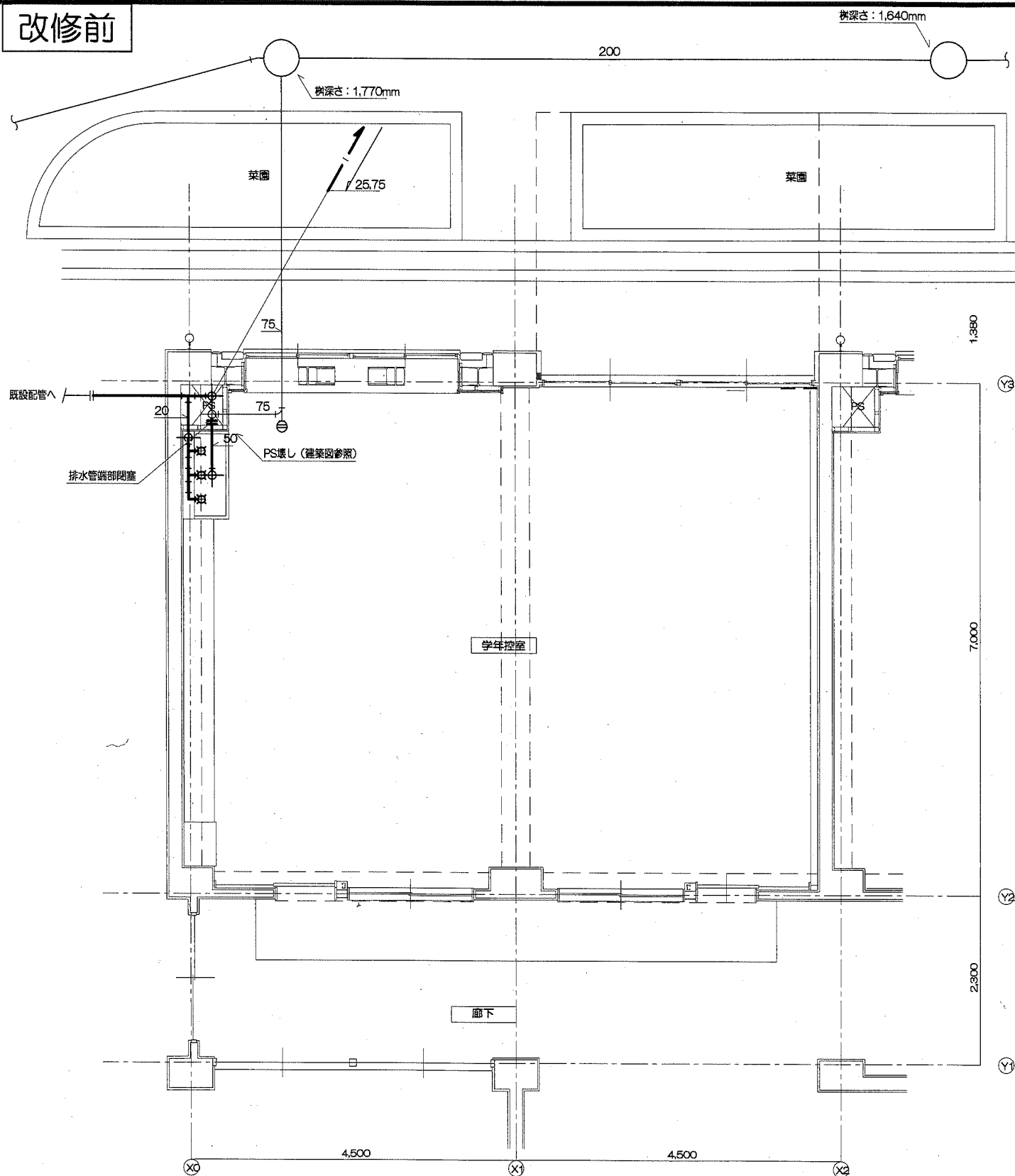
横須賀市 都市部 公共建築課
平成 31 年 2 月

設計名称
NAME OF PROJECT
市立田浦中学校ほか1校昇給機設置費集約工事
(田浦中学校)

図面名称
ITEM OF DRAWING
空調換気設備 屋上平面図
縮尺 1 : 50
SCALE

M-05

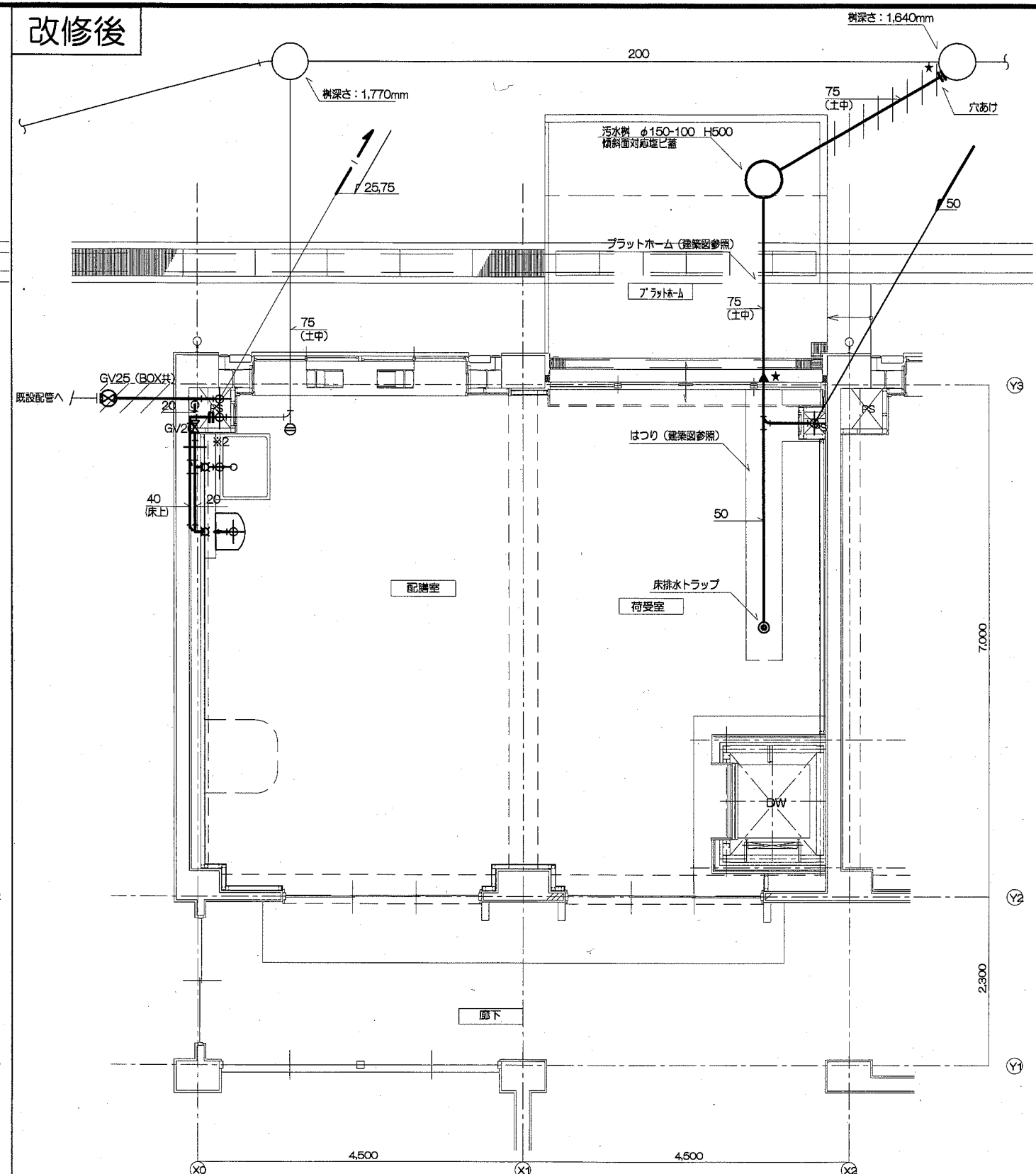
改修前



1階平面図 (改修前・学年控室)

- 1) 細線部は既設再使用を示す。
- 2) 太線部は撤去を示す。

改修後



1階平面図 (改修後・荷受室・配膳室)

- 1) 特記なきは床下配管を示す。
- 2) ※2部は既存配管接続を示す。
- 3) 細線部は既設再使用を示す。
- 4) //部は舗装を示す。(建築図参照)
- 5) ★は配管貫通口はつり補修を示す。

公共建築課長	主査等	担当者

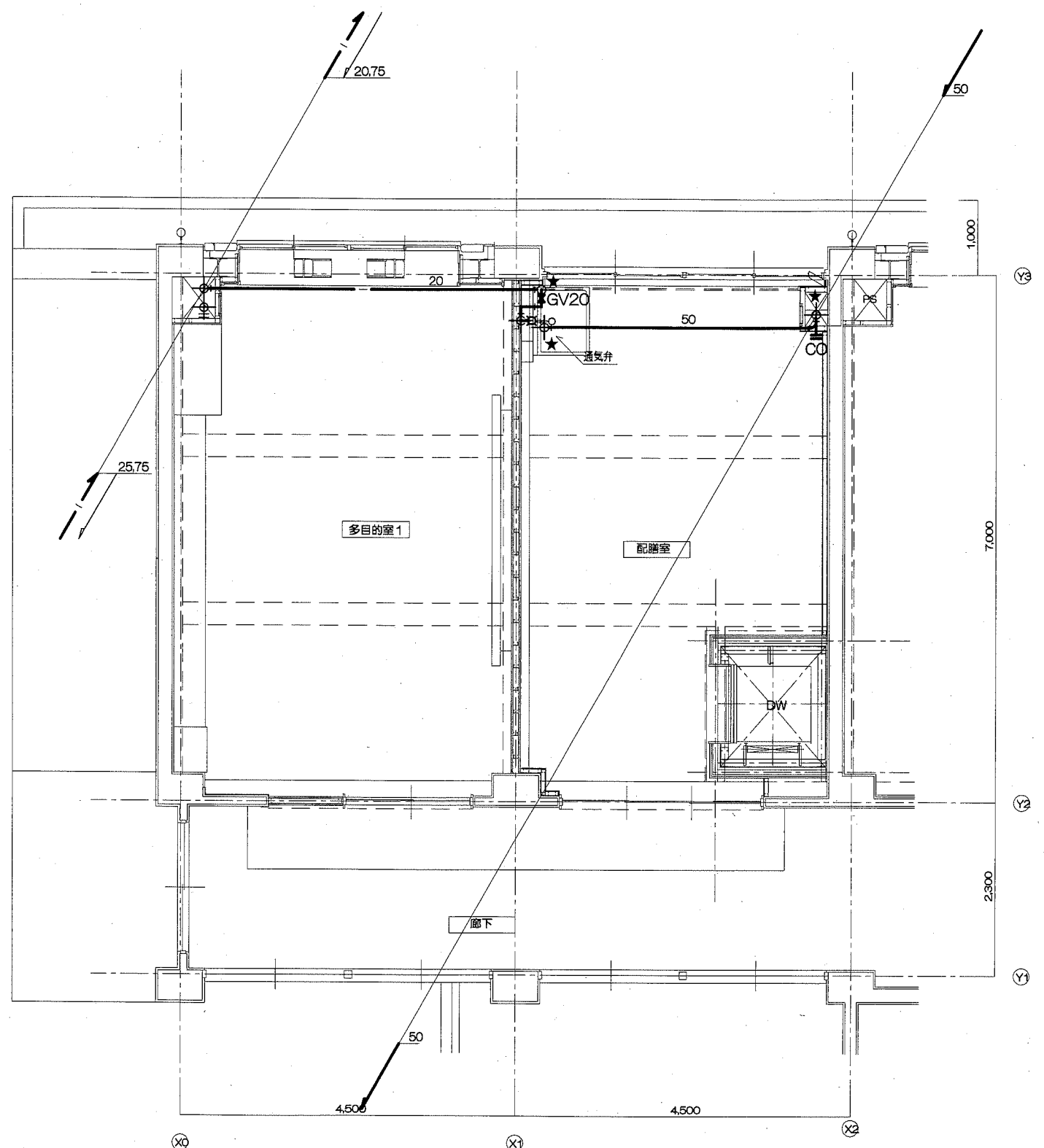
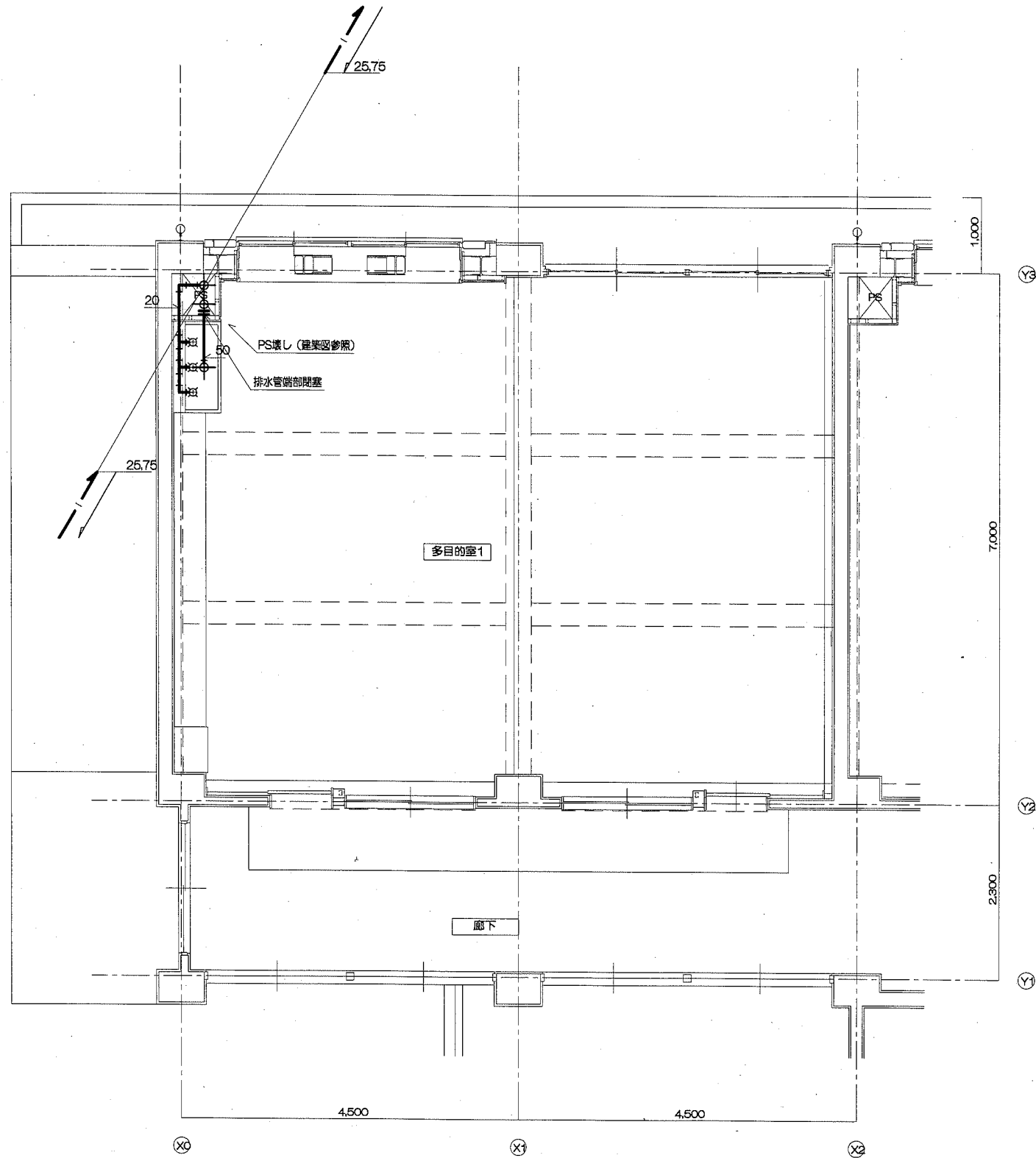
横須賀市 都市部 公共建築課
 設計年月日 平成 31年 2月

設計名称 市立田浦中学校及び1校舎附属施設建築工事 (田浦中学校)	図面名称 給排水衛生設備 1階平面図
縮尺 1:50	図面番号

M-06

改修前

改修後



2階平面図 (改修前・多目的室1)

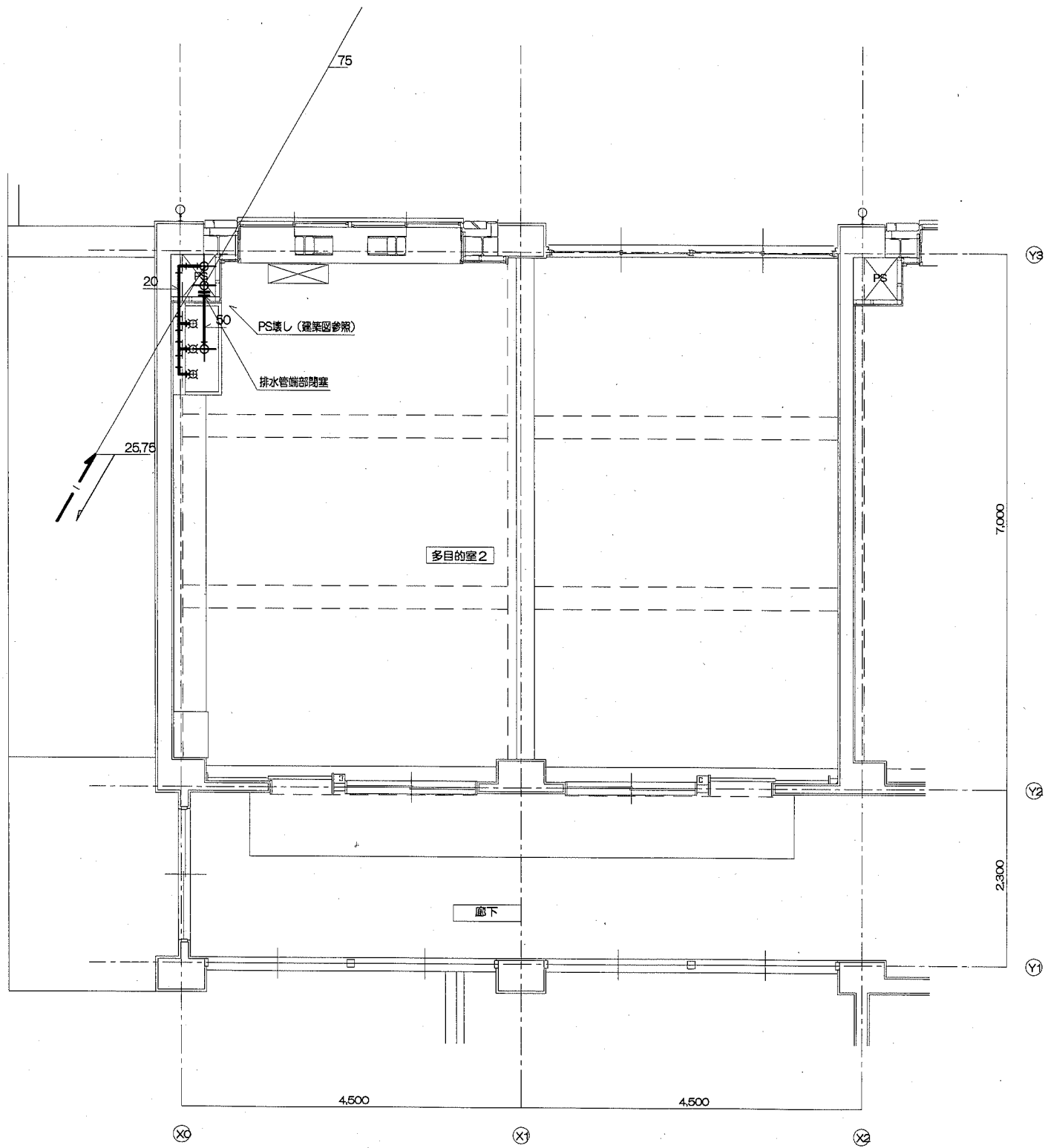
2階平面図 (改修後・配膳室・多目的室1)

- 1) 細線部は既設再使用を示す。
- 2) 太線部は撤去を示す。

- 1) 特記なきは床下配管を示す。
- 2) 細線部は既設再使用を示す。
- 3) ★は配管貫通口はつり補修を示す。

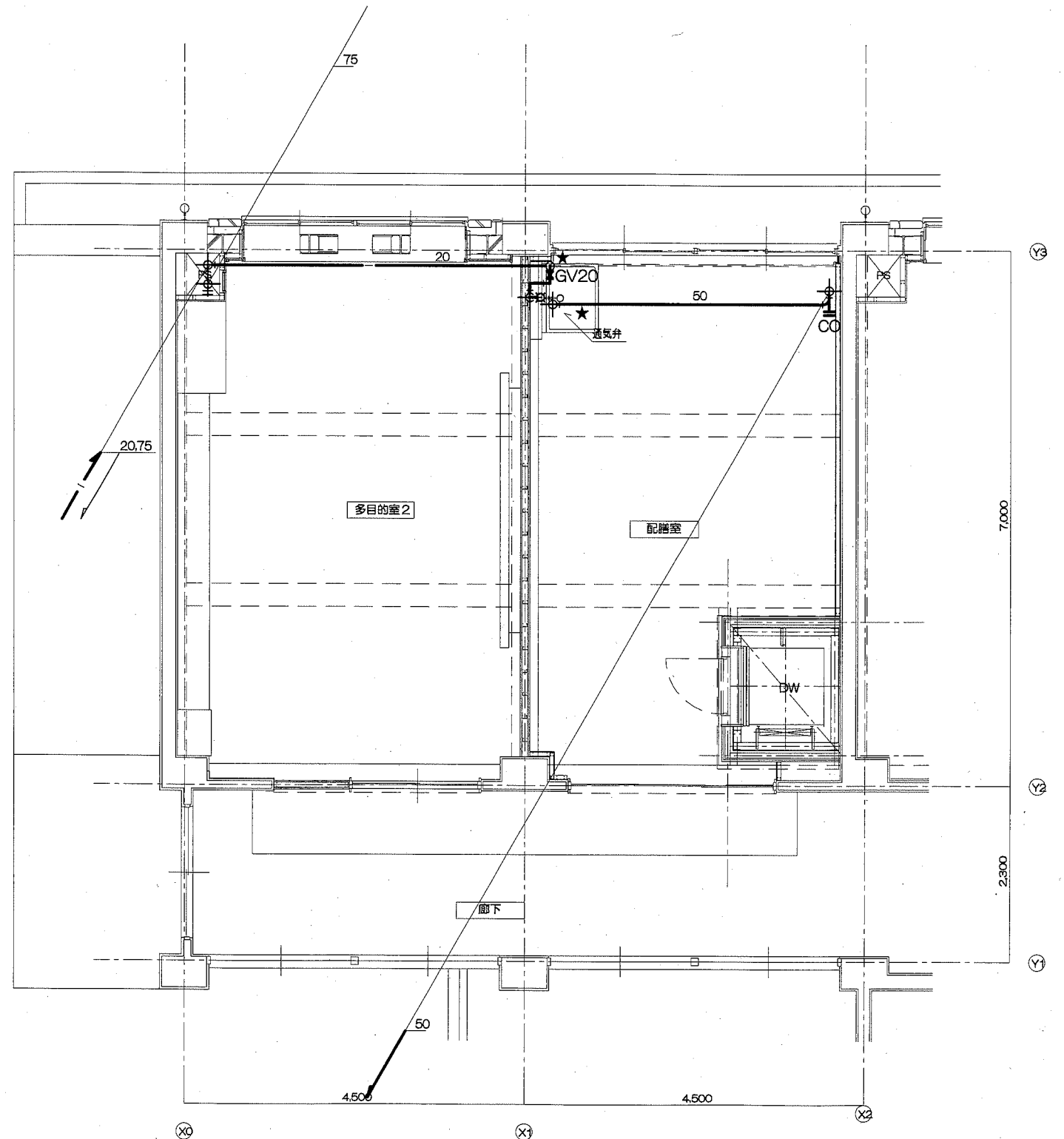
改修前

改修後



3階平面図(改修前・多目的室2)

- 1) 細線部は既設再使用を示す。
- 2) 太線部は撤去を示す。



3階平面図(改修後・配膳室・多目的室2)

- 1) 特記なきは床下配管を示す。
- 2) 細線部は既設再使用を示す。
- 3) ★は配管貫通口はつり補修を示す。

公共建築課長 主査等 担当者

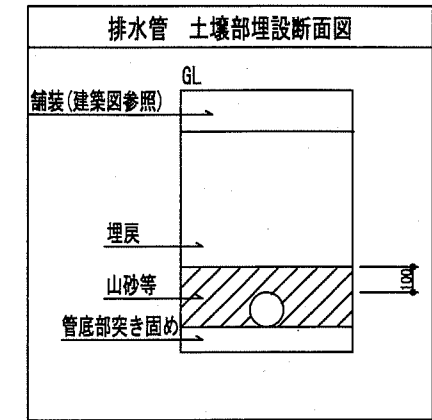
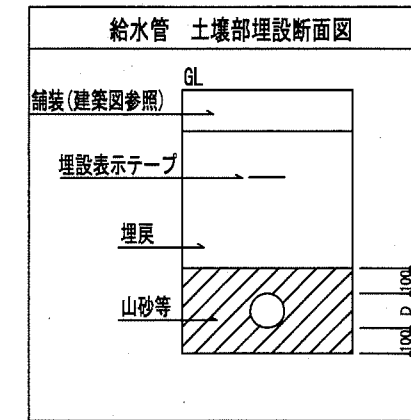
横須賀市 都市部 公共建築課

設計年月日 平成 31年 2月

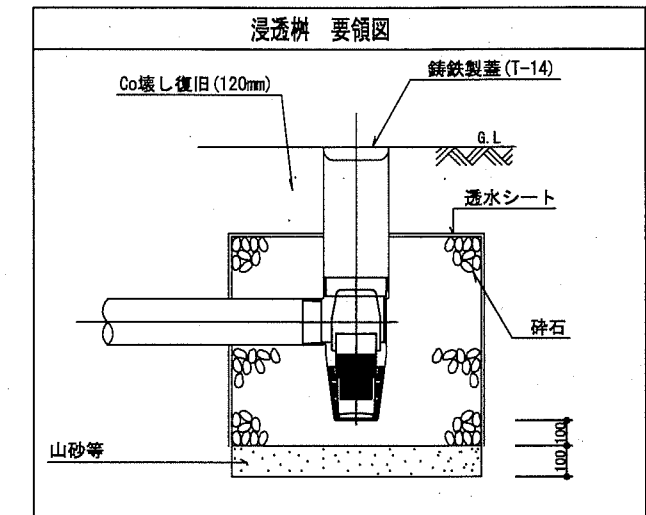
設計名称
NAME OF PROJECT
市立田浦中学校ほか1校別棟増設履修業その他工事
(田浦中学校)
PROJECT NUMBER

図面名称
ITEM OF DRAWING
給排水衛生設備 3階平面図
縮尺 1:50
SCALE

パッケージ型空調機												
機器番号	型式	形状	機器能力		電源容量		APF 2015	仕様	台数	設置場所	備考	
			冷房	暖房	相	電圧						圧縮機
			[kw]	[kw]	(φ)	(V)						
ACP-1	天井吊形	シングル	5.6	6.3	3-200	1.1	5.5以上	付属品：ワイヤレスリモコン、基礎ボルト (SUS)、防護網 コンクリート製基礎ブロック(ゴムシート敷き)L=600、 転倒防止金具(ステンレス製)、他標準付属品一式	1	1階 多目的室		
<p>【特記】 1.機器類の能力は表示された値とする。 6.室外機に機器番号・設置場所の表示を行うこと。</p> <p>2.電源周波数は50Hzとする。</p> <p>3.機器能力及び消費電力は、JIS B 8616 に規定された定格条件による。</p> <p>4.クリーン購入法適合品とする。</p> <p>5.高効率型、新冷媒対応機種(オゾン破壊係数：0)とする。</p>												



換気機器												
機器番号	名称	機器仕様	機器能力		電源容量		ウェザーカーバー	防塵網	その他付属品	台数	設置場所	備考
			風量 (m3/h)	静圧 (Pa)	相	電圧						
F-1	換気扇	φ250壁取付	650	40	1-100		●	●	●	1	1階 荷受配膳室	学校用
F-2	換気扇	φ200壁取付	350	40	1-100		●	●	●	1	2階 配膳室	学校用
F-3	換気扇	φ200壁取付	350	40	1-100		●	●	●	1	3階 配膳室	学校用
<p>【特記】 1.機器類の能力・容量は表示された能力以上とする。 4.スイッチは別途工事</p> <p>2.電源周波数は50Hzとする。</p> <p>3.ウェザーカーバーはステンレス製とする。</p>												



凡例				
記号	名称	施工場所	材料	保温防食塗装
— R —	冷媒管	屋内露出	冷媒用被覆管	保温化粧ケース
		屋外露出		SUSラッキング
— D —	ドレン管	屋内露出	保温付VP	保温化粧ケース
		屋外露出	カラーVP	—
— — — —	給水管	屋内隠蔽	SUS-C	—
		屋内露出	SGP-VB	グラスウール+ALGC(e2,(ロ),Ⅶ)
		屋外露出	SUS	ポリスチレンフォーム+SUSラッキング(e2,(Ⅰ),Ⅶ)
		埋設	HVP	管廻り100mm山砂
— — — —	排水管	屋内隠蔽	VP	グラスウール+ALGC(e2,(ロ),Ⅶ)
		屋外露出	カラーVP	—
		埋設	VP	管底より環状部100mmまで山砂(管底は突き固め)
○	枦			
□	単水栓			
— —	既設配管切断・接続			

器具表								
名称	(A社) 参考型番	(B社) 参考型番	付属品	1階 設置台数	2階 設置台数	3階 設置台数	計	備考
洗面器	L210C	L-176UEC	自動水栓、Pトラップ、壁給水	1			1	
自在水栓	T131SUN13C	LF-16F-13		1	1	1	3	

公共建築課長 主査等 担当者

横須賀市 都市部 公共建築課

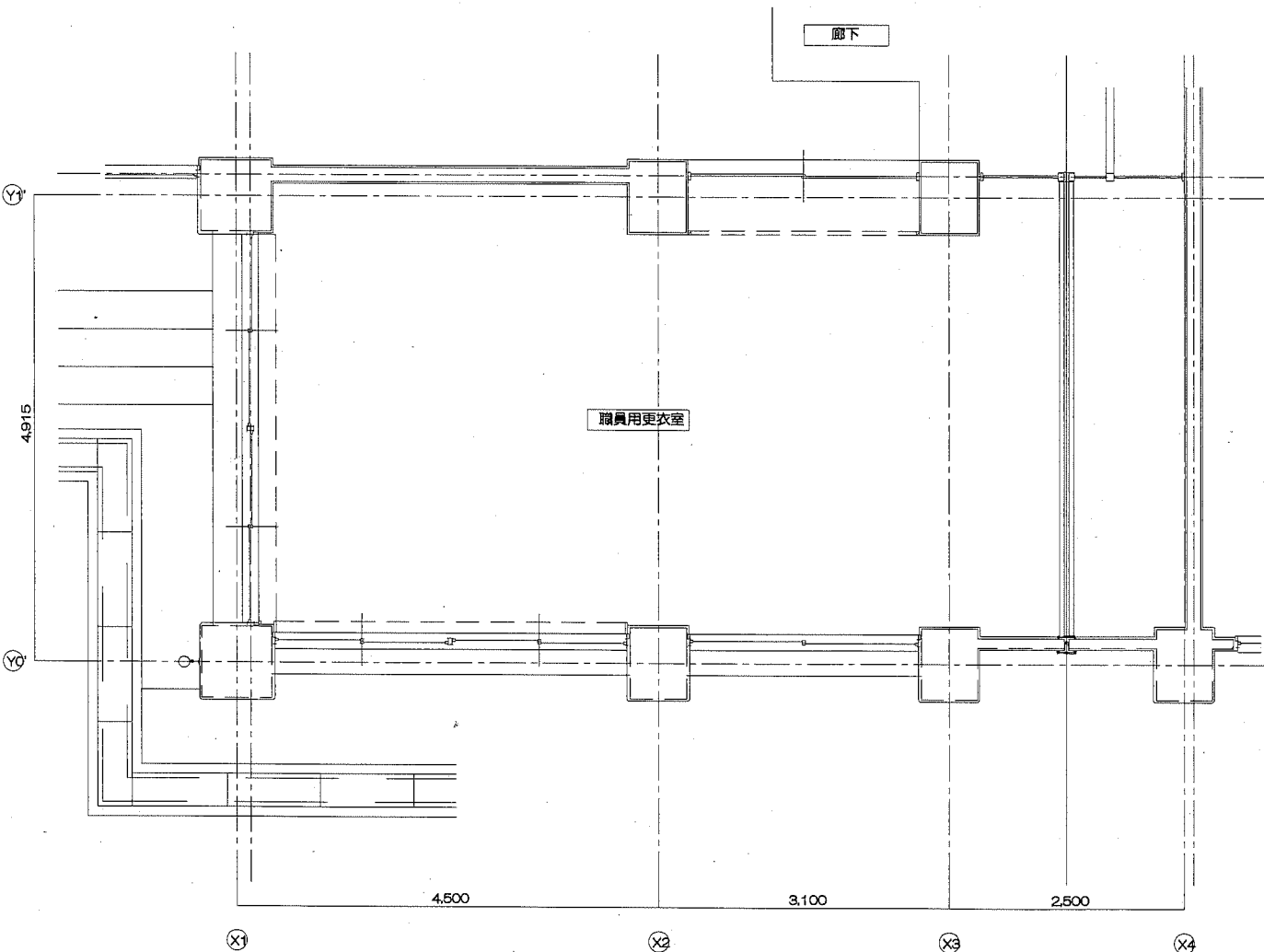
設計年月日 平成 31年 2月

設計名称
市立田端中学校ほか1校別棟設置建築その他工事
(池上中学校)

図面名称
機器表

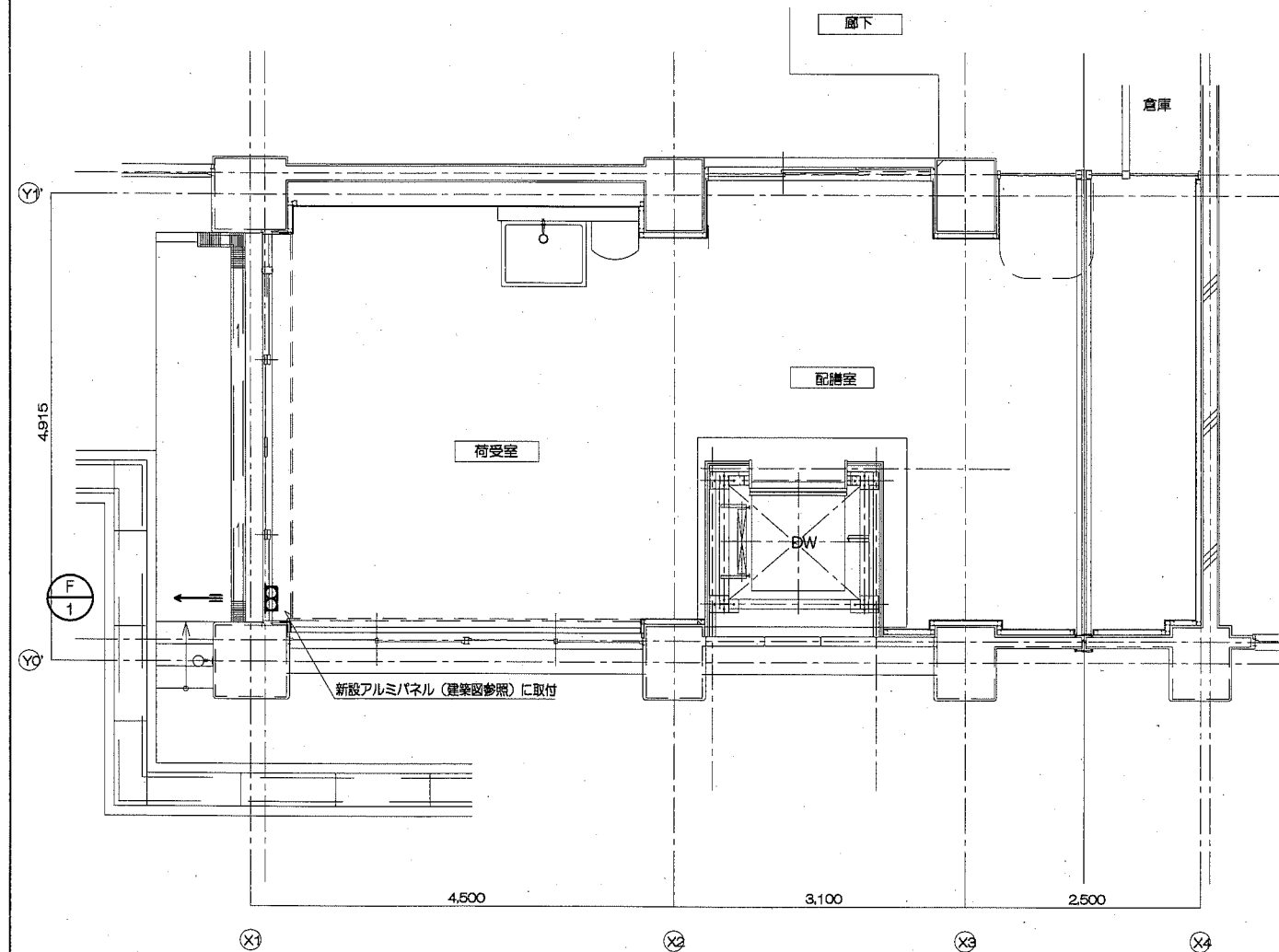
縮尺 N.S

改修前



1階平面図（改修前・職員用更衣室）

改修後



1階平面図（改修後・荷受配膳室）

公共建築課長	主査等	担当者
--------	-----	-----

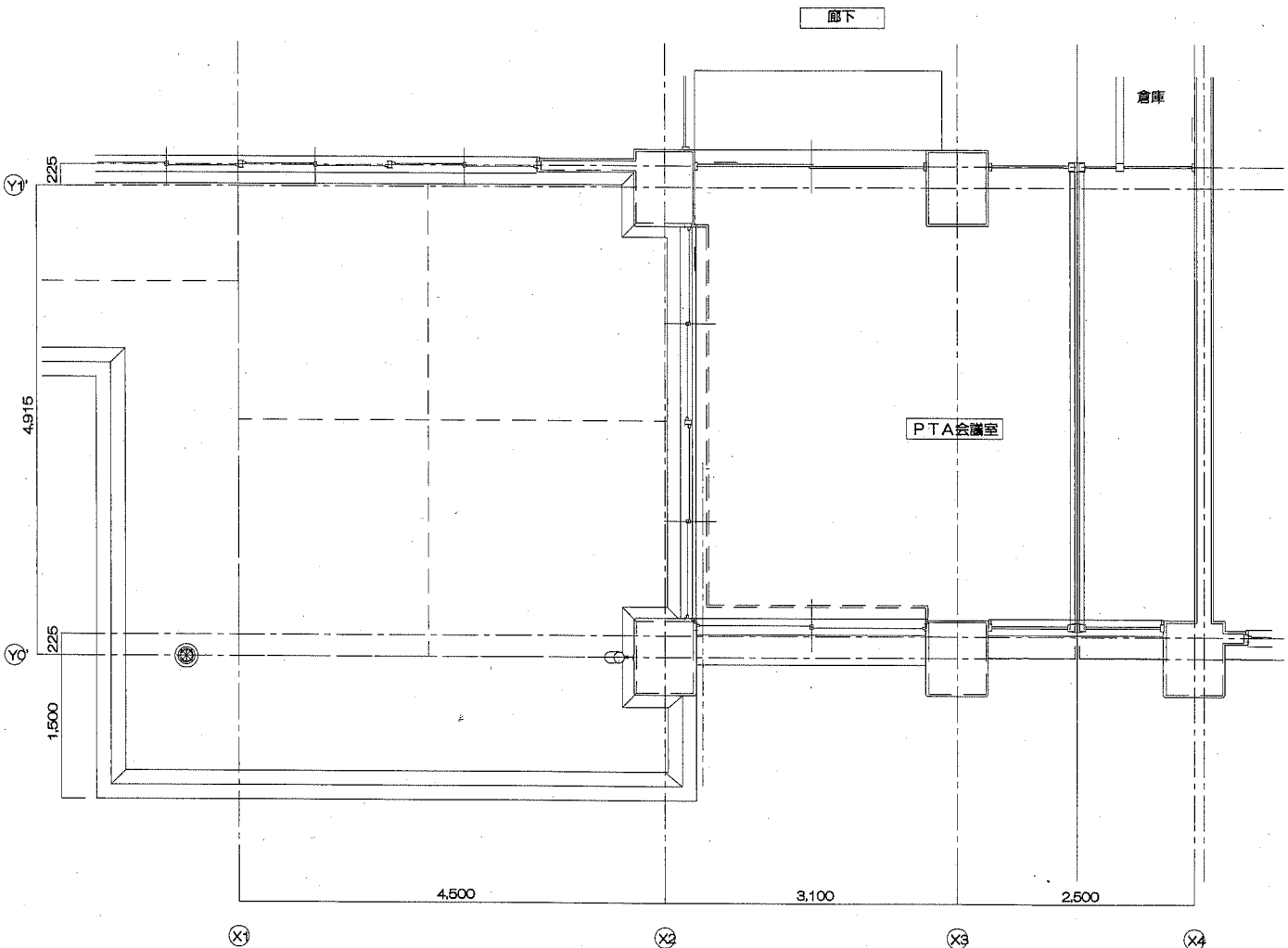
横須賀市 都市部 公共建築課

設計年月日 平成 31年 2月

設計名称 NAME OF PROJECT	図面名称 ITEM OF DRAWING
市立田浦中学校ほか1校昇給設置建築工事 （池上中学校）	空調換気設備 1階平面図
FIGURE NUMBER	DRAWING NUMBER
	縮尺 1:50 SCALE

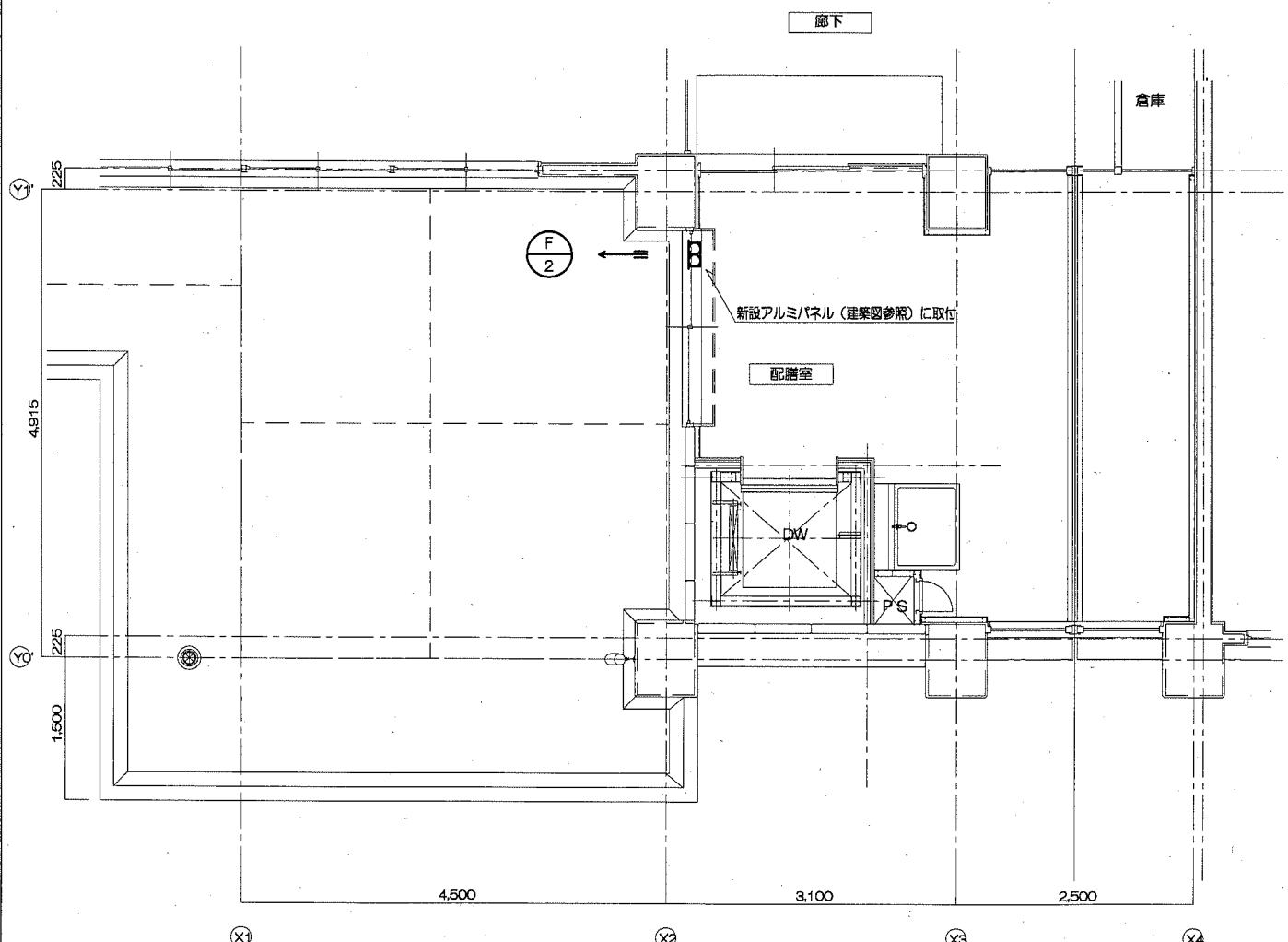
M-10

改修前



2階平面図 (改修前・PTA会議室)

改修後



2階平面図 (改修後・配膳室)

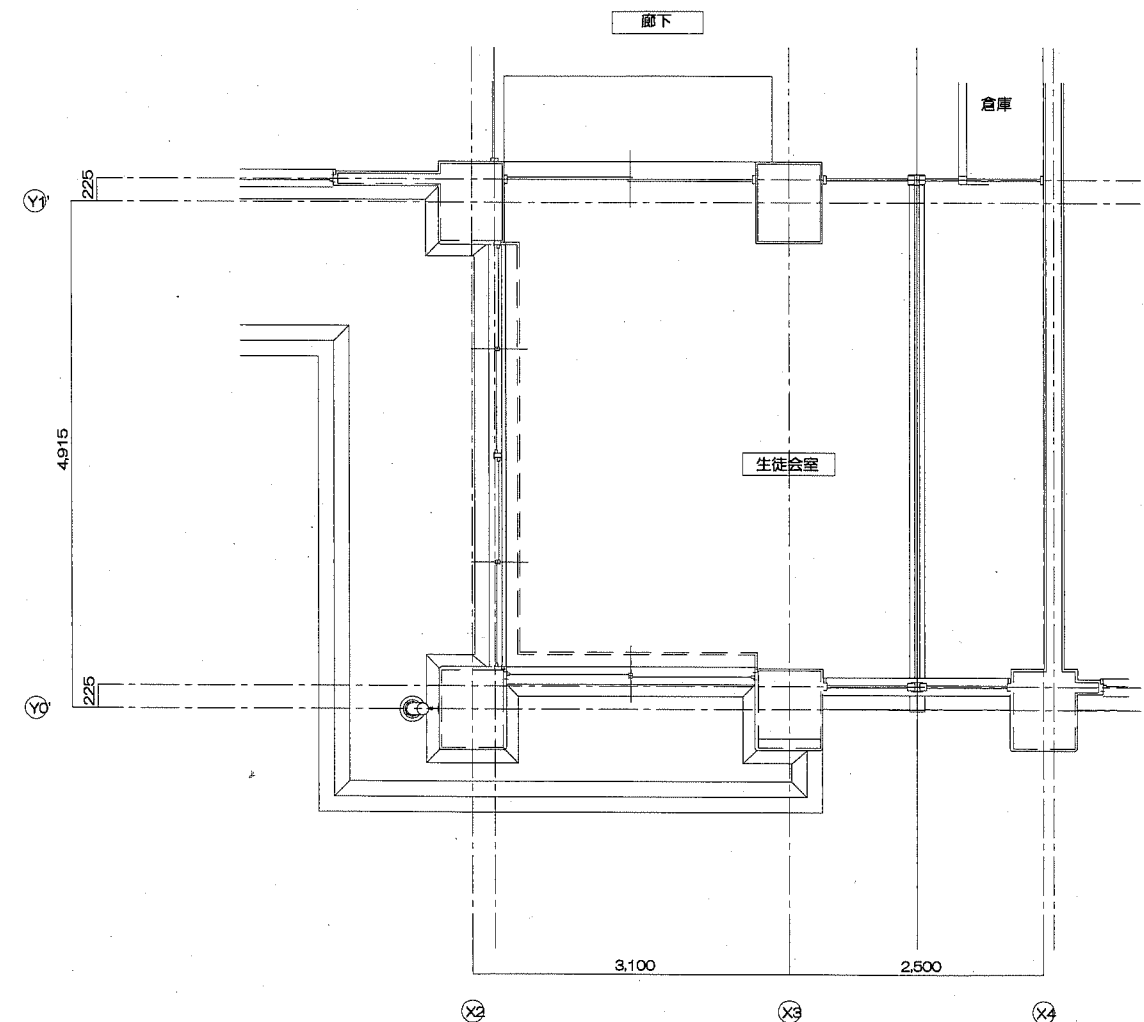
公共建築課長	主査等	担当者
--------	-----	-----

横須賀市 都市部 公共建築課
 設計年月日 平成 31年 2月

設計名称
 市立田浦中学校の1校舎増設設置事業その他工事
 (池上中学校)

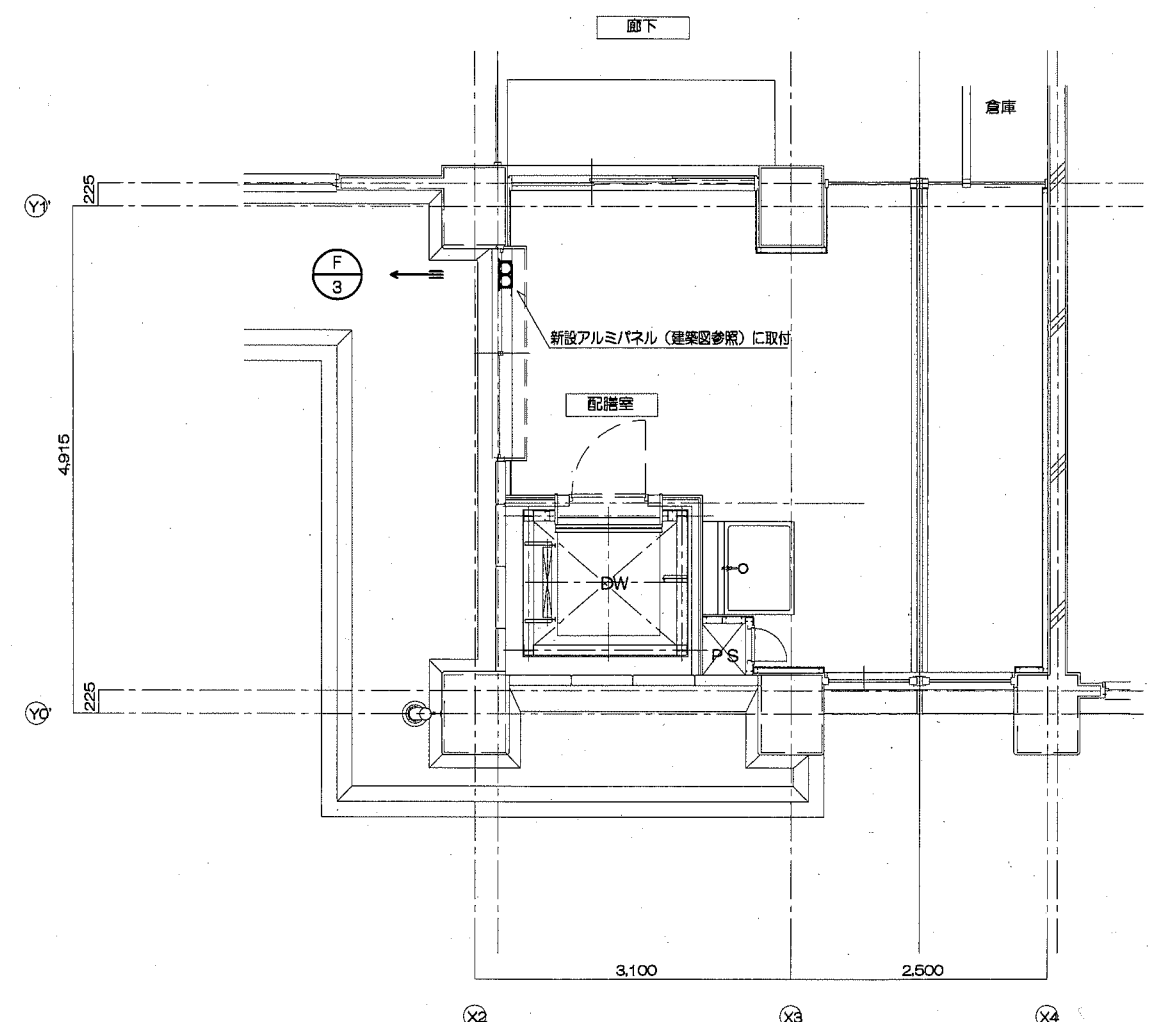
図面名称
 空調換気設備 2階平面図
 縮尺 1:50

改修前



3階平面図 (改修前・生徒会室)

改修後



3階平面図 (改修後・配膳室)

公共建築課長	主査等	担当者
--------	-----	-----

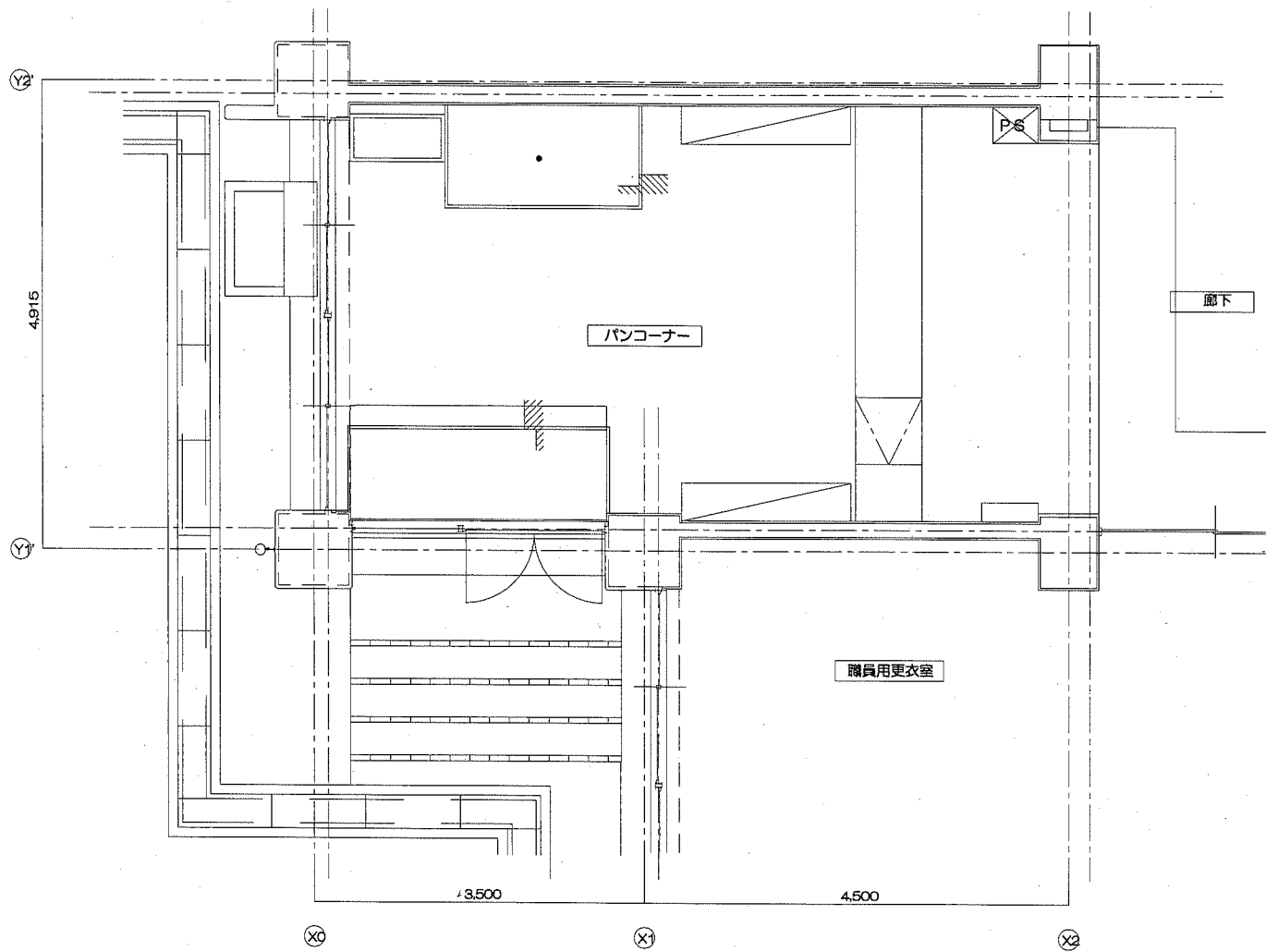
横須賀市 都市部 公共建築課

設計年月日 平成 31年 2月

設計名称 NAME OF PROJECT	図面名称 ITEM OF DRAWING
市立田原中学校ほか1校昇降機設置事業その他工事 (池上中学校)	空調換気設備 3階平面図
PROJECT NUMBER	DRAWING NUMBER

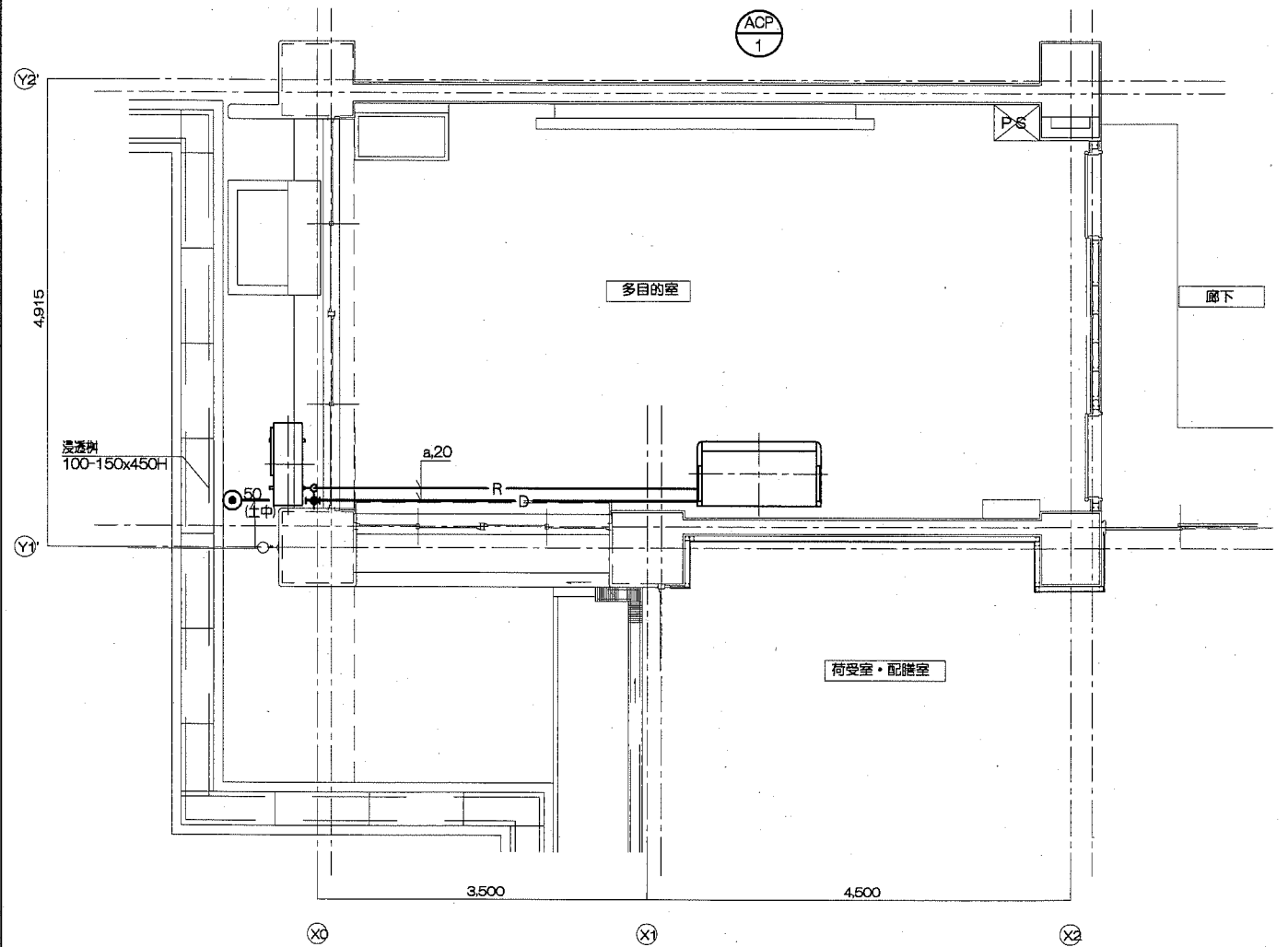
縮尺 SCALE	1 : 50
-------------	--------

改修前



1階平面図 (改修前・パンコーナー)

改修後



1階平面図 (改修後・多目的室)

冷媒配管口径表

記号	液管	ガス管
a	6.4φ	12.7φ

※1,内外連絡配線は冷媒管共巻工事
2,冷媒管ドレン管はアルミパネル貫通とする。(建築図参照)

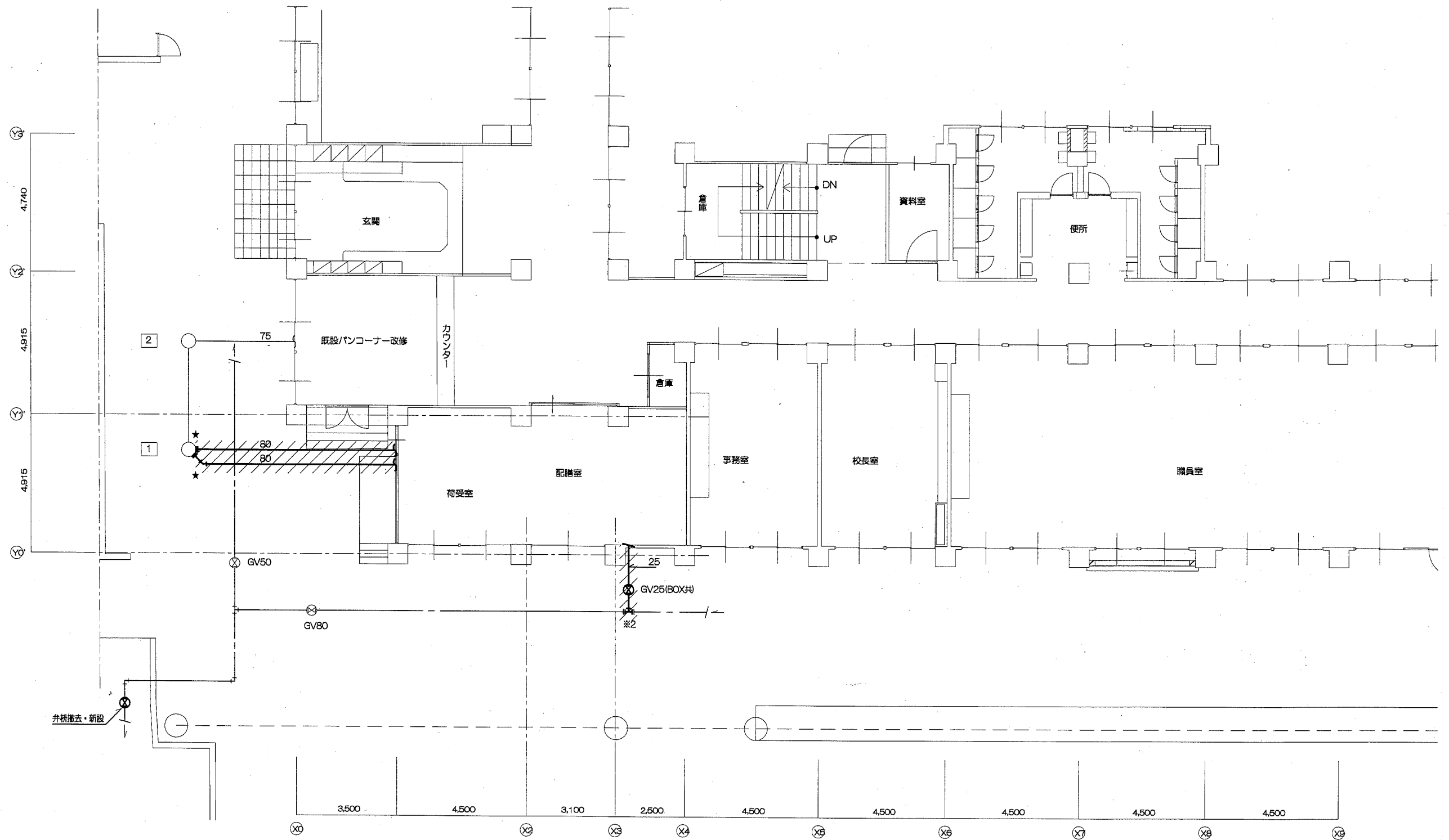
公共建築課長 主査等 担当者

横須賀市 都市部 公共建築課

設計年月日 平成 31年 2月

設計名称
市立田浦中学校ほか1校廃校施設設置跡地その他工事
(池上中学校)
PROJECT NUMBER

図面名称
空調換気設備 1階平面図
DRAWING NUMBER
縮尺 1:50
SCALE



外構図

(一般排水系統)

記号	名称	口径	樹深さ (mm)	仕様	備考
1	既設樹	450x450	725	車耐マンホール	
2	既設樹	450x450	800	車耐マンホール	

- 1) 細線部は既設再使用を示す。
- 2) 太線部は新設を示す。
- 3) ※2部は既存配管接続を示す。
- 4) 〰️部は舗装を示す。(建築図参照)
- 5) ★は配管貫通口はつり補修を示す。

公共建築課長 主査等 担当者

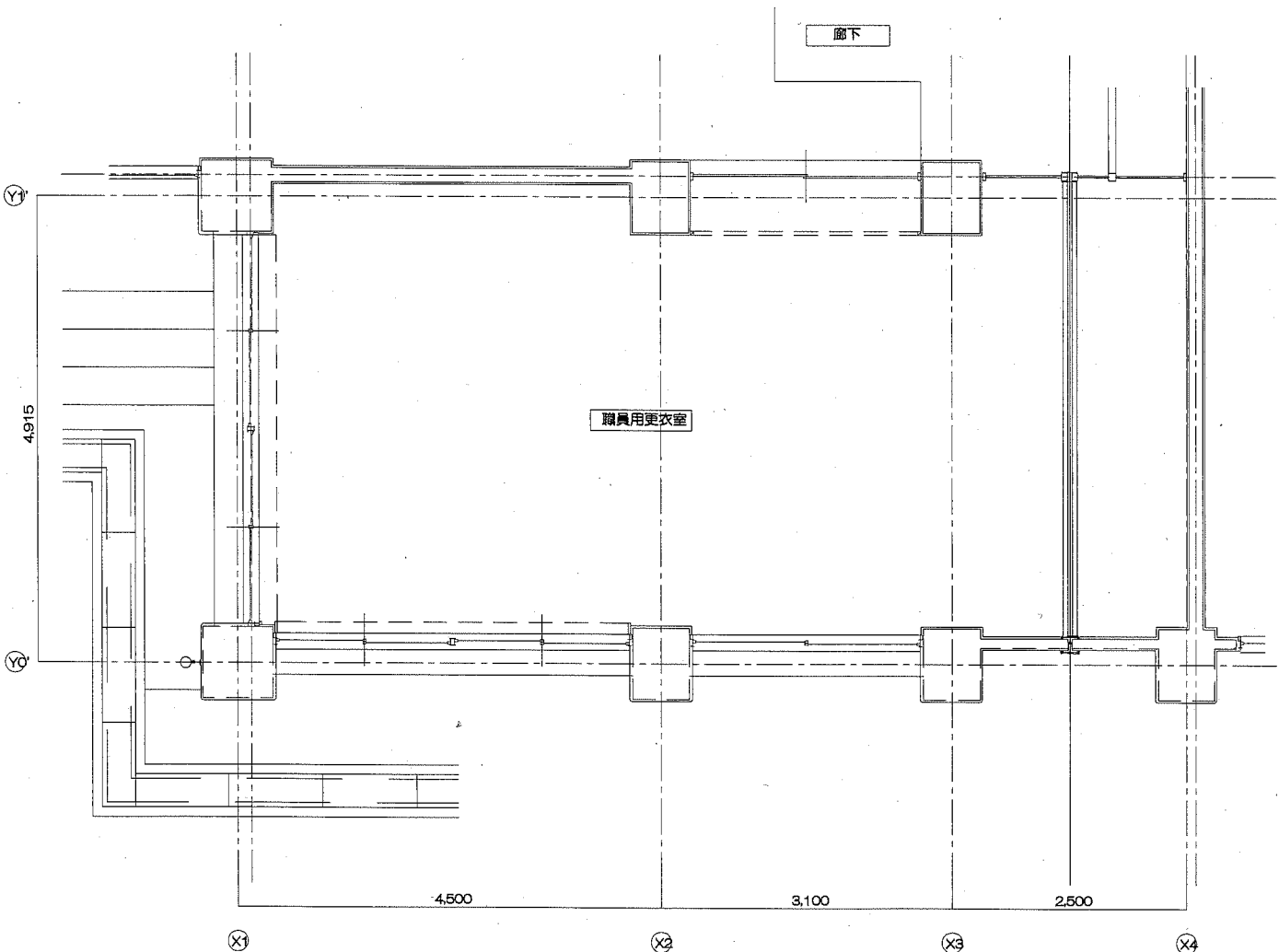
横須賀市 都市部 公共建築課

設計年月日 平成 31年 2月

設計名称
市立田浦中学校ほか1校再整備設置事業その他工事
(池上中学校)

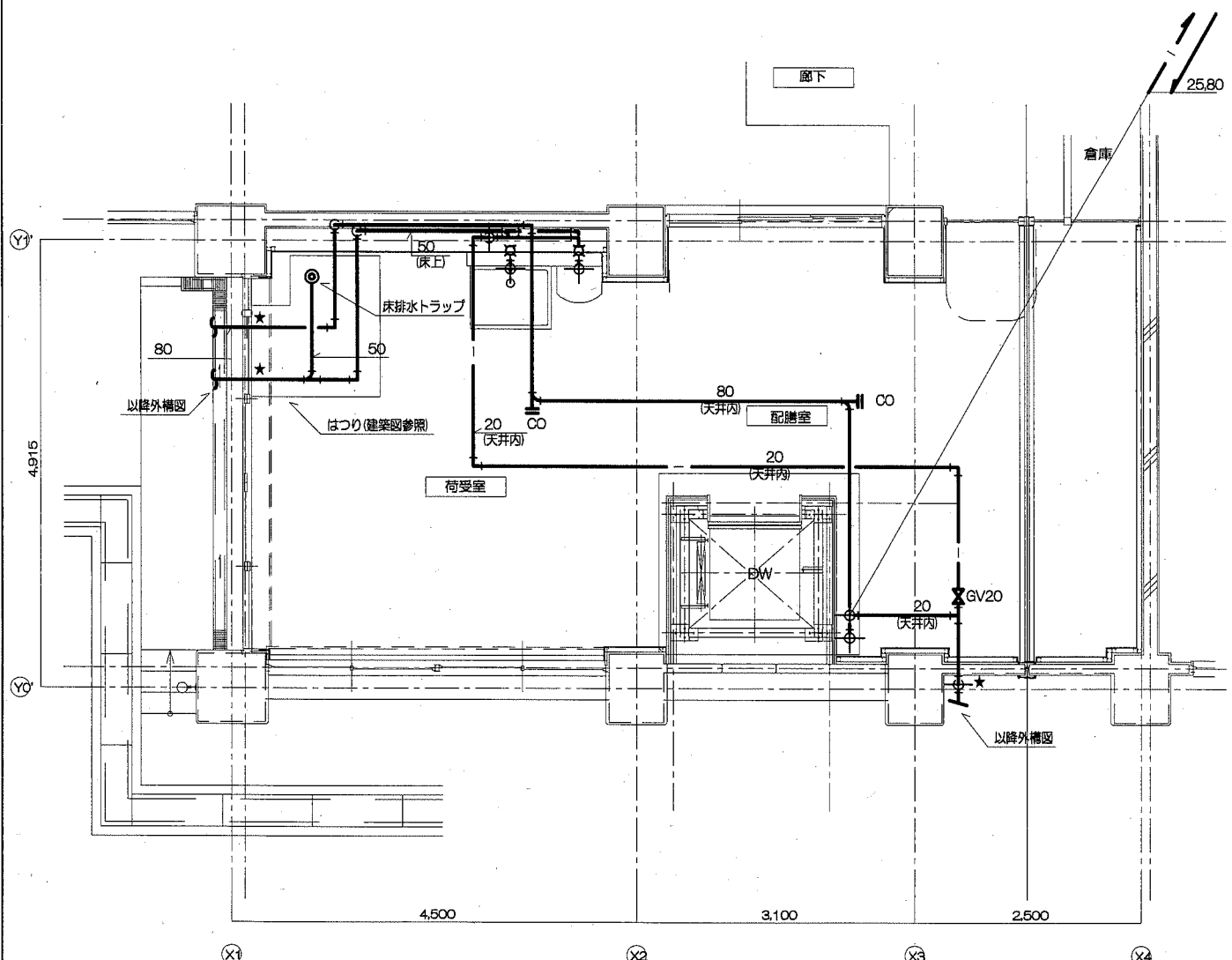
図面名称
給排水衛生設備 外構平面図
縮尺 1:100

改修前



1階平面図 (改修前・職員用更衣室)

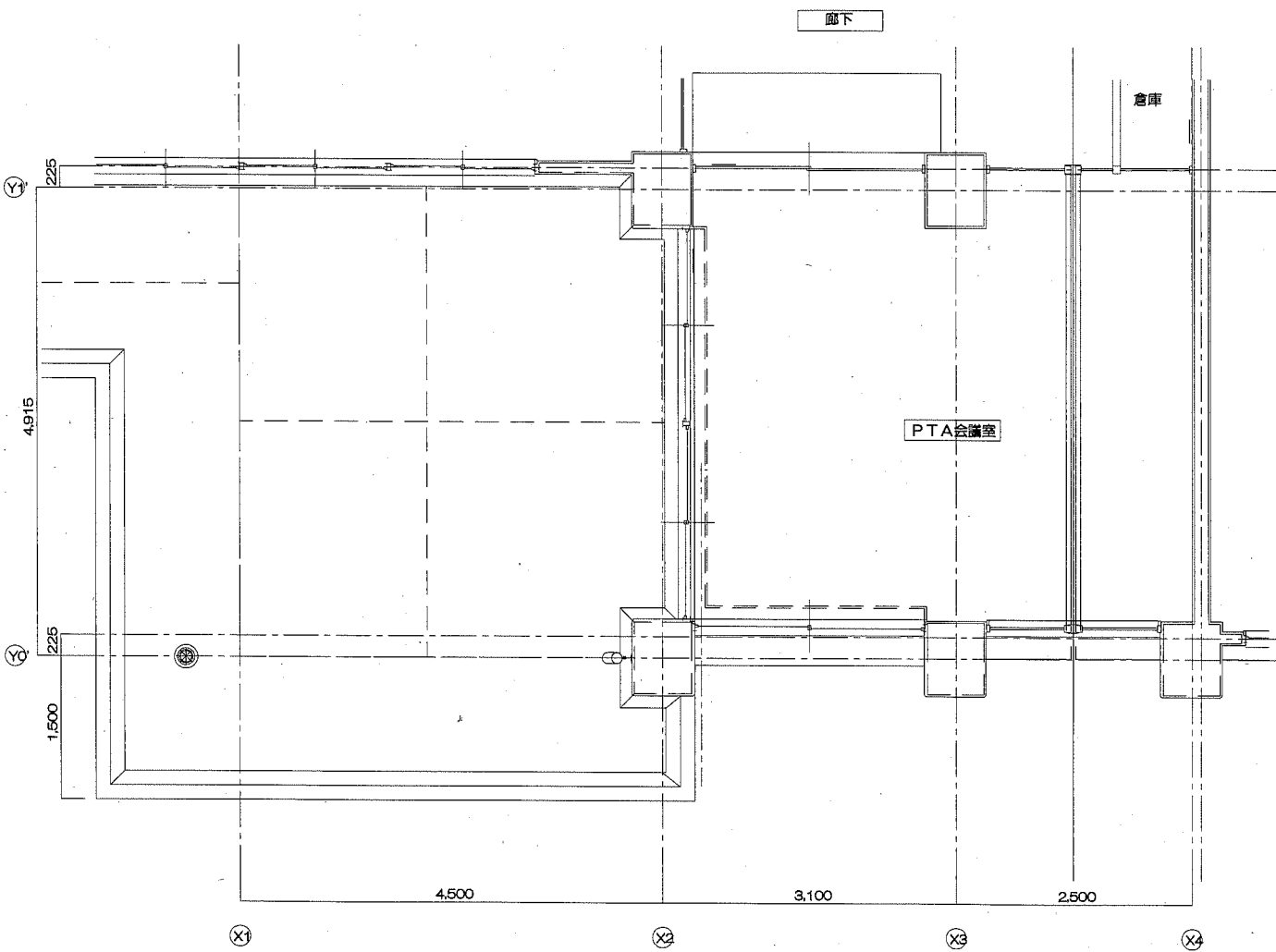
改修後



1階平面図 (改修後・荷受配膳室)

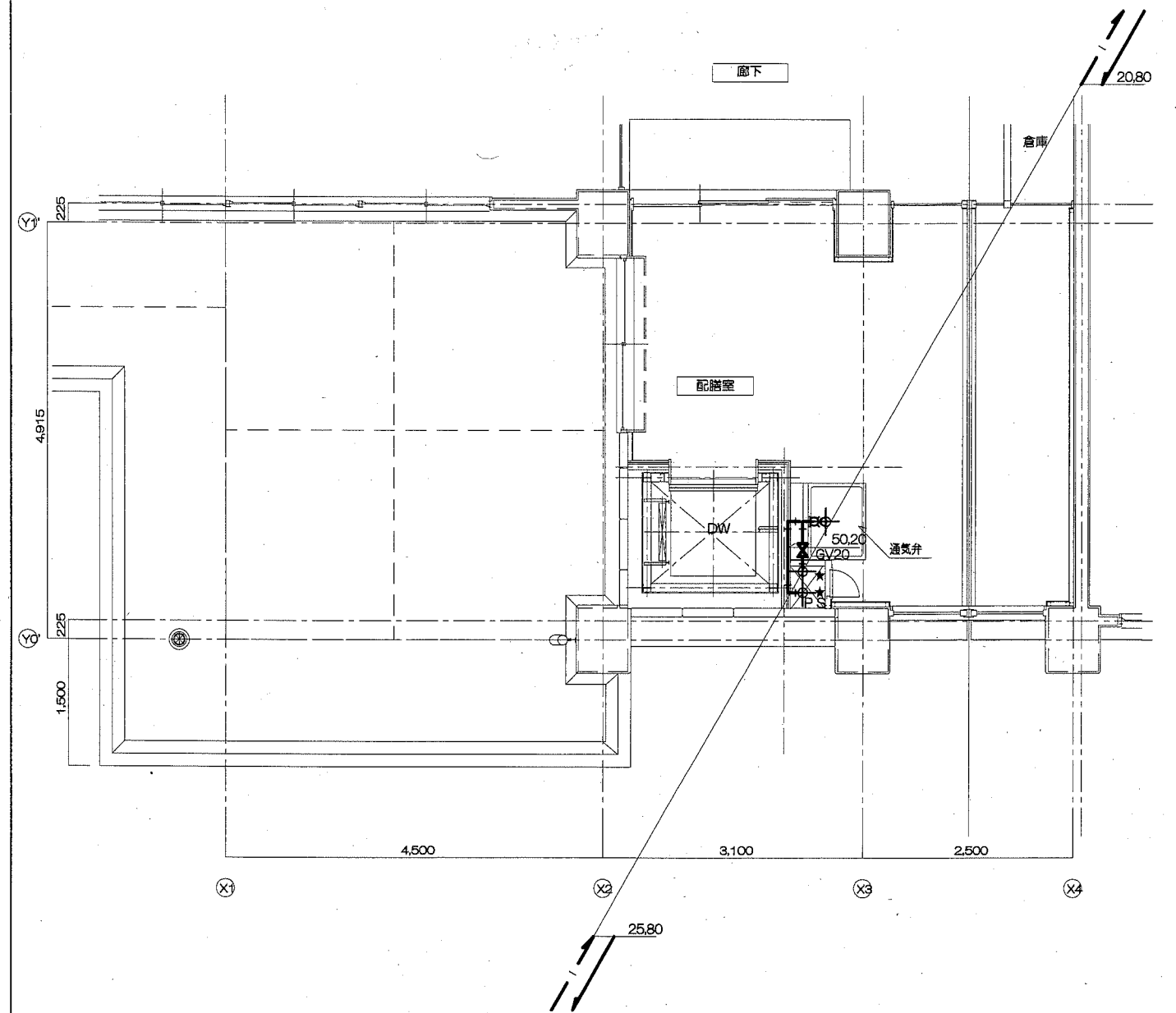
- 1) 特記なきは床下配管を示す。
- 2) ★は配管貫通口はつり補修を示す。

改修前



2階平面図 (改修前・PTA会議室)

改修後



2階平面図 (改修後・配膳室)

- 1) 特記なきは床上配管を示す。
- 2) ★は配管貫通口はつり補修を示す。

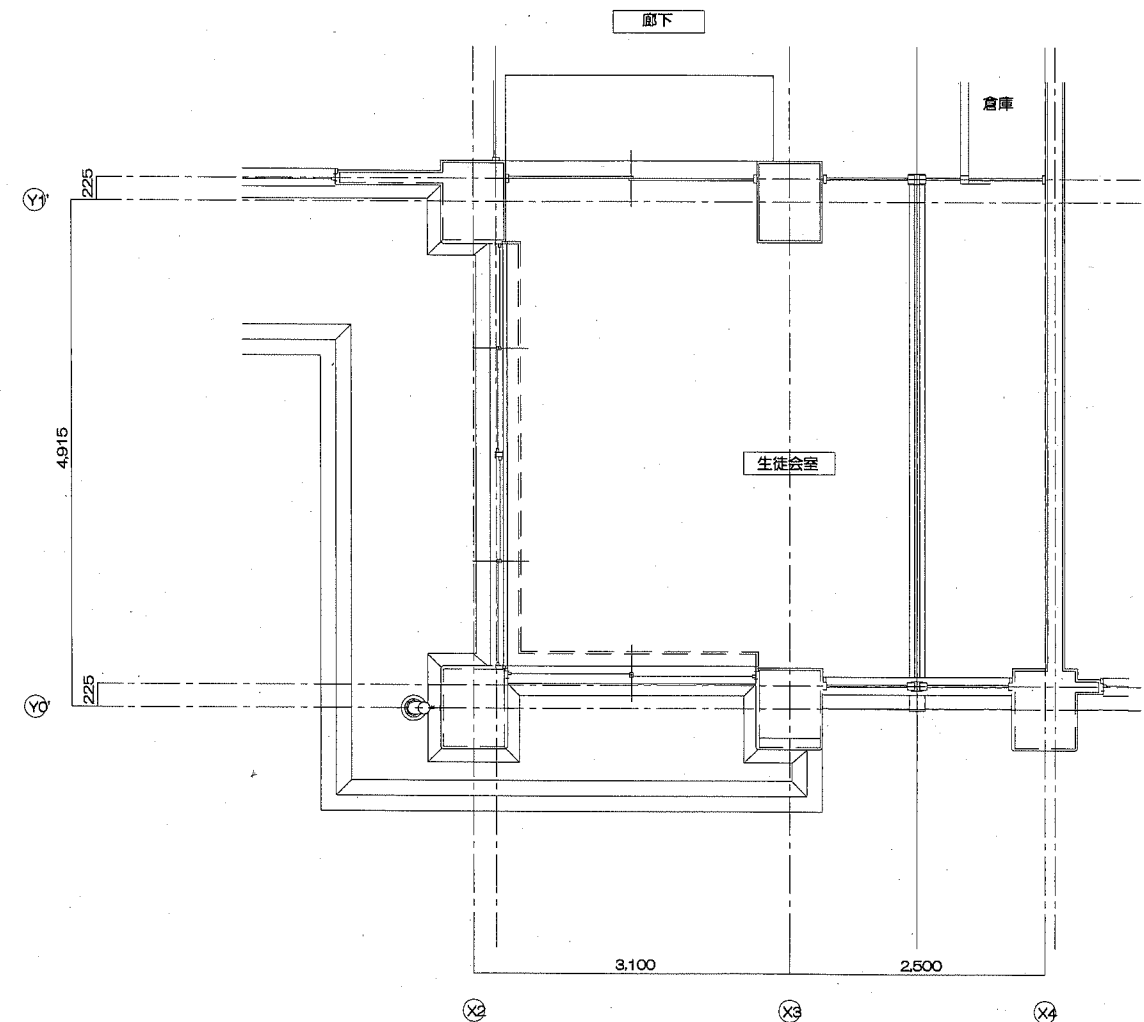
公共建築課長	主査等	担当者

横須賀市 都市部 公共建築課

設計年月日 平成 31年 2月

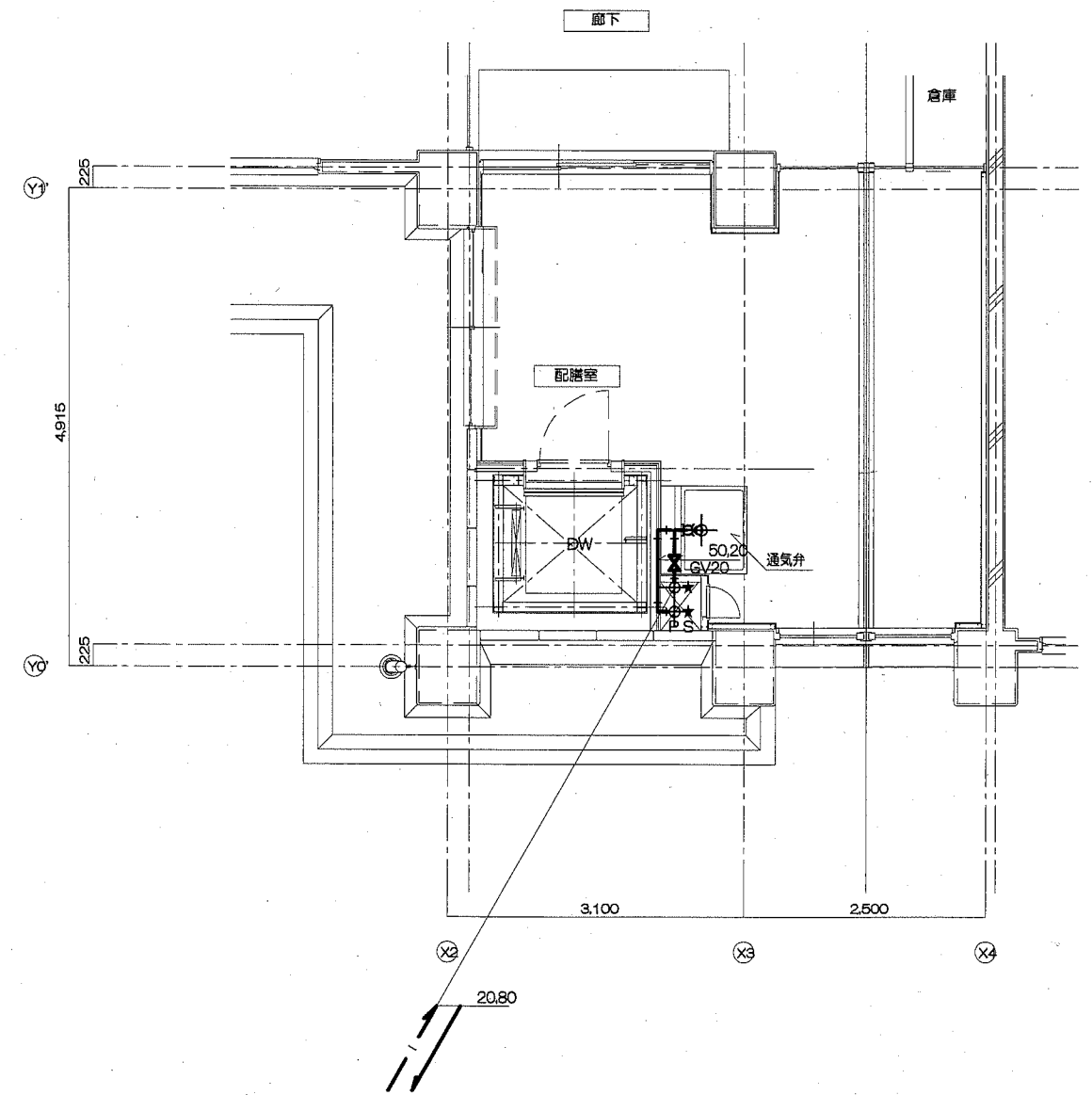
設計名称 NAME OF PROJECT	図面名称 ITEM OF DRAWING
市立田原中学校ほか1校界隈施設更新事業その他工事 (池上中学校)	給排水衛生設備 2階平面図
PROJECT NUMBER	DRAWING NUMBER
	縮尺 1 : 50 SCALE

改修前



3階平面図 (改修前・生徒会室)

改修後



3階平面図 (改修後・配膳室)

- 1) 特記なきは床上配管を示す。
- 2) ★は配管貫通口はつり補修を示す。

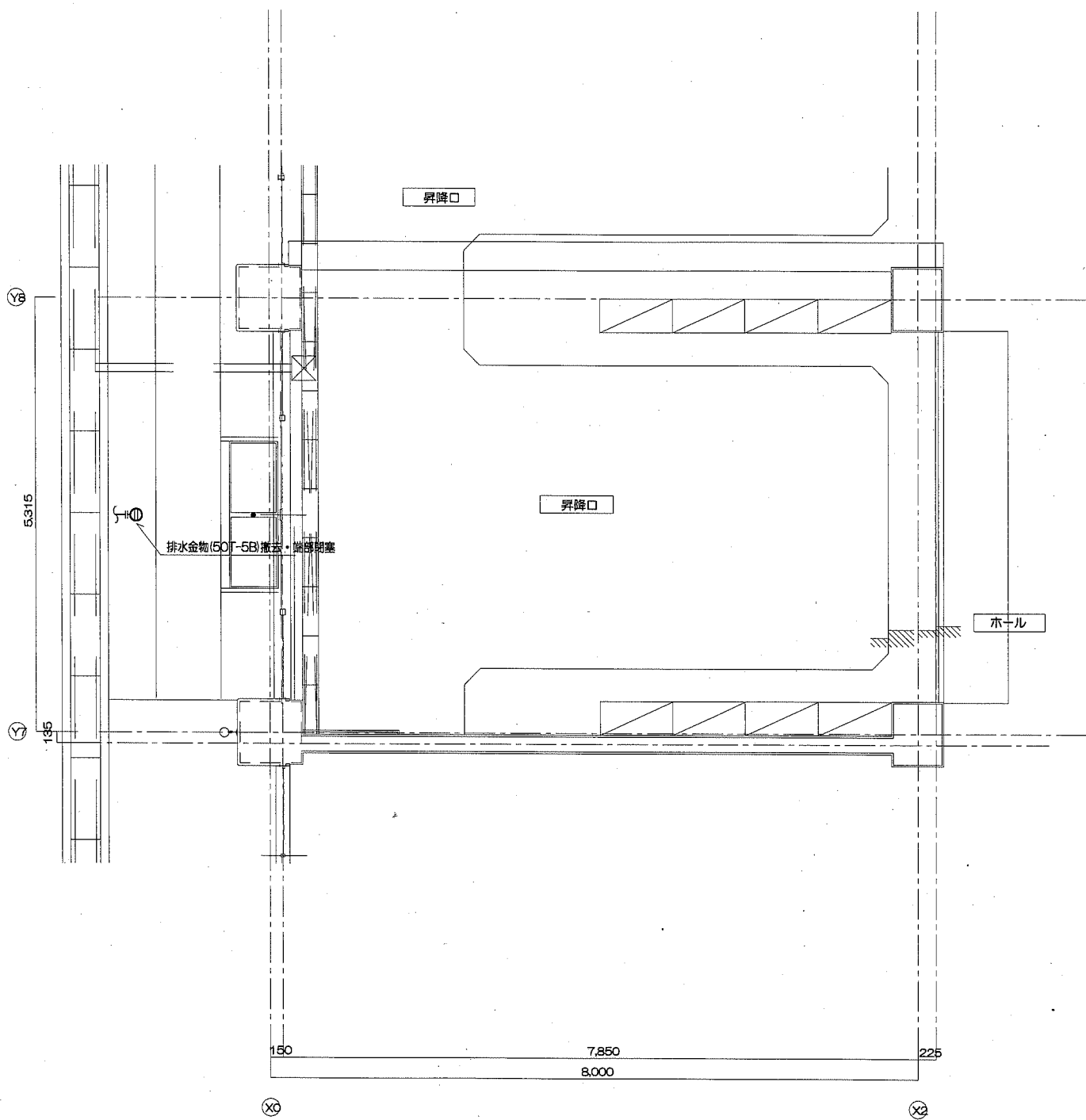
公共建築課長	主査等	担当者

横須賀市 都市部 公共建築課

設計年月日 平成 31年 2月

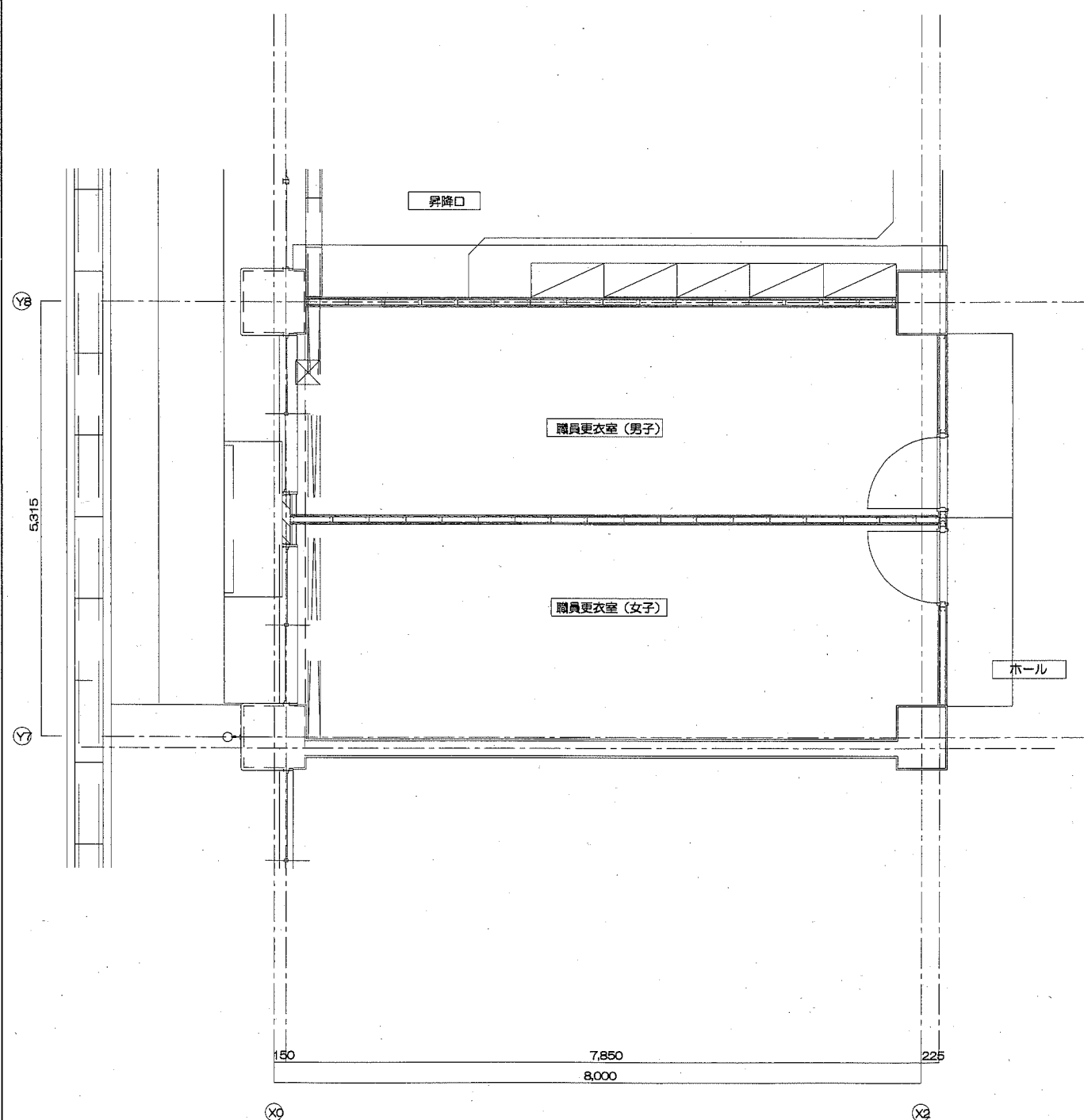
設計名称 NAME OF PROJECT	図面名称 ITEM OF DRAWING
市立田浦中学校の1校昇降機設置事業その他工事 (池上中学校)	給排水衛生設備 3階平面図
PROJECT NUMBER	DRAWING NUMBER
	縮尺 1 : 50 SCALE

改修前



1階平面図 (改修前・昇降口)

改修後



1階平面図 (改修後・職員更衣室)

公共建築課長	主査等	担当者
--------	-----	-----



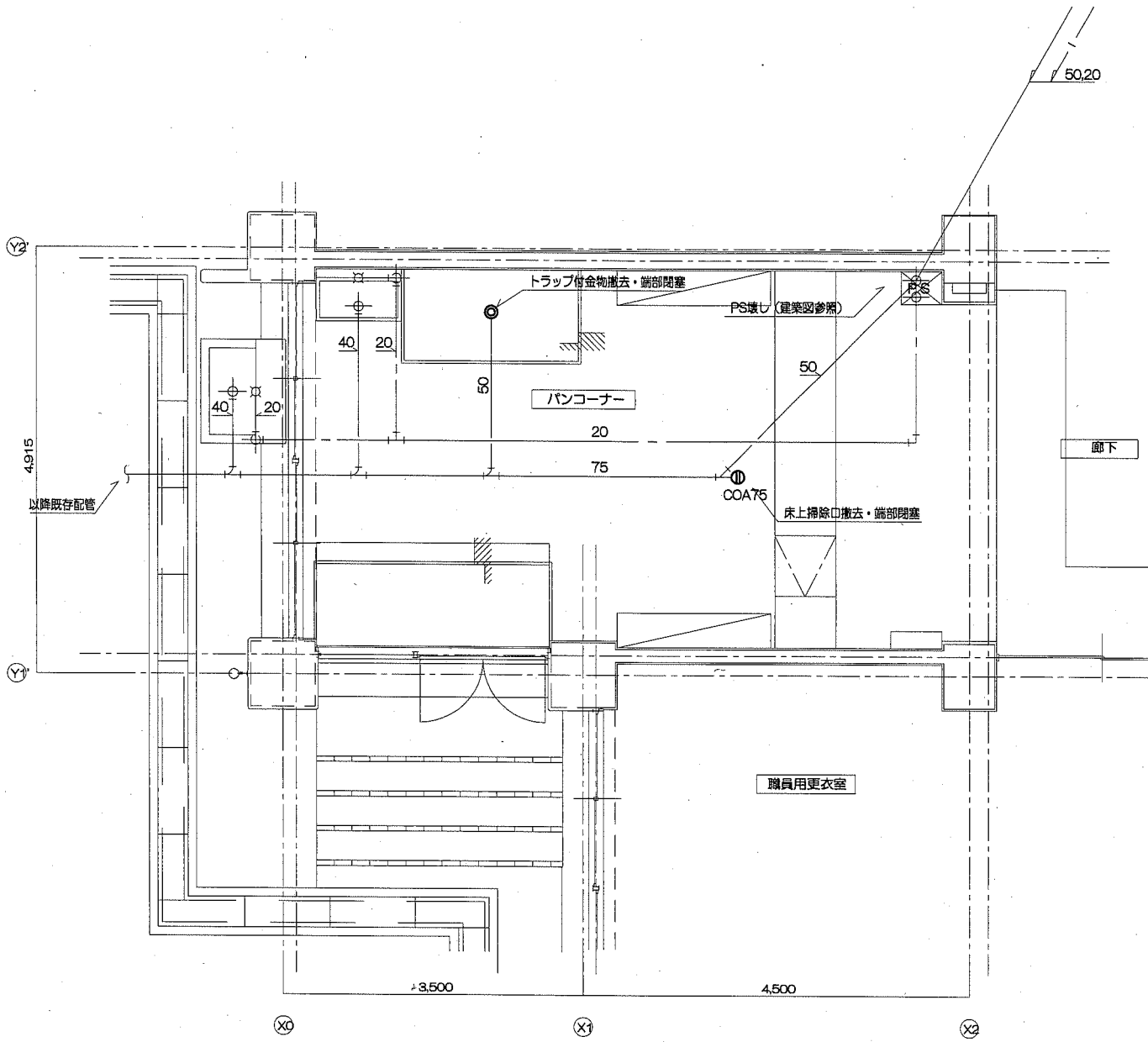
横須賀市 都市部 公共建築課

設計年月日 平成 31年 2月

設計名称 NAME OF PROJECT	図面名称 ITEM OF DRAWING
市立田浦中学校ほか1校別棟設置機材等の他工事 (池上中学校)	給排水衛生設備 1階平面図
PROJECT NUMBER	DRAWING NUMBER

縮尺 SCALE
1 : 50

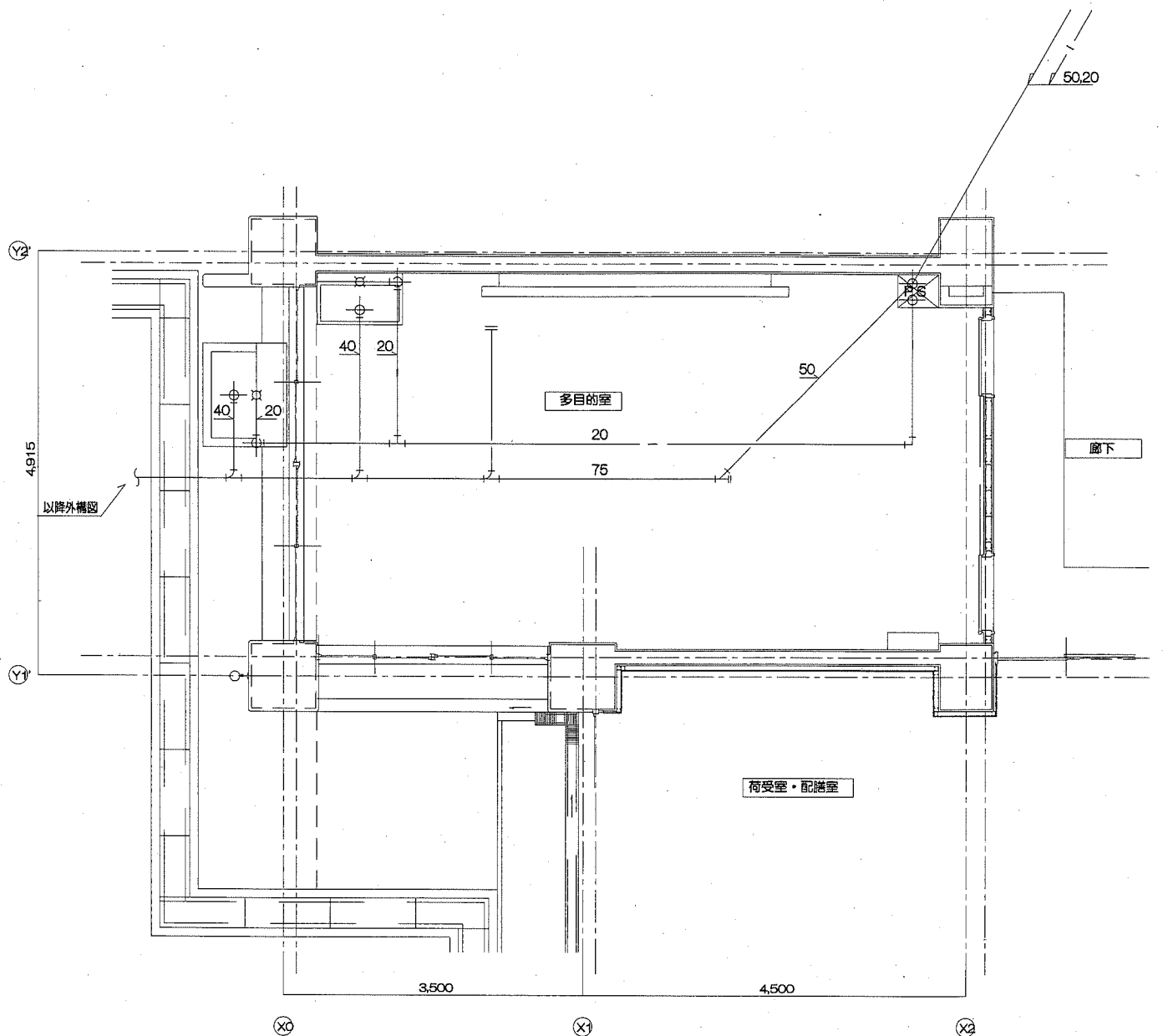
改修前



1階平面図(改修前・パンコーナー)

1) 細線部は残置を示す。

改修後



1階平面図(改修後・多目的室)

1) 特記なきは床下配管を示す。
2) 細線部は既設再使用を示す。

公共建築課長	主査等	担当者

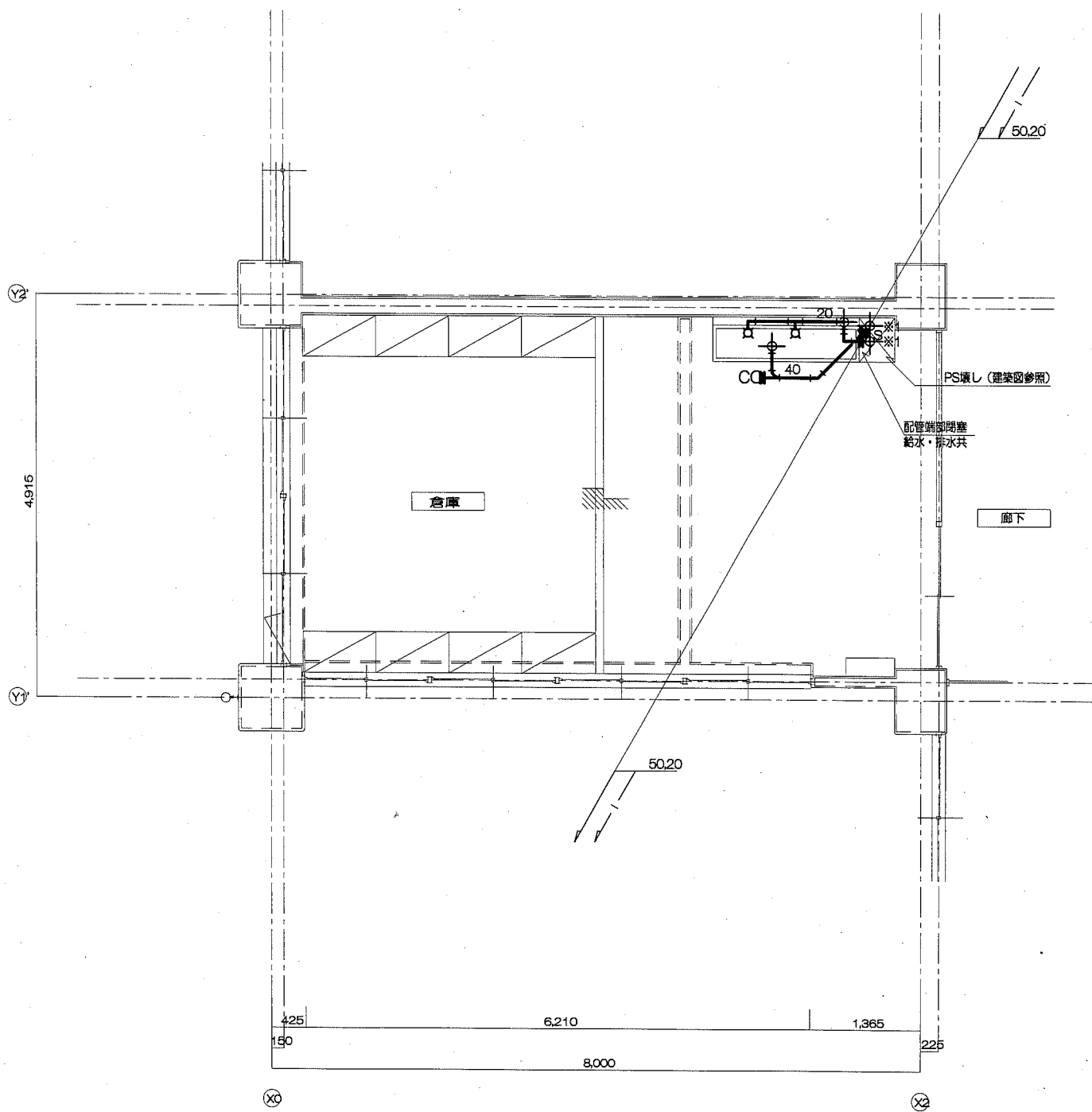
横須賀市 都市部 公共建築課

設計年月日 平成 31年 2月

設計名称 NAME OF PROJECT	図面名称 ITEM OF DRAWING
市立田原中学校ほか1校昇給設備設置事業その他工事 (池上中学校)	給排水衛生設備 1階平面図
PROJECT NUMBER	DRAWING NUMBER

縮尺 SCALE
1 : 50

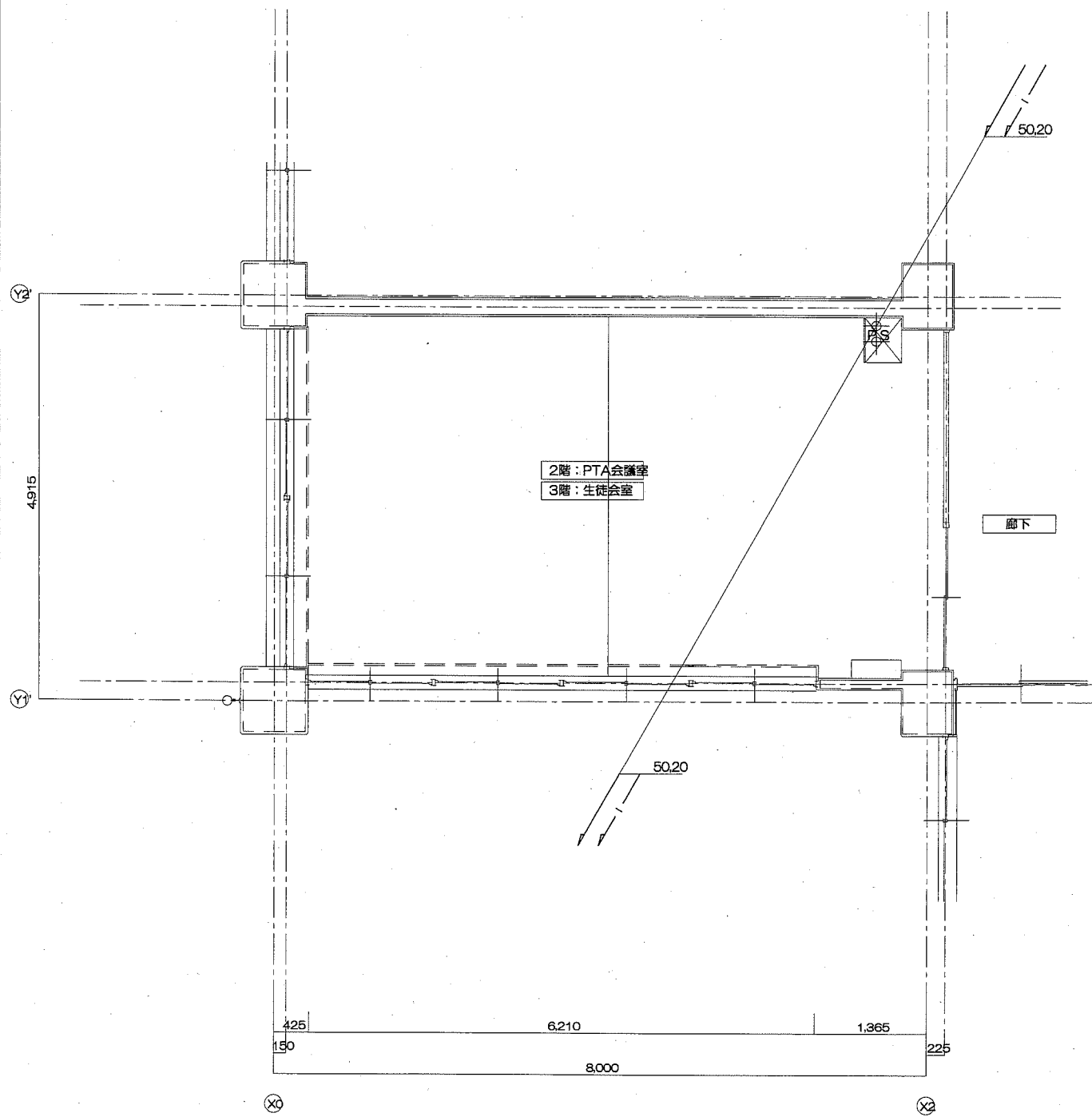
改修前



2・3階平面図(改修前・倉庫)

- 1) ※1部は既存配管切断を示す。
- 2) 細線部は既設再使用を示す。
- 3) 太線部は撤去を示す。

改修後



2・3階平面図(改修後:PTA会議室・生徒会室)

- 1) 細線部は既設再使用を示す。

公共建築課長	主査等	担当者
--------	-----	-----

横須賀市 都市部 公共建築課

設計年月日 平成 31年 2月

設計名称 NAME OF PROJECT	図面名称 ITEM OF DRAWING
市立田浦中学校部1校昇降機設置事業その他工事 (池上中学校)	給排水衛生設備 2・3階平面図
PROJECT NUMBER	DRAWING NUMBER

縮尺 SCALE	1 : 50
-------------	--------

M-20